

超 図 解[®]

ホームページ

V3

公式ガイドブック

目次

目次.....	2
Q&A目次.....	6

第1章

お使いになる前に..... 7

セクション 1 ホームページとは.....	8
セクション 2 ホームページ開設の申し込み.....	12
セクション 3 「ホームページV3」の特長.....	14
セクション 4 インストールとアンインストール.....	22
セクション 5 起動と終了.....	28
セクション 6 「ホームページV3」をアップデートできるようにする... 30	
セクション 7 画面構成と基本操作.....	34
この章のまとめ.....	40

第2章

かんたん手軽にホームページを作る..... 41

セクション 8 スタートアップウィザードでホームページを作る... 42	
セクション 9 でき上がったホームページを確認する.....	46
セクション10 文字を入力・編集する.....	48
セクション11 文字の書式を変更する 1.....	50
セクション12 文字の書式を変更する 2.....	52
セクション13 画像を挿入する.....	56
セクション14 画像を変更する.....	60
セクション15 文字にリンクを設定する.....	62
セクション16 画像やボタンにリンクを設定する.....	64
セクション17 ページ名を変更する.....	66
セクション18 サイト名を変更する.....	68
セクション19 編集画面の表示を変更する.....	70
セクション20 転送の設定をする.....	72
セクション21 サイトを転送する.....	76

セクション22	変更したファイルだけを転送する	78
セクション23	サーバー上にフォルダを作成する	80
	この章のまとめ	82

第3章

サイトの構成を変更する 83

セクション24	サイトの構成を理解する	84
セクション25	ページを追加・複製・削除する	88
セクション26	ページをインポートする	94
セクション27	ページの順番を変更する	96
セクション28	ページに階層を追加する	98
セクション29	自動リンクをはずす	102
セクション30	サイトの設定を変更する	104
セクション31	転送の設定を変更する	108
	この章のまとめ	110

第4章

ページをデザインする 111

セクション32	スタイルシートとは	112
セクション33	ページをデザイン・レイアウトする	114
セクション34	サイトのデザインを変更する	118
セクション35	サイトのレイアウトを変更する	120
セクション36	個別のページのレイアウトを変更する	122
セクション37	ページ幅を広げる	128
セクション38	ページの背景を変更する	130
セクション39	タイトルのデザインを変更する	134
セクション40	レイアウトエリアのスタイルを変更する	138
セクション41	横メニューのデザインを変更する	140
セクション42	縦メニューのデザインを変更する	144
	この章のまとめ	148

第5章

実践1～日記サイトを作る 149

セクション43	これから作るサイトの紹介	150
セクション44	アクセスカウンタを設置する	152
セクション45	オリジナルタグを作成する	154
セクション46	更新履歴ボックスを設置する	156
セクション47	RSSを設置する	160
セクション48	移動ボタンボックスを設置する	162
セクション49	Flashギャラリーページを作成する	168
	この章のまとめ	172

第6章

実践2～会社サイトを作る 173

セクション50	これから作るサイトの紹介	174
セクション51	表を挿入する	176
セクション52	ロゴを挿入する	180
セクション53	ロールオーバー効果を設定する	184
セクション54	イメージマップを作成する	188
セクション55	資料請求フォームを作成する	192
	この章のまとめ	196

第7章

実践3～ポータルサイトを作る 197

セクション56	これから作るサイトの紹介	198
セクション57	Googleのガジェットを挿入する	200
セクション58	メディアファイルを挿入する	204
セクション59	アフィリエイトを挿入する	206
セクション60	掲示板サービスを利用する	210
	この章のまとめ	212

第8章

まだまだある便利な機能213

セクション61	スマートフォン用サイトを作成する.....	214
セクション62	「ホームページ・ビルダー」で作成したファイルを取り込む...	224
セクション63	レイアウトユニットを挿入する.....	228
セクション64	画像やテキストを自由に表示する.....	230
セクション65	テキストボックスにアニメーションを設定する...	234
セクション66	画像を編集する.....	238
	この章のまとめ.....	240

第9章

付録241

Q&A.....	242
困ったときは.....	246
サポートへのお問い合わせ.....	247
用語集.....	248
索引.....	253
「ホームページV3」製品サポートについて.....	256

Q&A 目次

Q. 他社のホームページ作成ソフトで作成したファイルを読み込むと、レイアウトや画像が崩れてしまう	242
Q. [プレビュー]画面や転送後のページのレイアウトが崩れている (メインがサイド1の下にずれ落ちてしまうなど)	242
Q. メールフォームからメールが送信できない	242
Q. サーバーに転送できない	242
Q. 画像やテキストボックスの配置がブラウザで確認するとずれている	243
Q. ボタンの表示内容が変更できない	243
Q. [HTMLモード]で入力したタグが消去されてしまう	244
Q. 掲示板が利用できない	244

第1章

お使いになる前に

「ホームページV3」をご利用いただく前の準備のステップです。

ホームページを作成する前に準備していただくことと、「ホームページV3」についてあらかじめ知っておいていただきたいことを解説した後、「ホームページV3」のインストール、起動、終了、エントリー、画面構成などの説明を行います。

セクション 1	ホームページとは	8
セクション 2	ホームページ開設の申し込み	12
セクション 3	「ホームページV3」の特長	14
セクション 4	インストールとアンインストール	22
セクション 5	起動と終了	28
セクション 6	「ホームページV3」をアップデートできるようにする	30
セクション 7	画面構成と基本操作	34
	この章のまとめ	40

ホームページとは

ホームページを作る前に、その基本構造を理解しておきましょう。
ホームページとはどのようなものか、またどのように作り、公開するののかについて解説します。

● ホームページとは

ホームページの本体はワープロソフトやテキストエディタで作ることができるテキストファイルで、画面表示の内容や方法をHTML(Hyper Text Markup Language)という言語で書いたものです。サンプルHTMLをワープロやエディタなどで開くと、右のように表示されます。

・ サンプルHTMLファイル：sample.html

```
sample.html - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
<html>
<head>
<title>サンプルHP</title>
</head>
<body>
<h1>サンプルHP</h1>
<p>
これは私がはじめて作るホームページです。
<br>
マスコットのちよびです。
</p>
</body>
</html>
```

このファイルを、ブラウザと呼ばれるソフトウェアで開くと右のように表示されます。

表示されている文章はすべて右上のHTMLファイルに直接記述されています。一方、画像はHTMLファイルの中ではファイル名(sample.jpg)として画像のファイル名(sample.jpg)を指定してHTMLファイルから呼び出して表示しています。このように、HTMLファイルと画像を表示するホームページの場合には、HTMLファイルから呼び出される画像ファイルを用意しなくてはなりません。



関連情報

HTMLファイルの拡張子は「.html」、「.htm」?

URLの末尾を見ると、index.htmであったりindex.htmlになっていたりします。HTMLファイルの拡張子は、どちらを使用しても特に問題はありません。htmlは、拡張子は3文字という制限のあったWindows以前のパソコン時代の名残です。ただし、1つのサイトの中に「html」と「htm」両方を使用すると、後でトラブルが発生する可能性もありますので、統一して使用するようにしましょう。

「ホームページV3」では最初の設定では「html」に設定されています。拡張子の設定方法は、P.104「セクション30 サイトの設定を変更する」を参照してください。

● ホームページを見る

ホームページは、ブラウザと呼ばれるソフトウェアで表示します。Windowsパソコンには、Internet Explorerが標準で搭載されていますが、Google ChromeやFirefoxなどのブラウザをインターネットからダウンロードして使用することもできます。ホームページの閲覧とは、これらのブラウザを使って、インターネットに接続されたサーバー上にあるHTMLファイルを表示することをいいます。

ホームページを閲覧するためには、HTMLファイルが収録されたサーバーの名前と閲覧するファイル名を指定する必要があります。ファイル名の指定は次のように行ないます。これをURL(Uniform Resource Locator)といいます。目的のHTMLファイルの在処を示すインターネット上の住所です。

http://www.sourcenext.com/support/index.html

①

②

③

④

- ①通信規約：通信を行なう際の取り決めです。通常はhttp://が使用されます。
- ②ドメイン名：サーバーに付けられた、インターネット上で通用する名前です。
- ③ディレクトリ名：サーバー内でHTMLファイルが格納されている場所を示すもので、パソコンの「フォルダ」に相当します。
- ④ファイル名：閲覧するファイル名です。index.htmlは、ディレクトリにアクセスした際に最初に参照されるファイルで、省略が可能です。



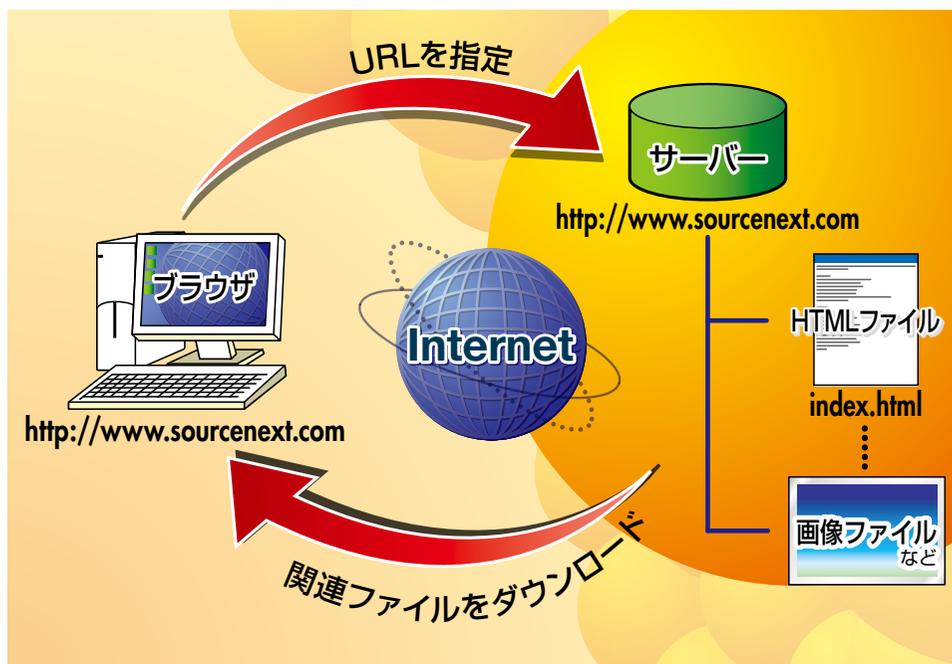
関連情報

ディレクトリとは

ディレクトリとは、パソコンの記憶装置上の論理的な区分けであり、ファイルはディレクトリに保存されます。Windowsではフォルダと呼ばれています。

1

ホームページとは



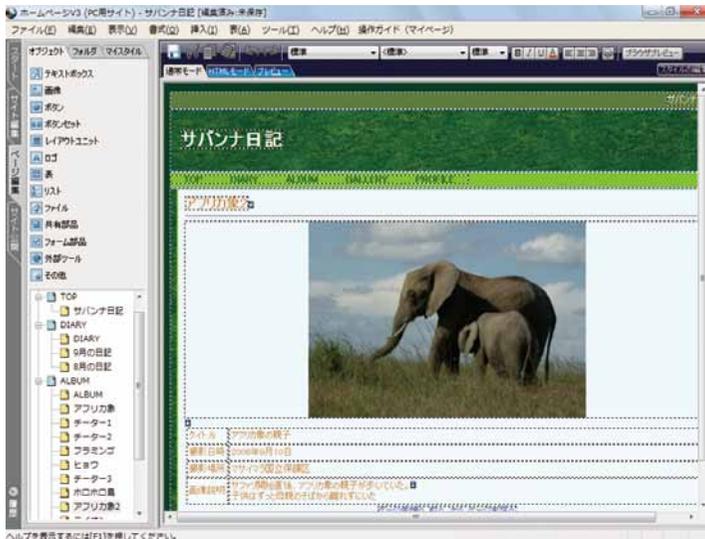
URLを指定して、サーバーにアクセスすると、サーバー上にあるHTMLファイル(および関連ファイル)は、自分のパソコンに一時的にダウンロードされ、ブラウザによって表示されます。

● ホームページを作成する

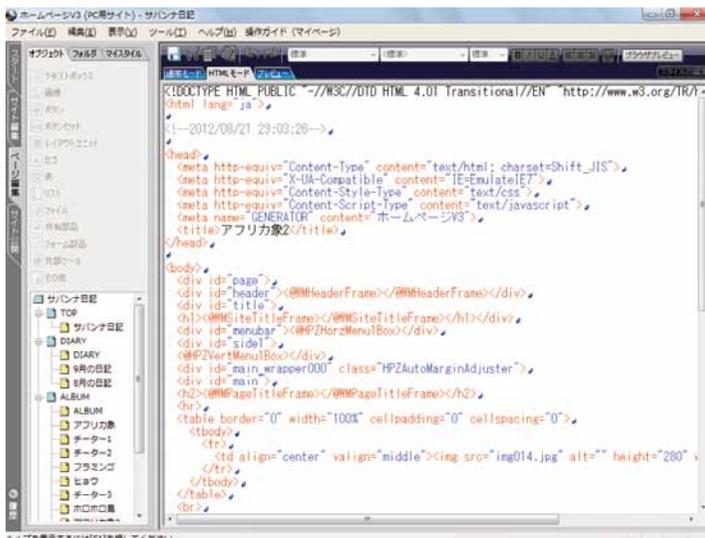
ホームページを作成するということは、HTMLファイルを作成することです。また、ホームページ上に画像を表示する場合は、画像ファイルを用意して、HTMLファイルからその画像ファイルを参照する必要があります。

HTMLファイルはテキストファイルなので、エディタ(Windowsならばメモ帳)と表示方法や表示内容を指定するHTMLタグの知識があれば記述することができます。しかし、美しいレイアウトや魅力的な表示方法、複雑な見せ方を実現しようとすればするほど、HTMLタグの構造が複雑になり、HTMLタグの記述からページの完成イメージを想像することが困難になってきます。また、変更や間違いの修正も簡単にはできなくなります。

こうしたときに便利なのが、ホームページ作成ソフト「ホームページV3」です。専門知識がなくても、ワープロの文書を編集するような感覚で、ホームページを簡単に作成、編集できます。文字の書式設定や画像の配置も、マウスを使って直感的に操作でき、変更結果もその場で確認できます。サイトの構成(各ページ同士の関係)も、視覚的に確認でき、ドラッグ&ドロップによって簡単に変更できます。こうした直感的な操作の結果として、HTMLファイルが自動的に作成されます。



ページの編集画面



HTMLの記述

● ホームページを公開する

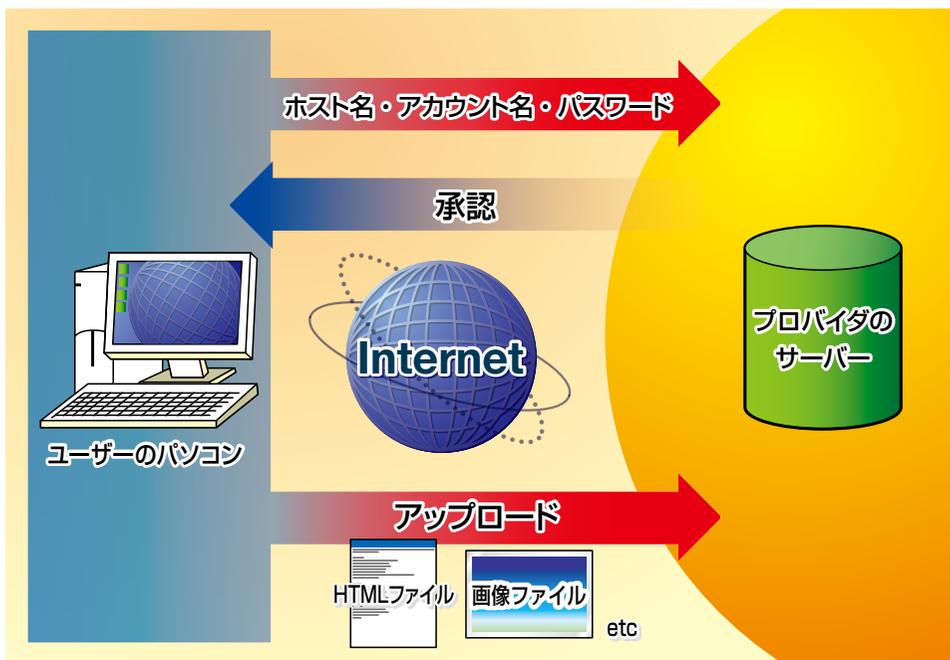
HTMLファイルと画像ファイルなどの必要なファイルが完成したら、インターネットに接続されたサーバーに、作成したファイルを送信し保存します。これをアップロードといいます。

サーバーは、プロバイダが用意したものや自作またはレンタルしたものなどさまざまです。インターネットへ接続するためにはプロバイダと契約を結びますが、プロバイダはサーバーの一部をユーザーのホームページ用に提供しています。このスペースにファイルをアップロードして、ホームページを公開することができます。「〇〇.com」や「××.co.jp」などの独自のドメイン名を使用する場合には、自作サーバーやレンタルサーバーを利用することになります。

「ホームページV3」には、完成したホームページのファイルをサーバーにアップロードする機能(FTP機能)が用意されています。ただし、サーバーに接続するためにはアカウント情報が必要です。アカウント情報は、プロバイダやレンタルサーバーなどの契約時にメールアドレスなどと共に、文書やメールによって通知されています。

サーバーに接続するためには、以下の3種のアカウント情報が必要です。

ホスト名 : 接続するサーバーの名前です。
アカウント名 : ユーザー名、ユーザーIDなどと呼ばれることもあります。
パスワード : 本人であることを認証するためのパスワードです。



⚠ 注意!

アカウント情報がわからない場合は、契約先のプロバイダのユーザーサポートに問い合わせてください。

ホームページ開設の申し込み

ホームページを開設するためには、インターネットに接続したサーバー、またはサーバー上のスペースが必要です。ここでは、ホームページを開設するための手続きについて解説します。

● プロバイダとは

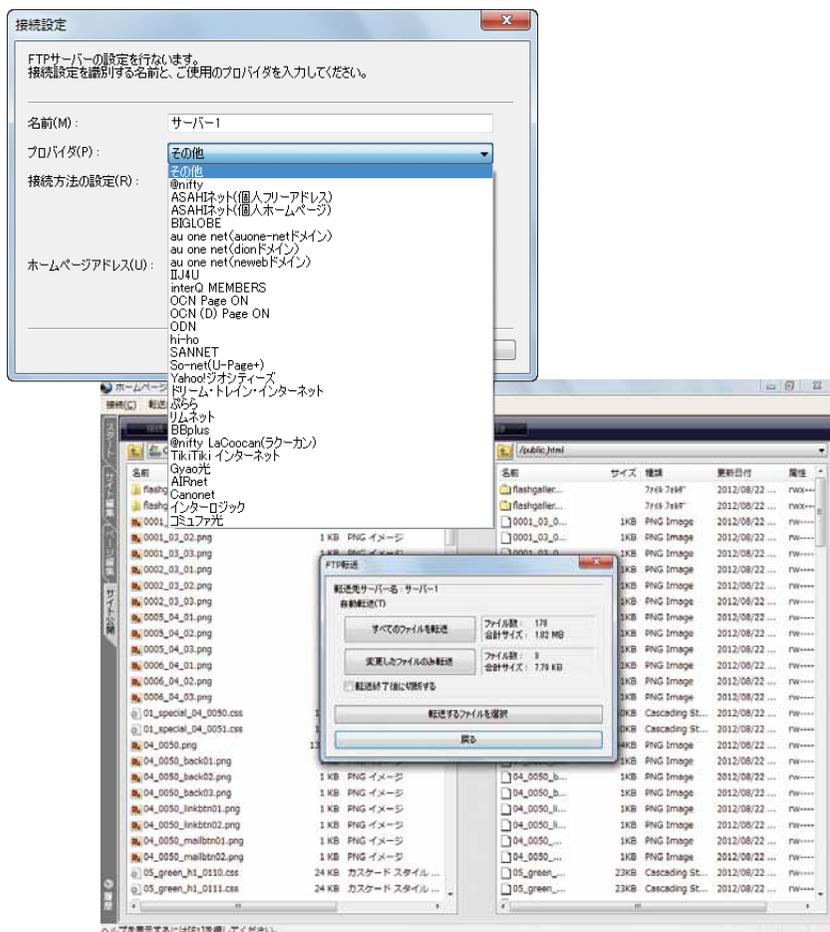
プロバイダとは、インターネットへの接続サービスを提供する業者のことをいいます。個人でインターネットに接続するためにはプロバイダと契約しなくてはなりません。正式にはインターネットサービスプロバイダ(Internet Service Provider、ISPと略されることもあります)と呼びます。多くのプロバイダは、インターネットへの接続サービスだけでなく、サーバーの一部をユーザーのホームページ用に提供しています。ただし、最初からホームページ開設が可能になっているプロバイダもあれば、あらためてホームページ開設の申し込みが必要となるプロバイダもあるので、詳細については各プロバイダの公式サイトを参照するか、ユーザーサポートにお問い合わせください。



関連情報

インターネット接続環境付きの集合住宅

最初からインターネット接続が利用できるマンションやアパートも少なくありません。回線だけ用意されていて、プロバイダは独自に契約する場合と、集合住宅全体でプロバイダと契約している場合があります。後者の場合、プロバイダの設定内容は必ず告知されています。



● どのプロバイダを選べばよいか

ホームページ開設サービスの内容は、プロバイダによって異なります。また、同じプロバイダでも、契約コースの違いによって、サービス内容が異なる場合もあります。

最もわかりやすい違いは利用可能なサーバースペースの容量です。最大50Mバイトのサービスもあれば、100Mバイトのサービスもあります。基本は無料でも、より大きな容量を利用する場合、有料となるサービスもあります。また、掲示板サービスやCGIの有無も、プロバイダを選ぶ上でのポイントになるでしょう。

● プロバイダのホームページ開設サービスのチェックポイント

- ・ 利用可能なサーバースペース容量
- ・ 掲示板サービスが利用可能か
- ・ CGIは利用可能か
- ・ アクセスカウンタなどのwebサービスが充実しているか
- ・ ファイル1つに対しての容量制限があるか

また、「ホームページV3」では、主要プロバイダごとに専用の設定ツールを用意しています。通常のFTPツールを使用する場合よりも、接続設定およびファイルのアップロードははるかに簡単です。

「ホームページV3」で用意している設定ツール以外のプロバイダやサーバーに対しても、必要な情報(サーバー名、アカウント名、パスワードなど)を設定することで、ホームページのアップロードは可能です。



関連情報

CGIとは

CGI(Common Gateway Interface)とは、サーバー上で、プログラムを呼び出して実行する仕組みです。掲示板やアクセスカウンタにはCGIで動作しているものが多数あります。サーバーで「CGI利用可能」という場合は、自作またはインターネットで入手したCGIプログラムをサーバー上で実行できるという意味です。CGIの動作はサーバーのCPUに負担がかかります。場合によってはサーバー全体の動作速度に影響することがあるため利用を禁止しているプロバイダもあります。

「ホームページV3」の特長

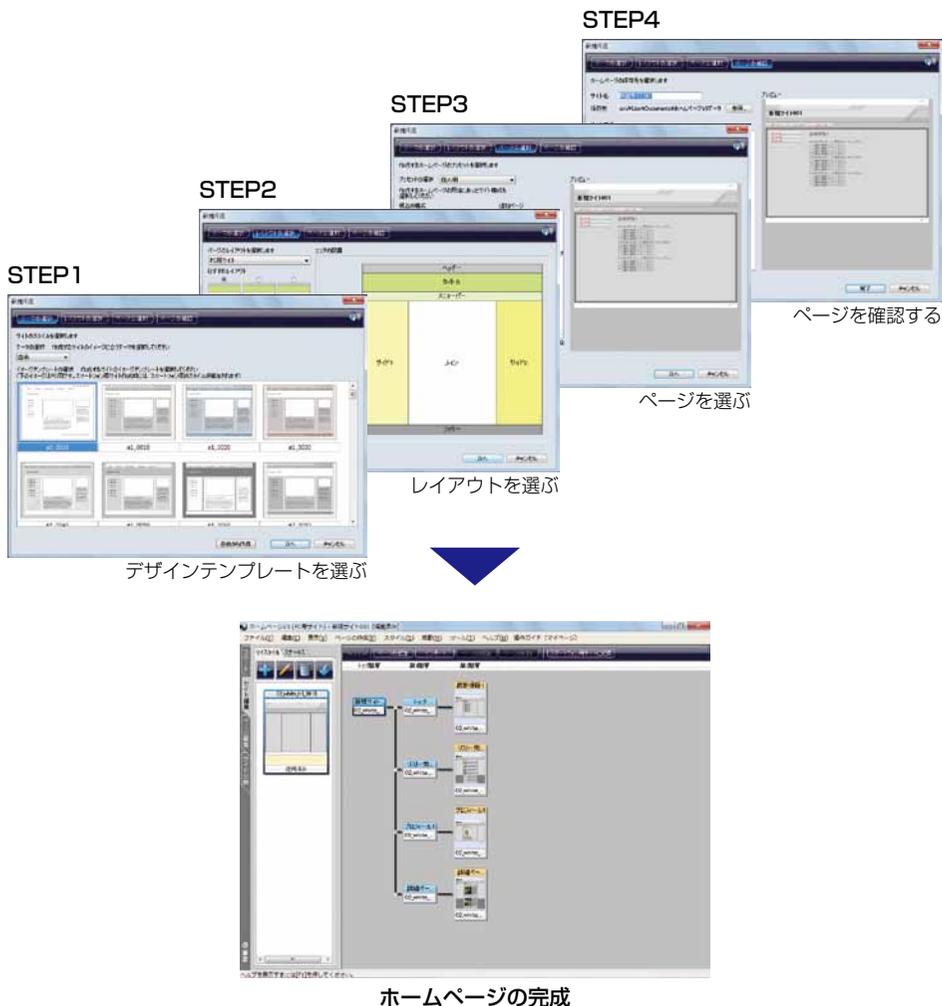
「ホームページV3」は、最新のインターネット環境に対応したさまざまなホームページ作成機能を装備しています。代表的な機能を紹介します。

● 簡単操作でらくらくホームページ作成

● 4ステップで新規サイトを簡単作成

新規作成ウィザードで、500点以上のデザイン(CSS)テンプレートと400点以上のページ(HTML)テンプレートを選ぶことにより、わずか4ステップで簡単にサイトを作成できます。個人用から企業用まで、豊富なテンプレートが用意されているので、どんなタイプのホームページでも短時間で作成できます。

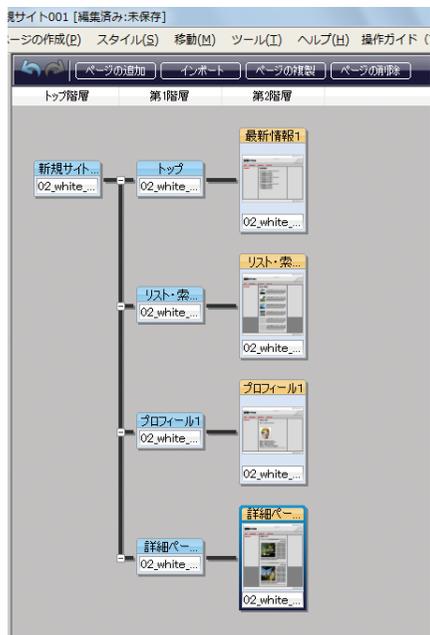
詳しくは、P.42「セクション8 スタートアップウィザードでホームページを作る」を参照してください。



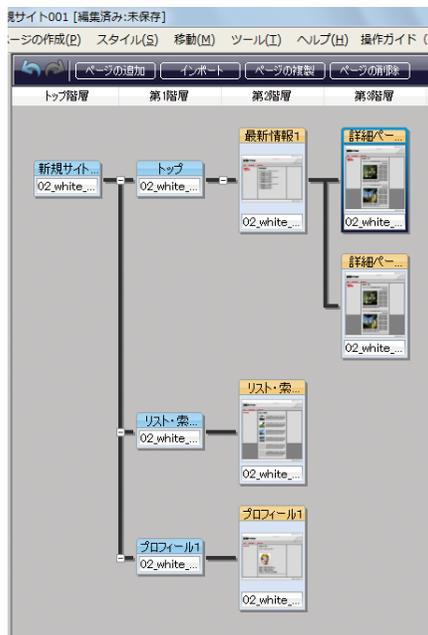
●メニューやリンクも自動更新

ホームページに新しいページを追加したり、ページの位置を移動した場合、通常であれば他のページにメニューやリンクを追加したり書き換えたりする作業が必要になりますが、「ホームページV3」ではメニューの内容は自動的に更新されます。また、サイト構成の変更に伴い、リンク情報も自動的に更新されます。

詳しくは、P.83「第3章 サイトの構成を変更する」を参照してください。



サイト構成が変わると...



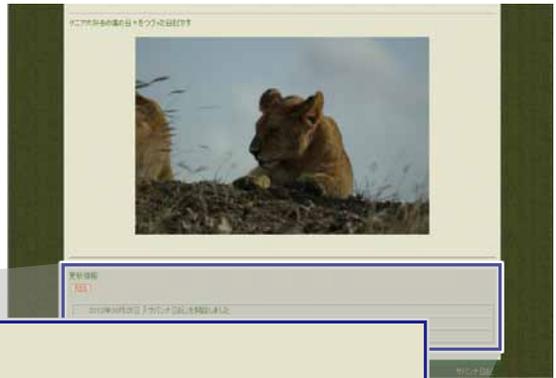
メニューも更新



●更新履歴やRSSも自動生成

ホームページの更新履歴は自動的に記録されています。その履歴を更新履歴ボックスに転記してページ表示したり、RSSを自動生成することができます。

詳しくは、P.160「セクション47 RSSを設置する」を参照してください。



更新情報

RSS

2012年09月25日	「サバンナ日記」を開設しました
2012年09月06日	「9月の日記」を追加しました
NEW 2012年09月28日	「ギャラリー」を追加しました

●スタイルシートで統一されたデザインを一括設定

●ドラッグ&ドロップでサイトのデザインを一新

サイトの外観は適用されているデザインテンプレートを変えるだけで一変します。デザインテンプレートは、ドラッグ&ドロップによって簡単に変更できます。

元のサイト

変更される

デザインテンプレートを適用すると…

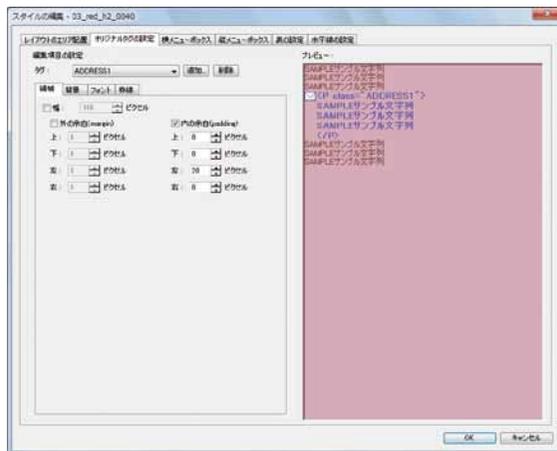
ドラッグ&ドロップ

詳しくは、P.118「セクション34 サイトのデザインを変更する」を参照してください。

●スタイルシートによって細部にまで目の行き届いたデザインを実現

デザインのベースはスタイルシート。初心者にはわかりにくいスタイルシートも、要素ごとに整理されたインターフェイスによって簡単にカスタマイズできます。誰でも簡単にオリジナルスタイルを実現できます。

詳しくは、P.111「第4章 ページをデザインする」を参照してください。



●スマートフォン用ページ作成機能を追加

PCでの画面の表示に適したホームページは、画面の小さなスマートフォンでは、どうしても見づらくなります。ホームページV3では、PC用のホームページのデータを複製し、スマートフォンの画面表示に適したスマートフォン用のホームページを手軽に作成する機能を装備しました。

詳しくは、P.214「セクション61 スマートフォン用サイトを作成する」を参照してください。



PC用のサイトを作成



スマートフォンのサイトを作成



PCに適したレイアウト



スマートフォンに適したレイアウト

● 楽天やAmazon、ValueCommerceのアフィリエイトにも対応

手軽に広告収入が得られるアフィリエイト。「ホームページV3」では、eコマースの大手サイト、楽天やAmazon.co.jp、ValueCommerceのアフィリエイトを簡単に作成し、ページに挿入できます。詳しくは、P.206「セクション59 アフィリエイトを挿入する」を参照してください。



● ブログパーツも簡単追加

Googleが提供するさまざまなガジェットやYouTube動画、ニコニコ動画などを自分のホームページに簡単に挿入できます。自分に役立ち、訪問者も楽しめる豊富なガジェットが用意されています。詳しくは、P.200「セクション57 Googleのガジェットを挿入する」を参照してください。



● 他にもあるこんな特長

● 3万点を超える豊富なホームページ素材

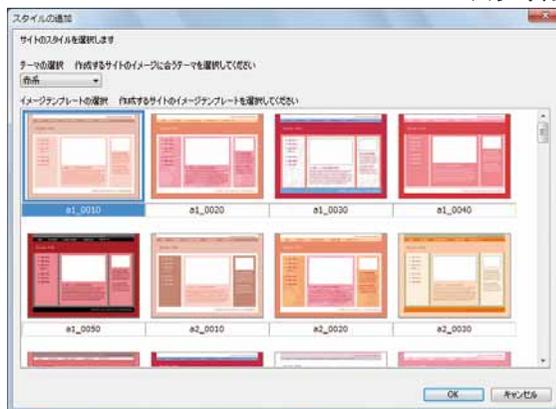
3万点を超える豊富な画像(バナー、イラスト、GIFアニメ、アイコン、背景など)、ボタン、レイアウトユニット、デザイン(CSS)テンプレート、ページ(HTML)テンプレートが用意されています。

画像の挿入はP.56「セクション13 画像を挿入する」、スタイルシートの変更はP.118「セクション34 サイトのデザインを変更する」、レイアウトユニットの挿入はP.228「セクション63 レイアウトユニットを挿入する」、Flashギャラリーの挿入はP.168「セクション49 Flashギャラリーページを作成する」を参照してください。

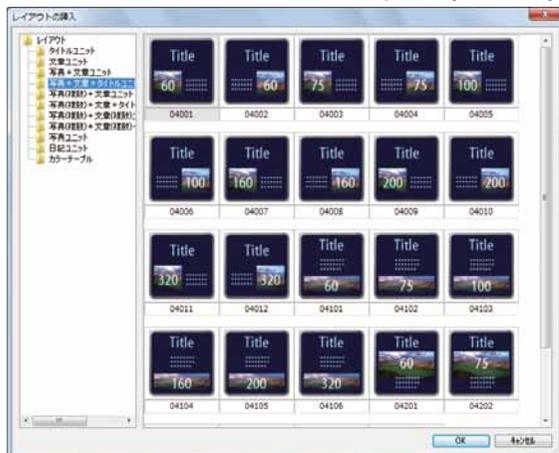
写真



スタイル



レイアウトユニット



Flashギャラリー



● 本格グラフィックツール(Paintgraphic SD)と GIFアニメーション作成ツール(DigitalAnimator)搭載

専用グラフィックツール「Paintgraphic SD」が搭載され、「ホームページV3」からシームレスに利用できます。レイヤー機能を備えた高性能ツールで、複雑な画像処理や写真合成も可能です。

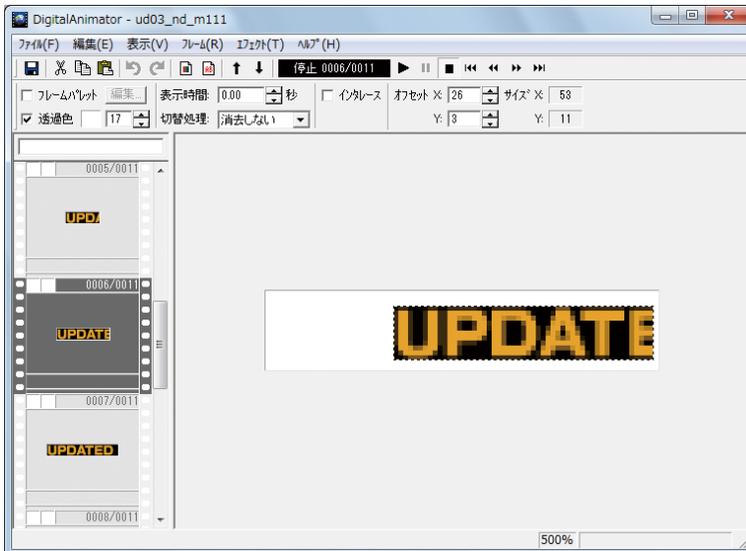
詳しくは、P.238「セクション66 画像を編集する」を参照してください。

また、GIFアニメーション作成・編集ツール「DigitalAnimator」も搭載されています。

Paintgraphic SD

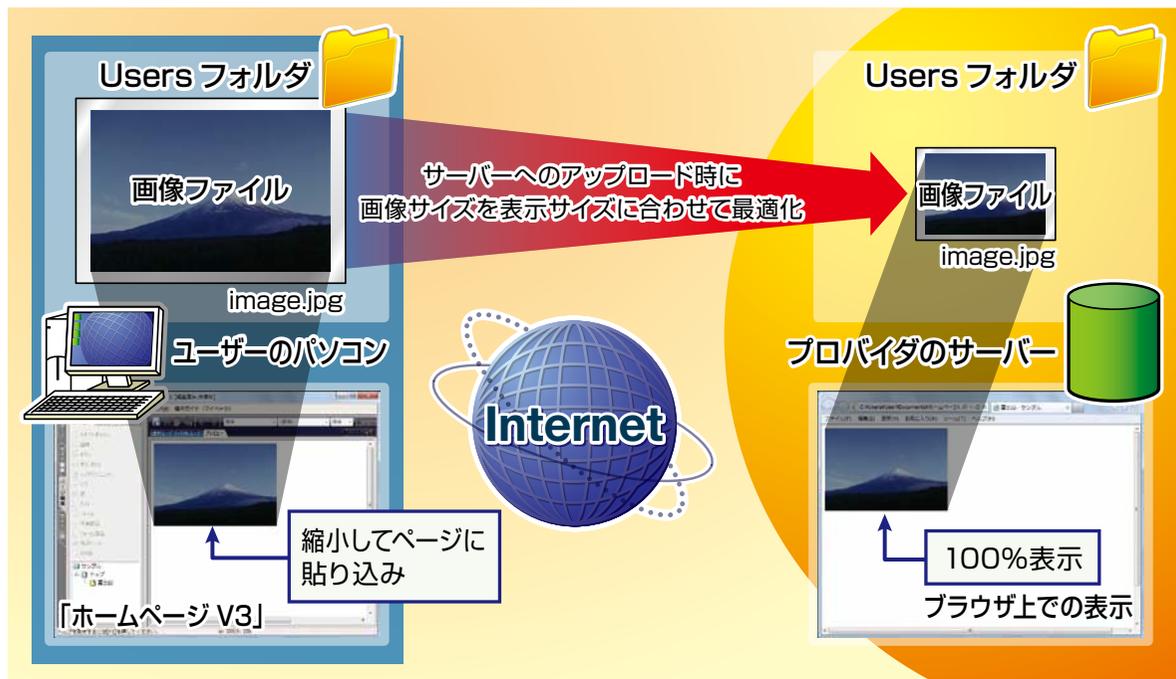


DigitalAnimator



●画像の自動最適化

ホームページをサーバーへアップロードする際、ページに貼り付けられた画像のファイルサイズは、その表示サイズに合わせて自動的に最適化されます。



インストールとアンインストール

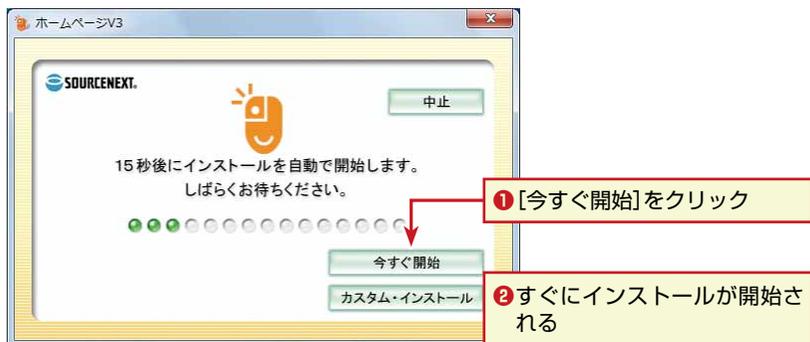
「ホームページV3」をご利用頂くためには、お使いのパソコンにインストールしなくてはなりません。最初にインストール方法を説明します。また、何かの都合で削除しなければならなくなったときのために、アンインストールの方法も説明します。

● 通常インストール

1 パソコンを起動します。

2 「ホームページV3」のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

★しばらくするとインストールプログラムが起動し、「15秒後にインストールが開始されます」というメッセージが表示されます。また音声によるガイダンスも流れます。



3 ホームページV3のインストールに引き続き、「ソースネクストアップデート」のセットアップが開始されます。

4 インストールが完了します。

⚠ 注意!

[セキュリティの警告]ダイアログボックスが表示される場合は、[実行]ボタンをクリックしてください。[ユーザーアカウント制御]ダイアログボックスが表示される場合は、[はい]または[続行]ボタンをクリックしてください。

📌 関連情報

インストール先

[今すぐ開始]を選択すると、「ホームページV3」は以下のディレクトリにインストールされます。

C:\Program Files\SOURCENEXT
¥ホームページV3

📌 関連情報

インストール先を指定するには

「ホームページV3」のインストール先を指定したい場合は、カスタムインストールを選択してください。詳しくはP.23「● カスタム・インストール」をご覧ください。

💡 HINT

CDを入れても再生されないときは

[スタート]メニューから[コンピューター]をクリックして、CD-ROMドライブのアイコンの右クリックメニューから[プログラムのインストール/実行]をクリックしてください。

📌 関連情報

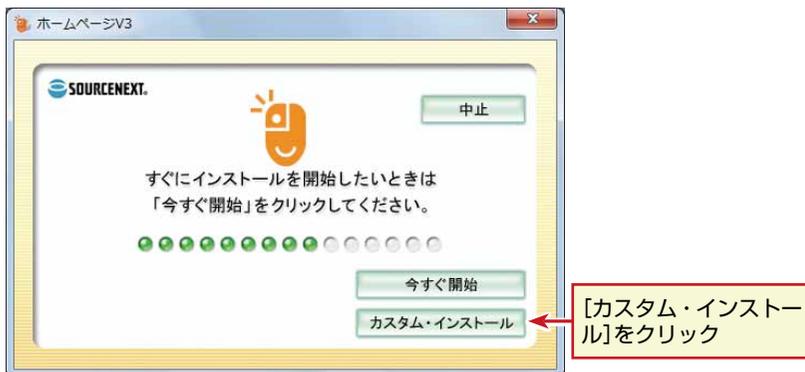
ユーザーアカウント制御とは

権限のないユーザーによるパソコンの設定変更を防ぐ機能です。

● カスタム・インストール

★インストール先のフォルダを変更したい場合は、次の方法でインストールします。

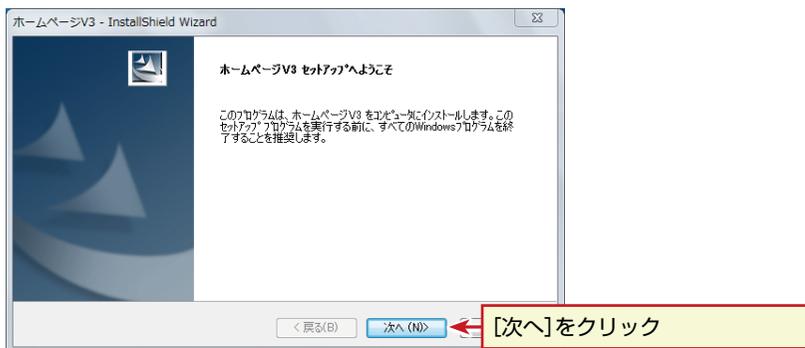
1 カスタム・インストールを実行します。



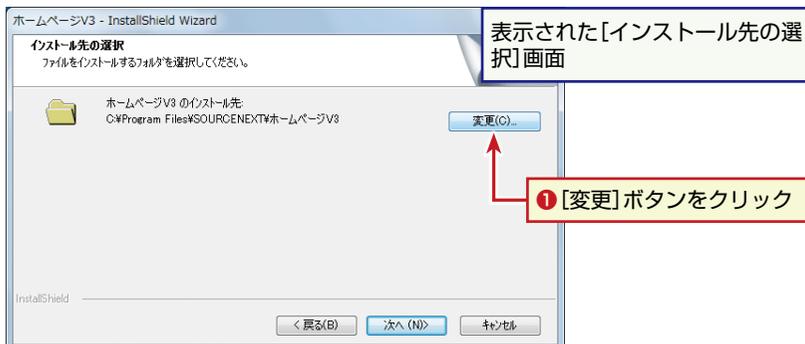
HINT

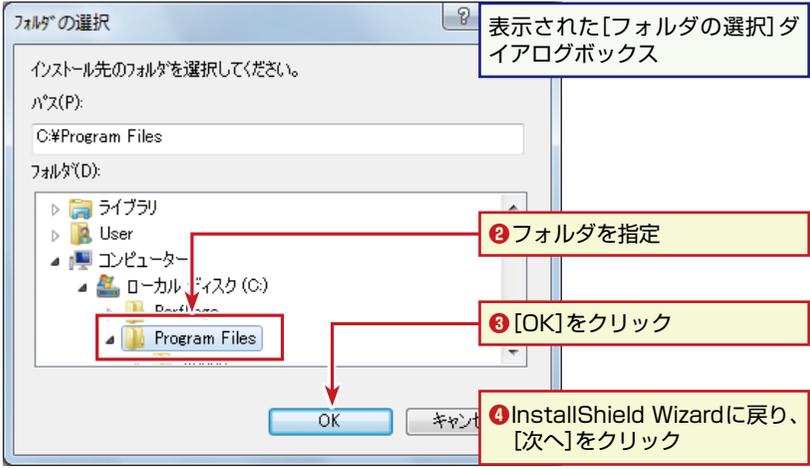
[カスタム・インストール]では、インストール先のフォルダを変更することができます。

2 [インストール先の選択]画面を表示します。

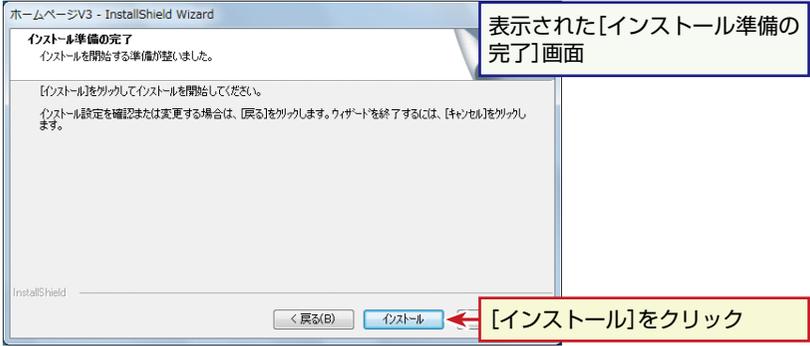


3 インストール先を選択します。

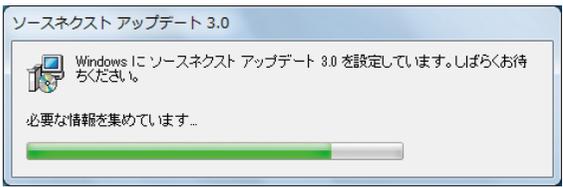




4 インストールを開始します。



5 ホームページV3のインストールに引き続き、「ソースネクストアップデート」のセットアップが開始されます。



HINT

ソースネクストアップデートとは？
ソースネクストアップデートとは、ソースネクスト製品のアップデートをお知らせするためのツールです。
例えば、機能のバージョンアップや、不具合修正がある場合にお知らせしてくれるので便利です。

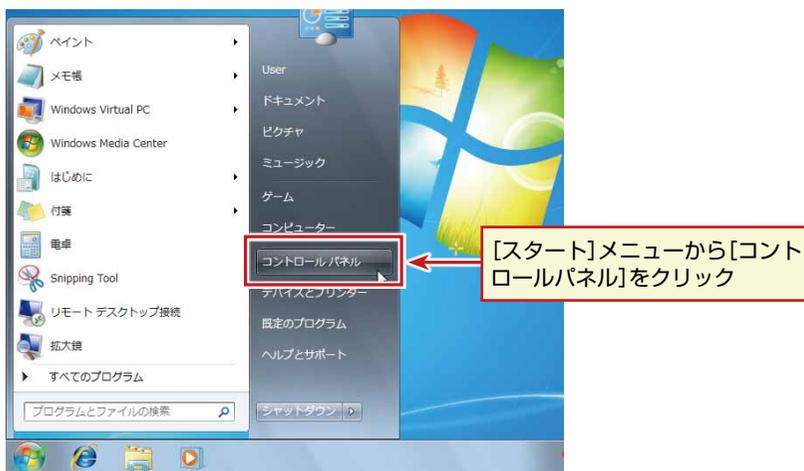
6 インストールを完了します。

インストールが完了すると、[InstallShield Wizardの完了]画面が表示されます。



●「ホームページV3」のアンインストール

1 Windowsの[コントロールパネル]を表示します。



2 [プログラムのアンインストール]を選択します。



⚠ 注意!

「ホームページV3」のアンインストールは、「ホームページV3」を終了してから行なってください。

💡 HINT

「ホームページV3」をアンインストールしても、作成したデータは削除されません。

📌 関連情報

Windows 8でのコントロールパネルの開き方

まず、[デスクトップ]画面でマウスカーソルを画面右下に移動させ、[設定]チャームをクリックします。そして、表示された[設定]メニューから[コントロールパネル]をクリックします。

💡 HINT

Windows XPの場合は[プログラムの追加と削除]を選択します。

Windows Vistaの場合は[プログラムと機能]を選択します。

3 「ホームページV3」の削除を指定します。



4 確認メッセージに対して応答します。

★ セットアッププログラムが起動し、確認のメッセージが表示されます。



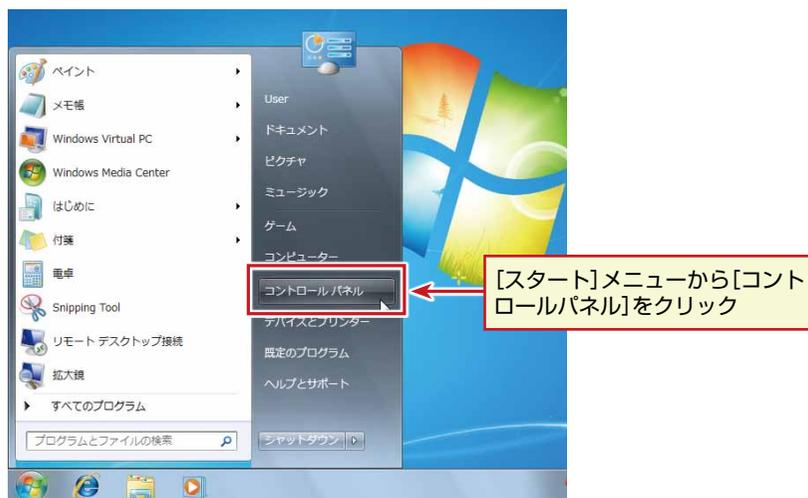
関連情報

Windows 7およびVistaでのインストール/アンインストール

Windows 7およびVistaで「ホームページV3」のインストールおよびアンインストールを行うには、管理者権限が必要です。

● 「ソースネクストアップデート」のアンインストール

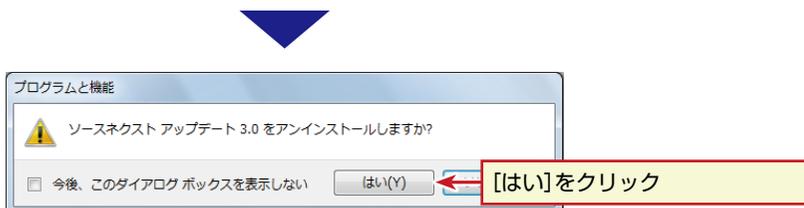
1 Windowsの[コントロールパネル]を表示します。



2 [プログラムのアンインストール]を選択します。



3 「ソースネクストアップデート」をアンインストールします。



HINT

Windows XPの場合は[プログラムの追加と削除]を選択します。
Windows Vistaの場合は[プログラムと機能]を選択します。



HINT

Windows XPの場合は[削除]ボタンを選択します。

起動と終了

「ホームページV3」の起動と終了の方法を解説します。

● 「ホームページV3」を起動する

1 「ホームページV3」を起動します。



2 エントリーを行ないます。

★ はじめて「ホームページV3」を起動する場合、製品を登録するためのダイアログボックスが表示されます。

ホームページ V3

製品のユーザー登録

ソースネクストのマイページIDを入力して、ログインしてください。

メールアドレス (マイページID)
(英数半角)

パスワード
(英数半角4~16文字)
? メールアドレス、パスワードをお忘れの場合

ログイン

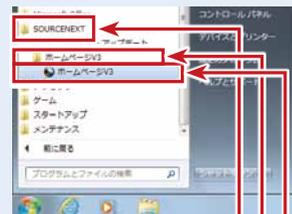
マイページをお持ちでない場合は、新規作成してください。

新規作成

★ マイページの新規作成およびエントリー(製品登録)についてはP.30「セクション6 「ホームページV3」をアップデートできるようにする」を参照してください。

HINT

[スタート]メニューから起動することもできます。



1 [すべてのプログラム]をクリック

2 [SOURCENEXT]をクリック

3 [ホームページV3]をクリック

4 [ホームページV3]をクリック

注意!

エントリーを行なうにはインターネットに接続している必要があります。

HINT

マイページにログイン中の場合は製品のシリアル番号を入力する画面が表示されます。

3 ホームページの作成を開始します。

新しいホームページを作成するならここをクリック

「ホームページ・ビルダー」や以前に作成したHTMLを開くならここをクリック

前回、作成したホームページで引き続き作業するならここをクリック

保存してあるホームページを開くならここをクリック

HINT

新規作成方法については、P.42「セクション8 スタートアップウィザードでホームページを作る」を参照してください。

HINT

「ホームページ・ビルダー」や他のソフトで作成したHTMLを開く方法は、P.224「セクション62 「ホームページ・ビルダー」で作成したファイルを取り込む」を参照してください。

● 「ホームページV3」を終了する

1 「ホームページV3」を終了します。

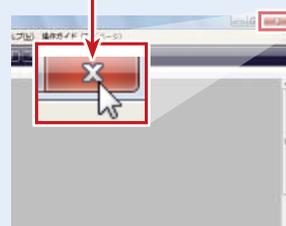
1 [ファイル]をクリック

2 [終了]をクリック

HINT

右上の を押しても終了できます。

ここをクリック



2 作業中のホームページを保存します。

編集中のホームページの更新の確認メッセージ

更新するなら[はい]をクリック

編集結果を廃棄するなら[いいえ]をクリック

「ホームページV3」をアップデートできるようにする

「ホームページV3」は、インターネット経由で無料でアップデートを入手することにより、常に最新版を利用できます。継続して「ホームページV3」を使用するためには、エントリーしておく必要があります。

● ユーザー登録とエントリーを行なう

1 「ホームページV3」を起動します。

★ はじめて「ホームページV3」を起動すると、マイページにログインするためのダイアログボックスが表示されます。

★ マイページIDをすでにお持ちのお客様はメールアドレスとパスワードを入力して[ログイン]をクリックし、手順4へ進んでください。



関連情報

ユーザー登録とエントリー

「ホームページV3」のインストールが終了したら、ユーザー登録およびエントリーを行なってください。「ホームページV3」に対するサポートを受けるには、ユーザー登録とエントリーが必要です。



注意!

ユーザー登録とエントリーを行なうには、インターネットに接続している必要があります。

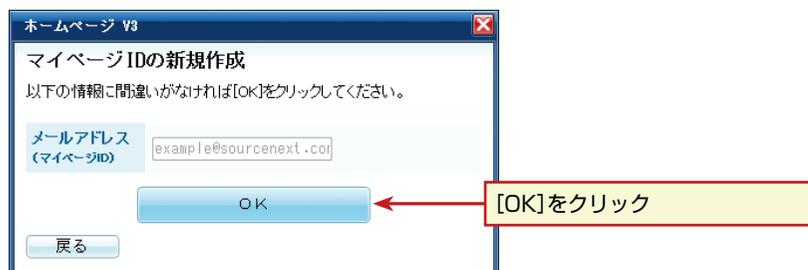


HINT

マイページIDをお持ちで、ログイン中の場合は、製品のシリアル番号を入力する画面が表示されます。手順4に進んでください。

2 マイページIDを新規作成します。

3 入力内容を確認します。



4 続いてエントリー(製品登録)を行ないます。



5 「ホームページV3」が起動します。

- ★同時にブラウザが起動し、[マイページ]が表示されます。登録内容を確認する場合はログインしてください。

関連情報

エントリーに必要な情報

エントリーを行なうために、以下の情報をお手元にご用意ください。

- ・シリアル番号(パッケージ版は同梱のユーザー登録カードに、ダウンロード版の場合はメールに記載されています)

注意!

[ユーザーアカウント制御]ダイアログボックスが表示される場合は、[はい]または[許可]ボタンをクリックしてください。

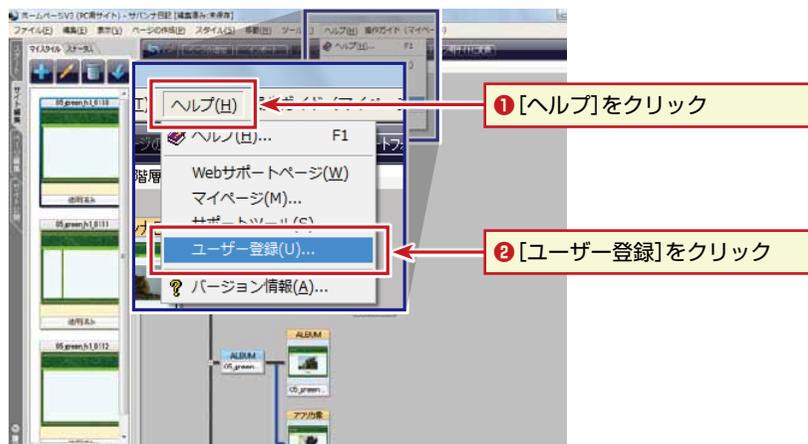
注意!

アップデートには、新機能や新素材の追加の他に、重要な不具合の修正が含まれる場合があります。必ずエントリーを行ないアップデートしてお使いください。

● ユーザー登録とエントリーをメニューから行なう

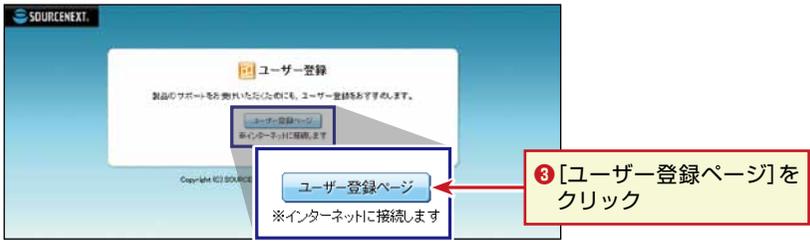
- ★ユーザー登録は「ホームページV3」の[ヘルプ]から、いつでも行なうことができます。P.30の手順ですでにエントリーを行なった場合はこの項目で説明する作業は不要です。

1 [ユーザー登録]ページを開きます。



注意!

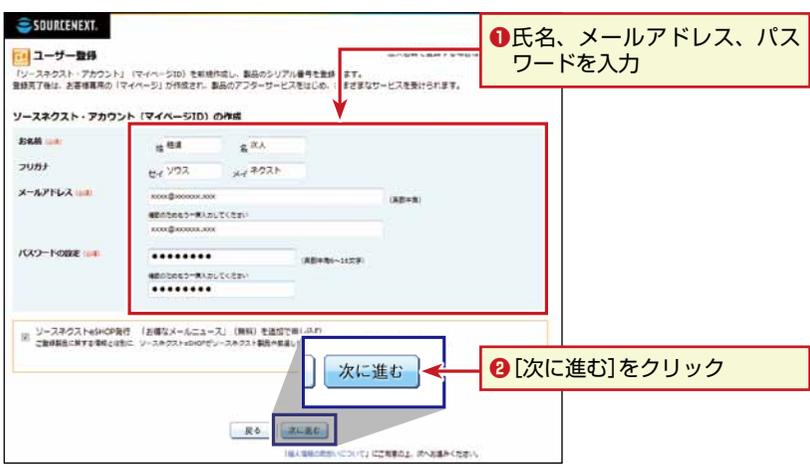
セキュリティ保護による情報バーが表示される場合は、バーをクリックし、[ブロックされているコンテンツを許可...]をクリックしてください。[セキュリティの警告]ダイアログボックスが表示されたら、[はい]をクリックしてください。



2 ユーザー登録を開始します。



3 [ソースネクスト・アカウント(マイページID)の作成]に必要な情報(氏名、メールアドレス、パスワード)を入力します。



注意!
[ユーザー登録]を行なうには、インターネットに接続している必要があります。

関連情報

「マイページ」とは
ソースネクストの公式サイトには、ユーザー登録した製品の情報を一括管理する「マイページ」が用意されています。マイページにはユーザー登録済みの製品情報だけでなく、さまざまな企画も用意されています。

HINT

すでに他のソースネクスト製品でユーザー登録をしている方は、「ソースネクスト・アカウント(マイページID)」から、「ログイン」をクリックして、マイページから製品の登録を行なってください。

<http://www.sourcenext.com/users/mypage.html>



HINT

ユーザー登録画面の内容やデザインは変更されることがあります。実際の画面に従ってご入力ください。

4 製品を登録します。

1 [入力項目の確認] エリアの内容を確認

2 [製品の登録] エリアに製品シリアル番号を入力

3 アンケートに回答

4 [次に進む] をクリック

注意!

「◆メールアドレスの入力に誤りがあります」のメッセージで次へ進めない場合、すでに同じメールアドレスでご登録済みの可能性があります。同一のメールアドレスでは、マイページを重複して作成することができません。以下のURLのページにアクセスして、ユーザーIDとパスワードを照会、または再設定することができます。ご登録情報を確認して、マイページにログインしてください。

https://www.sourcenext.com/users/action/rem_form

HINT

シリアル番号は、パッケージ版では同梱のユーザー登録カードに、ダウンロード版ではメールに記載されています。

5 最終的な登録内容を確認し、登録を実行します。

[登録] をクリック

画面構成と基本操作

「ホームページV3」では、[スタート]、[サイト編集]、[ページ編集]、[サイト公開]の4つのタブをクリックすることで、基本作業画面が切り替わります。「ホームページV3」を使い始める前に、各画面の基本的な構成と機能について紹介します。

● [スタート]タブ

「ホームページV3」を起動すると、[スタートアップウィザード]が開きます。

また、「ホームページV3」起動後の他の画面でも、[スタート]タブをクリックすると、このウィザードが起動します。

このウィザードには、以下の4つのボタンが表示されています。

◆新規作成：
新しいホームページを作成する[新規作成ウィザード]を開きます

◆「ホームページ・ビルダー」で作成したファイルを開く：
ホームページ・ビルダーで作成したホームページや既存のHTMLファイルを開きます

◆ファイルを開く：
「ホームページV3」で作成したホームページや自分で作成したHTMLファイルを開きます

◆前回編集したファイルを開く：
前回編集したファイルを開きます

● [サイト編集]タブ

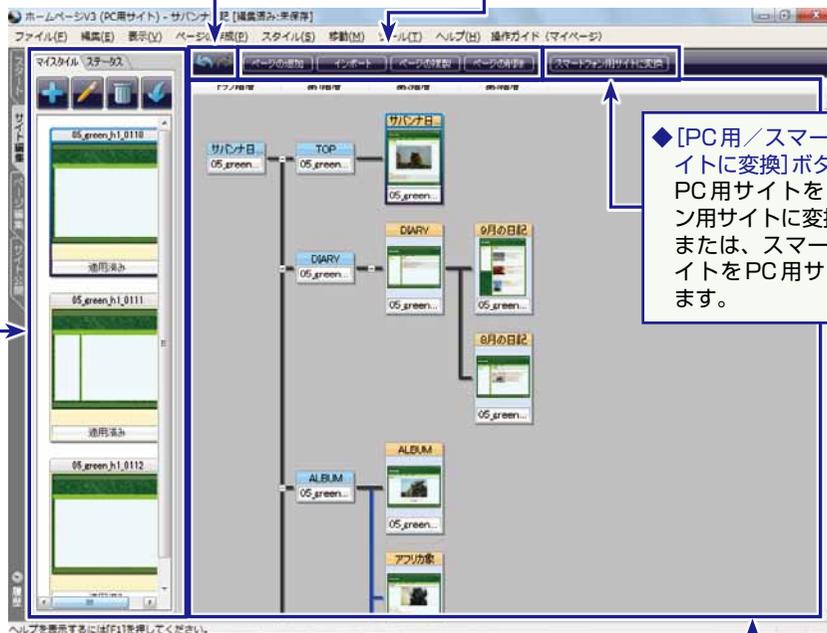
このタブをクリックすると、サイト編集画面に切り替わります。サイト編集画面では、サイト全体のページ構成を編集したり、サイト全体または個々のページに対してスタイルを適用できます。

◆ [元に戻す]、[やり直す]ボタン

- ・元に戻す：直前に行なった操作を取り消して、操作前の状態に戻します
- ・やり直す：[元に戻す]で取り消した操作を再度実行します

◆ サイト編集ボタン：サイト全体のページ構成を編集するボタンです

- ・ページの追加：新たなページを追加します
- ・インポート：HTMLファイルとその関連ファイルをインポートします
- ・ページの複製：既存のページを複製します
- ・ページの削除：ページを削除します



◆ [PC用/スマートフォン用サイトに交換]ボタン

PC用サイトをスマートフォン用サイトに交換します。または、スマートフォン用サイトをPC用サイトに交換します。

◆ サイト編集エリア：

作成中のサイトのページ構成がアイコンのツリーで表示されます。ドラッグ&ドロップによってページの構成を変更することも可能です

◆ マネージャー：[マイスタイル]タブと[ステータス]タブから構成されています

- ・マイスタイル：適用済みまたは適用可能なスタイルが表示されます。また、上部には以下の4種類のボタンが表示されます
 - ・ スタイルの追加：[マイスタイル]タブにスタイルを追加します
 - ・ スタイルの編集：選択したスタイルを編集します
 - ・ スタイルの削除：[マイスタイル]タブから選択したスタイルを削除します
 - ・ スタイルの取り込み：既存のHTMLファイルに適用されているスタイル情報を取り込みます
- ・ステータス：サイト編集エリアで選択されているページのステータスが表示されます

● [ページ編集]タブ

このタブをクリックすると、ページ編集画面が表示されます。ページ編集画面では、個々のページの編集を行いません。

◆書式設定ボタン：ページを構成する要素(文字やオブジェクト)の書式を設定するボタンです

左から順に

- ・ [スタイルタグ] ドロップダウンリスト：見出しスタイルや標準スタイルを設定します
- ・ [フォント] ドロップダウンリスト：文字のフォントを設定します
- ・ [サイズ] ドロップダウンリスト：文字のサイズを設定します
- ・ 文字の装飾ボタン：[太字]、[斜体]、[下線]、[色] ボタンで文字を装飾します
- ・ 配置ボタン：[右寄せ]、[中央寄せ]、[左寄せ] ボタンで文字の配置を変更します
- ・ [リンクの挿入]：文字列や画像にハイパーリンクを設定するためのダイアログボックスを表示します

◆ [サイトの保存]、[切り取り]、[コピー]、[貼り付け]、[元に戻す]、[やり直す] ボタン

- ・ [サイトの保存]：編集中のサイトを上書き保存します
- ・ [切り取り]：選択したテキストや、画像などのオブジェクトを切り取ります
- ・ [コピー]：選択したテキストや、画像などのオブジェクトをコピーします
- ・ [貼り付け]：切り取り、またはコピーしたテキスト、または画像などのオブジェクトを貼り付けます
- ・ [元に戻す]：直前に行なった操作を取り消して、操作前の状態に戻します
- ・ [やり直す]：[元に戻す]で取り消した操作を再度実行します

◆ [スタイルの編集] ボタン：

ページやレイアウトエリアのスタイルを編集します



◆マネージャバー：[オブジェクト]タブと[フォルダ]タブ、[マイスタイル]タブから構成されます

- ・ オブジェクト：画像やボタンなどのオブジェクトを挿入するためのオプションが並んでいます。タブの下側には、サイトのページ構成が表示されます。ページ名をクリックすることで、編集対象となるページを切り替えることができます
- ・ フォルダ：パソコン内にある画像ファイルなどのオブジェクトを選択して挿入することができます
- ・ マイスタイル：適用済みまたは適用可能なスタイルが表示されます。また、上部には[サイト編集]の[マイスタイル]タブと同様に[スタイルの追加] [スタイルの編集] [スタイルの削除] [スタイルの取り込み]の4種類のボタンが表示されます

◆ページ編集エリア：ページ編集エリアは以下の3つのタブから構成されます

- ・ 通常モード：サイトの個々のページを編集する画面です
- ・ HTMLモード：ページのHTMLコードを表示します。コードを直接編集することも可能です
- ・ プレビュー：編集中のページをプレビューします

● [サイト公開] タブ

でき上がったサイトまたはページをサーバーにアップロードします。サーバーへの接続設定を行わずに、[サイト公開] タブをクリックすると、接続の設定が求められます。サーバー接続設定が終了した後に、[サイト公開] タブをクリックすると、[FTP 転送] ダイアログボックスが表示されます。

◆ [接続]、[切断] ボタン：
サーバー接続、切断を切り替えます

◆ [自動判別]、[テキスト転送]、[バイナリ転送] ボタン：
ファイルの転送方法を切り替えます

◆ ファイル数およびファイルの合計サイズ：
アップロードするファイルの数とその合計サイズが表示されます

◆ [削除] ボタン：
選択したファイルを削除します

◆ 変更したファイルのみ転送：
前回のアップロード以降に変更されたファイルをアップロードします

◆ 戻る：
アップロードを中止し、前の画面に戻ります

◆ すべてのファイルを転送：
編集中のサイトの関連ファイルをすべてアップロードします

◆ 転送するファイルを選択：
[FTP 転送] ダイアログボックスを閉じて、転送するファイルを自分で指定できます

◆ ローカルパソコンのファイル一覧：
ローカルパソコン上のカレントフォルダの内容が表示されます。上部の[上へ]ボタン、[ドライブの選択]ドロップダウンリストを併用することでローカルパソコン上を参照できます

◆ サーバーのファイル一覧：
サーバー上に転送されたファイルが表示されます。上部の[上へ]ボタンを併用することで上のフォルダを参照できます

● 履歴画面

履歴画面には、ホームページの更新履歴の一覧が自動的に記録されます。この更新履歴の内容を、ページに挿入しておいた「更新履歴ボックス」(共有部品の1つ)に転記することで、ページに表示することが可能になります。

◆リンク：

更新がページに対して行なわれた場合、この列にページアイコンが表示されます。クリックすると、更新履歴ボックスに該当ページへのリンクが設定されます

◆NEW：

ここにNEWアイコンを表示しておくと、更新履歴ボックスにもNEWアイコンが表示されます

日付	分類	内容
2012年07月13日	サイトの作成	サイトを作成しました。
2012年07月13日	サイトの設定変更	サイトの設定を変更しました。
2012年07月13日 PM 04:39 < サイトの設定を変更しました。 >	設定の変更	「サバナビ日記」の設定を変更しました。
2012年07月13日 PM 04:39 < 「サバナビ日記」の設定を変更しました。 >	ページの挿入	「詳細ページ1002」を追加しました。
2012年07月13日 PM 05:10 < 「詳細ページ1002」を追加しました。 >		

◆開封：

更新履歴ボックスへ転記済みかどうかが表示されます

◆日付：

更新のあった日付が表示されます

◆分類：

更新の分類が表示されます

◆内容：

更新の内容が表示されます

● ヘルプ機能について

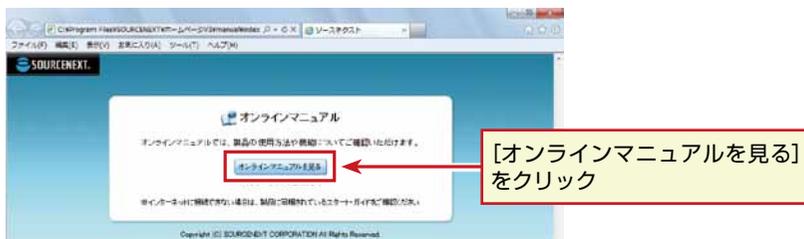
「ホームページV3」の操作に困ったときや、わからないことがあるときは、ヘルプを使いましょう。

インターネット上には「ホームページV3」のオンラインマニュアルが用意されています。オンラインマニュアルでは、製品の使用方法や機能について確認することができます。

1 ヘルプを開きます。



2 オンラインマニュアルを参照します。



⚠ 注意!

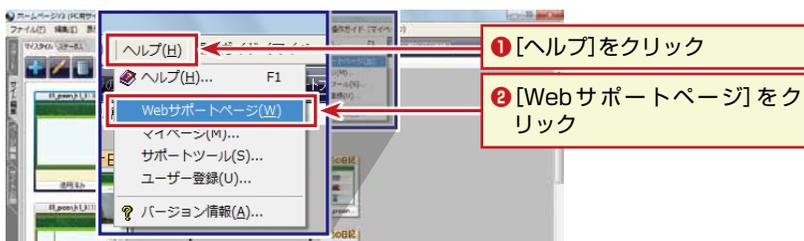
オンラインマニュアルを参照するには、インターネットに接続している必要があります。

● 「サポートページ」や「マイページ」を参照する

オンラインマニュアルを見ても製品の操作がわからない時は、「サポートページ」や「マイページ」をご利用ください。

「ホームページV3」に関する最新のお知らせやQ&Aが掲載されています。

● [Webサポートページ]を開きます。



⚠ 注意!

サポートページやマイページを参照するには、インターネットに接続している必要があります。

💡 HINT

マイページを利用するにはユーザー登録を済ませておく必要があります。

ユーザー登録についてはP.30「● ユーザー登録とエントリーを行なう」を参照してください。

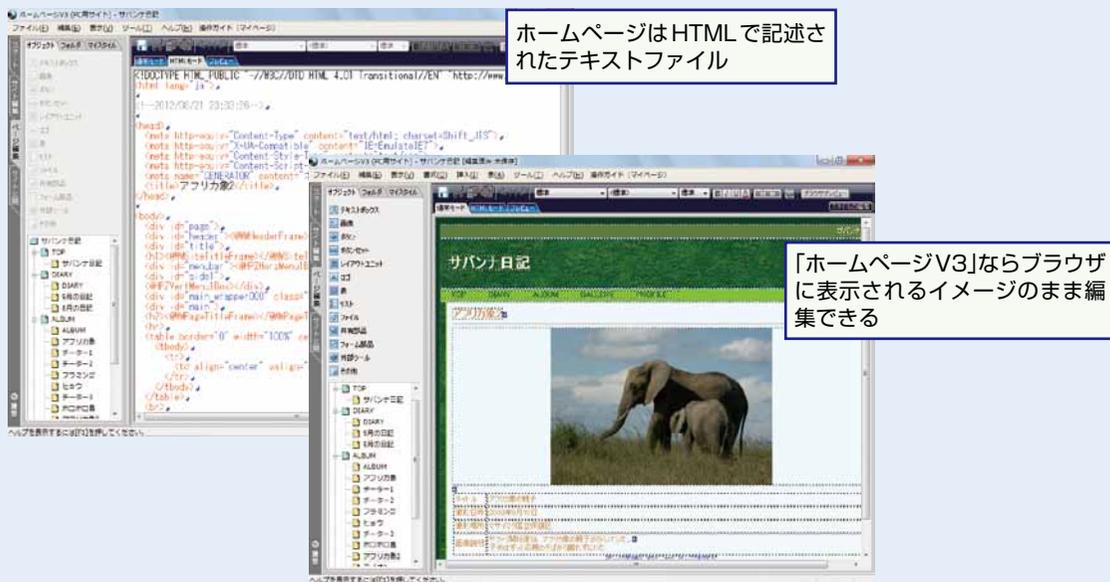
● [マイページ]を開きます。



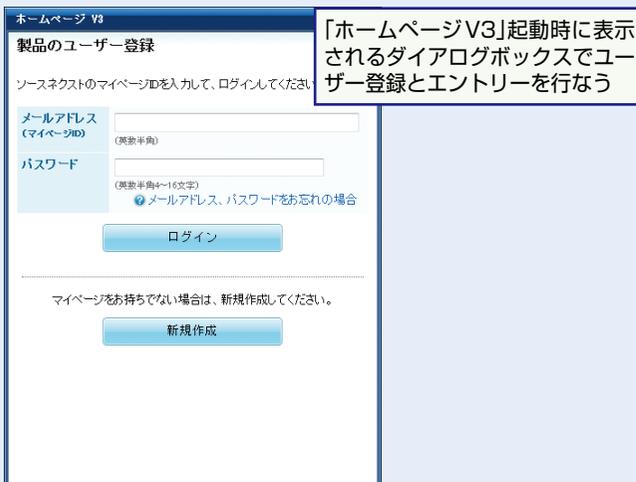
! この章のまとめ

本章では、ホームページのしくみ、開設の手続き、「ホームページV3」のインストールやエントリー、起動・終了などの基本操作といった、実際にホームページを作成する前に、知っておきたいこと、準備していただきたいことを解説しています。

ホームページは、HTMLという言語によって記述されたテキストファイルと、画像などのデータファイルを組み合わせたものです。ワープロやテキストエディタでは作るのが困難な複雑なレイアウトでも、「ホームページV3」を使うと、ブラウザに表示されるイメージそのままにホームページを作成・編集することができます。



「ホームページV3」のインストール後は、必ず「エントリー」を行ないましょう。



第2章

かんたん手軽に ホームページを作る

「ホームページV3」は、ホームページを短時間で手軽に作成するための便利な機能や仕組みを備えています。この章では、ホームページの作成の流れに沿って、「ホームページV3」に用意された便利な機能を紹介しながら、実際のホームページ作成、画像の挿入、作成したページの編集、サーバーへの転送までの一連の操作を解説します。

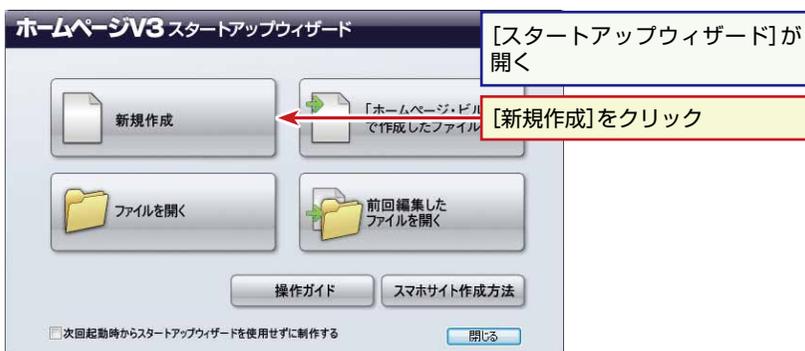
セクション 8	スタートアップウィザードでホームページを作る…	42
セクション 9	でき上がったホームページを確認する…	46
セクション 10	文字を入力・編集する…	48
セクション 11	文字の書式を変更する 1…	50
セクション 12	文字の書式を変更する 2…	52
セクション 13	画像を挿入する…	56
セクション 14	画像を変更する…	60
セクション 15	文字にリンクを設定する…	62
セクション 16	画像やボタンにリンクを設定する…	64
セクション 17	ページ名を変更する…	66
セクション 18	サイト名を変更する…	68
セクション 19	編集画面の表示を変更する…	70
セクション 20	転送の設定をする…	72
セクション 21	サイトを転送する…	76
セクション 22	変更したファイルだけを転送する…	78
セクション 23	サーバー上にフォルダを作成する…	80
	この章のまとめ…	82

スタートアップウィザードでホームページを作る

まずはスタートアップウィザードを利用したホームページ作成の手順を解説します。ウィザードを使うと、基本的な要素を含むホームページのひな型ができ上がります。

1 [スタートアップウィザード]を開きます。

★「ホームページV3」を起動すると、[スタートアップウィザード]が開きます。ここでは、[新規作成] ボタンをクリックします。

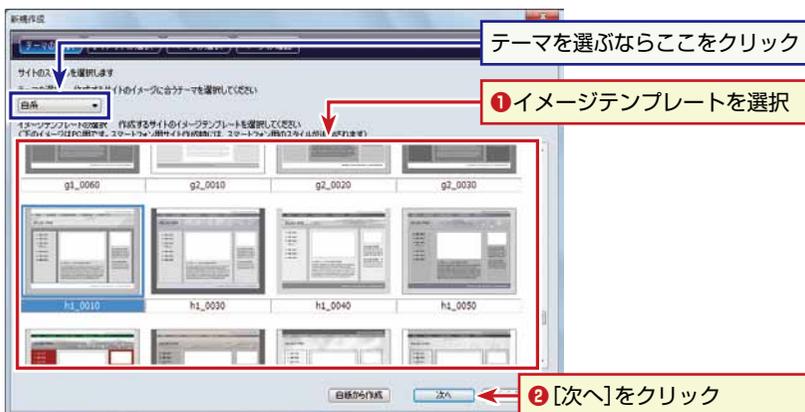


HINT

すでに「ホームページV3」を起動している場合は、「スタート」タブのクリックで、「スタートアップウィザード」が開きます。

2 イメージテンプレートを選択します。

★イメージテンプレートはテーマ別に分類されているので、好きなテーマを選んでから、テンプレートを選びます。



HINT

イメージテンプレートは、後から変更することも可能です。詳しくはP.118「セクション34 サイトのデザインを変更する」を参照してください。

関連情報

ホームページのテーマ

テーマは、赤系、白系、青系など、基本的な色調ごとに分類されています。まったくの白紙からホームページを作りたい場合は、画面下部の[白紙から作成]をクリックしてください。

3 レイアウトを選択します。

★ここではデフォルト状態のまま次に進めます。



HINT

使わないエリアの削除や、エリア配置の変更を行なうこともできます。詳しくは本ページのP.43「コラム：ページを構成する7つのレイアウトエリア」を参照してください。

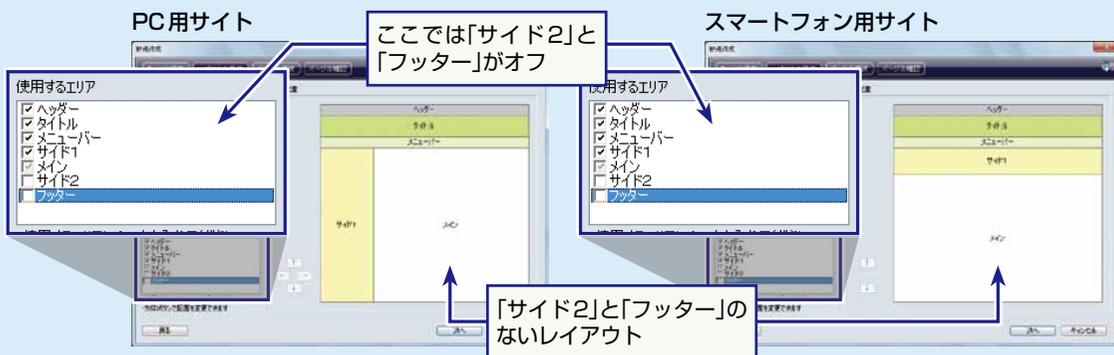
HINT

レイアウトは、後から変更することも可能です。詳しくはP.120「セクション35 サイトのレイアウトを変更する」を参照してください。

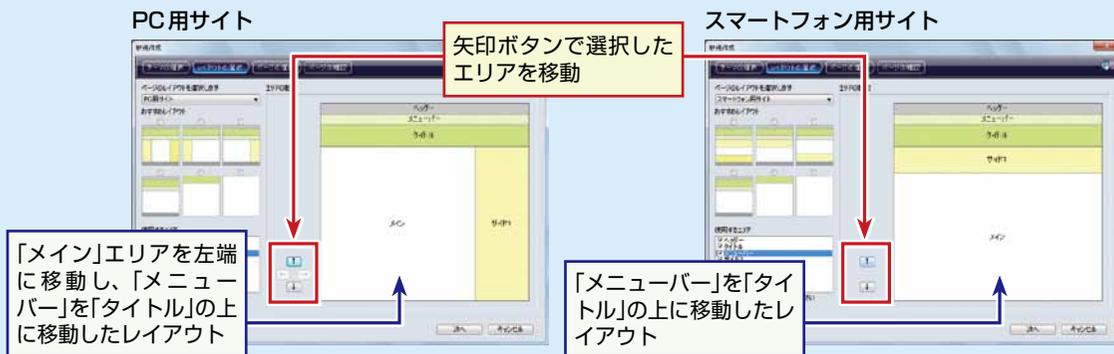
COLUMN

ページを構成する7つのレイアウトエリア

「ホームページV3」で作成する個々のページは7つのエリアから構成されます。そして、「メイン」を除く6つのエリアは、必要に応じて削除することが可能です。エリアを削除するには、[レイアウトの選択]画面の[使用するエリア]リストで、不要なエリアのチェックボックスをオフにしてください。チェックボックスをオンにすれば、いつでもエリアを再追加できます。



PC用サイトのレイアウトでは、垂直方向のエリア(サイド1、サイド2、メイン)は左右の位置を入れ替えることが可能です。また、水平方向のエリア(ヘッダー、メニューバー、タイトル、フッター)も、上下の位置を入れ替えることが可能です。位置を移動するには、[使用するエリア]リストで移動したいエリアを選択し、矢印ボタンをクリックしてください。



「PC用サイト」では、PCの横長の画面に合わせて「メイン」エリアの左右に「サイド1」、「サイド2」エリアが配置されます。

一方、「スマートフォン用サイト」では、「サイド1」、「サイド2」が左右ではなく、上下に配置されます。そのため、スマートフォンなどの横幅が狭い画面でも見やすいサイトを作ることができます。

「ホームページV3」では、PC用サイトの内容を変更することなく、スタイルを変更するだけで簡単にスマートフォン用サイトを作成することができます。スマートフォン用サイトの作成方法については、P.214「セクション61 スマートフォン用サイトを作成する」を参照してください。

PC用サイトをスマートフォンで見た場合



縦と横にスクロールが必要

スマートフォン用サイトを見た場合



縦方向のスクロールだけですべて見られる

「サイド1」エリアが上に配置されている

4 ページを選択します。

HINT

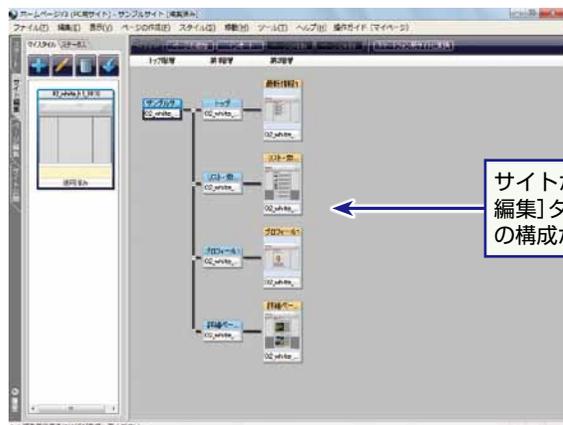
[ページの選択]画面の詳しい操作方法についてはP.45「コラム：[ページの選択]画面で他のページセットを選ぶ」を参照してください。

HINT

後からページの追加や削除を行なうことも可能です。P.88「セクション25 ページを追加・複製・削除する」を参照してください。

5 ページを確認します。

6 でき上がったホームページを確認します。



サイトが作成されると、[サイト編集]タブに切り替わり、サイトの構成が表示される

関連情報

保存されるファイル

作成されたホームページの関連ファイルは、標準のホームページの保存先(通常は「ドキュメント」フォルダの「ホームページ V3データ」)のサイト名と同名のフォルダに保存されます。

COLUMN

【ページの選択】画面で他のページセットを選ぶ

【ページの選択】画面の【プリセットの選択】リストダウンボックスでは、作成するホームページのタイプを選択できます。例えば、「会社用」を選択すると、会社用ホームページでよく使用される基本ページのセットが選択されます。



「会社用」を選択

会社用ホームページのプリセット

プリセットとして提示されるページが不要な場合は、【現在の構成】リストボックスで不要なページを選択し、【削除】ボタンをクリックしてください。一方、プリセットの中に気に入ったページが含まれていない場合、【追加ページ】リストボックスから別のページを選択することが可能です。

ページの分類名を順次展開して表示されるページ名を選択すると、プレビューエリアにその内容が表示されます。気に入ったページが見つかったら、【追加】ボタンをクリックして、【現在の構成】リストボックスに追加してください。



① 【追加ページ】リストボックスで「写真詳細4」ページを選択

② プレビューを確認

③ 【追加】ボタンをクリック

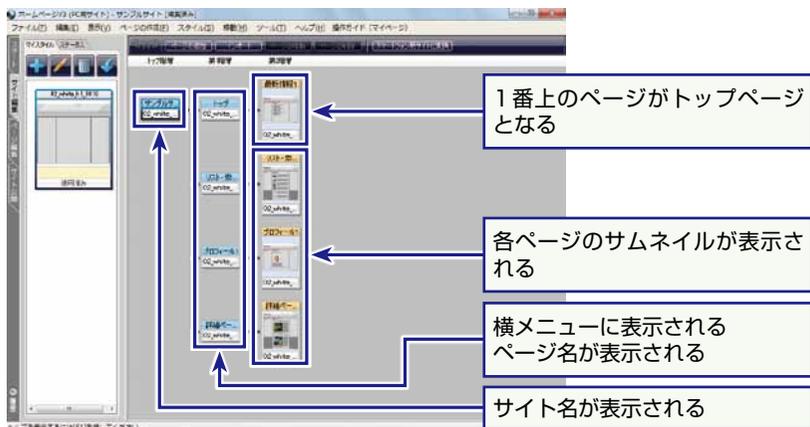
追加されたページ

でき上がったホームページを確認する

[スタートアップウィザード]を利用することで、さまざまなサイトを簡単に作成できます。ここでは前のセクション8で作成したサイトを一通り確認しましょう。

1 [サイト編集]タブのサイトのページ構成を確認します。

★ サイトが新規作成されると、[サイト編集]タブに切り替わり、サイトのページ構成が表示されます。このサンプルサイトは4つのページから構成されています。



関連情報

トップページとは

ホームページにしたときに、最初に表示されるページを「トップページ」と呼びます。



HINT

サイト名を変更する場合は、P.68「セクション 18 サイト名を変更する」を参照してください。

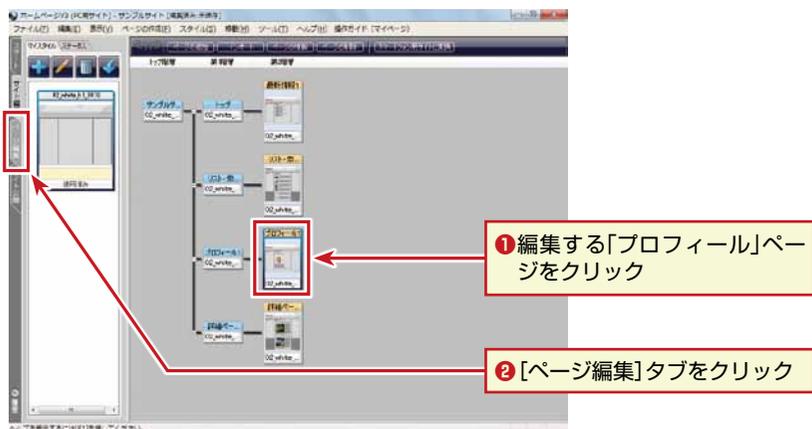


HINT

横メニューに表示されるページ名を変更する場合はP.66「セクション 17 ページ名を変更する」を参照してください。

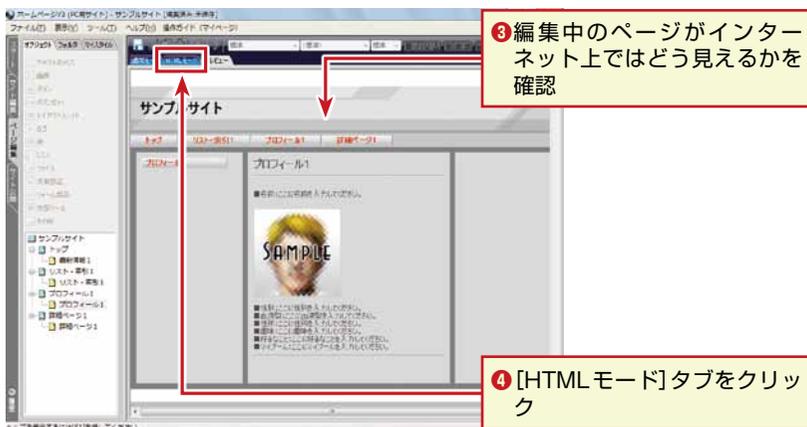
2 個々のページの編集画面を表示します。

★ ここではプロフィール画面の内容を確認してみましょう。



3 [ページ編集]タブの3つのタブを切り替えます。

★[ページ編集]タブには、[通常モード]、[HTMLモード]、[プレビュー]の3つのタブが含まれています。ページの編集は[通常モード]タブで行ないます。



HINT

Firefox、Opera、Safari、Google Chromeがインストールされていれば、[ツール]メニューの[ブラウザを指定してプレビュー]で、ブラウザを選ぶことで、それぞれのブラウザでどう見えるか確認することができます。



関連情報

[ページ編集]タブでのページの切り替え

[ページ編集]タブ上で、他のページの編集画面に切り替えるには、[オブジェクト]タブの下側のツリーで、対象となるページをクリックしてください。



関連情報

通常モード、HTMLモード、プレビューの関係

ホームページ作成初心者の方は、無理にHTML(→P.248「用語集」参照)を覚える必要はありません。ホームページを作るには、[通常モード]タブでページを編集し、[プレビュー]タブで表示結果を確認しながら、作業を進めるだけで十分です。HTMLを学習したい方は、[HTMLモード]タブの内容を参照して、[通常モード]タブでの編集結果がHTMLコードにどう反映されるかを確認することができます。

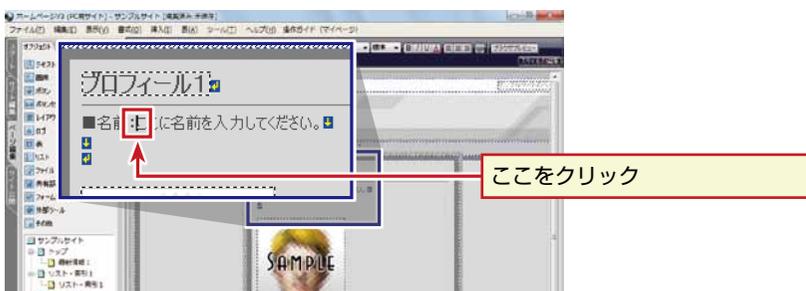
セクション 10

文字を入力・編集する

「ホームページV3」の各ページでは、ワープロソフトのように、文字を入力、編集できます。まずは、基本的な文字の入力・編集方法を解説します。

1 [ページ編集]画面で文字を入力する位置をクリックします。

★ ページは複数のエリアに分かれています。ここではまず名前を入力するので、メインエリア内に記入されている「名前」の colon (:) の直後をクリックしてください。



2 文字を入力します。

★ 自分の名前を入力してください(※右記「注意!」を参照してください)。



3 不要な文字を削除します。

★ キーボードから入力された文字はカーソル位置に挿入され、その後の文字は右方向にシフトします。不要な文字を削除しましょう。



注意!

個人情報の公開は慎重に

インターネットは誰でも見ることができる公の場です。閲覧者の中には悪意を持った人間が含まれている可能性があり、個人情報を掲載した場合、悪用される危険性があります。ホームページ上では、自分の住所は都道府県までしか書かない、名前には本名ではなくニックネームを使うなど、個人を特定できるような情報はできるだけ記載しないようにしましょう。

関連情報

文字の削除方法

<Delete>キーを押すと、カーソルの後の文字が、<Backspace>キーを押すと、カーソルの前の文字が1文字削除されます。複数の文字をまとめて削除するには、マウスをドラッグして選択してから、<Delete>キーを押します。

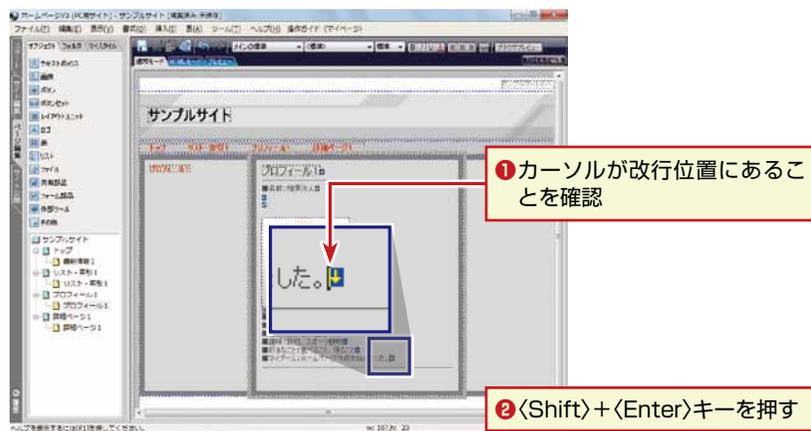
関連情報

コピー&ペースト

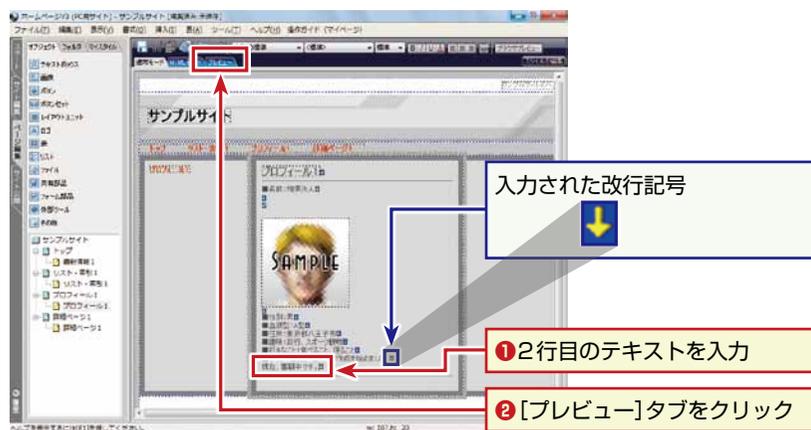
「ホームページV3」の編集画面でも、通常のコピー(切り取り)&ペースト(貼り付け)は可能です。文字列や画像オブジェクトをドラッグ&ドロップ操作によってコピー(または移動)することもできます。

4 改行します。

★カーソルがマイブームの行の行末にあることを確認して、〈Shift〉キーを押しながら、〈Enter〉キーを押して改行しましょう。



5 改行されたかをプレビューで確認します。



6 プレビューを確認します。



関連情報

2種類の改行

「ホームページV3」の[通常モード]タブには、2種類の改行記号が表示されています。〈Enter〉キーを押すと、が表示されます。〈Shift〉+〈Enter〉キーを押すと、が表示されます。両者の違いは、スタイルなどの属性を継承するかどうかです。前の行のスタイル属性を継承したい場合は〈Shift〉+〈Enter〉キーを押して、を入力してください。改行に使用するキーは入れかえることができます。

〈Enter〉キーでを入力するには、[ファイル]メニューの[環境設定]を選択し、「ページ編集」画面で[段落内改行を挿入]を選択してください。

HINT

スタイルおよびスタイル属性については、P.50「セクション11 文字の書式を変更する1」を参照してください。

注意!

直接入力できない文字列について

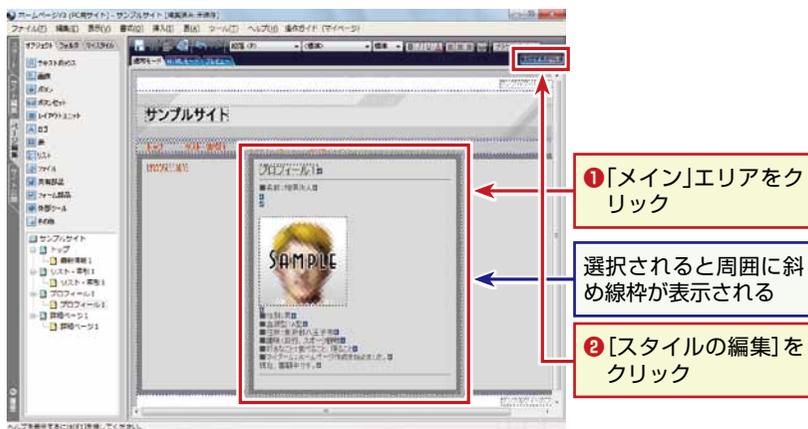
[通常モード]の表示で点線で囲まれている部分は、「共有部品」「表」「画像」などのオブジェクトです。文字列が「共有部品」の場合、通常の文字列と異なり直接編集することができません。この部分の編集方法はP.66「セクション17 ページ名を変更する」、P.68「セクション18 サイト名を変更する」を参照してください。

文字の書式を変更する 1

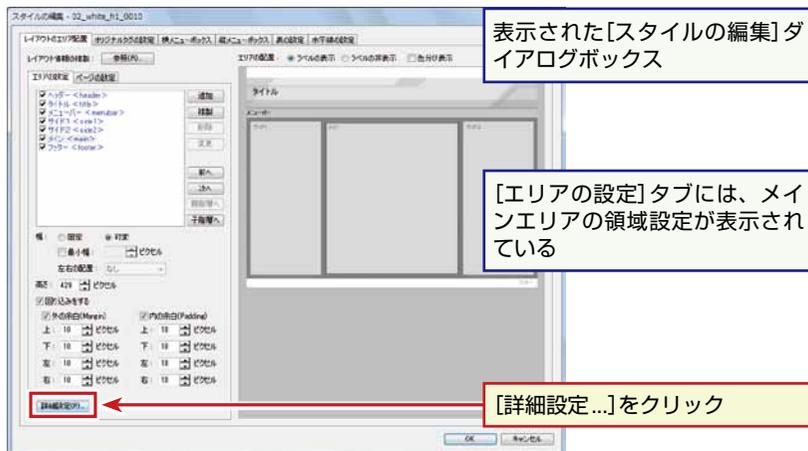
ページに表示される文字の色やサイズは、スタイルによって決められています。そして、スタイルは、ページのエリアごとに設定できます。

- 1 文字の書式を変更したいエリアを選択し、[スタイルの編集]ダイアログボックスを開きます。

★ここでは「メイン」エリアの文字の色を「青色」(Blue)に変更します。



- 2 「スタイルの編集」ダイアログボックスを表示します。



関連情報

「スタイルの編集」ダイアログボックスの「エリアの設定」タブでは、選択されているエリアの幅、高さ、余白などを設定できます。背景、フォント、枠線のスタイルを編集するには、さらに「詳細設定...」をクリックしてください。

3 [フォント]タブを表示して、文字の色を設定します。

表示された[メインエリアのスタイルの編集]ダイアログボックス

- [フォント]タブをクリック
- [色]ボックスをチェック
- 下向き三角形ボタンをクリック
- 色パレットで「Blue(青)」をクリック
- [OK]をクリック

4 文字の色の変更を確定します。

[スタイルの編集]ダイアログボックスに戻ります

- [OK]をクリック
- [はい]をクリック

5 [プレビュー]タブで変更結果を確認します。

[メイン]エリア全体の文字色が青に変更された

HINT

[色]ボックス横の入力ボックスにカラーコードを入力し、色を指定することも可能です。

HINT

パレット内に目的の色がない場合は、[その他の色]をクリックして他の色を探すこともできます。

注意!

この方法で、文字の色を変更した場合、他のページの「メイン」エリアの文字色も青色に変更されます。

HINT

「メイン」エリア以外のその他のレイアウトエリアも、同様の手順で変更できます。

セクション 12

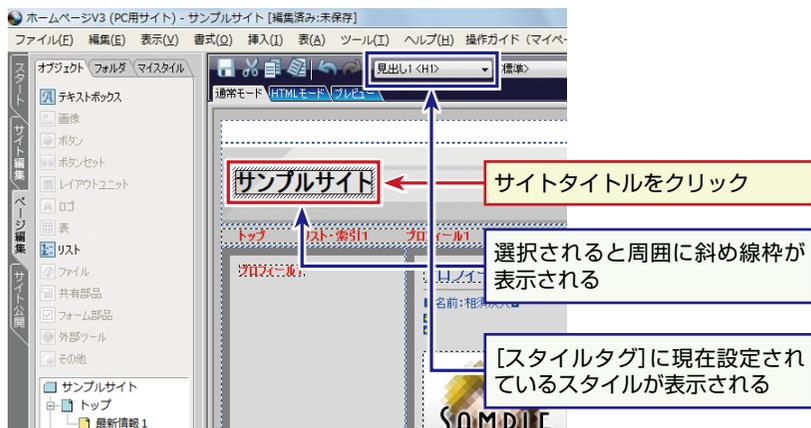
文字の書式を変更する 2

「ホームページV3」では、文字の書式(色やサイズ)を変更する方法がいくつか用意されています。ここでは最も基本的な方法を紹介します。

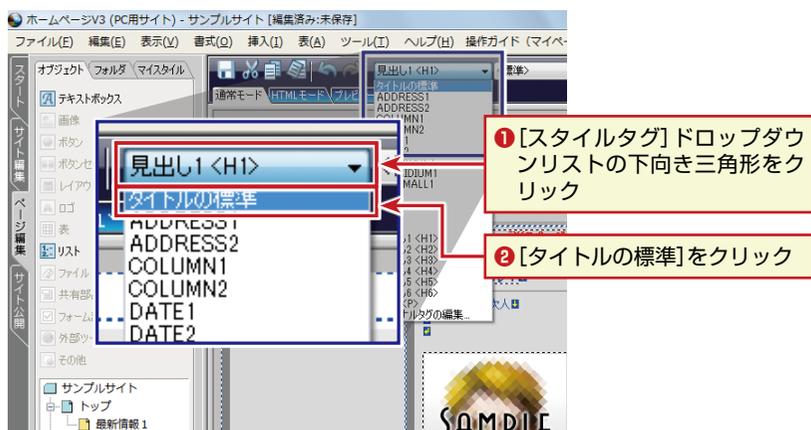
● スタイルタグを使用する

1 「タイトル」エリアのサイトタイトルを選択します。

★ここでは、サイトタイトルのスタイルを変更します。



2 サイトタイトルにスタイル「タイトルの標準」を設定します。



HINT

「[スタイルタグ]」ドロップダウンリストに表示される内容は、選択したスタイルによって変わります。

3 スタイルタグの効果を確認します。



関連情報

スタイルタグとは

「ホームページV3」のスタイルには、書式の組み合わせがタグとして登録されており、[ページ編集]画面上部の[スタイルタグ]ドロップダウンリストから選択できます。通常のテキストにも[~の標準]というスタイルが適用されています。

注意!

スタイルタグで設定すると、段落単位の設定となり、次の()
まで設定が適用されます。

HINT

スタイルタグを編集・追加するには、[ページ編集]画面内にある[スタイルタグ]ドロップダウンリストの[オリジナルタグの編集]か、[マイスタイル]タブの ボタンまたは画面右上の[スタイルの編集]ボタンをクリックして表示される[スタイルの編集]ダイアログボックスの[オリジナルタグの設定]タブで行なうことができます。

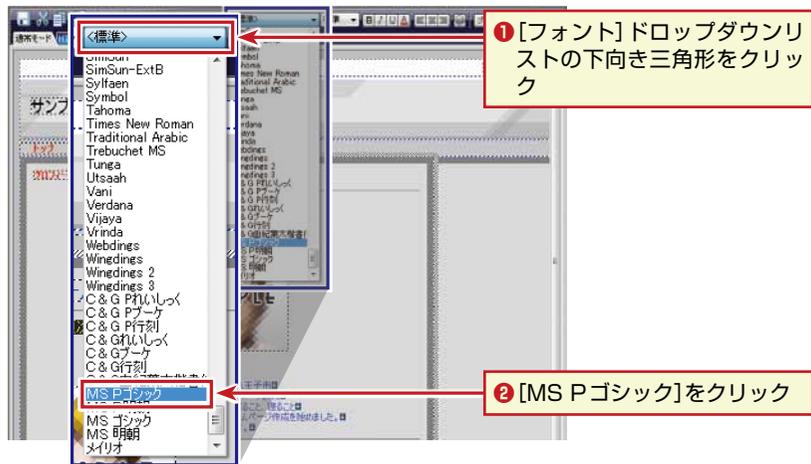
● 個々の文字単位に書式を設定する

1 書式を変更する文字を選択します。

★ここでは名前の文字列のフォントを変更、拡大し、色を変え、太字を設定してみましょう。



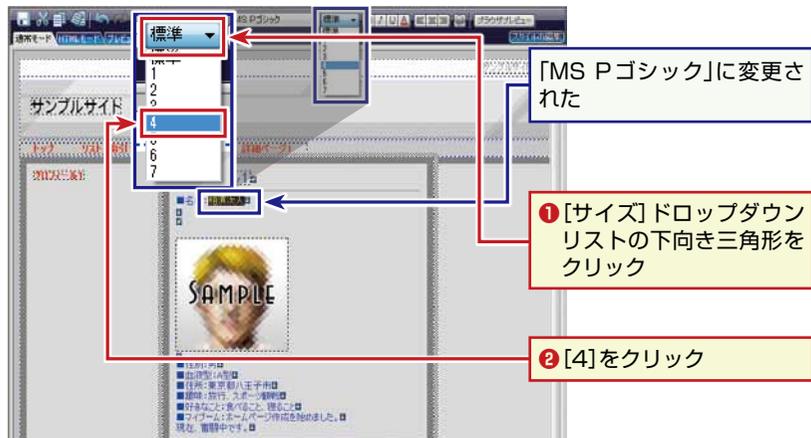
2 文字のフォントを変更します。



注意!

特殊なフォントは、ホームページを見る環境によっては表示されない場合があります。あなたのホームページで使用したフォントが、そのホームページを見る人のパソコンにインストールされていないと、予期しないフォントに変換されることがあります。特殊なフォントを使用したい場合は、テキストを画像に変換して使用しましょう。

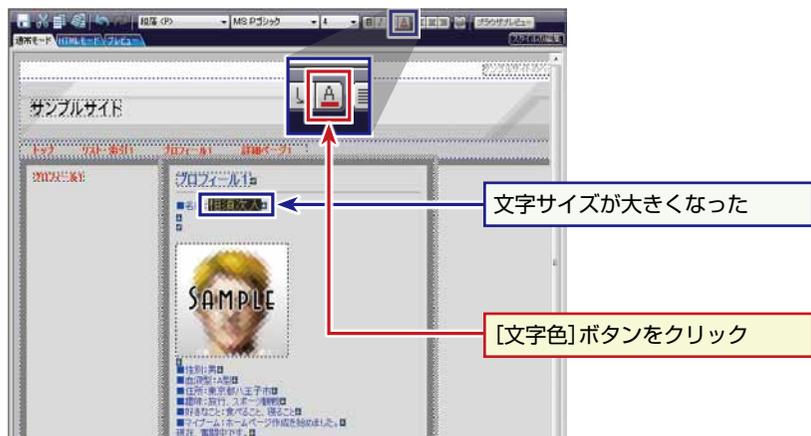
3 文字のサイズを拡大します。



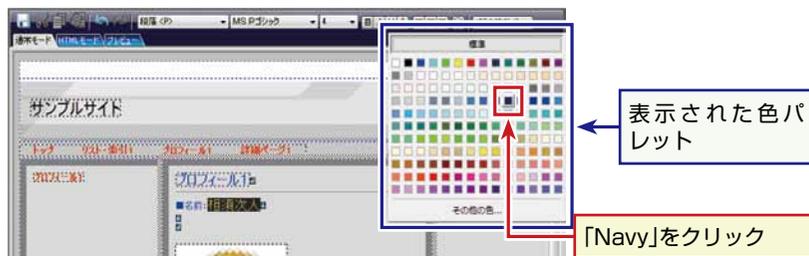
関連情報

変更した文字のフォントやサイズを標準に戻す
ドロップダウンリストからそれぞれ「標準」を選択してください。

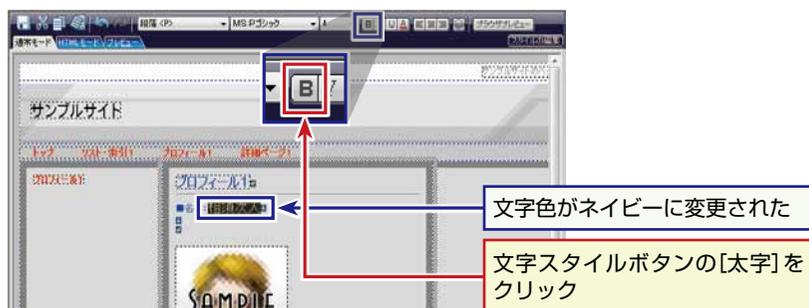
4 文字の色を変更します。



5 色を選択します。



6 文字を太字にします。



7 書式変更の結果を確認します。



HINT

文字スタイルボタンでは、[太字] [斜体] [下線]の変更ができます。



関連情報

文字スタイルボタンで設定した書式を解除する

書式が設定されている文字列を選択し、同じボタンをクリックしてください。書式が解除されると、ボタンの外観も通常に戻ります。

関連情報

変更した文字色を標準に戻す

書式が設定されている文字列を選択し、[文字色]ボタンをクリックして色パレットの一番上の「標準」をクリックします。

COLUMN

個々の文字の書式を変更する場合の注意点

[フォント]、[サイズ]ドロップダウンリスト、文字スタイルボタン(太字、斜体、下線)、色パレット、配置(右揃え、中央揃え、左揃え)の各ボタンを使って文字に書式を設定する場合、その書式情報は文字そのものに付加されます。そのため、これらの書式はスタイルに優先されます。例えば、[サイズ]ドロップダウンリストを使って最大のサイズを設定した文字を含む行に、「見出し1」スタイルを適用した場合、最大サイズが設定されている文字のサイズだけは変化しません。

スタイルの書式を有効にしたい場合は、[サイズ]ドロップダウンリストを使って、文字サイズを「標準」に戻してください。

セクション 13

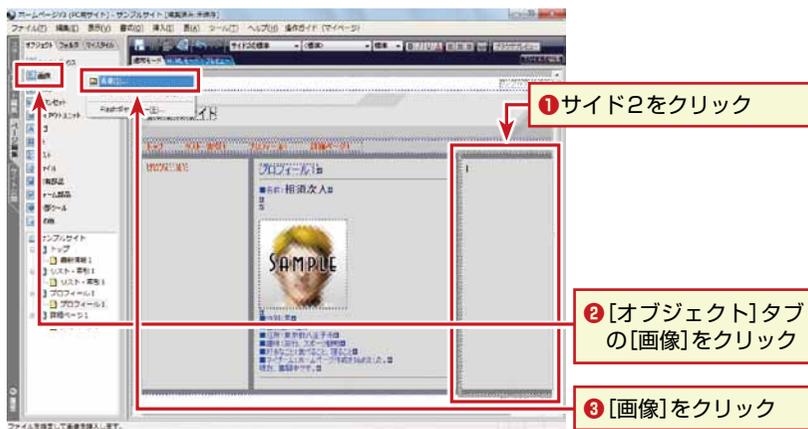
画像を挿入する

ページには、イラストやデジタル写真など、さまざまな種類の画像を追加することが可能です。ここでは画像を追加するための複数の操作手順を紹介します。

● [オブジェクト]タブの[画像]ボタンを利用する

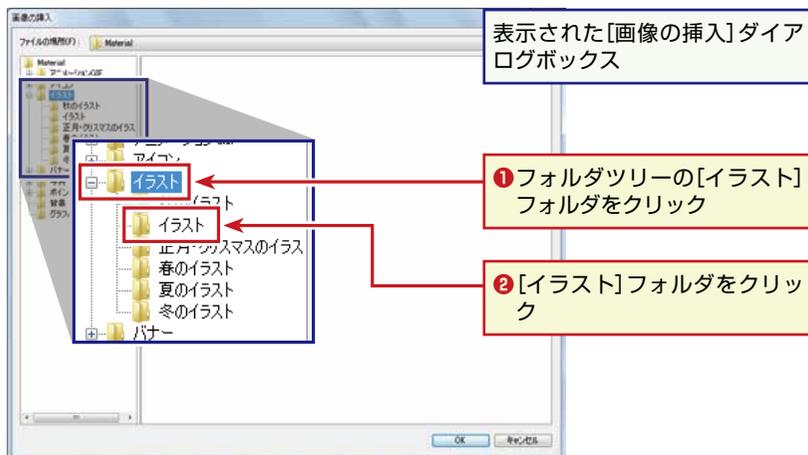
1 画像の挿入位置を選択し、[オブジェクト]タブの[画像]をクリックします。

★ここではサイド2にワンポイントとなるイラストを追加します。



2 追加する画像を含むフォルダを選択します。

★ここでは目的のファイルは「ホームページV3」付属の[Material]フォルダに含まれていることを前提に解説を進めます。



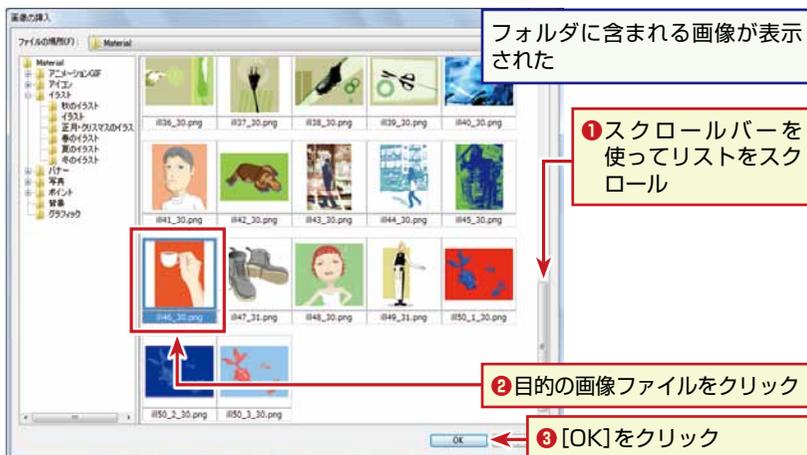
⚠ 注意!

画像を挿入するときは、サイズに注意しましょう。挿入するレイアウトエリアよりも大きな画像を挿入するとレイアウトが崩れることがあります。画像サイズの変更などは、P.57「手順4」を参照してください。

📎 関連情報

「Material」フォルダには「ホームページV3」に付属されている様々な素材が含まれています。

3 追加する画像を選択します。



HINT

「Material」フォルダ以外の画像も挿入できます。詳しくは、P.58「● [フォルダ] タブで挿入する画像ファイルを指定する」を参照してください。

4 挿入された画像のサイズを調整します。

★ 画像は原寸大で挿入され、サイド2の幅が拡張されるので、画像のサイズを調整します。



HINT

画像のサイズを調整する際は、レイアウトエリアのサイズに注意してください。レイアウトエリアの幅や高さより大きな画像を挿入するとページのレイアウトが崩れることがあります。

5 画像を確認します。



関連情報

画像ファイルのアップロード時の自動サイズ調整

画像ファイルのサイズ(容量)は、サーバーにアップロードされる時点で、その表示サイズに合わせて自動的に調整されます。オリジナルのファイルがどんなに大きくても、この機能によって、サーバー容量を節約できます。

● [フォルダ]タブで挿入する画像ファイルを指定する

1 画像の挿入位置を選択し、[フォルダ]タブをクリックします。

★ここでは先に追加したイラストの下に別のイラストを追加します。

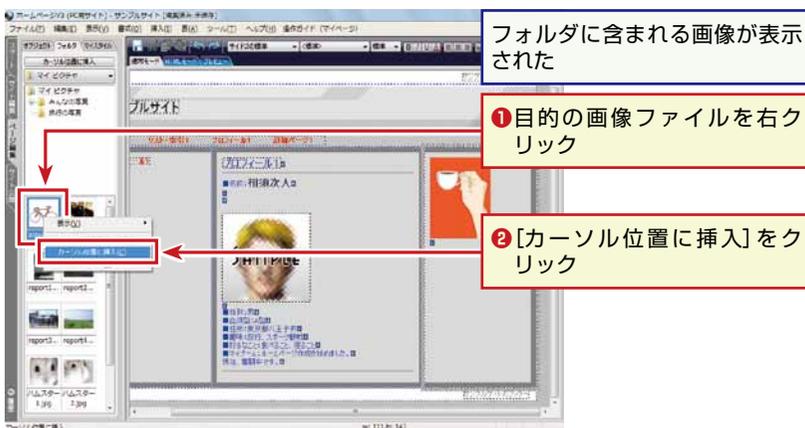


2 追加する画像を含むフォルダを選択します。

★ここでは目的のファイルが[マイピクチャ]フォルダに含まれていることを事前に解説を進めます。



3 追加する画像を選択します。



⚠ 注意!

Windows Vistaの場合は[ピクチャ]フォルダになります。

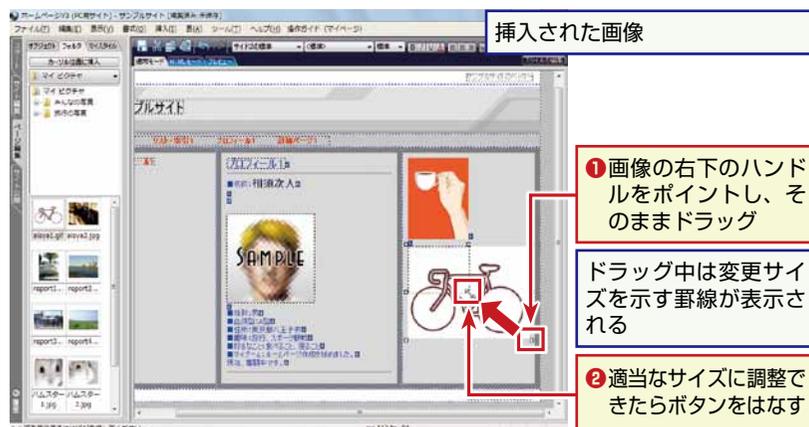
📌 関連情報

ドラッグ&ドロップによる挿入

[フォルダ]タブ上部のボタンをクリックし、[カーソル位置に挿入]を選び、ドラッグ&ドロップで画像を挿入することも可能です。

4 挿入された画像のサイズを調整します。

★画像は原寸大で挿入され、サイド2の幅が拡張されるので、画像のサイズを調整します。



5 画像を確認します。



COLUMN

[フォルダ]タブのその他のオプション

●ページの背景画像に設定

選択した画像は、ページの背景画像となります。あまり小さな画像を選択すると、ページに隠れて見えなくなってしまいます。背景として利用可能な画像は、[Material]フォルダの[グラフィック]および[背景]フォルダに含まれています。ここでページの背景に画像を設定すると、P.130「セクション38 ページの背景を変更する」で行なうページの背景の変更ができなくなりますのでご注意ください。

●自由配置で挿入

「ホームページV3」では、文字や画像などのオブジェクトはエリア内にレイアウトされますが、ページ上の任意の位置に配置するには、このオプションを選択してください。ドラッグ&ドロップによって画面上を自由に移動できます。

画像を変更する

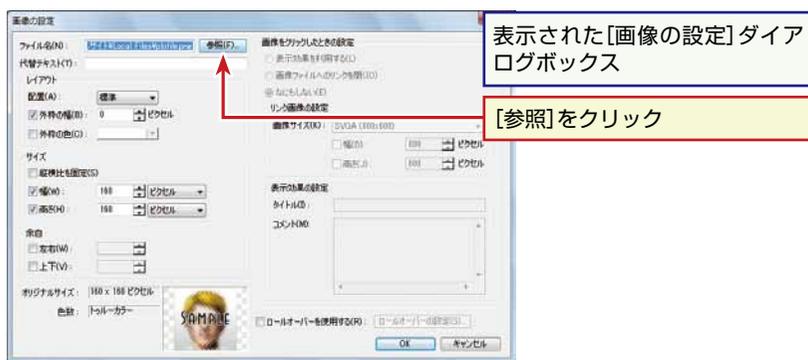
ページにあらかじめ挿入されている画像や、1度自分が挿入した画像は変更することができます。ここでは、プロフィールページのプレースホルダ(仮の画像)に、別の画像を設定する方法を解説します。

1 [画像の設定]ダイアログボックスを開きます。

★ここでは表示されている仮の画像を追加画像によって差し替えるという操作を行いません。

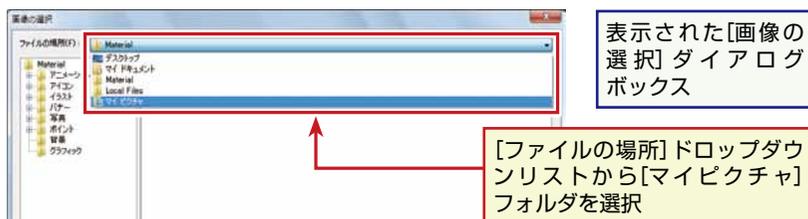


2 [画像の選択]ダイアログボックスを開きます。



3 追加する画像を含むフォルダを選択します。

★ここでは目的のファイルは[マイピクチャ]フォルダに含まれている前提で解説を進めます。



関連情報

代替テキストとは

画像の上にマウスカーソルをのせると表示されるテキストのことです。何らかの原因で、ブラウザで画像が表示できない場合のために、入力しておくことをおすすめします。

関連情報

[Material]フォルダ

「ホームページV3」に付属の素材データ(画像やアイコンなど)は、[Material]フォルダに含まれています。

4 追加する画像を選択します。



5 画像の追加を確定します。



6 追加した画像を確認します。



関連情報

縦横比率の調整

仮の画像と差し替え後の画像の縦横比率が異なる場合、プレイスホルダの比率に合わせて追加画像の縦横比率が自動的に調整されます。追加画像の縦横比率を正しく表示するには、[画像の設定]ダイアログボックスで[縦横比を固定]ボックスをチェックしてください。

文字にリンクを設定する

友人や知人のホームページへのリンクや、頻繁に利用するホームページのリンクを作成してみましょう。まずは、文字列にリンクを設定する方法を解説します。

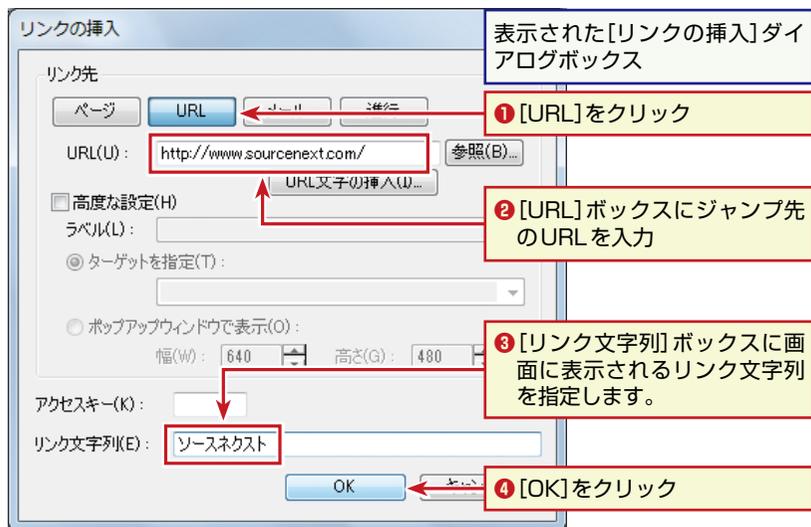
1 リンクの挿入位置を選択し、[リンクの挿入]ダイアログボックスを開きます。

★ここではサイド2にリンクを挿入します。



2 他のサイトへのリンクを作成します。

★ここでは他のサイトへのリンクを作成します。



関連情報

リンクとは

ページ上に置かれる他のページやオブジェクトの位置情報です。リンクをクリックすると、そのページやオブジェクトへジャンプできます。

HINT

ラベルとは

ラベルとは、ページに挿入される「しおり」のようなものです。このラベル名をリンク先に指定することで、ページ上の好きな位置へと自由にジャンプすることが可能となります。

HINT

リンクを別ウィンドウで開いて表示する

クリックしたリンクを別ウィンドウで表示させるには、[リンクの挿入]ダイアログボックスで[高度な設定]をチェックし、[ターゲットを指定]をクリックしてプルダウンメニューから[新しいウィンドウ]を選択してください。

HINT

[リンク文字列]が省略された場合、URLがそのまま表示されます。

HINT

すでにある文字列をドラッグして[リンクの挿入]をクリックすると、左記操作と同様にリンクの設定を行なうことができます。

3 リンクの動作を確認します。



4 リンク先のURLにジャンプします。



5 結果を確認します。



関連情報

どんなリンク先があるか

一般的なリンク先には、同一ページ上の別の位置、同じサイトの別のページ、他のサイトなどがありますが、「ホームページV3」では、次の4種類のリンクを作成できます。

●ページ

作成中のサイトの別のページを指定します。ラベルを利用することで、そのページ上の特定の位置を指定することもできます。

●URL

他のサイト、またはそのサイトの特定のページを指定します。

●メール

メールソフトを起動するリンクを作成します。そのメールソフトによって作成される新規メールの宛先と件名を指定できます。

●進行

作成中のホームページのナビゲーション用のリンク(前ページ、次ページなど)を作成できます。

セクション 16

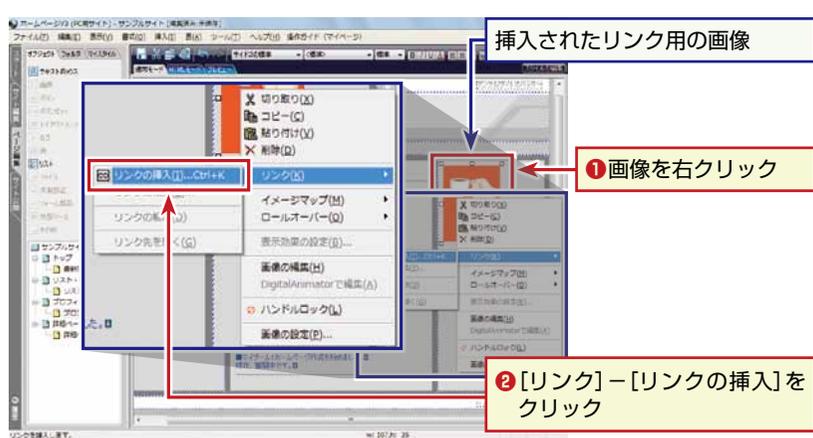
画像やボタンにリンクを設定する

画面に表示された画像やボタンをクリックすると、指定されたリンク先へとジャンプするように設定することも可能です。ここでは画像にリンクを設定する手順を紹介します。

1 リンク用の画像を挿入します。

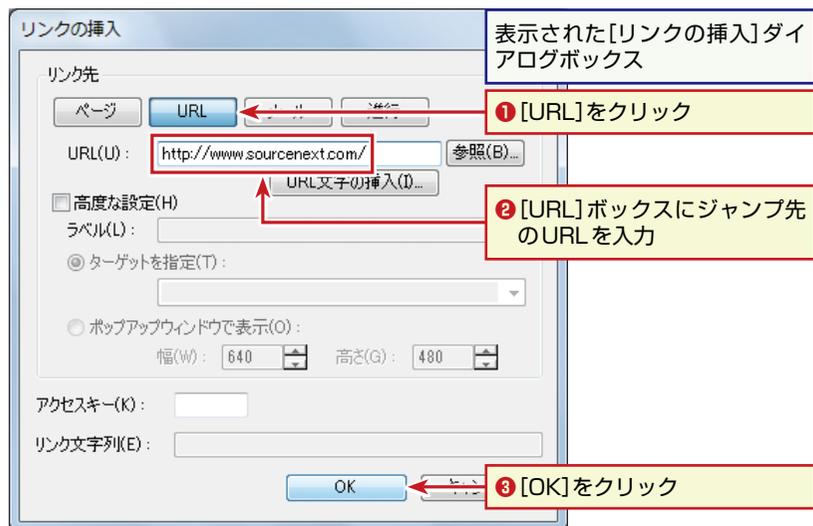
★セクション13の解説に従って、[画像の挿入]ダイアログボックスを使って、リンクとして使用する画像を挿入してください。

2 画像にリンクを設定します。



3 他のサイトへのリンクを作成します。

★ここでは他のサイトへのリンクを作成します。



HINT

ツールバーの[リンクの挿入]ボタンからも設定できます。



関連情報

ボタンへのリンクの設定

[オブジェクト]タブ内の[ボタン]をクリックして表示される[ボタンの挿入]ウィンドウには、[リンク設定]ボタンが用意されており、ボタンの挿入と同時に、リンクを設定できます。

関連情報

共有部品へのリンクの設定

[サイトタイトルボックス]や[ページタイトルボックス]にもリンクを設定することができます。[サイトタイトルボックスの設定]や[ページタイトルボックスの設定]から行なってください。

関連情報

リンク先ページの表示方法

[リンクの挿入]ダイアログボックスの[高度な設定]チェックボックスをオンにすることで、リンク先のページの表示方法を指定するオプションが有効になります。[ターゲットを指定]ドロップダウンリストからは、ウィンドウの開き方を指定できます。

- ・ **新しいウィンドウ**：リンク先のページを新しいウィンドウを開いて表示。
- ・ **同一ウィンドウ**：リンク先のページをリンク元と同じウィンドウで表示。
- ・ **親ウィンドウ**：リンク先のページをリンク元の親ウィンドウで表示。
- ・ **全画面**：リンク先のページをウィンドウ全体に表示。

また、[ポップアップウィンドウで表示]オプションを選択した場合は、ポップアップするウィンドウのサイズを指定できます。

4 リンクの動作を確認します。



注意!

画像にリンクが設定されても、特に変化は起こりませんが、プレビュー画面でリンク画像をポイントすると、マウスポインタの形が手型(☞)に変化します。

5 結果を確認します。



関連情報

既存の文字列にリンクを設定する

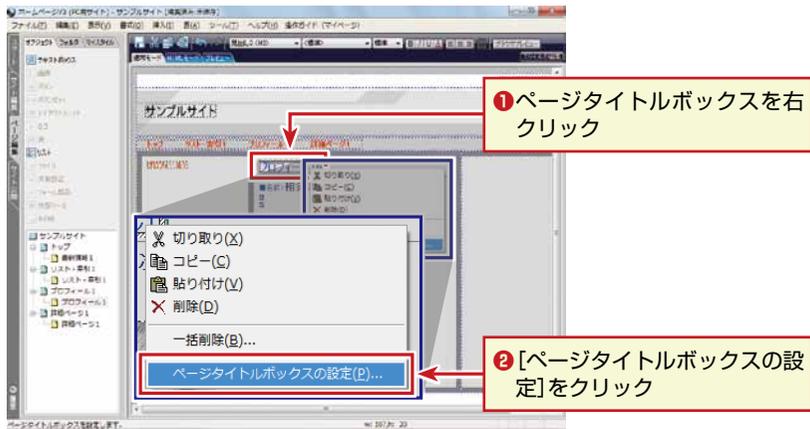
本セクションで紹介した手順で、既存の文字列にリンクを設定することも可能です。リンクを設定したい文字列を選択したら、右クリックし、[リンク]—[リンクの設定]を選択してください。

また、サイトタイトルやヘッダーなどにリンクを設定する場合は、該当する文字列をダブルクリックすることで、設定画面が表示されます。

ページ名を変更する

ページ名は、通常、ページの「メイン」エリアに表示されます。また、メニューにも表示されます(トップページ以外)。このページ名を変更する手順を解説します。

- 1 [ページタイトルボックスの設定] ダイアログボックスを表示します。



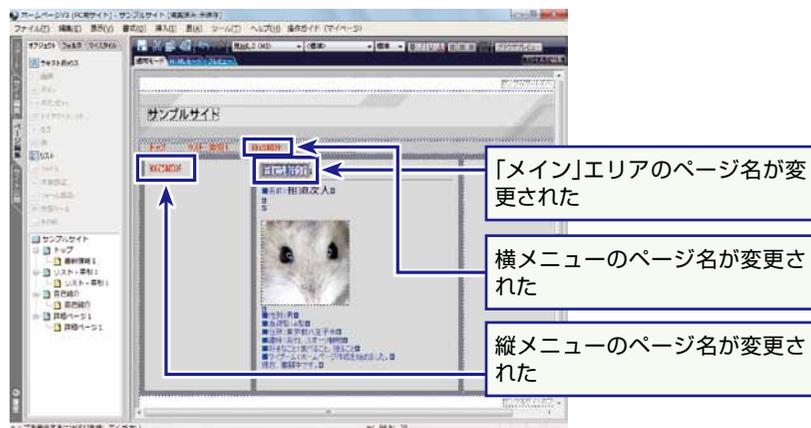
- 2 ページ名を変更します。



HINT

[サイト編集]画面や[ページ編集]画面のツリー表示からは、ページを右クリックして表示される[ページのプロパティ]から設定することもできます。

3 ページ名の変更結果を確認します。



関連情報

ページタイトルボックス

「メイン」エリア上のページ名は、「ページタイトルボックス」と呼ばれる共有部品によって表示されています。そのため、編集画面上では直接編集することはできません。

関連情報

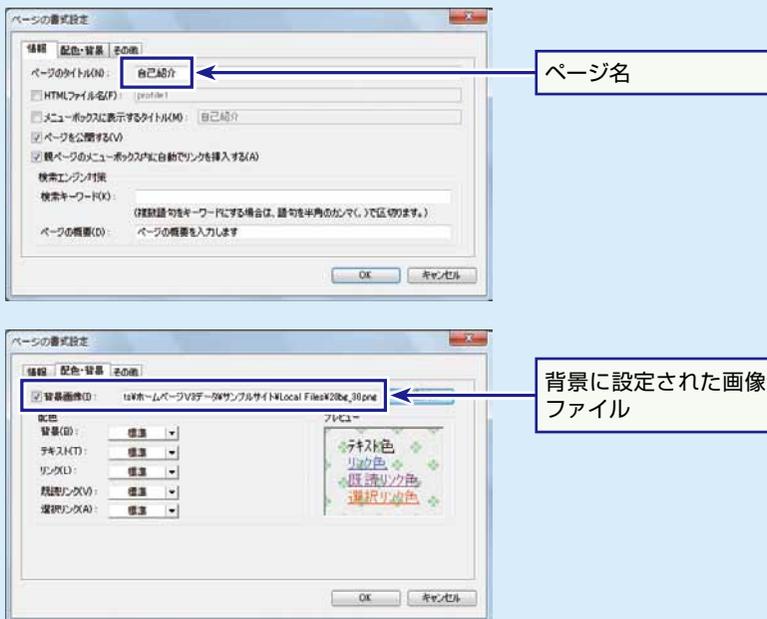
横メニューに表示させる名称を変更する

メニュー名は通常、ページ名がそのまま表示されますが、別の名前に変更することができます。詳しくは、P.87「関連情報：横メニュー名を変更する」を参照してください。

COLUMN

【ページの書式設定】ダイアログボックス

【書式】メニューの【ページの書式設定】によって表示される【ページの書式設定】ダイアログボックスでも、ページ名を変更できます。このダイアログボックスでは、ページに関するさまざまな設定が可能です。例えば、P.56「セクション13 画像を挿入する」で紹介した「ページの背景画像に設定」機能を使って、ページに背景を設定した場合、その結果は、このダイアログボックスの【配色・背景】タブに反映されます。

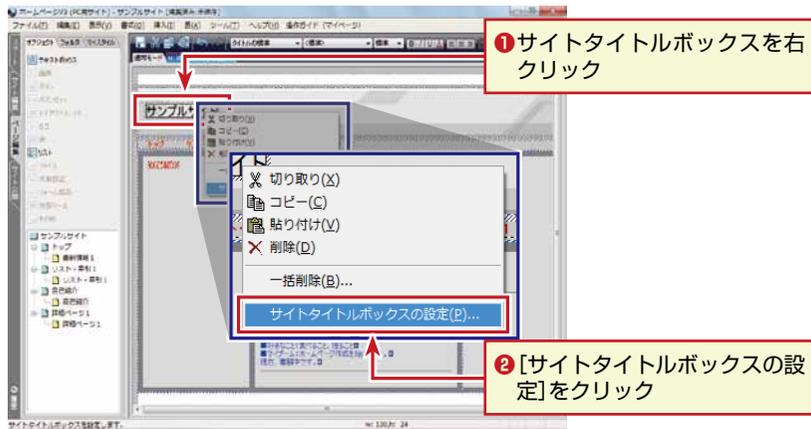


ただし、このダイアログボックス上で行なった背景の設定は、サイトの他のページには影響しません。

サイト名を変更する

「タイトル」エリアに表示されるサイト名は、ホームページ作成時に指定したものが、いつでも変更することができます。

- 1 [サイトタイトルボックスの設定]ダイアログボックスを表示します。



HINT

[サイト編集]画面や[ページ編集]画面のツリー上からサイト名を変更したい場合は、サイト名アイコンの右クリックメニューから[サイトの設定]を選択して設定できます。

- 2 サイト名を変更します。



3 サイト名の変更結果を確認します。



注意!

サイト名を変更しても、データが保存されているフォルダ名は変わらないので注意してください。

関連情報

サイトタイトルボックス

「タイトル」エリアのページ名は、「サイトタイトルボックス」と呼ばれる共有部品によって表示されています。そのため、編集画面上では直接編集することはできません。

また他の共有部品(ヘッダーボックス、フッターボックス、横メニューボックス、縦メニューボックス、移動ボタンボックス、更新履歴ボックス)も同様に、直接編集することはできません。

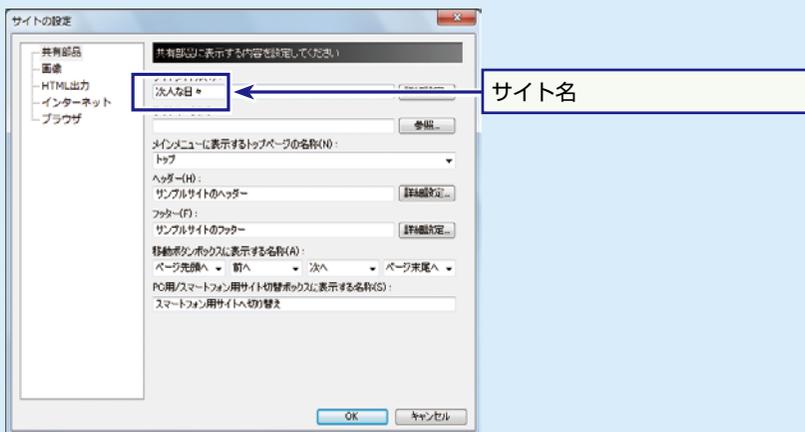
18

サイト名を変更する

COLUMN

【サイトの設定】ダイアログボックスのオプション

[ファイル]メニューの[サイトの設定]によって表示される[サイトの設定]ダイアログボックスでも、サイト名を変更できます。このダイアログボックスでは、名前が示すようにサイトに関するさまざまな設定が可能です。[共有部品]画面では、サイトタイトルの他、サイトマーク、ヘッダー、フッター、メニューに表示されるトップページの名称、移動ボタンの名称など、すべてのページ(サイト全体)で共通すべき情報をここで一括設定できます。



[画像]画面では、画像ファイルの扱い方、[HTML出力]画面では、HTMLファイルの出力方法を設定します。[インターネット]画面では、ページ公開に使用するサーバーを選択します。詳しくはP.104「セクション30 サイトの設定を変更する」を参照してください。

セクション 19

編集画面の表示を変更する

「ホームページV3」の[ページ編集]タブでは、ページの編集を支援するいくつかの機能が用意されています。ここではそうした支援機能を紹介します。

● 編集エリアを拡大する

画面左側のマネージャバーを非表示にすることで、より広い編集エリアを確保できます。[表示]メニューの[マネージャバー]をクリックし、チェックマークをはずしてください。



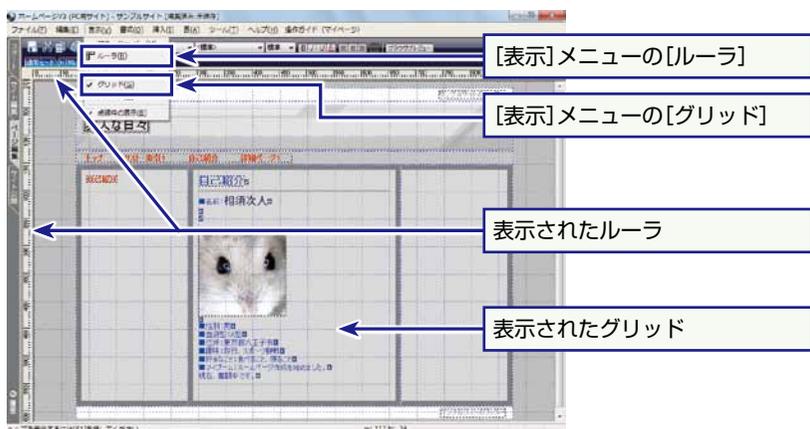
関連情報

マネージャバーの幅の調整と移動

マネージャバーの幅は、編集エリアとの境界をマウスでドラッグすることによって自由に調整できます。また、マネージャバー上部の灰色部分をマウスでドラッグすると移動することもできます。

● ルーラ、グリッドの表示

整然としたページレイアウトを行なうには、ルーラやグリッドを表示することをおすすめします。これらの表示/非表示は、[表示]メニューの[ルーラ]、[グリッド]のクリックによって切り替えることができます。



関連情報

ルーラとは

文字や画面の位置を調節するときに利用する目盛りのことです。

関連情報

グリッドとは

レイアウトの目印となる格子状のマス目のことです。

● グリッドの設定

グリッドは、[ファイル]メニューの[環境設定]の選択によって表示される[環境設定]ダイアログボックスの「表示」で、間隔や色の設定を行なえます。



関連情報

[表示]メニューのその他のオプション

[表示]メニューには、画面下部のステータスバー、エリアの周囲の点線の表示・非表示を切り替えるオプションも用意されています。

● スナップ機能

スナップ機能を有効にすると、自由配置で挿入される画像やテキストボックスなどを、グリッドに沿って規則配置することができます。



HINT

スナップ機能のON/OFFはルーラやグリッドの表示と同様に、[表示]メニューの[スナップ]で、切り替えることができます。

転送の設定をする

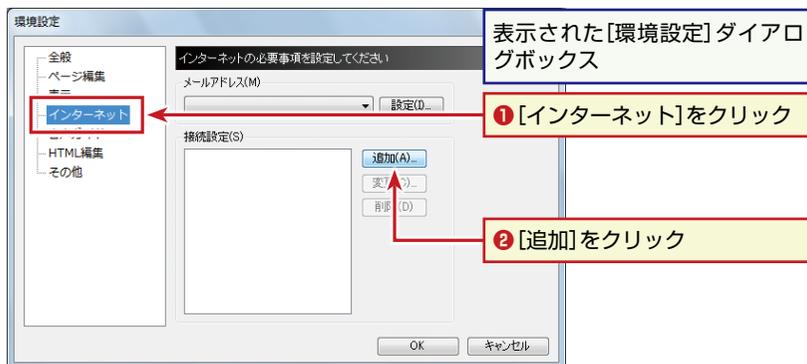
ホームページができ上がったら、関連ファイルをインターネット上のサーバーに転送（アップロード）します。そのためには、まずサーバーに接続するための設定が必要です。

1 [環境設定]ダイアログボックスを開きます。

★サーバーへファイルを転送するための設定は、[環境設定]ダイアログボックスで行ないます。



2 [接続設定]ダイアログボックスを表示します。



関連情報

設定に必要な情報とは

基本的には、以下の情報が必要です。

- ・接続先のサーバー名
- ・サーバーへのログイン名
- ・パスワード

これらの情報の呼び名はプロバイダごとに違います。[接続設定]ダイアログボックスでプロバイダを選択すると、ダイアログボックスの表示はそのプロバイダの呼び名に切り替わります。

3 接続設定を開始します。

接続設定

このウィザードでサイトのアップロードに必要なFTPサーバーの設定を行ないます。

戻る(B) 次へ(N) >

1 [次へ]をクリック

接続設定

FTPサーバーの設定を行ないます。
接続設定を識別する名前と、ご使用のプロバイダを入力してください。

名前(M): サーバー1

プロバイダ(P): So-net(U-Page+)

接続方法の設定(R): 既存の接続を使用する(LAN/有線接続)

パッシブモードを使う(A)

ADSLやLAN環境でご利用の場合、FTP転送できないときは、チェックすると接続できる場合があります。

ホームページアドレス(U):

URL文字の挿入(U...)

戻る(B) 次へ(N) >

表示された[接続設定]ダイアログボックス

2 この接続設定の名前を入力

3 自分が契約しているプロバイダを選択

4 [次へ]をクリック

HINT

[名前]には自分の好きな名前を入力できます。わかりやすい名前を入力しておきましょう。

関連情報

RSSを設定する場合は、[ホームページアドレス]に自分のホームページのURLを入力しておく必要があります。URLは、最後の「/」(スラッシュ)まで入力しておきましょう。

HINT

ADSLやLAN接続でサーバーに接続できない場合、「パッシブモードを使う」にチェックをつけると接続できることがあります。

関連情報

パッシブモードについて

FTPのデータ転送モードのひとつで、ファイアーウォールが設定されているような環境でデータの送受信を可能にする転送モードです。PASVモードと表記されていることもあります。FTPのデータ転送モードにはこのほかにアクティブモード(PORTモード)があり、「パッシブモードを使う」をチェックしない場合は、アクティブモードでデータが送受信されます。

関連情報

目的のプロバイダがリストに表示されない

[プロバイダ]ドロップダウンリストから「その他」を選択してください。

接続設定

FTPサーバーの設定を行ないます。
接続設定を識別する名前と、ご使用のプロバイダを入力してください。

名前(M): サーバー1

プロバイダ(P): その他

接続方法の設定(R):

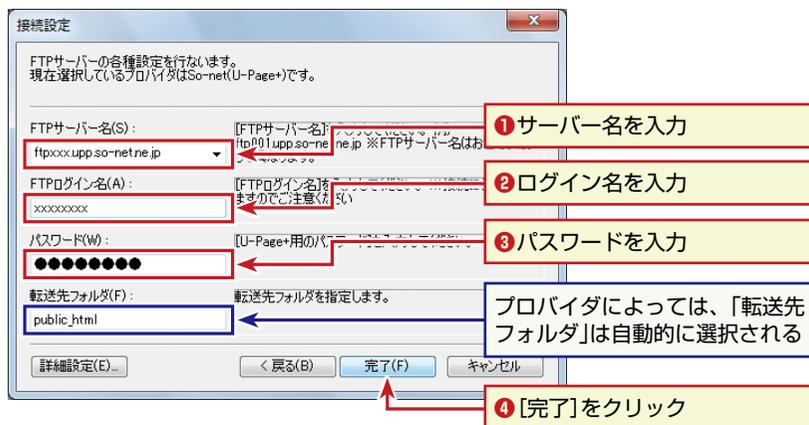
ASAH!ネット(個人フリーアドレス)
ASAH!ネット(個人ホームページ)
BIGLOBE
au one net(auone-netドメイン)
au one net(dionドメイン)
au one net(newwebドメイン)
I!J4U
interQ MEMBERS
OCN Page ON
OCN (D) Page ON
ODN
hi-ho
SANNET
So-net(U-Page+)
Yahoo!ジオシティーズ
ホーム・ドメイン・インターネット
ぷらら
リムネット
BBplus

ホームページアドレス(U):

URL文字の挿入(U...)

その他]を選択

4 接続設定情報を入力します。



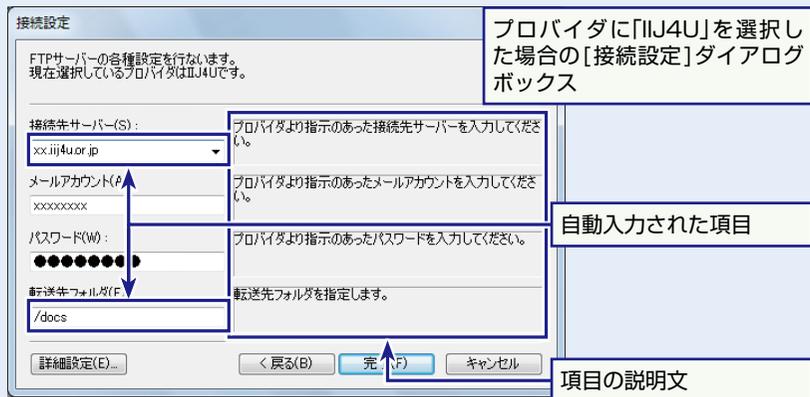
関連情報

必要な情報の入手方法

ホームページ開設に必要な情報は、プロバイダとの契約時に、メールなどで通知されています。わからない場合は、プロバイダのサポートに問い合わせてください。

関連情報

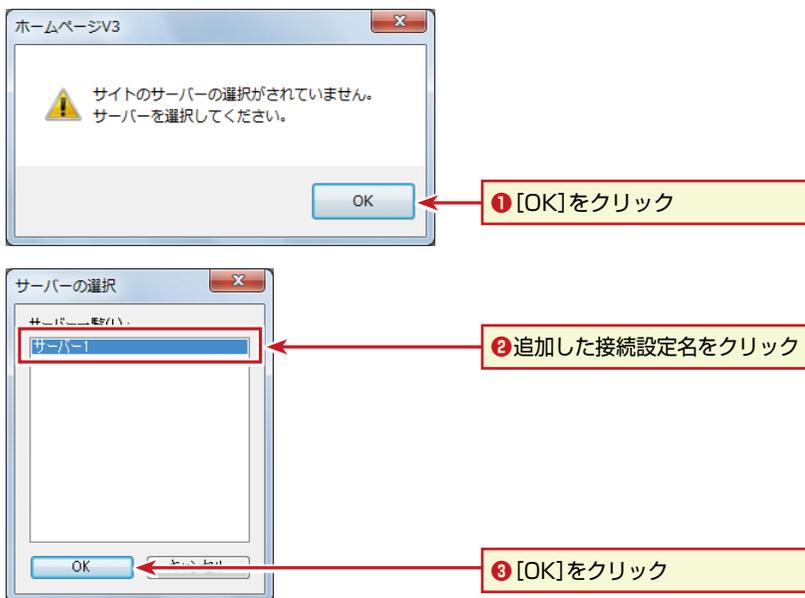
[接続設定]ダイアログボックスで表示される項目名と各項目の説明文、および自動入力される内容は、手順3で選択したプロバイダによって異なります。



5 設定を確定します。



6 サイトのサーバーを選択します。



関連情報

サイトのサーバーとは

ここでは、追加された接続設定を、作成されたホームページの関連ファイルを転送するサイトとして登録します。接続設定は複数作成し、切り替えることが可能なため、操作の最後にサイトのサーバーの選択が必要となります。

後で、別のサーバーに転送しなくなった場合は、[ファイル]メニュー内の[サイトの設定]を選択し、[インターネット]から「サーバーの選択」でサーバーを変更することができます。

セクション
21

サイトを転送する

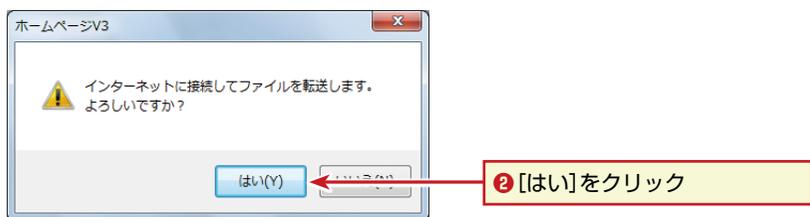
接続設定を追加できたら、実際にサーバーに接続し、ホームページを転送しましょう。ホームページは複数のファイルやフォルダから構成されています。ここではホームページ全体を転送します。

1 [サイト公開]タブに切り替えます。

★ ホームページの転送は[サイト公開]タブで行ないます。



2 すべてのファイルを転送します。



関連情報

接続できないときは

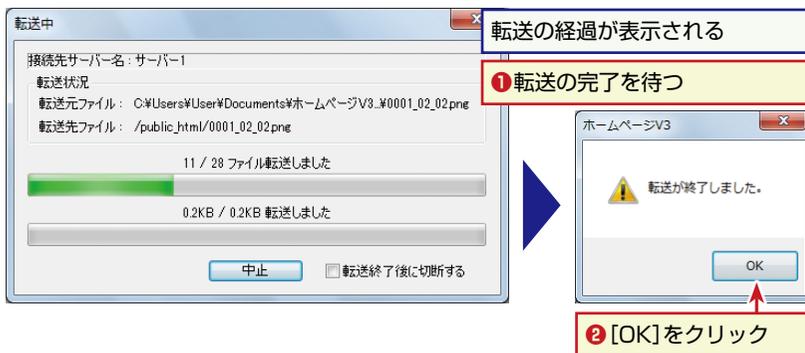
入力した接続情報が間違っている可能性があります。[接続設定]ダイアログボックスを表示し、接続設定名を選択し、[変更]ボタンをクリックします。追加時と同じ画面が表示されるので、設定内容を確認してください。

HINT

スマートフォン用サイトの転送先は？

PC用サイトとの連携を設定したスマートフォン用サイトのファイルの転送を実行すると、転送先フォルダの下に「SP」フォルダが自動的に作成され、そのフォルダ内に転送されます。

3 転送を確認します。

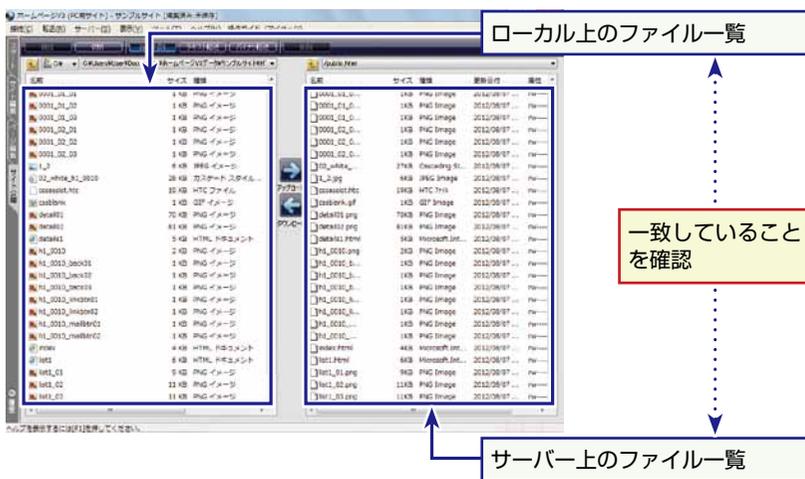


通常、[サイト公開]タブの表示中はサーバーへの接続は維持されます。転送後に切断するには、[転送終了後に切断する]ボックスをチェックしてください。



転送中にインターネットの接続を中止すると、正常に転送できません。転送中は、常にインターネットに接続しておいてください。

4 転送結果を確認します。



転送が正しく行なわれたかを確認するには

[サイト公開]タブの左側のリストの内容がすべて右側のリストにあれば、転送が正しく行なわれたと判断できます。



転送できないファイルがある
プロバイダによっては、1つのファイルの容量や、サーバーにアップする全ファイルの容量が決まっている場合があります。[サイト公開]画面で各ファイルのサイズが、[FTP転送]画面で合計サイズが表示されます。プロバイダの契約内容を確認してください。

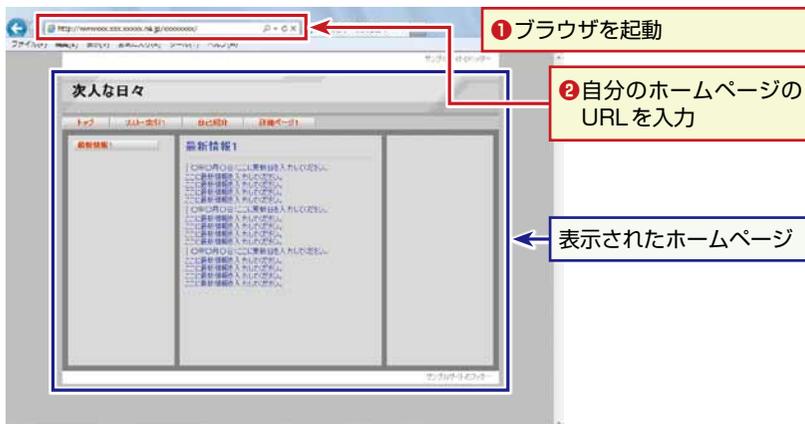


ホームページのURLは？

自分のホームページのURLはプロバイダごとに異なります。詳しくはプロバイダのサイトのヘルプ(マニュアル)を参照するか、プロバイダのサポートに問い合わせてください。

5 実際のホームページを確認します。

★転送が完了したら、ブラウザを使って、でき上がったホームページにアクセスしてみましょう。

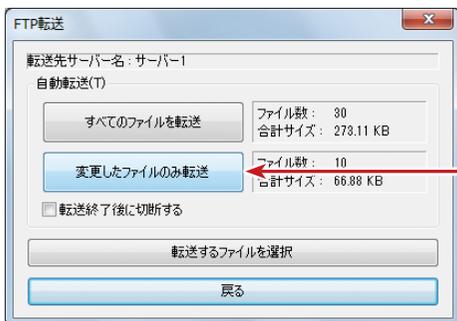


変更したファイルだけを転送する

ホームページに変更を加えた場合は、ホームページ全体を転送するのではなく、変更を加えたページに関連するファイルおよびフォルダだけを転送します。

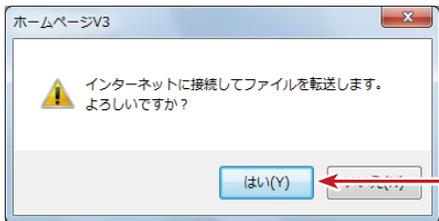
1 ページへの修正が終わったら、[サイト公開] タブをクリックします。

2 変更したファイルだけを転送します。



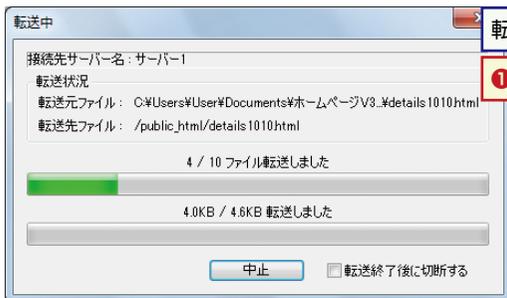
表示された[FTP転送]ダイアログボックス

① [変更したファイルのみ転送] をクリック



② [[はい]をクリック

3 転送を確認します。



転送の経過が表示される

① 転送の完了を待つ



② [OK]をクリック

HINT

自分で転送するファイルや転送先フォルダを選択したいときは、[転送するファイルを選択] から、転送したいファイルを選択することができます。詳しくは、P.80「セクション23 サーバー上にフォルダを作成する」や P.79「コラム：プロバイダのサーバーの賢い利用方法」を参照してください。

HINT

「ホームページV3」は、前回の公開時以降に変更されたページを覚えているので、[変更したファイルのみ転送]のクリック以外の操作は不要です。

関連情報

バイナリ転送とテキスト転送って何?

パソコンのデータにはバイナリ形式とテキスト形式という種類があり、サーバーへデータを転送する場合、データの種類に合った転送方法を指定する必要があります。ただし、通常の場合、「自動判定」を選択しておけば、問題なく転送が行なわれます。

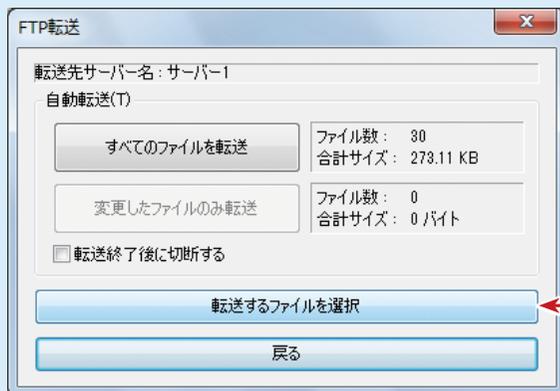
注意!

「ホームページV3」は、自動リンク機能やスタイルシートの変更を反映するため、編集したページ以外のファイルを転送することがあります。

COLUMN

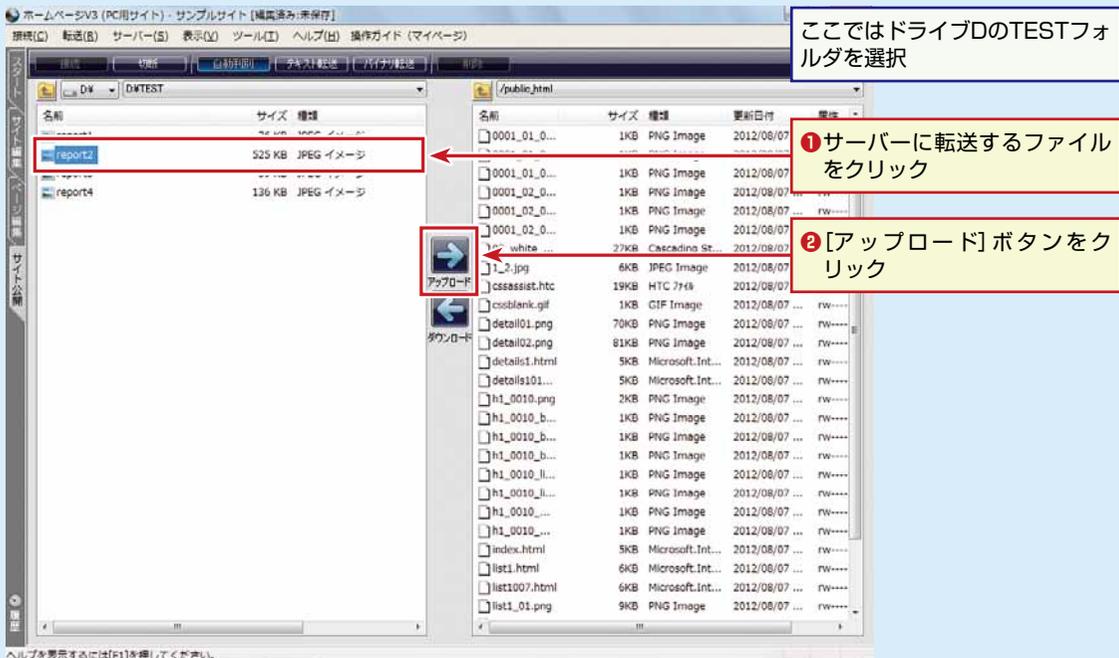
プロバイダのサーバーの賢い利用方法

プロバイダのサーバーは、一種のデータ置き場としても利用できます。例えば、電子メールには添付できない大きなファイルを誰かに送りたい場合など、サーバー経由でやり取りすることも可能です。ファイル単位の転送を行なうには、[FTP転送]ダイアログボックスの「転送するファイルを選択」をクリックしてください。



[転送するファイルを選択]をクリック

そして、[サイト公開]タブの左側のリストボックスを使って目的のファイルの保存されたフォルダを探し、自分のパソコン上(ローカルと呼ぶ)にあるファイルを選択し、[アップロード]ボタンをクリックし、接続の確認ダイアログボックスが表示されたら、[はい]をクリックします。



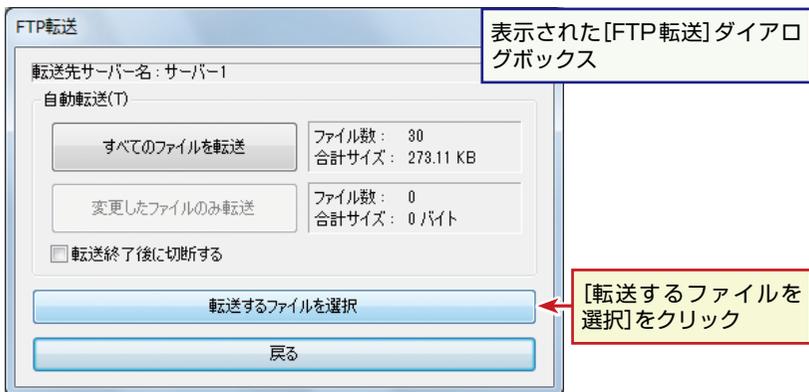
ヘルプを表示するには[F1]を押してください。

サーバー上にフォルダを作成する

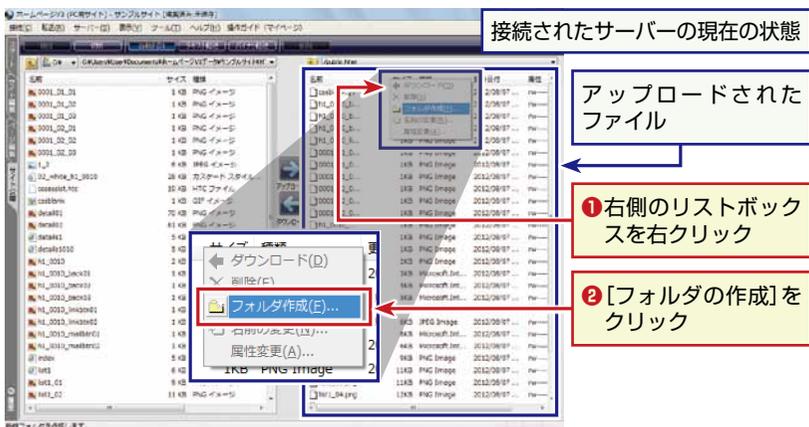
ホームページを転送するサーバーも、自分のハードディスク同様に操作することが可能です。ここでは、サーバー上のファイルやフォルダの操作方法を解説します。

1 ページの修正が終わったら、[サイト公開]タブをクリックします。

2 ホームページの転送を行わずに、サイトに接続します。



3 [新規フォルダ名(ホスト)]ダイアログボックスを表示します。

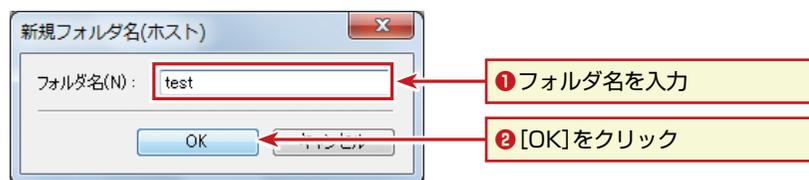


関連情報

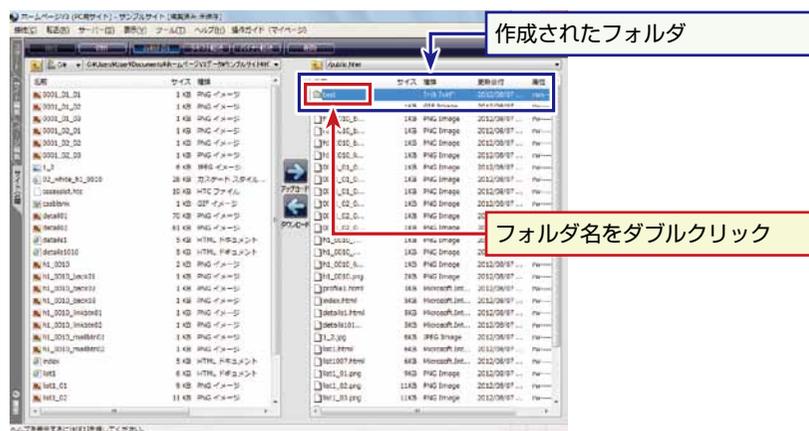
FTP転送って何？

ホームページを転送する際、[FTP転送]ダイアログボックスが表示されますが、このFTPとはFile Transfer Protocolの略語であり、インターネットの世界では広く利用されているファイル転送に関する取り決めの一種です(こうした取り決めにプロトコルと呼びます)。

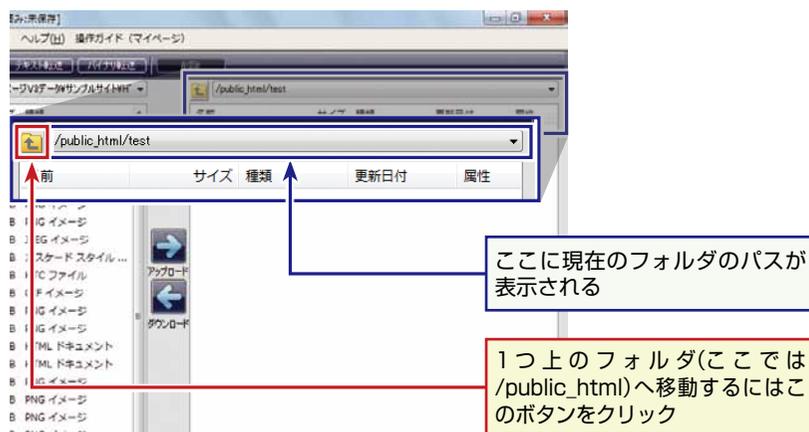
4 新しいフォルダを作成します。



5 新しいフォルダに移動します。



6 フォルダを確認します。



注意!

フォルダ名(ホスト)は半角英数字で入力する必要があります。

関連情報

サーバー上のファイルやフォルダを削除するには
右側のリストで、対象となるファイル(またはフォルダ)を選択し、画面上部の[削除]ボタンをクリックしてください。

HINT

作成したフォルダ内にもファイルを転送することができます。

! この章のまとめ

ホームページを作成するための「ホームページV3」の基本操作を解説しました。新規作成、テキスト・画像の挿入や編集、リンクの作成、ページ名やサイト名の変更方法などホームページ作りに必要な基本テクニックと、完成したホームページをインターネットに公開するまでの一連の流れについて解説しました。

● 新規作成ウィザードとページ編集

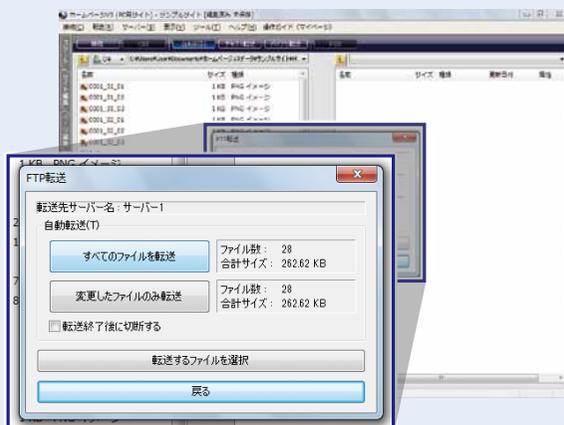
「ホームページV3」では、ホームページの基本部分を、新規作成ウィザードによって、4ステップで新規に作成することができます。



作成したホームページの細部を修正したり、編集することで、オリジナルのホームページにします。

● ホームページをサーバーにアップロード

完成したホームページは、簡単な操作であらかじめ設定しておいたサーバーにアップロードすることができます。難しい用語や操作は不要です。



第3章

サイトの構成を変更する

本章ではページの集まりであるサイトの構成方法を解説します。サイト内でページを増やしたり、削除したり、順番を変えたりすると、それぞれのページの中のリンク先やメニュー表示も変更しなくてはなりません。手作業では大変なこうしたサイト構成の編集も、「ホームページV3」では、視覚的な操作で自動的に変更や修正を行なうことができます。

セクション 24	サイトの構成を理解する	84
セクション 25	ページを追加・複製・削除する	88
セクション 26	ページをインポートする	94
セクション 27	ページの順番を変更する	96
セクション 28	ページに階層を追加する	98
セクション 29	自動リンクをはずす	102
セクション 30	サイトの設定を変更する	104
セクション 31	転送の設定を変更する	108
	この章のまとめ	110

サイトの構成を理解する

サイトの構成の確認および変更は、[サイト編集]タブで行ないます。まずは、「ホームページV3」が作成するサイトの構成を確認しましょう。

● [サイト編集]タブに表示されるサイトの構成

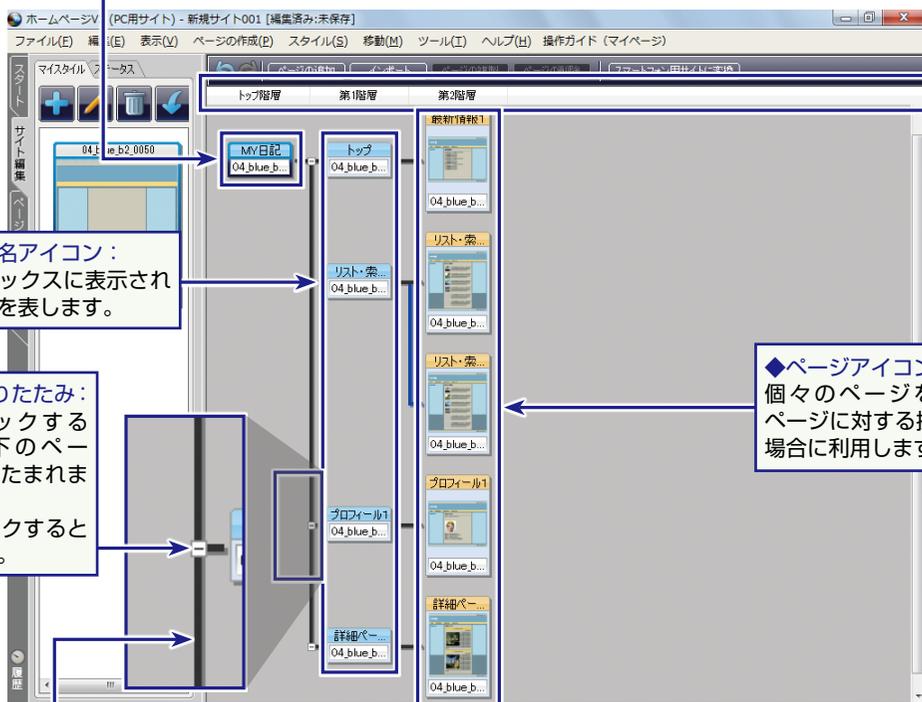
サイトの構成とは、ホームページ全体にどのようなページが含まれ、それぞれのページがどのような関係で結び付いているかを表しています。

ホームページにアクセスしたときに最初に表示されるページを「トップ」(または「ホーム」)と呼びます。その他のページには、メニューやリンクによって移動します。以下の例では、ホームページは5つのページで構成され、1番上のページ(「最新情報」)が「トップページ」に設定されています。

◆サイト名アイコン：

サイトを表し、サイト全体に対する操作を行なう場合に利用します。例えば、ホームページ全体へスタイルを適用する場合は、このアイコンにスタイルをドラッグ&ドロップします。

◆階層：
階層名が表示されます。



◆メニュー名アイコン：
メニューボックスに表示されるアイテムを表します。

◆展開・折りたたみ：
[-]をクリックすると、その下のページが折りたたまれます。
[+]をクリックすると展開します。

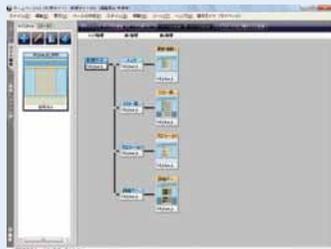
◆自動リンクの状態：
アイコンをつなぐ線が黒線の場合、自動リンクが設定されています。青線の場合は自動リンクが解除されています。

◆ページアイコン：
個々のページを表します。ページに対する操作を行なう場合に利用します。

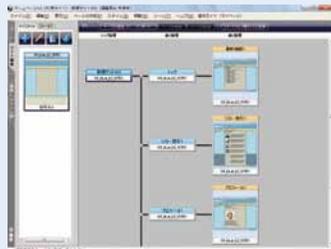
HINT

[表示]メニュー内の[表示サイズ]からサイト編集画面に表示されるアイコンの大きさが変更できます。

表示サイズ[小]



表示サイズ[大]



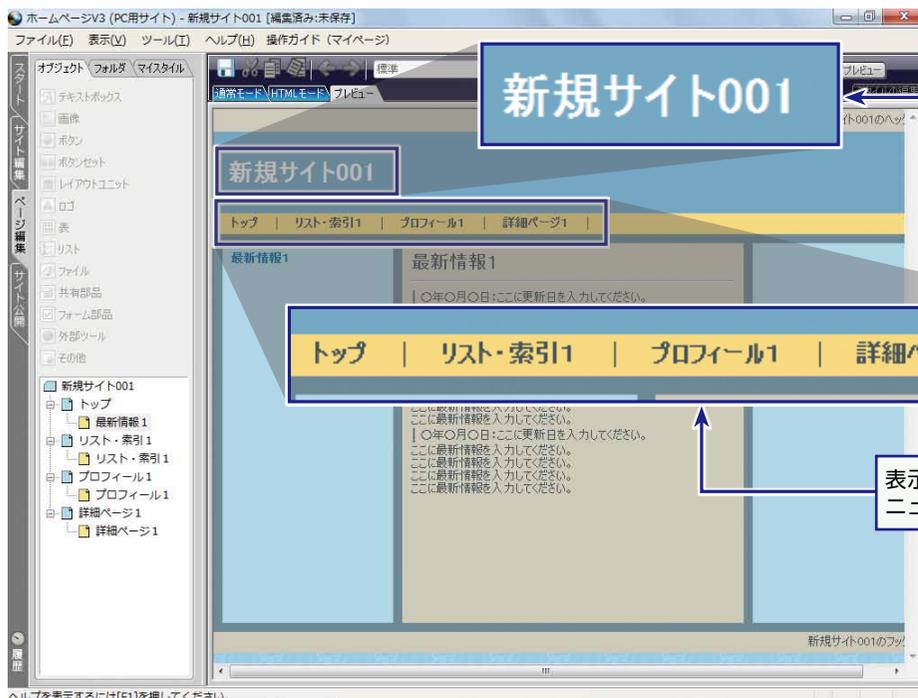
また、[表示]メニューの[サムネイル]を選択し、サムネイルの表示・非表示を切り替えることができます。

サムネイル非表示



HINT

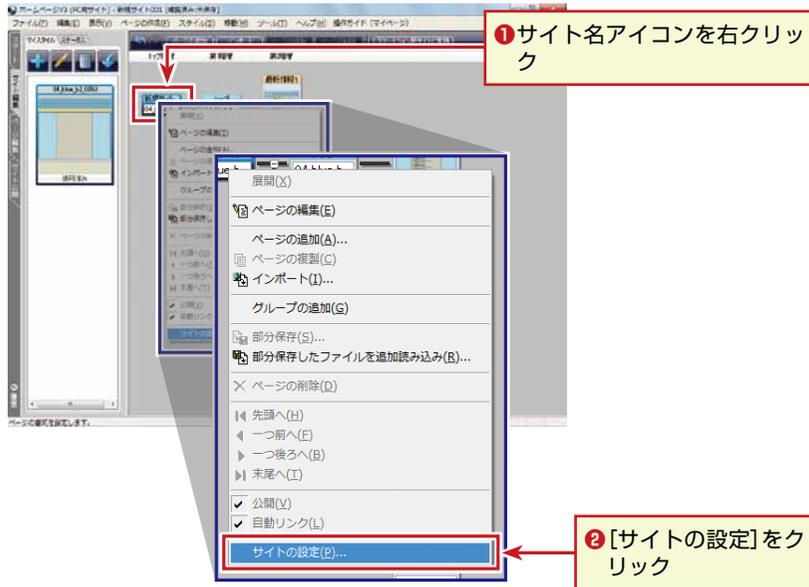
ページの追加や削除などの一部の操作は、メニュー名アイコン、ページアイコンのいずれに対して行なっても、同じ結果になります。



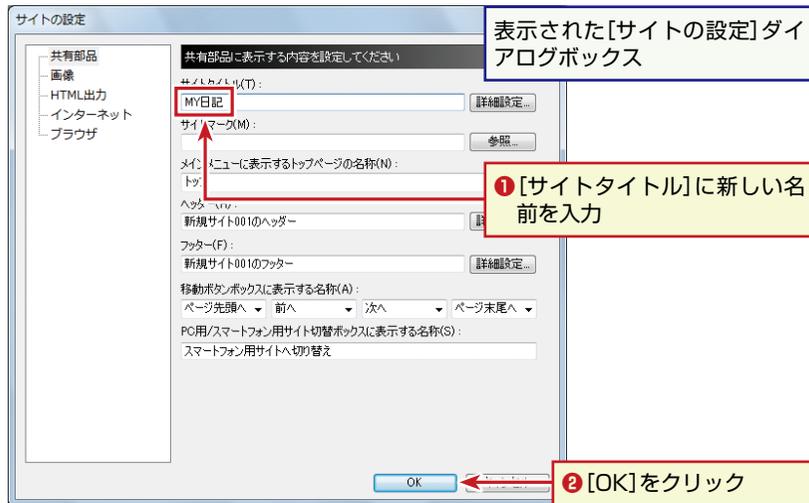
ヘルプを表示するには[F1]を押してください。

● サイト名を変更する

1 [サイトの設定]ダイアログボックスを表示します。



2 新しいサイト名を指定します。



関連情報

[ステータス]タブ

[サイト編集]タブのマネージャーの[ステータス]タブには、右側のエリアで選択されたページに関する情報(タイトル、概要、検索ワード、ファイル名など)が表示されます。

関連情報

サイトタイトルとは

サイト全体の名称であり、共有部品「サイトタイトルボックス」によって表示されます。サイト作成時、[新規作成]ダイアログボックスの[サイト名]に指定した名前がサイトタイトルとなりますが、いつでも変更することができます。

関連情報

サイトマークとは

サイトマークとは、ホームページのシンボルとなる画像です。サイトマークに指定された画像は、共有部品「サイトマークボックス」によって表示されます。

3 変更後のサイト名を確認します。



4 ページ上のサイトタイトルボックスの表示を確認します。



関連情報

横メニュー名を変更する

メニュー名には、通常、ページ名がそのまま表示されますが、別の名称を指定することも可能です。メニュー名アイコンを右クリックし、[ページ名の設定] をクリックしてください。トップページ以外のページの場合、[ページ名] チェックボックスをオンにすることで、名前の入力が可能になります。

注意!

[サイトの設定] ダイアログボックスでサイト名を変更しても「ホームページV3」フォルダ内のフォルダ名は変更されません。[スタートアップウィザード] からファイルを開くときは、最初につけたサイト名を選択する必要があります。

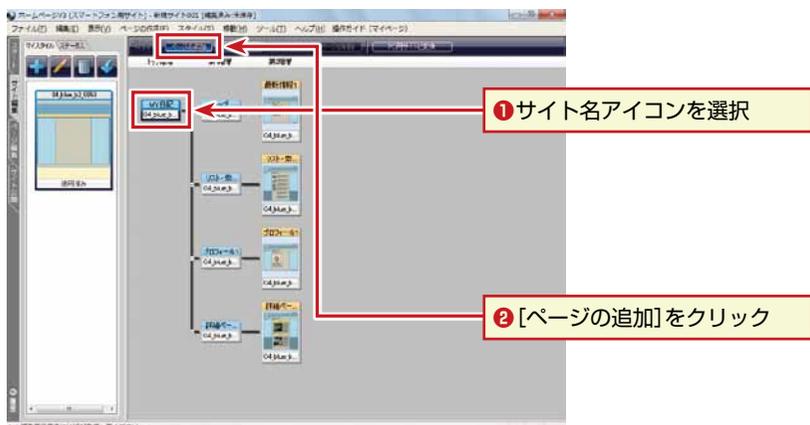
セクション
25

ページを追加・複製・削除する

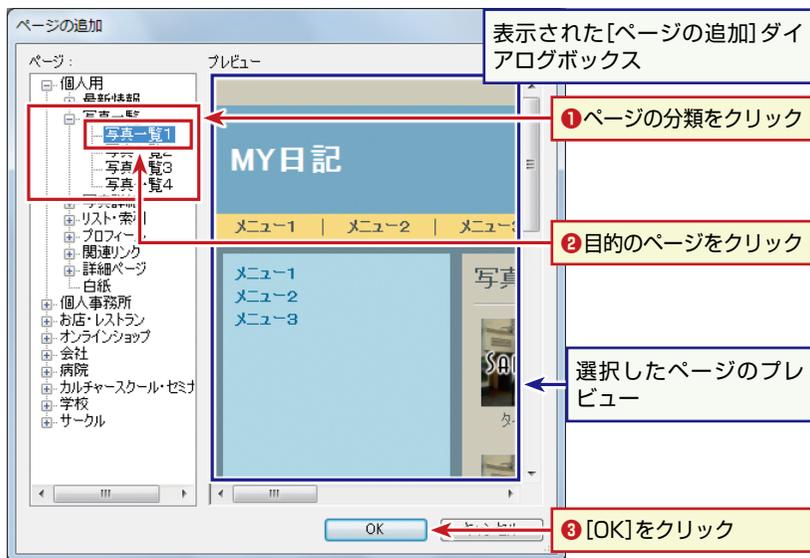
新しいページの追加や削除は簡単に行なえます。また、既存のページを複製し、そのページをベースに新しいページを作成することも可能です。

● ページを追加する

1 [ページの追加] ダイアログボックスを表示します。



2 追加するページを選択します。



HINT

最初を選択するアイコンによって、追加されるページの挿入位置が決まります。サイト名アイコンではなく、メニュー名アイコンを選択すると、メニューの下の記事と同階層の記事が追加されます。ページアイコンを選択すると、そのページの下位に新しいページが追加されます。

関連情報

横メニューへのページの自動追加

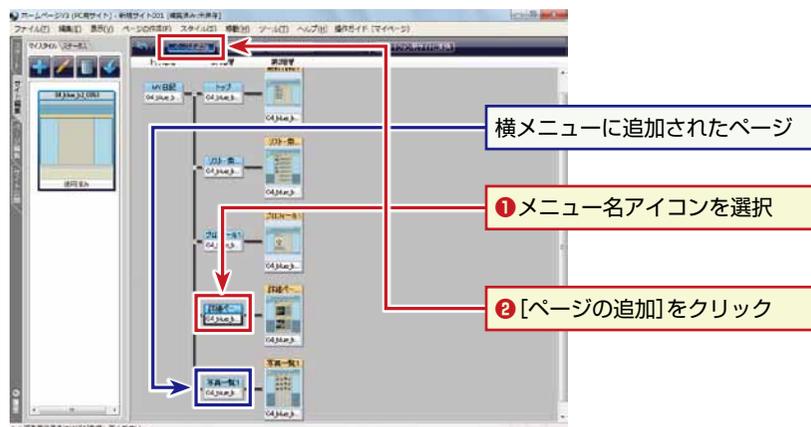
サイトの最上位に追加されたページは、横メニューに自動的に追加されます。メニューに追加したくない場合は、P.102「セクション29 自動リンクをはずす」を参照してください。

HINT

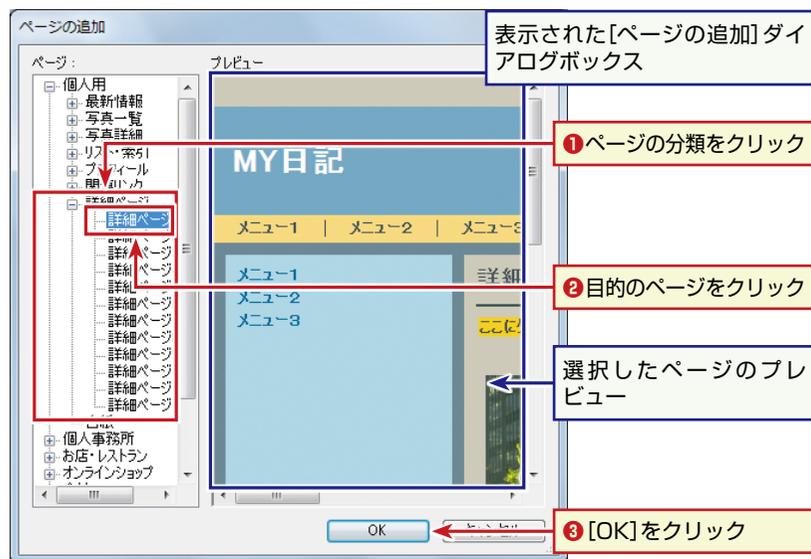
[ページの追加] ダイアログボックスでプレビューを広げて表示したい場合はダイアログボックス右下をドラッグするとダイアログボックスのサイズを変更できます。

3 [ページの追加]ダイアログボックスを表示します。

★今度は、階層の最上位に、横メニューには表示されない(縦メニューに表示される)新しいページを追加します。



4 追加するページを選択します。



関連情報

[横メニューボックス]とは
[横メニューボックス]には、メニュー名アイコンに表示される名前が表示されます。初期設定では、レイアウトエリアの[メニューバー]内に配置されています。他のレイアウトエリアにも配置することができます。

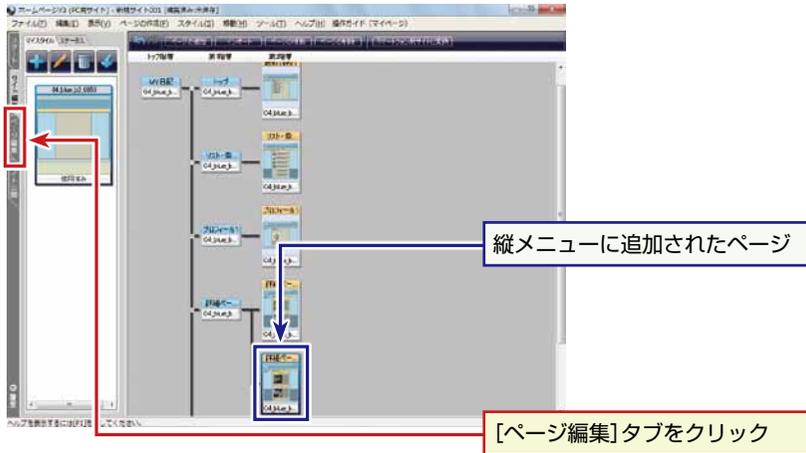
関連情報

[縦メニューボックス]とは
[縦メニューボックス]には、メニュー名アイコンの下の階層のページ名が表示されます。初期設定では、レイアウトエリアの[サイド1]に配置されています。他のレイアウトエリアにも配置することができます。

HINT

[ページの追加]ダイアログボックスでプレビューを広げて表示したい場合は、ダイアログボックス右下をドラッグするとダイアログボックスのサイズを変更できます。

5 追加されたページを確認します。



6 ページ追加の結果をプレビューします。



関連情報

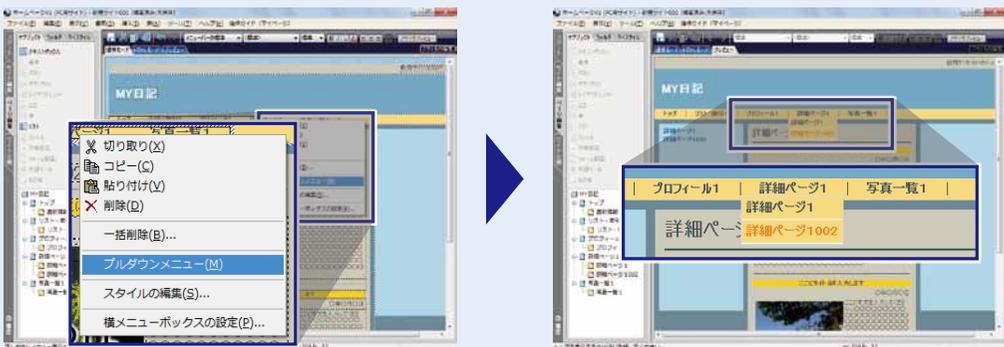
すでにあるHTMLファイルを追加するには
「ホームページV3」では、すでに作成しているHTMLファイルも読み込むことが可能です。詳しくは、P.94「セクション 26 ページをインポートする」を参照してください。

関連情報

縦メニューボックスに表示されるページ

縦メニューボックスに複数のページ名が表示される場合、縦メニューの先頭のページは横メニューに名前が表示され、ページに直接ジャンプできますが、その他のページは縦メニューからのみ表示が可能です。

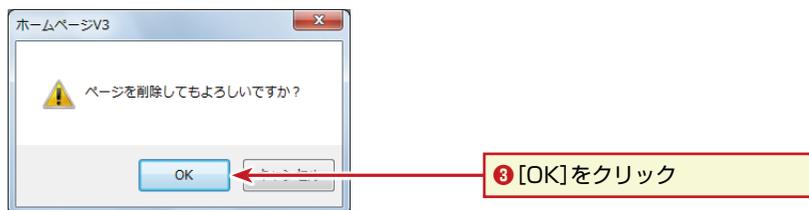
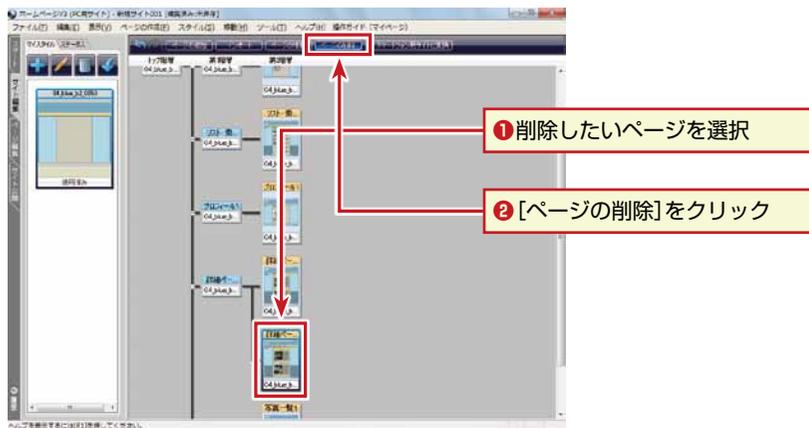
これらのページを横メニューから選択できるようにするには、横メニューボックスを右クリックし、「プルダウンメニュー」を選択します。



● ページを削除する

7 ページを削除します。

★ここでは先に追加したページを削除します。



8 削除の結果を確認します。



注意!

ページの削除は、1ページ単位で行なう必要があります。サイト名アイコン、メニュー名アイコンからは削除することはできません。

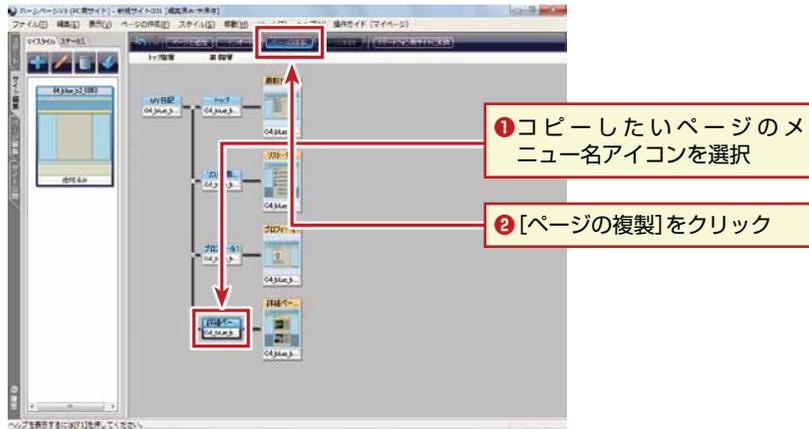
HINT

メニュー名アイコンの下にページが1つしかない場合にページを削除すると、メニュー名アイコンも削除されます。

● ページを複製する

9 横メニューボックスに表示されるページを複製します。

★ここでは横メニュー名と同じ階層のページを複製します。



⚠ 注意!

ページの複製の場合も、メニュー名アイコンを選択するか、ページアイコンを選択するかで、複製されるページの階層における扱いは異なります。ページアイコンを選択する場合、そのページと同じメニューの下にページが複製されます。

💡 HINT

メニュー名アイコンの下に複数のページがある場合は、すべてのページが複製されます。

📖 関連情報

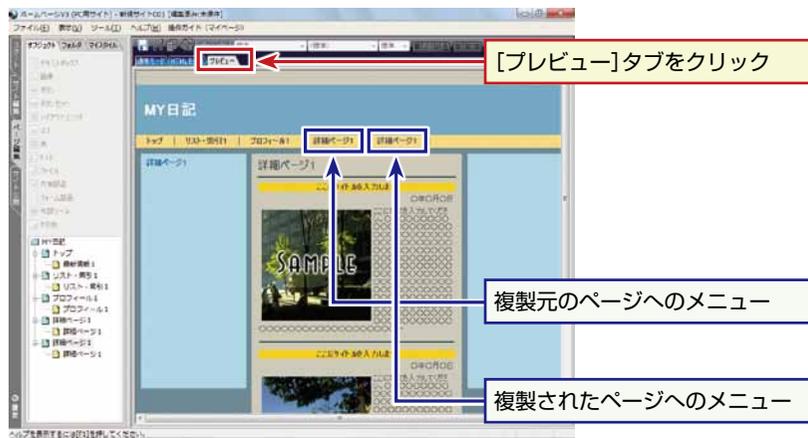
ページを複製するメリット

同じようなフォーマットのページを複数作成する場合、新たなページを追加して、そこに手を加えるよりも、既存のページを複製して、修正する方が時間と手間の短縮につながります。

10 複製の結果を確認します。



11 複製の結果をプレビューします。



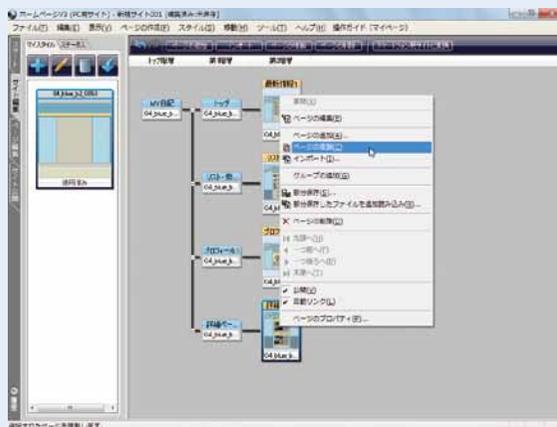
注意!

複製されたページは、同じ名前
で複製されているので、複製後
は名前を変更してください。

関連情報

右クリックメニューの利用

アイコンを右クリックして、ショートカットメニューから[ページの追加]、[ページの削除]、[ページの複製]などを選択することも可能です。

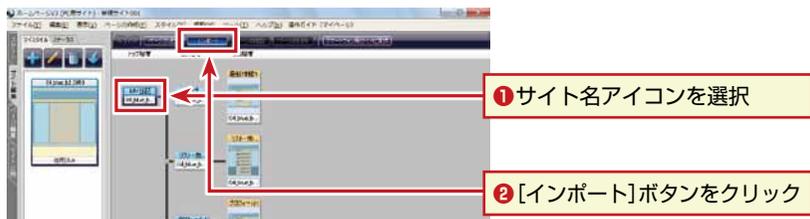


ページをインポートする

インポートとは、パソコン内に保存されている他のサイトのページを取り込むことです。ここではページのインポート方法を解説します。

1 [インポート]ダイアログボックスを表示します。

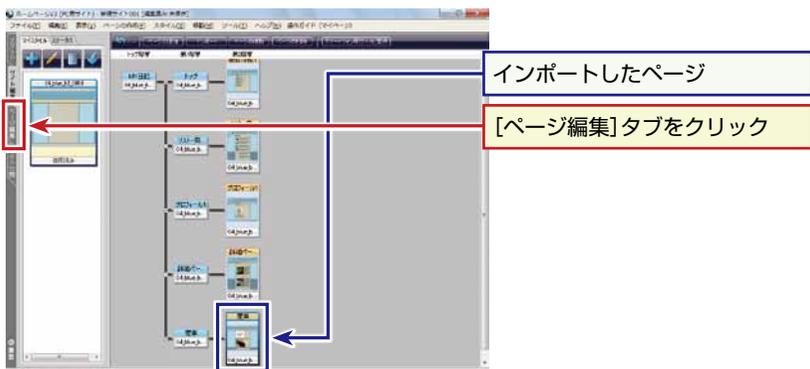
★ここでは、横メニューに表示されるようにページをインポートします。



2 インポートするページを選択します。



3 インポートしたページを確認します。



HINT

最初に選択するアイコンによって、インポートされるページの挿入位置が決まります。メニュー名アイコンを選択してインポートすると、メニュー名アイコンの下のページと同階層にページがインポートされます。ページアイコンを選択すると、そのページの下に新しいページがインポートされます。

関連情報

サイト名アイコンを右クリックした場合も「インポート」が選べます。

関連情報

インポートされる対象は？

ページ本体はHTMLファイルですが、ページに表示される画像などは別ファイルとして存在し、HTMLファイルから参照されます。これらの画像も自動的にインポートされますが、スタイルシートはインポートされません。

4 インポートしたページをプレビューします。



インポートしたページ。
オリジナルのスタイルシートではなく、作業中のサイトのスタイルシートが適用される

関連情報

他のホームページ作成ソフトで作成したページのインポート

他のホームページ作成ソフトで作成したページも、同様にインポートできますが、すべてのコンテンツが「メイン」エリアに読み込まれるため、レイアウトの修正が必要となることもあります。具体的な取り込み方法については、P.224「セクション62「ホームページ・ビルダー」で作成したファイルを取り込む」を参照してください。

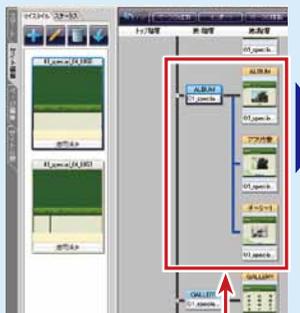
また、「ホームページV3」で作成したページであっても、適用されているスタイルシートはインポートされません。「ホームページV3」で作成したページを、そのスタイルと一緒に、他のサイトで利用したければ、本ページの「コラム：サイトの部分保存と部分保存したページの追加」を参照してください。

COLUMN

サイトの部分保存と部分保存したページの追加

ホームページV3で作成するサイトの一部分(特定のページまたはサブページを含む階層全体)を保存することが可能です。部分保存されたデータは、他のサイトに簡単に追加することができます。部分保存の場合、ページに適用されているスタイルも自動的に保存・追加されます。部分保存を行うには、[サイト編集]画面で、保存したいページアイコン(またはメニュー名アイコン)を右クリックして、[部分保存...]を選択します。追加する場合は同様に、[部分保存したファイルを追加読み込み...]を選択します。

サイト A

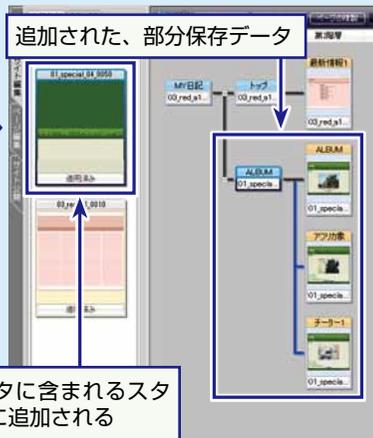


ALBUMメニューに関連付けられたページをまとめて部分保存する

サイト B



この位置に部分保存しておいた「ALBUM」メニュー一式を追加する



追加された、部分保存データ

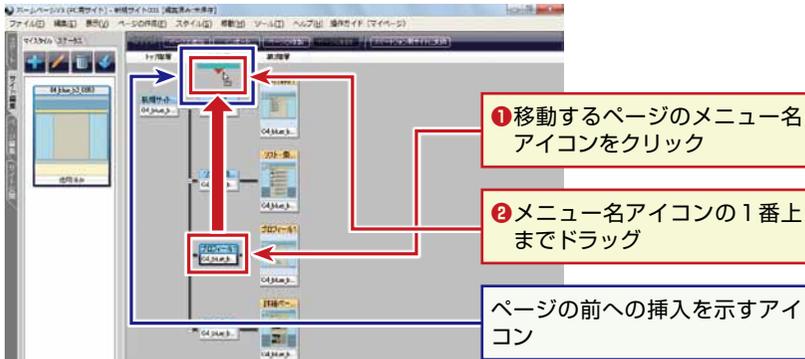
部分保存データに含まれるスタイルも自動的に追加される

ページの順番を変更する

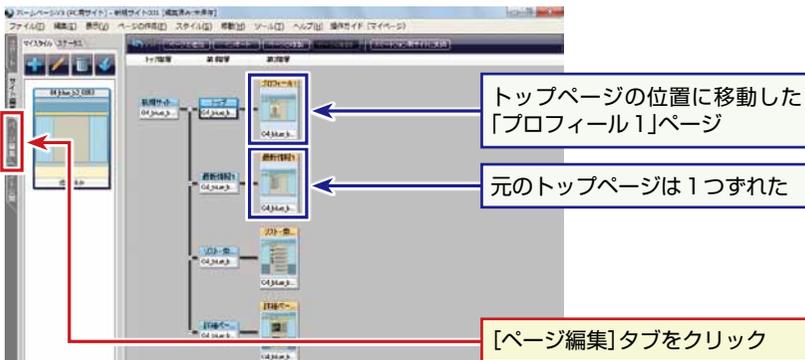
サイトにおけるページの位置を移動することも可能です。ここではドラッグ&ドロップによるページの順番の変更方法を紹介します。

1 トップページを変更します。

★ここでは、横メニューの3番目に表示される「プロフィール1」ページをトップページに切り替えてみましょう。



2 移動の結果を確認します。



3 横メニューの状態をプレビューします。



関連情報

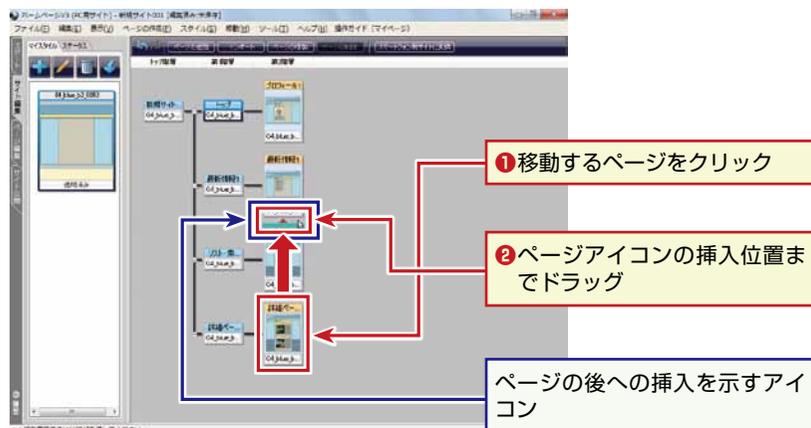
挿入アイコンの位置に注意

ページの追加や複製と同様、ページの移動においても、挿入の位置は重要です。メニュー名アイコンに対する挿入か、ページに対する挿入かで、その後のサイト構成が決まります。横メニューボックスに表示されるページ名の順番を変えたい場合は、メニュー名アイコンの上下に挿入アイコンを移動してください。挿入アイコンの向きについてはP.98「関連情報：挿入アイコンについて」を参照してください。

HINT

トップページを除き、横メニュー名は、メニュー名アイコンの下の、ページの1番上のページ名が反映されます。

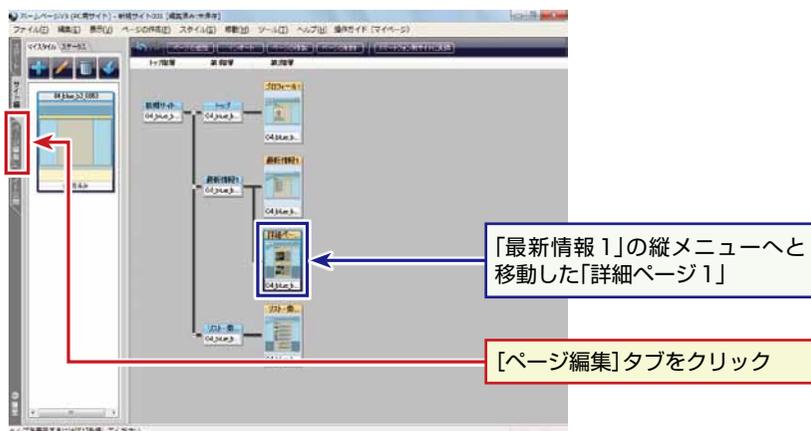
4 「詳細ページ1」を「最新情報1」の縦メニューに移動します。



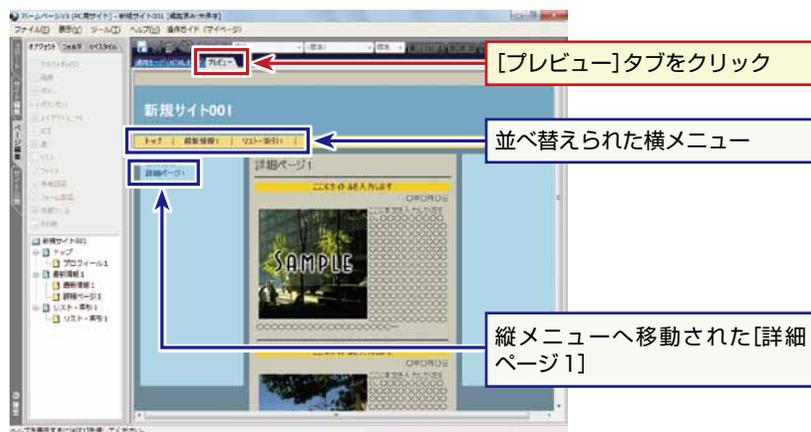
注意!

ページとページの間には挿入する場合、ページの前または後を示す挿入アイコンの向きに注意してください。挿入アイコンの向きについてはP.98「関連情報：挿入アイコンについて」を参照してください。

5 移動の結果を確認します。



6 縦メニューの状態をプレビューします。



関連情報

縦メニューに表示されるページを横メニューに戻す

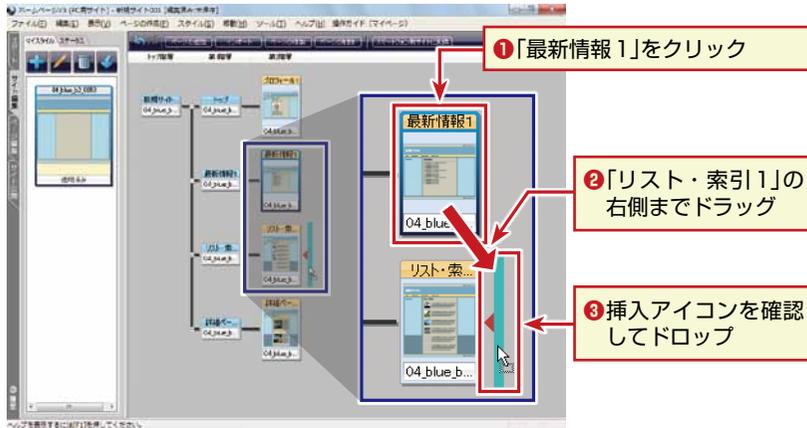
【サイト編集】画面で移動したいページを選択し、メニュー名アイコンの上下にドラッグし、挿入アイコンが正しく表示されたらマウスボタンをはなしてください。

ページに階層を追加する

本の目次のように、サイトの構成を階層化することで、情報がわかりやすく整理されたホームページができていきます。

1 「最新情報1」を「リスト・索引1」の下位へ移動します。

★ここでは「リスト・索引1」の下に「最新情報1」と「最新情報2」がぶら下がるような構造のサイトを作成します。



関連情報

挿入アイコンについて

移動しようとするページが、挿入アイコンの指し示すページとどのような位置関係になるかは、以下の通りです。この位置関係は、メニューボックスの並び順に反映されます。



同じ階層の上位に挿入されます

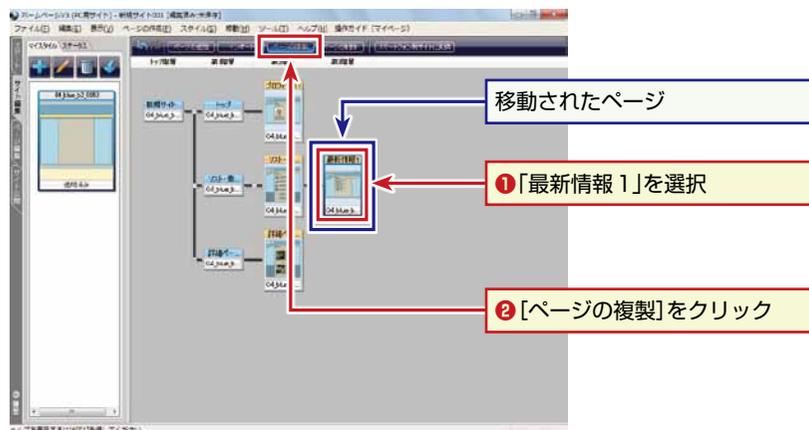


同じ階層の下位に挿入されます



直下の階層に挿入されます

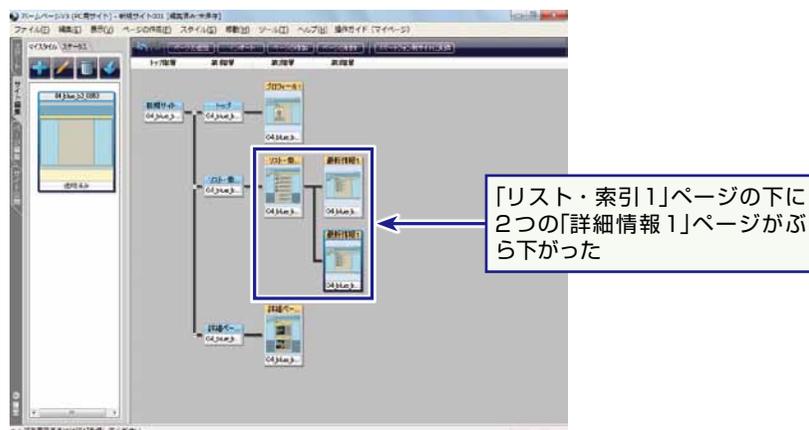
2 詳細ページを複製します。



HINT

ページの複製については、P.88「セクション25 ページを追加・複製・削除する」を参照してください。

3 複製の結果を確認します。

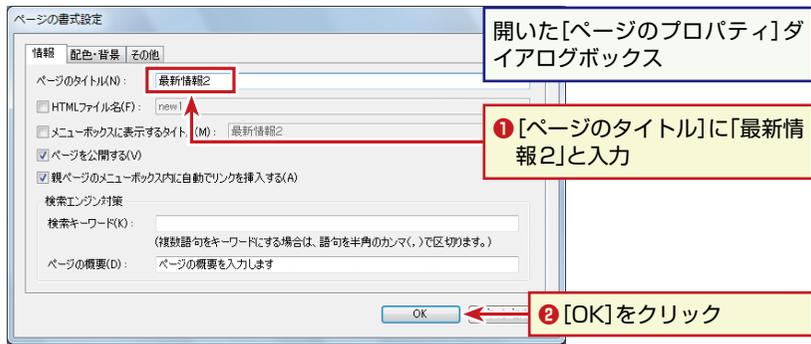


4 [ページのプロパティ]ダイアログボックスを表示します。

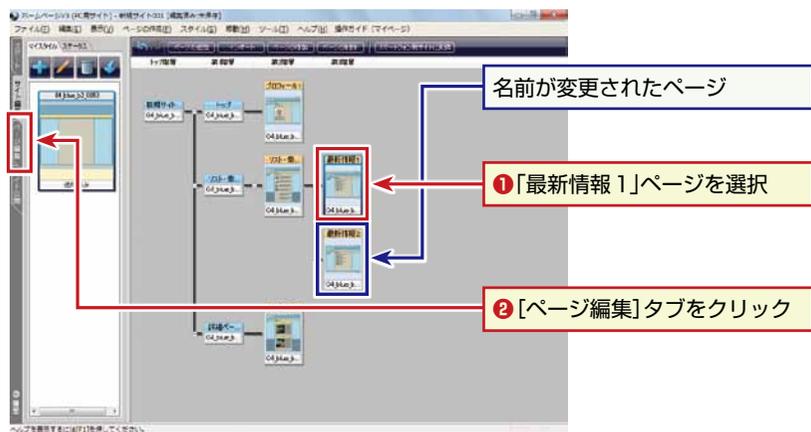
★複製されたページの名前を「最新情報2」に変更します。



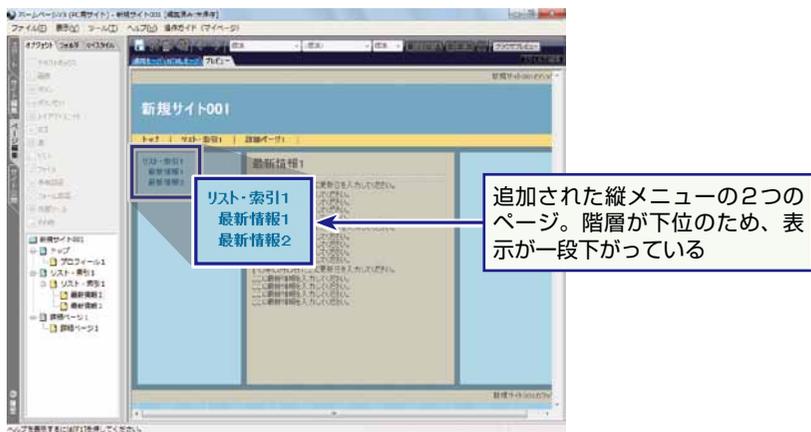
5 ページの名前を変更します。



6 縦メニューボックスを確認します。



7 ページをプレビューします。



関連情報

縦メニューボックスの追加

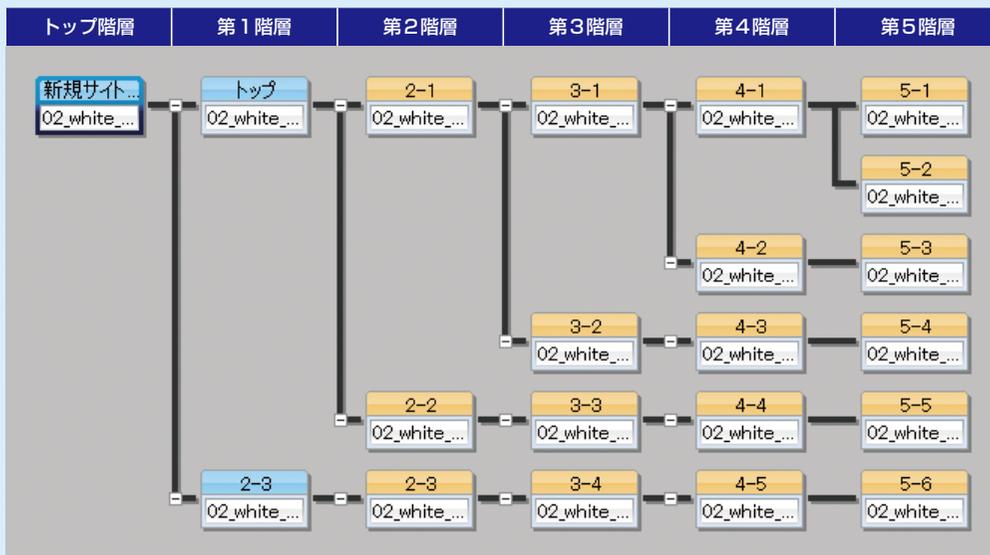
縦メニューボックスは、「サイド1」エリアに最初から用意されています。「サイド1」以外の位置（「サイド2」など）に表示したい場合は、[ページ編集]画面の[オブジェクト]タブの[共有部品]の[縦メニューボックス]をクリックして、縦メニューボックスを追加してください。

COLUMN

ページの階層と縦メニューの設定

ページは何段階にでも階層化できます。階層化されたページの、縦メニューでの表示方法はさまざまにアレンジすることができます。表示方法は、[縦メニューボックスの設定] ダイアログで設定します。

表示階層の設定と縦メニューの表示例



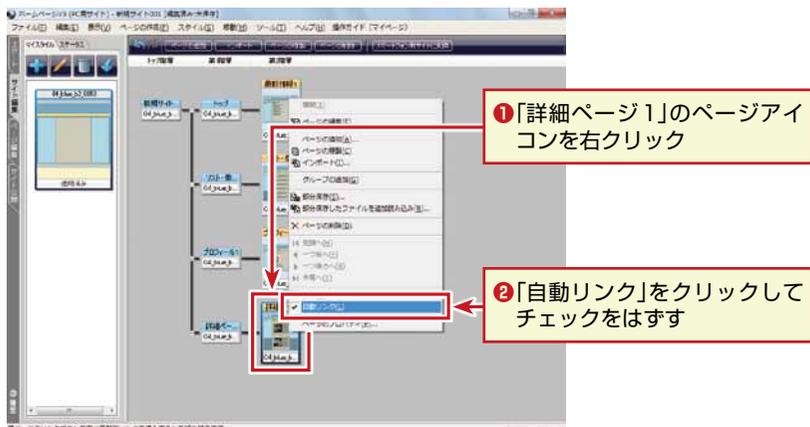
	ページ2-1での表示	ページ3-1での表示	ページ4-1での表示	ページ5-1での表示
<p>起点の階層のみ表示： 表示しているページが属する起点の階層とその兄弟階層だけを表示します。 (例：第2階層を起点)</p>				
<p>階層をすべて表示： 表示しているページが属する起点の階層以下の階層およびその兄弟階層と、表示しているページの直下の1階層を表示します。 (例：第2階層を起点とし、[すべてを開いて表示]がオフの場合) ※[表示階層数]で表示する上位階層数を指定できます。</p>				
<p>直系の階層のみ表示： 表示しているページの直系の上位階層(起点の階層以下)および直下の1階層と、兄弟の階層を表示します。 (例：第2階層を起点) ※[表示階層数]で表示する上位階層数を指定できます。</p>				
<p>表示項目を選択して指定： 選択したページを表示します。サイト内の任意のページを選択することができます。</p>				

自動リンクをはずす

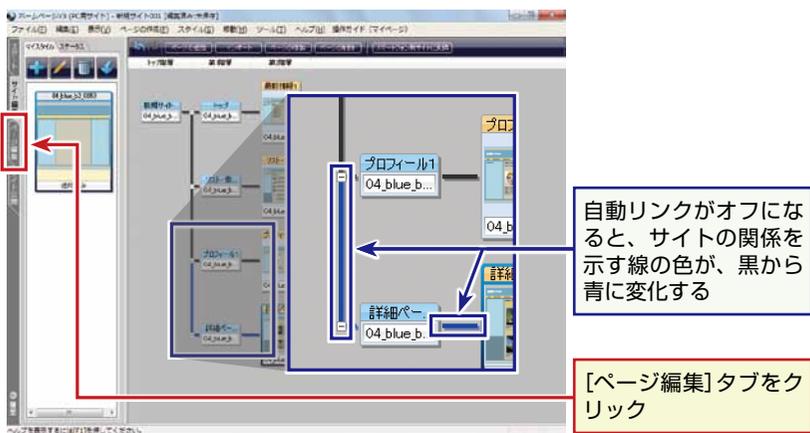
新しいページを追加すると、そのページ名が自動的にメニューに表示される機能を「自動リンク」と呼びます。ここでは、この機能をオフにする方法を解説します。

1 メニューへの自動リンクをはずします。

★「詳細ページ1」が横メニューに表示されないようにします。



2 メニューを確認します。



関連情報

自動リンクを再設定する

自動リンクはON/OFFの設定ができるようになっています。もう1度、ページを右クリックし、[自動リンク]をクリックすることで、このページは再びメニューに表示されます。



関連情報

ページの公開

作成したページ(あるいは作成途中のページ)を一時的に非公開にするには、ショートカットメニューの[公開]を選択し、チェックをはずしてください。非公開にすると、サイトとの関係を示す線の色が赤に変わります。ただし、そのページはサイトに転送しても公開されませんので注意してください。

3 ページをプレビューします。



COLUMN

メニューに表示されないページへのアクセス方法

●リンクを用意する

メニューに表示されないページへのリンクを作成することで、そのページへのアクセス手段を用意することが可能です。例えば、「索引・リスト1」ページのサムネイル画像に「詳細ページ1」へのリンクを挿入することが可能です。

ページ間の移動には、「ページ」リンクまたは「進行」リンクが利用可能です。リンクの挿入手順については、P.64「セクション16 画像やボタンにリンクを設定する」を参照してください。

●共有部品「移動ボタンボックス」を利用する

ページに「移動ボタンボックス」を追加すると、同じ階層の次のページへと移動するためのボタンが自動的に表示されます。「移動ボタンボックス」を利用する場合、サイト構成およびページの順番が重要な意味を持ちます。「[サイト編集]」画面では表示したいページから順に上から並べるようにしましょう。「移動ボタンボックス」の設定方法は、P.162「セクション48 移動ボタンボックスを設置する」を参照してください。

注意!

「通常モード」では、挿入された移動ボタンボックスは小さな点線のボックスとして表示されます。実際の効果を確認するには、プレビューに切り替えてください。

●URLを直接入力する

アクセス手段をまったく用意しなくても、ページのURLを直接入力することで、ページを表示できます。ページのファイル名は、「[サイト編集]」タブの「ステータス」タブで確認できます。

例：

www.sample.co.jp/mysite/details1.html

ページのファイル名

他のユーザーにページが存在を知らせず、自分だけがアクセスできるようにしたい場合などには、この方法をおすすめします。

サイトの設定を変更する

サイトに関する設定は[サイトの設定]ダイアログボックスで行ないます。ここでは、このダイアログボックスの機能と操作方法を解説します。

[サイトの設定]ダイアログボックスを開きます。
メニューバーの[ファイル]から[サイトの設定]をクリックします。

◆[サイト編集]画面の[ファイル]メニュー



◆[ページ編集]画面の[ファイル]メニュー



● 共有部品

以下の共有部品が表示する文字列(または画像)を指定します。

- ・ **サイトタイトル**：サイト名となる文字列を指定します。
- ・ **サイトマーク**：サイトの画像ファイルを指定します。
- ・ **メインメニューに表示するトップページの名称**：サイトのトップページを横メニューに表示する際の名称を指定します。
- ・ **ヘッダー**：ヘッダーとなる文字列を指定します。
- ・ **フッター**：フッターとなる文字列を指定します。
- ・ **移動ボタンボックスに表示する名称**：移動ボタンに表示する文字列を指定します。
- ・ **PC用/スマートフォン用サイト切替ボックスに表示する名称**：PC用とスマートフォン用のサイトを切り替えるボタンに表示する文字列を指定します。



関連情報

サイトマークについては、P.84「セクション24 サイトの構成を理解する」を参照してください。

関連情報

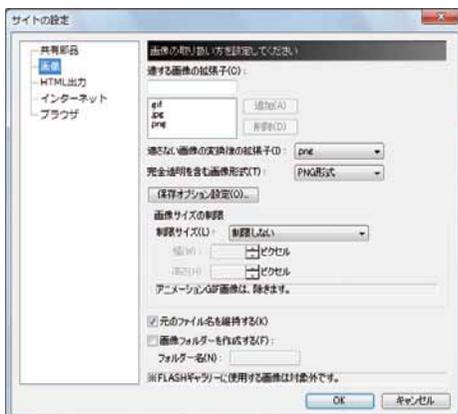
タイトルの変更

ページタイトルは、ページごとに異なり、サイトに共通する要素ではないため、各ページの[プロパティ]ダイアログボックスで指定します。

● 画像

画像ファイルの取り扱いを設定します。

- ・ **適する画像の拡張子**：サイトでの表示に適した画像ファイル形式です。gif、jpg、pngはデフォルトで表示可能です。
- ・ **適さない画像の変換後の拡張子**：サイトでの表示に適さない画像を変換する形式です。gif、jpg、pngから選択します。
- ・ **完全透明を含む画像形式**：適さない画像が完全透明を含んでいる場合、変換後の画像に透明処理をしたい場合は「GIF形式」か「PNG形式」を、透明処理しない場合は「指定しない」を選択します。
- ・ **[保存オプション設定]**：[適さない画像の変換後の拡張子]で選択したファイル形式の変換の詳細設定を行います。形式ごとに色数や圧縮率、減色処理などを設定できます。
- ・ **画像サイズの制限**：大きい画像によりページの表示速度が遅くならないように、サイズを制限することができます。
- ・ **元のファイル名を維持する**：画像のファイル名を変換しません。
- ・ **画像フォルダーを作成する**：画像をまとめて入れておくためのフォルダを作成します。



通常のプロバイダのサーバーを利用する限り、特に設定を変更する必要はありません。

💡 HINT

[適する画像の拡張子]で設定している以外の画像ファイルは、「適さない画像の変換後の拡張子」で指定している拡張子に変換されます。

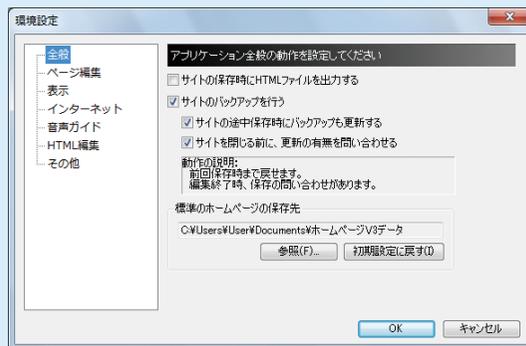
💡 HINT

制限以上の画像を挿入した場合、自動的に設定したサイズに縮小されてページに入ります。元のファイルは、縮小されません。

📖 COLUMN

【環境設定】ダイアログボックス

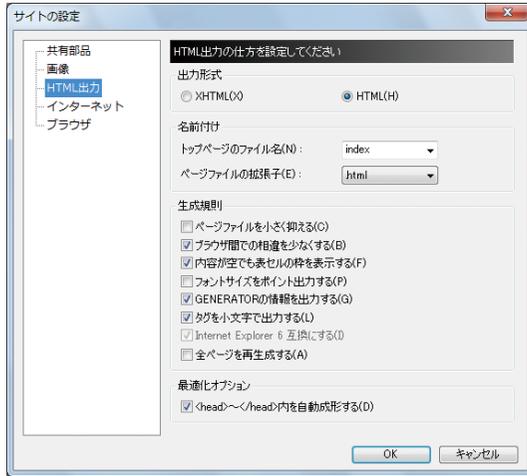
[サイトの設定]ダイアログボックスと同じように重要なのが、[環境設定]ダイアログボックスです。こちらには、「ホームページV3」全体の操作環境を設定するためのオプションが用意されています。例えば、作成したホームページの保存フォルダの指定は、[全般]画面で行ないます。[ファイル]メニューの[環境設定]からダイアログボックスを開くことができます。



● HTML出力

HTML ファイルの出力に関する設定を行ないます。

- **HTMLファイルの出力形式**：XHTML形式、HTML形式のどちらで出力するかを指定します。
- **名前付けの規則**：プロバイダによって、トップページのファイル名や拡張子が決まっている場合があります。その場合は、ここで指定します。
- **生成規則**：HTMLファイルを生成する際の規則を指定できます。
- **最適化オプション**：「ホームページV3」ではHTMLのヘッダ部分は自動的に生成されますが、チェックをはずすと生成されず、ユーザーが入力した<head>〜</head>のヘッダ部分が保護されます。



関連情報

トップページの名前

トップページのファイル名は通常はindexのままですが、プロバイダによって、別のファイル名の指定を求めたり、カウンタを設置するなど、特別な機能を利用する場合に別のファイル名の指定を要求する場合があります。



HINT

XHTMLとは

XHTML(eXtensible HyperText Markup Language)とは、従来、ホームページ作成に使用されてきたHTMLをXML(eXtensible Markup Language)の仕様に準拠するように再定義したものです。

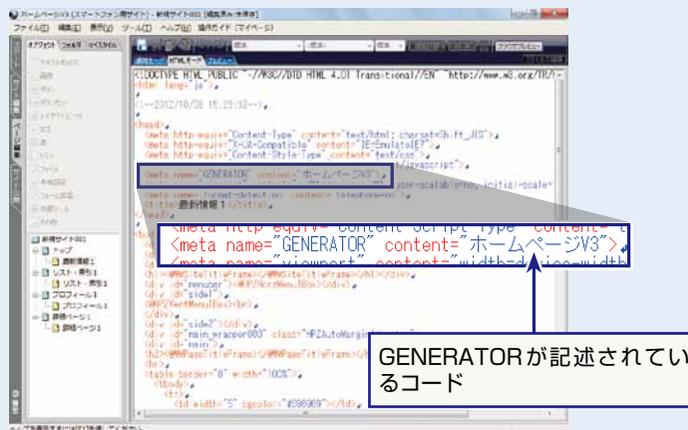


HINT

GENERATORとは

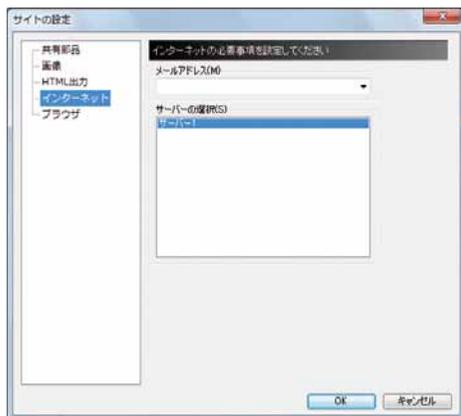
ホームページ作成に使用されたアプリケーション名です。「ホームページV3」の場合、次のようなコードが生成されます。

```
<meta name="GENERATOR" content=" ホームページV3">
```



● インターネット

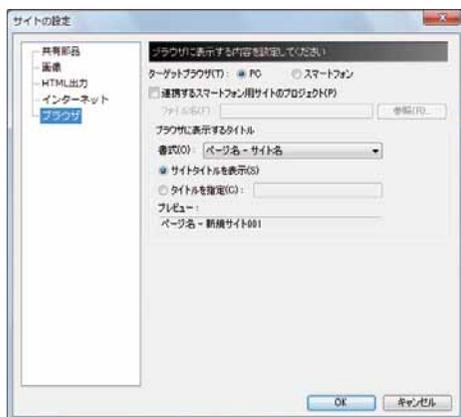
作成したホームページの関連ファイルをサーバーにアップロードするための接続先を選択します。接続設定そのものは、[環境設定]ダイアログボックスで行ないます。転送先を変更する手順については、P.108「セクション31 転送の設定を変更する」を参照してください。



● ブラウザ

PC用サイトとスマートフォン用サイトの切り替えの設定、および作成したホームページを表示するときに、ブラウザに表示するタイトルを設定することができます。

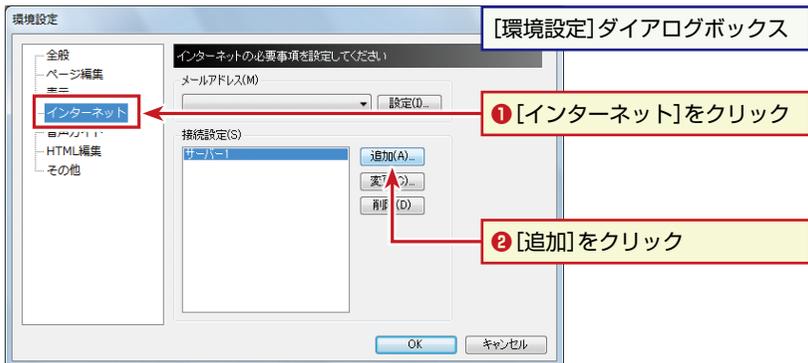
- ・ **ターゲットブラウザ**：作成したホームページがPC用サイトかスマートフォン用サイトを指定します。
- ・ **連携するスマートフォン用/PC用サイトのプロジェクト**：ターゲットブラウザがPCの場合は、連携するスマートフォン用サイトのファイルを指定します。
ターゲットブラウザがスマートフォンの場合は、連携するPC用サイトのファイルを指定します。
- ・ **書式**：ブラウザのタイトルに表示する文字列(ページ名やサイト名)の書式を選択します。下にある[プレビュー:]で実際の表示を確認できます。
- ・ **サイトタイトルを表示**：[書式:]に「サイト名」が含まれる場合、サイトタイトルを表示します。
- ・ **タイトルを指定**：[書式:]に「サイト名」が含まれる場合、サイトタイトルのかわりに任意に指定したタイトルを表示します。



転送の設定を変更する

プロバイダを切り替え、サーバーが変更になった場合などには、ホームページの引越が必要です。ここでは、転送設定を変更し、ホームページを再アップロードする手順を紹介します。

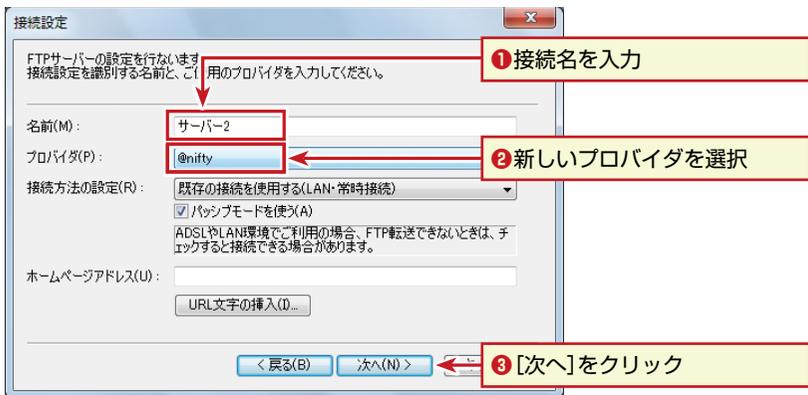
1 新しい接続設定を追加します。

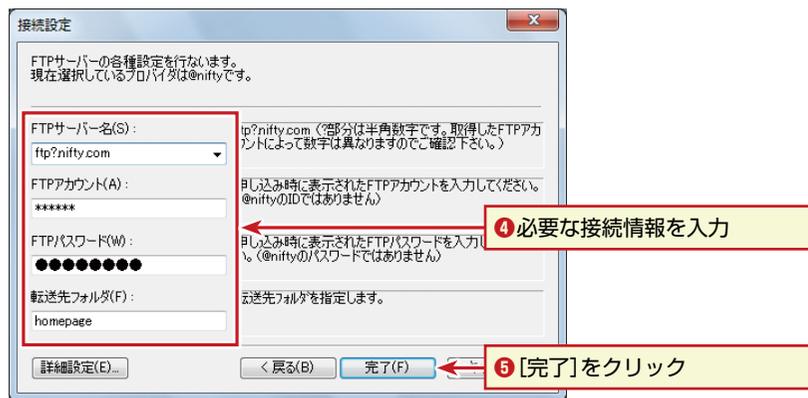


注意!

[環境設定] ダイアログボックスでの接続設定の追加方法については、P.72「セクション20 転送の設定をする」を参照してください。

2 新しい接続設定を指定します。

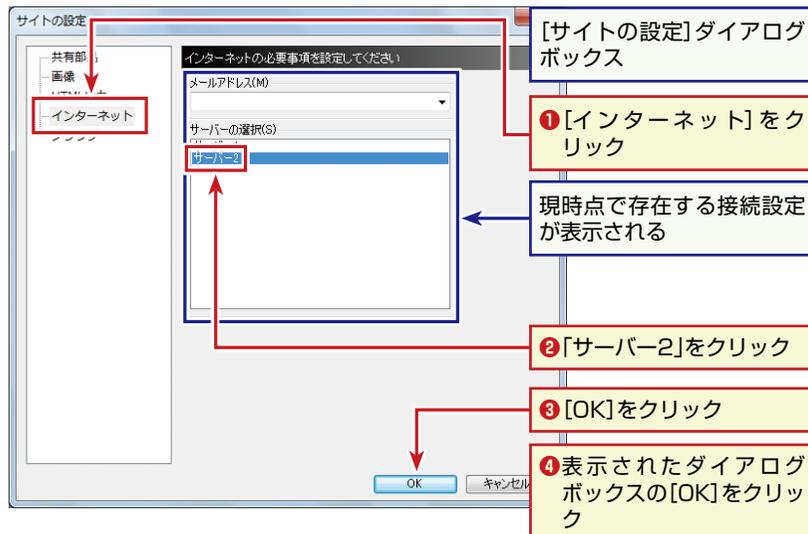




3 [サイトの設定]ダイアログボックスを開きます。

★[ファイル]メニューの[サイトの設定]を選択してください。

4 使用するサーバーを選択します。



関連情報

[接続設定]ダイアログボックスの表示

接続設定に必要な情報の呼び名は、プロバイダごとに異なります。「ホームページV3」では、最初にプロバイダを選択すると、[接続設定]ダイアログボックス内のサーバー名などのオプション名がそのプロバイダに合わせて変化します。

関連情報

必要な情報の入手方法

ホームページ開設に必要な情報は、プロバイダとの契約時に、メールなどで通知されています。わからない場合は、プロバイダのサポートに問い合わせてください。

注意!

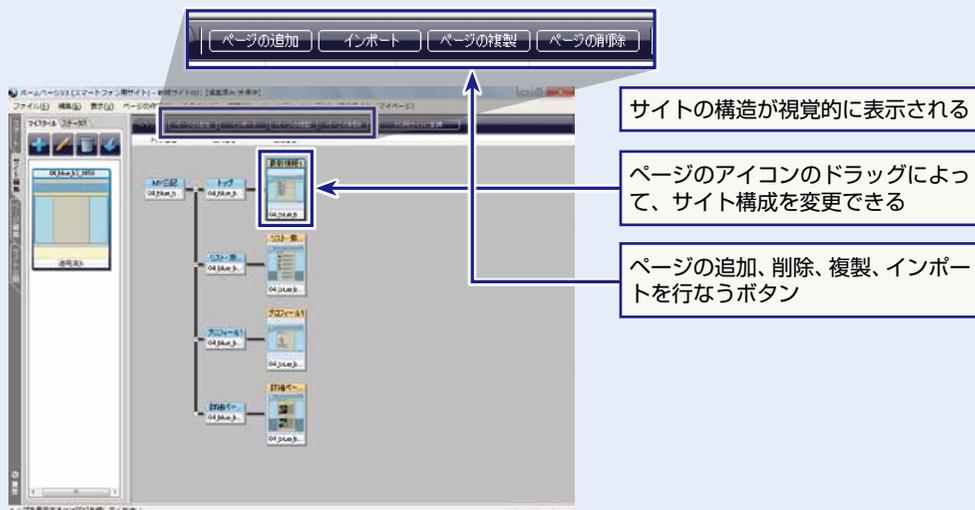
サーバー変更時の注意点

手順4で[OK]をクリックすると、サーバー変更によって生じる障害の可能性を伝えるメッセージが表示されます。プロバイダによっては、トップページのファイル名がデフォルトのindexでなかったり、HTMLファイルの拡張子がhtmlまたはhtmに限定されている場合があります。サーバーを変更する場合は、サーバーの要件を確認してください。また、カウンタや掲示板などのサービスを提供していないプロバイダもあるので注意してください。

! この章のまとめ

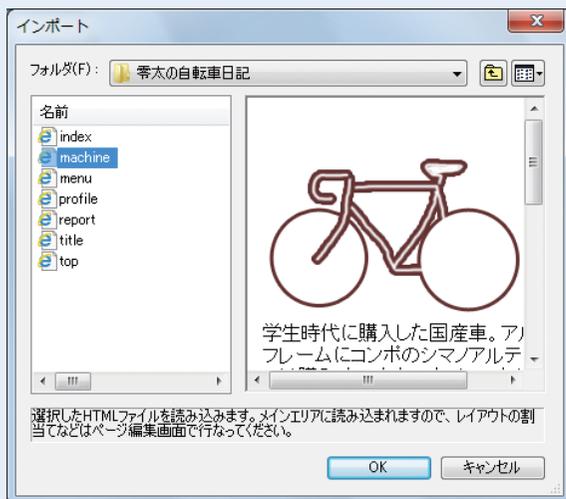
本章では、複数のページで構成されるサイトの作り方・編集の方法を解説しました。サイトは複数のページとそれらの互いの結び付きで構成されます。「ホームページV3」の[サイト編集]画面ではページとページの関係が視覚的に表示され、さらにはマウスのドラッグ&ドロップによる構成の変更、ページの追加や削除、複製が可能で、編集結果は横メニューなどのリンクにも反映されます。

● [サイト編集]画面



● ページのインポート

他のホームページ作成ソフトで作られたページもインポートしてサイトに取り込むことができます。



[インポート]ダイアログボックス

第4章

ページを デザインする

第2章でページ作成の基本操作を解説しましたが、本章はその続編です。より見栄えのよいページを作りたい、サイト全体の統一感を出したい、オリジナリティを強調したいといったデザイン性の高いページの作成方法や、イメージ通りにレイアウトしたい時に便利な「ホームページV3」の機能を紹介します。

セクション 32	スタイルシートとは	112
セクション 33	ページをデザイン・レイアウトする	114
セクション 34	サイトのデザインを変更する	118
セクション 35	サイトのレイアウトを変更する	120
セクション 36	個別のページのレイアウトを変更する	122
セクション 37	ページ幅を広げる	128
セクション 38	ページの背景を変更する	130
セクション 39	タイトルのデザインを変更する	134
セクション 40	レイアウトエリアのスタイルを変更する	138
セクション 41	横メニューのデザインを変更する	140
セクション 42	縦メニューのデザインを変更する	144
	この章のまとめ	148

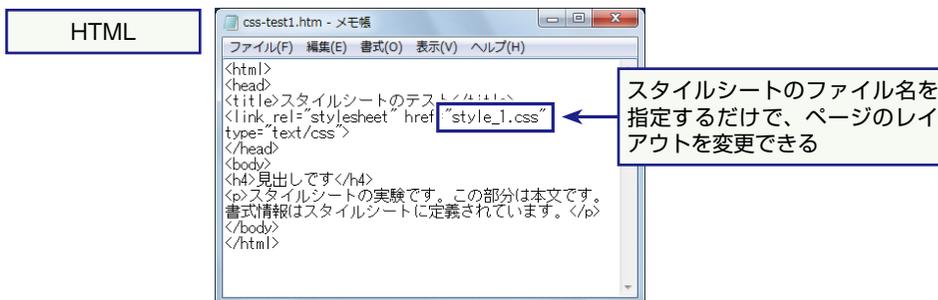
スタイルシートとは

「ホームページV3」では、スタイルシートを利用することで、美しいデザインのホームページを簡単に作成できるようになっています。まずは、スタイルシートについて解説します。

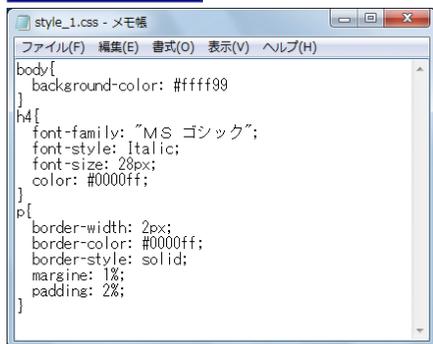
● スタイルシートの基礎

スタイルシート(Cascading Style Sheet : CSS)とは、書式やレイアウト情報をページの内容とは別の場所に定義しておき、それをHTMLで作ったページに適用するという技術です。書式やレイアウト情報を、HTMLファイルと分離することで、次のようなメリットが得られます。

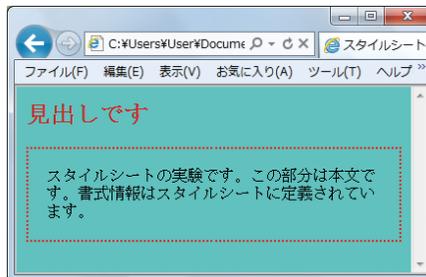
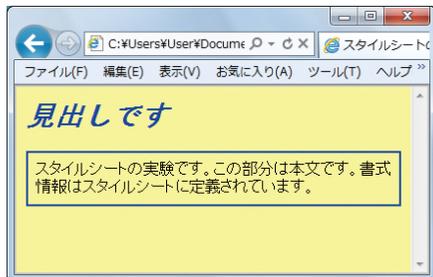
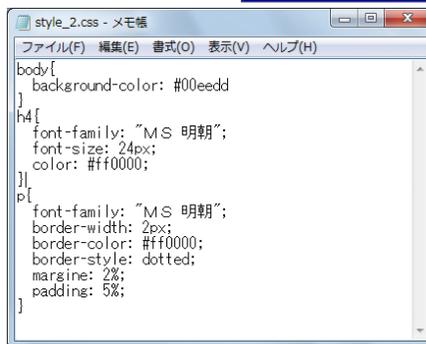
- ・ 定義したスタイルは複数のページで共有できるため、ホームページ全体で統一感を持たせることができる。
- ・ スタイルシートを交換するだけで、ホームページの外観を一新できる。
- ・ HTMLファイルの容量を軽減できる。



スタイルシート1



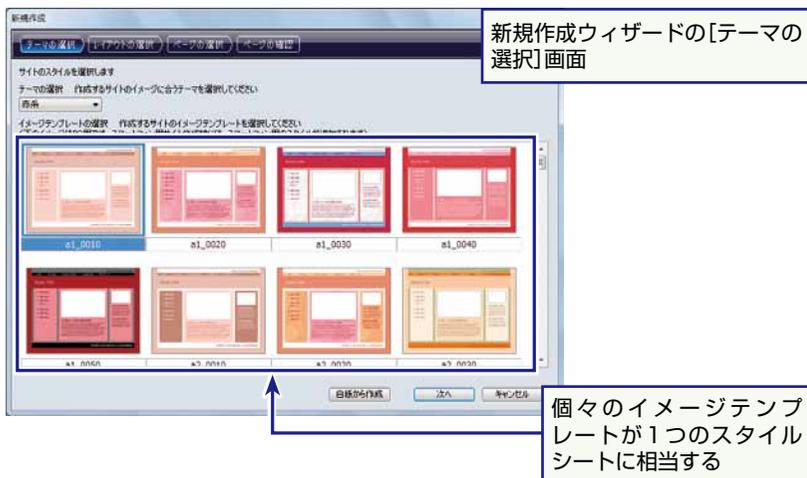
スタイルシート2



●「ホームページV3」におけるスタイルシートの扱い

「ホームページV3」では、こうしたスタイルシートの存在を意識することなく、画面上の簡単な操作で、あらかじめ用意されたスタイルを簡単に利用できます。

具体的には、新規作成ウィザードを使ってホームページを作成する際、ウィザードの最初の画面でイメージテンプレートを選びましたが、これがスタイルシートに相当します。



注意!

「ホームページV3」では、スタイルシートの存在を意識する必要がありません。あらかじめ定義された書式情報の組み合わせを、「スタイル」と呼んでいます。

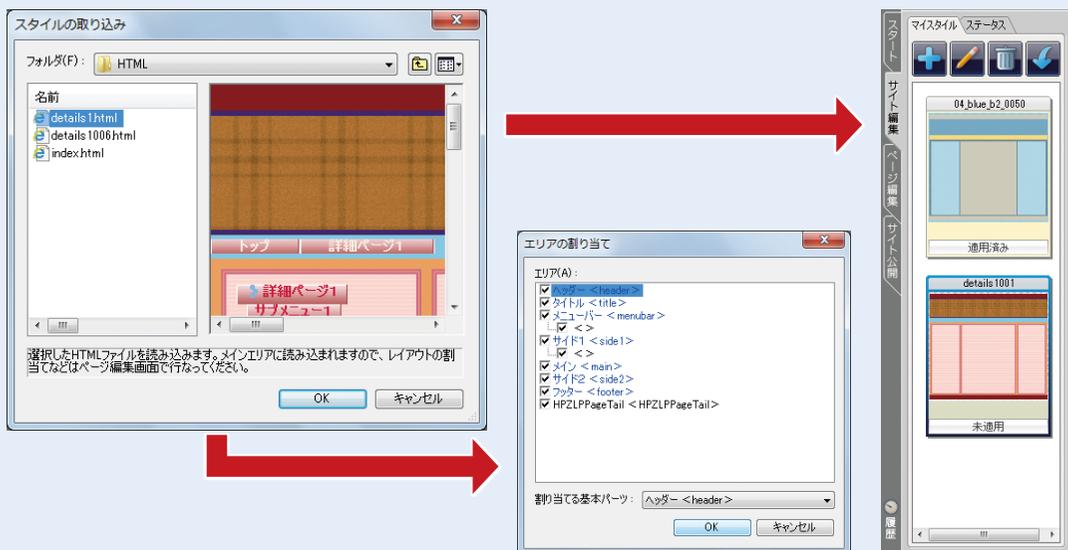
HINT

スマートフォン用サイトを作成する場合は、自動的にスマートフォン用のスタイルが適用されます。スマートフォン用サイトについて詳しくはP.214「セクション61 スマートフォン用サイトを作成する」を参照してください。

関連情報

スタイルの取り込み

ホームページV3では、既存のホームページ(HTMLファイル)に適用されているスタイル情報を取り込み、作成中のページに適用することが可能です。スタイルを取り込むには、[マイスタイル]タブの[スタイルの取り込み]をクリックし、スタイルの取り込み対象となるHTMLファイルを選択します。さらにホームページV3のレイアウトエリアと各タグとの対応を指定します(※取り込まれるページ本体のスタイル情報は基本的にメインエリアに適用されます)。



ページをデザイン・レイアウトする

「ホームページV3」は、スタイルシートやエリアなどページをデザイン・レイアウトするのに便利な機能や仕組みを備えています。これらをセクション42まで10セクションに分けて説明します。はじめに、これから説明する機能の概要を紹介します。

● サイトのデザインを変更する

「ホームページV3」では、スタイルシートの変更がドラッグ&ドロップの簡単な操作で行なえます。サイト全体を一括で変更することも、1ページごとに変更することもできます。

● レイアウトエリアを追加・削除する

「ホームページV3」の基本レイアウトは、ヘッダー、メニューバー、タイトル、サイド1、メイン、サイド2、フッターの7つのエリアで構成されています。これらのエリアの組み合わせを変更することで、基本デザインを変えることができます。



メイン+サイド1+サイド2



サイド2を非表示にする



サイド1とサイド2を非表示にする



HINT

レイアウトエリアは、表示・非表示を切り替えるだけでなく、位置を入れ替えることも可能です。

また、新しいエリアを追加して、別のレイアウトを作ることができます。

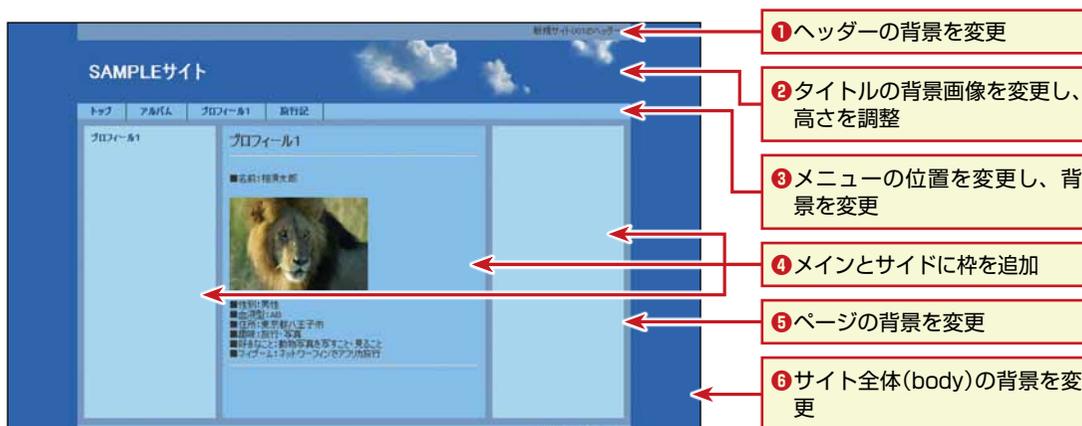
● レイアウトのスタイルを編集する

ページの見え方はスタイルによって決まります。ページおよびレイアウトエリア(メイン、サイド1、サイド2、タイトルバー、メニューバー、ヘッダー、フッター)ごとに、以下の要素を設定することが可能です。

- ・領域
- ・背景
- ・フォント
- ・枠線

● 横メニュー、縦メニューを編集する

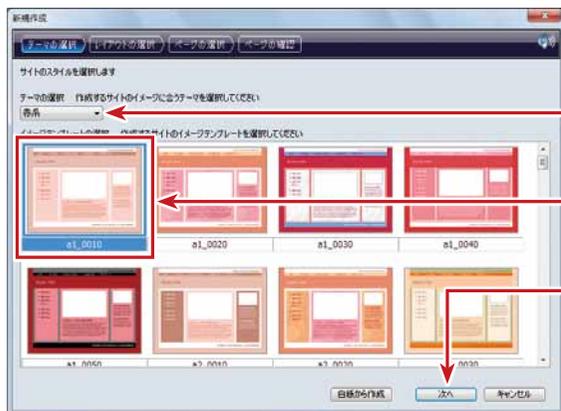
横メニュー、縦メニューのスタイルも変更可能です。色やフォントを変更したり、ボタンサイズを調整したり、マークを表示することも可能です。



● スタイルシート操作のサンプルサイトを作成する

まずは、操作のベースとなるサンプルサイトを作成しましょう。この後のセクションでは、サンプルサイトのスタイルシートの設定を変更して、思い通りのレイアウトを実現するためのテクニックについて学んでいきます。

1 [スタートアップウィザード]を起動し、スタイルシート操作のベースとなるサイトを作成します。



1 テーマ「赤系」を選択

2 イメージテンプレート「a1_0010」を選択

3 [次へ]をクリック

4 [レイアウトの選択]画面の[次へ]をクリック

2 サイトを構成するページを選択します。



1 「リスト・索引1」を選択

2 [削除]をクリック

3 同様の手順で「プロフィール1」、「詳細ページ1」を削除



「最新情報1」ページだけが残る

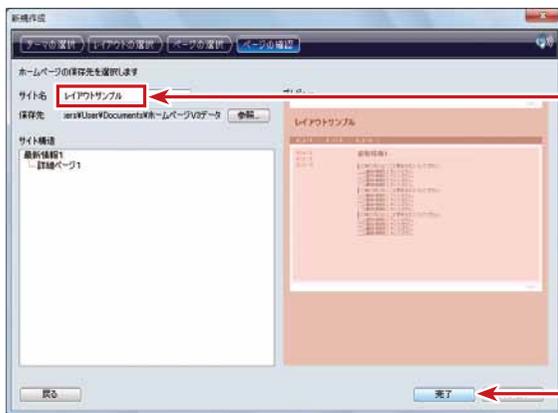
4 [個人用]、[詳細ページ]フォルダを展開

5 「詳細ページ1」を選択

6 [追加]をクリック

7 [次へ]をクリック

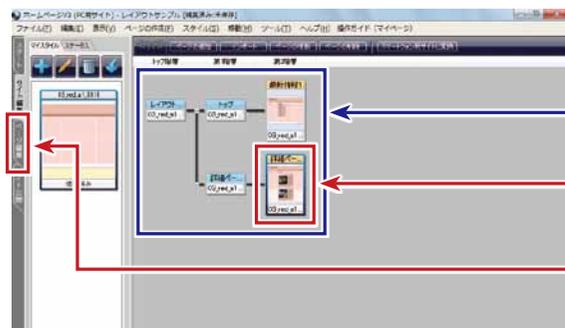
3 サイトを完成します。



① [サイト名]に「レイアウトサンプル」と入力

② [完了]をクリック

4 でき上がったサイトを確認します。



完成したサイト

① 「詳細ページ1」をクリック

② [ページ編集]タブをクリック

5 サイトをプレビューします。



[プレビュー]タブをクリック

作成したページ

関連情報

「レイアウトサンプル」の使い方

この後のセクションでは、ここで作成したサイトを例に、さまざまなスタイルシートの操作方法を解説します。

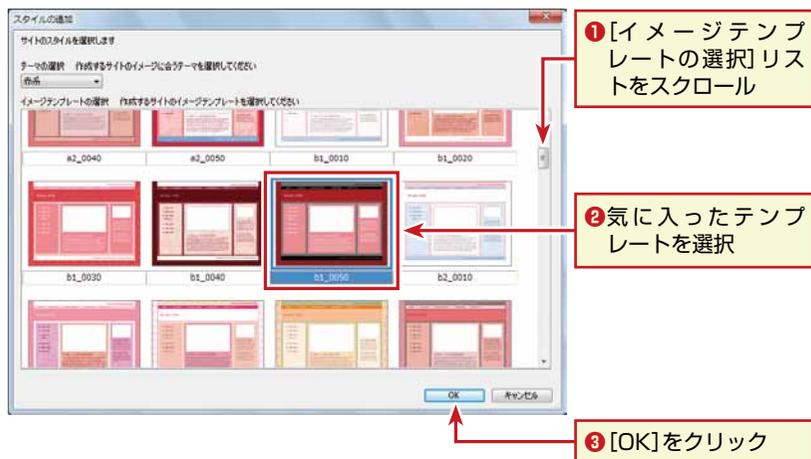
サイトのデザインを変更する

サイトのデザインは、最初に選択された「スタイル」によって決まります。このスタイルを別のスタイルに置き換えるだけで、サイトのデザインを一新することが可能です。

1 [スタイルの追加] ダイアログボックスを開きます。



2 [サイト編集]タブの[マイスタイル]に新しいスタイルを追加します。



関連情報

不要なスタイルの削除

不要なスタイルを削除するには、[サイト編集]画面の[マイスタイル]のスタイルアイコンを選択し、[スタイルの削除]ボタンをクリックしてください。ただし、ページに適用されているスタイルは削除できません。

注意!

独自編集されたスタイルは、削除すると元に戻せませんので注意してください。

注意!

スタイルは必ず1つは適用されている必要があります。[マイスタイル]内にスタイルが1つだけのときはそのスタイルは削除できません。

3 ホームページに新しいスタイルを適用します。

★ここではホームページ全体に新しいスタイルを適用します。



4 新しいスタイルが適用されたページを確認します。



5 ページを確認します。



関連情報

個別のページのスタイルのみを変更するには

ホームページ全体ではなく、特定のページのスタイルのみを変更するには、そのページアイコンに「スタイル」をドラッグ&ドロップしてください。ページが階層構造になっている場合、すべての下位ページに同じスタイルが適用されます。目的のページだけにスタイルを適用するには、<Ctrl>キーを押しながら、ドラッグ&ドロップを行なってください。

関連情報

「標準」スタイルタグの設定

「ページ編集」タブ上部の「スタイルタグ」ドロップダウンリストにはエリアごとに、「(エリア名)の標準」というスタイルタグが含まれています。この「標準」の設定は「スタイルの編集」ダイアログボックスの「レイアウトのエリア配置」タブで、該当するエリアを選択し、「詳細設定」をクリックして、表示されたダイアログボックスにて「フォント」タブを選択すると編集できます。

サイトのレイアウトを変更する

現在、選択されている「スタイル」の個々の設定を変更することができます。スタイルの設定を変更すると、同じスタイルが適用されているすべてのページにその結果が反映されます。ここではレイアウトエリアの構成を変更します。

1 [スタイルの編集]ダイアログボックスを開きます。

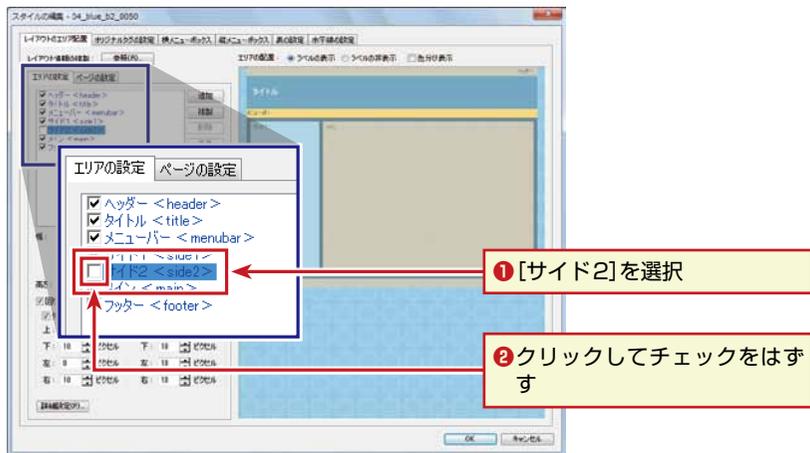


① 編集するスタイルをクリック

② [スタイルの編集]をクリック

2 [スタイルの編集]ダイアログボックスでスタイルを変更します。

★ここではページからサイド2を削除して、2カラムのデザインに変更します。



① [サイド2]を選択

② クリックしてチェックをはずす



関連情報

編集したスタイルを元の状態に戻すには？

[マイスタイル]タブに追加されたスタイルを編集しても、その結果が、オリジナルのスタイルに反映されることはありません。編集前のスタイルに戻したい場合は、もう1度、そのスタイルを[スタイルの追加]より追加して、適用してください。



注意!

編集したスタイルは他のサイトでは使用することはできません。他のサイトで使用したい場合は、再度作成する必要があります。



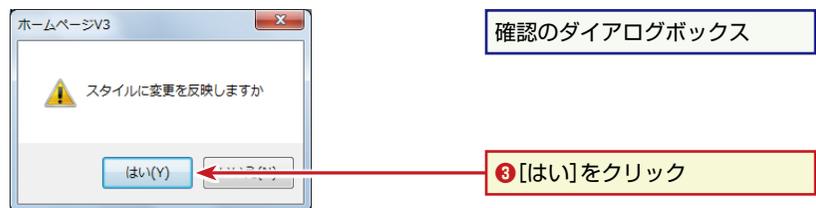
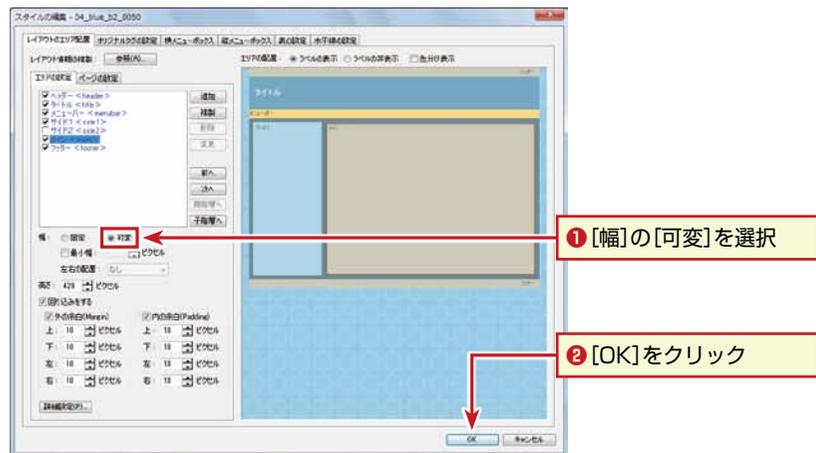
関連情報

カラムとは

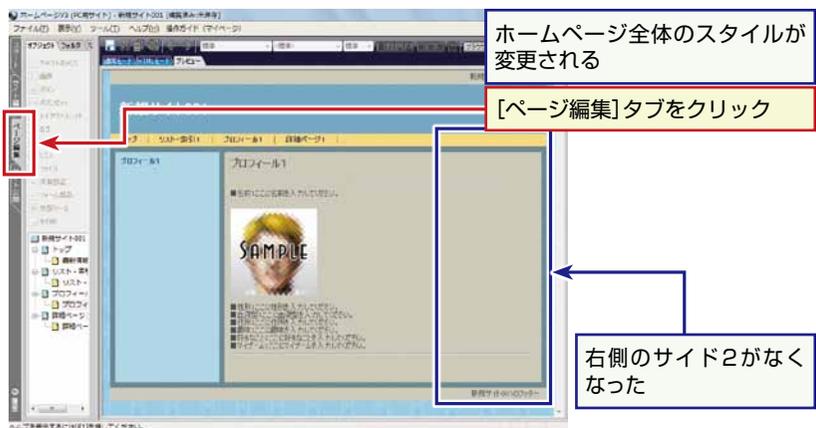
カラム(=Column)とは列という意味で、「ホームページV3」では、1カラム～3カラム(サイド1、メイン、サイド2)のページを作成できます。

3 メインエリアがページの右端いっぱいに表示されるようにします。

★削除したサイド2の部分まで、メインエリアが表示されるように、メインエリアの幅を可変にします。



4 新しいスタイルが適用されたページを確認します。



注意!

ここではすべてのページが3カラムから2カラムに変更されます。

関連情報

レイアウトエリアは追加や削除だけでなく、移動することもできます。詳しくはP.122「セクション36 個別のページのレイアウトを変更する」を参照してください。

関連情報

特定のページのスタイルのみを編集したい

スタイルの変更結果は、そのスタイルが適用されているすべてのページに反映されます。特定のページのスタイルのみを変更したい場合は、まずはベースとなるスタイルを複製してください。そして、その複製したスタイルに対して設定の変更を行った後、ページに適用します。

セクション 36

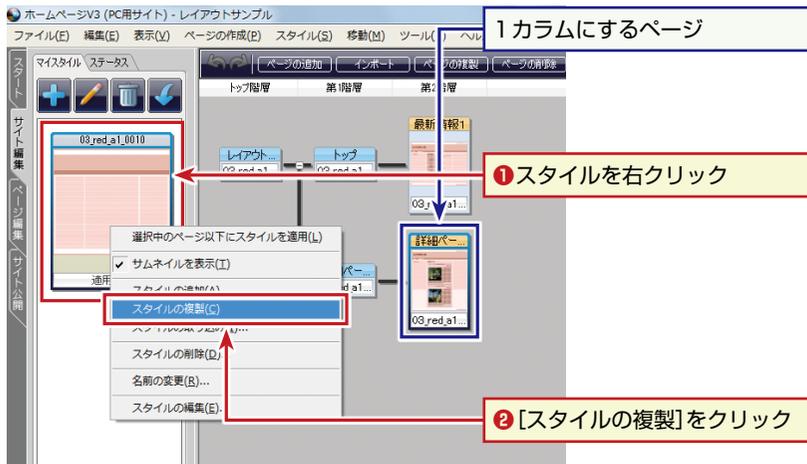
個別のページのレイアウトを変更する

前のセクション35では、サイト全体のレイアウトエリア構成を変更しましたが、ここでは個別のページのレイアウトエリアを変更する手順を解説します。
ここでは、セクション33で作成した「レイアウトサンプル」を使用します。

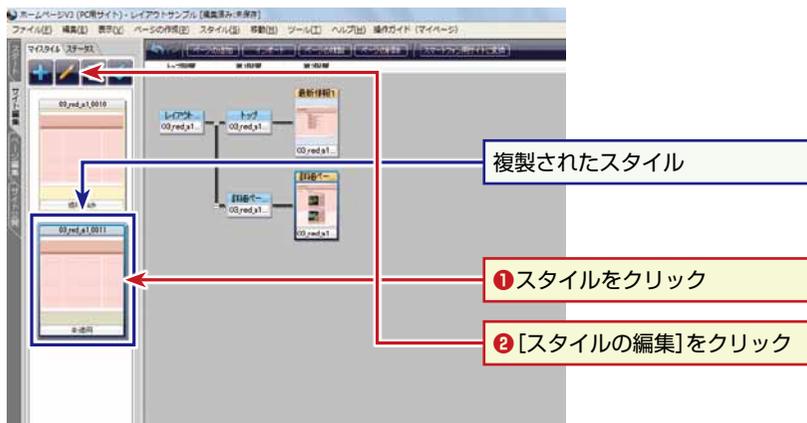
● カラム数を変更する

1 1カラム用のスタイルを用意します。

★まずは、セクション33で作成したサンプルサイト「レイアウトサンプル」をベースに、1カラム用のスタイルを作成します。



2 [スタイルの編集]ダイアログボックスを開きます。



関連情報

カラムとは
P.120「セクション35 サイトのレイアウトを変更する」を参照してください。

HINT

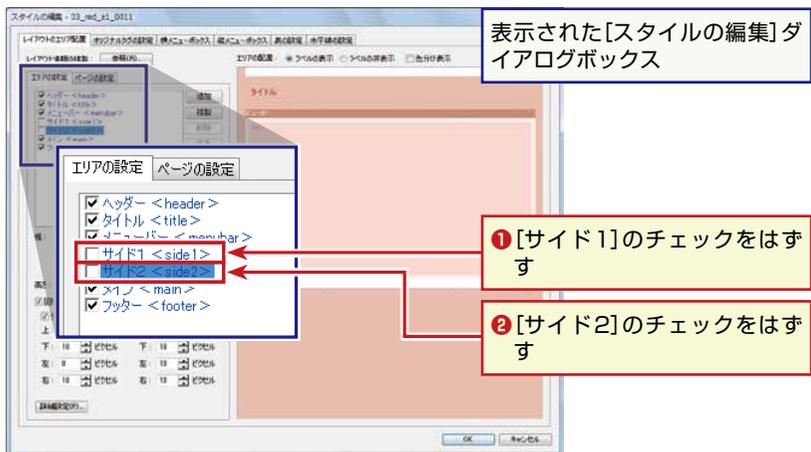
スタイルの複製をしなくても1カラム用のページを作成することはできますが、元のスタイルは「マイスタイル」からなくなります。

HINT

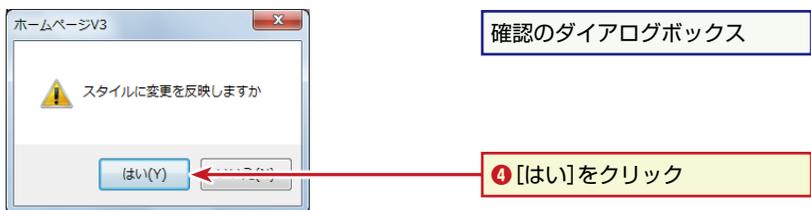
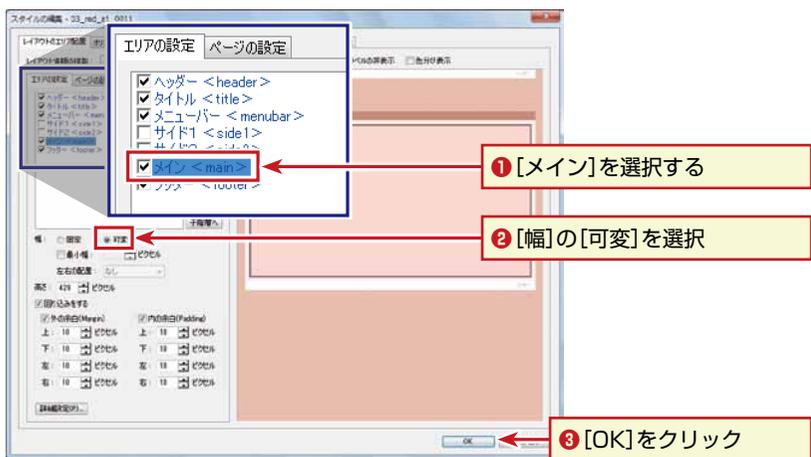
[マイスタイル]内のスタイルをダブルクリックしても[スタイルの編集]ダイアログボックスを開くことができます。

3 サイド1とサイド2を削除します。

★ここでは2つのサイドのエリアを削除することで、1カラムのスタイルを作成します。



4 メインをページの横幅いっぱいに表示します。



HINT

サイド1かサイド2のみのチェックをはずすと2カラム、何もチェックをはずさないと3カラムになります。



関連情報

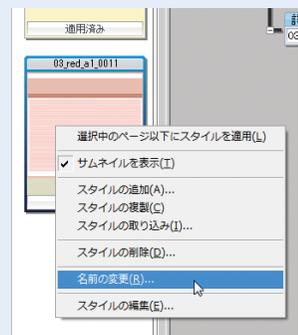
複製されたスタイルの名前

複製されたスタイルには、もともとなったスタイル名の最後の1桁が1ずつ増やされた名前が付けられます。[03_red_a1_0010.css]から複製されたスタイルは[03_red_a1_0011.css]になります。



関連情報

どんな変更を加えたか一目で思い出せるようなスタイル名に変更するには、スタイルアイコンを右クリックし、[名前の変更]を選択してください。



5 「詳細ページ1」のページに1カラムのスタイルを適用します。



6 スタイルの変更結果を確認します。

★スタイル変更の結果は、[ページ編集]タブで確認できます。



7 ページをプレビューします。



関連情報

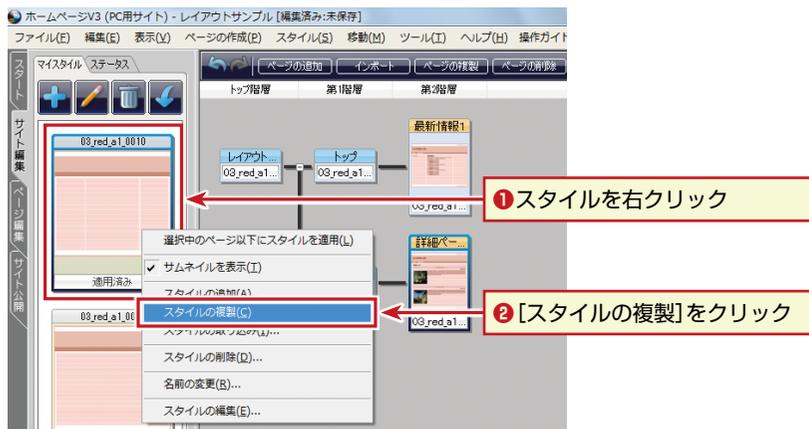
ページに適用されているスタイルを確認する
[サイト編集]タブでページを選択し、[ステータス]タブをクリックすることで、ページに適用されているスタイル名を確認できます。

HINT

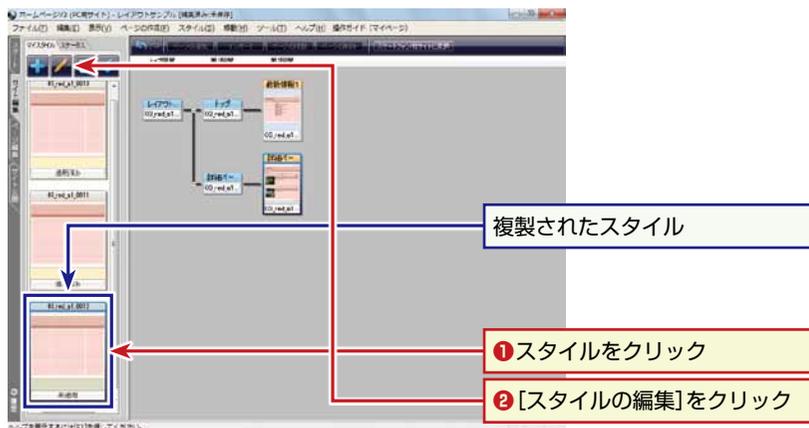
ここでは、サイド1、サイド2、メインについてふれましたが、同様にヘッダー、メニューバー、タイトル、フッターも追加・削除をすることができます。

● メニューバーの位置を変更する

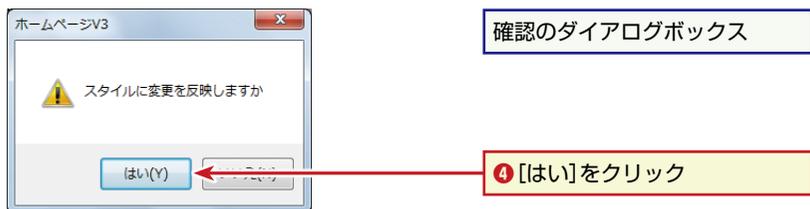
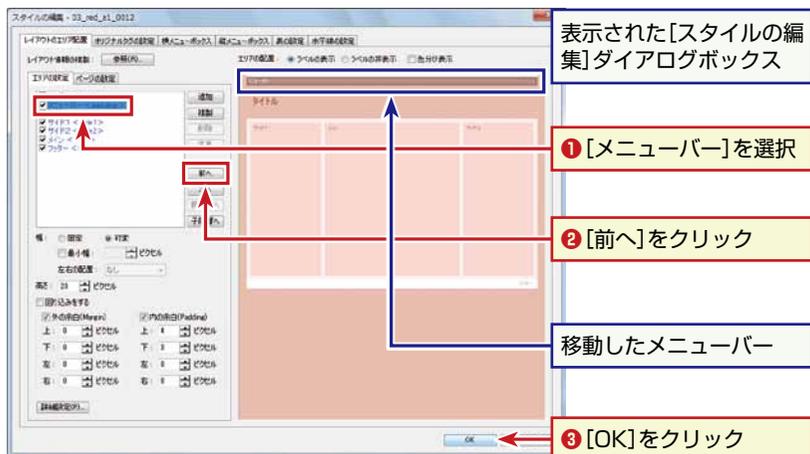
8 メニューバーの位置変更用のスタイルを準備します。



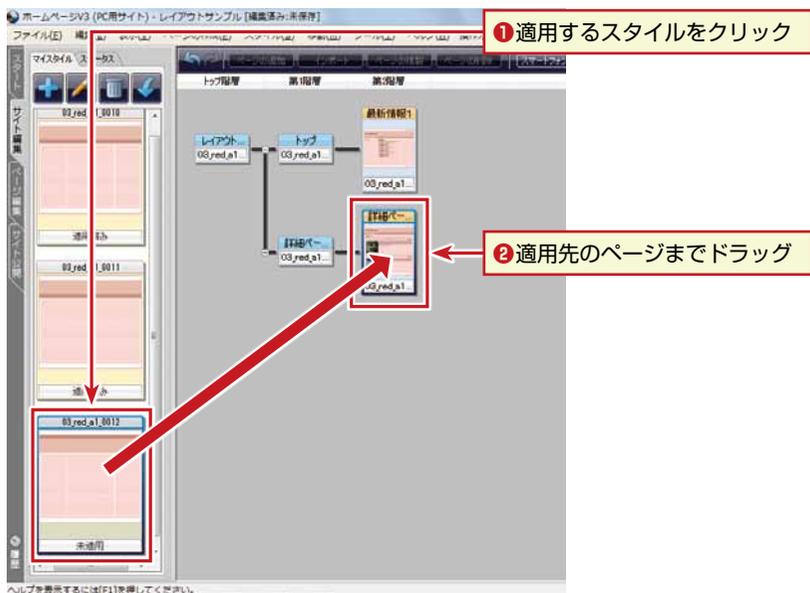
9 [スタイルの編集]ダイアログボックスを開きます。



10 メニューバーの位置をタイトルの上側へ移動します。



11 ページに編集したスタイルを適用します。



HINT

サイド1、メイン、サイド2は縦方向だけでなく、横方向への移動も可能です。

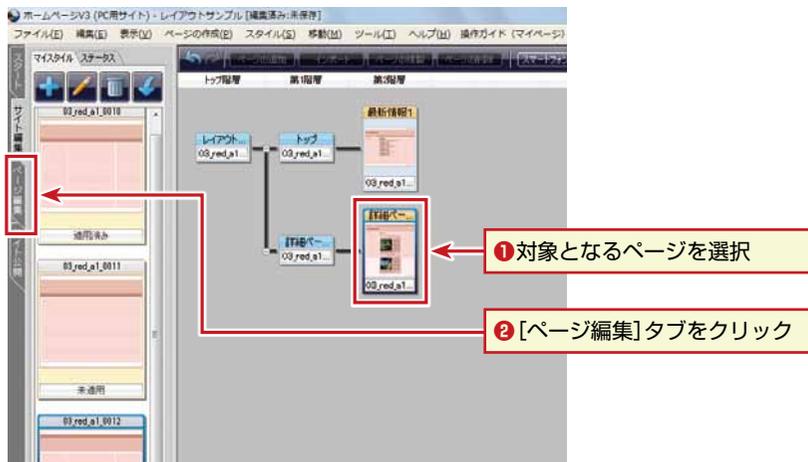
関連情報

エリアのサイズ変更

各エリアは、位置を変えるだけでなく、サイズを変更することも可能です。サイズ変更は[スタイルの編集]ダイアログボックスの[レイアウトのエリア配置]で行ないます。詳しくはこの後のセクションで解説します。

12 スタイルの変更結果を確認します。

★スタイル変更の結果は、[ページ編集]タブで確認できます。



13 ページをプレビューします。



関連情報

完成サンプルサイト

以上の操作が終了した時点でのサンプルサイトは以下のURLで確認できます。

<http://www.sourcenext.com/rd/com/hpv3/hp01.html>

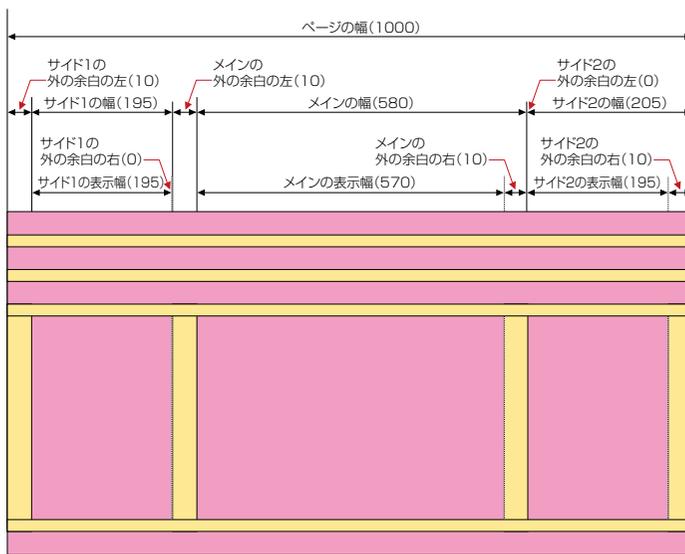
セクション
37

ページ幅を広げる

「スタイルの編集」ダイアログボックスでは、ページやエリアごとに「幅」と「高さ」、「背景」、「フォント」、「枠線」を設定できます。ここでは、サンプルスタイルのページの幅を、800から1000へと広げる方法について説明します。

● ページ幅とエリア幅の関係

エリアはページの上に配置されますが、個々のエリアの幅はそれぞれに設定できます。タイトルやヘッダー・フッターなどは、通常、ページ幅いっぱいに表示されるので、その幅はページと等しくなりますが、メインおよびサイド1&2は、その合計値がページ幅と同じになるように設定してください。



※各エリアの「幅」から「外の余白」の「右」を差し引いた幅が、そのエリアの表示幅となります。

関連情報

幅の固定と可変

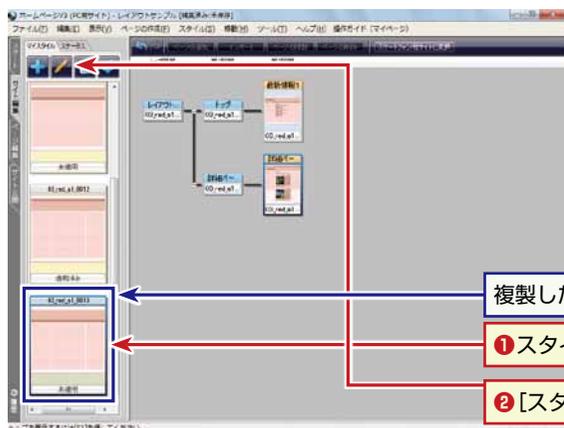
パソコンの画面サイズは、機種や設定によって異なります。画面サイズに応じて表示されるサイトの幅が自動的に調整されるようにするには、[幅]で[可変]を選択してください。

● ページ幅を広げる

- 1 スタイルを複製し、[スタイルの編集]ダイアログボックスを開きます。

注意!

ページの固定幅を広げ過ぎると、ブラウザで表示しきれないことがあります。



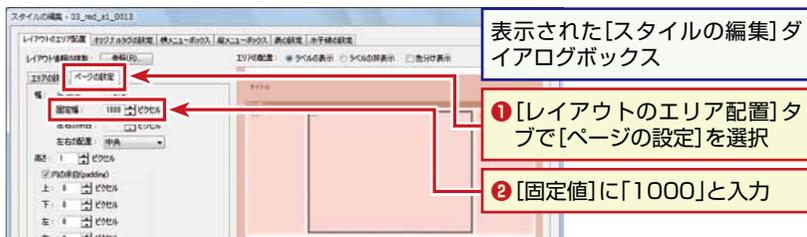
複製したスタイル

① スタイルを選択

② [スタイルの編集]をクリック

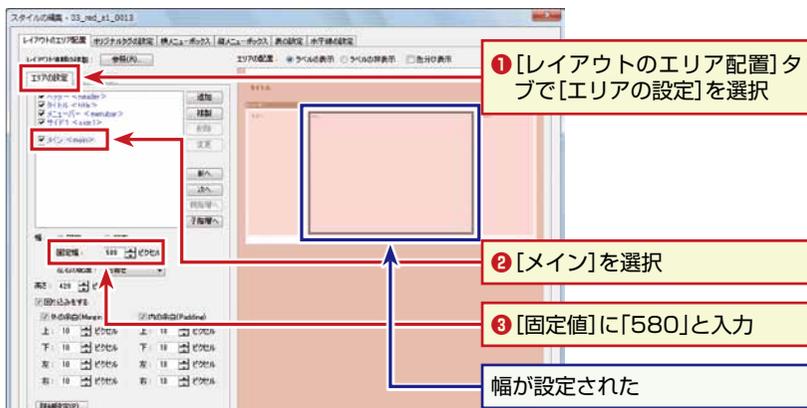
2 ページ幅を広げます。

★まずはページの幅を調整しましょう。



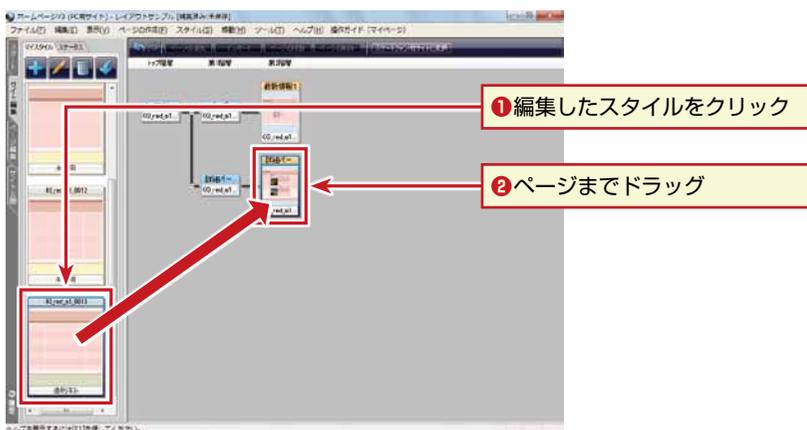
3 「メイン」エリアの幅を設定します。

★次に個々のエリアの幅を調整します。まずは「メイン」エリアの幅を設定します。



★同様の操作を繰り返し、「ヘッダー」、「メニューバー」、「タイトル」、「フッター」の幅を固定値1000に調整します。

4 修正したスタイルをページに適用します。



5 スタイル変更の結果を確認します。

★スタイル変更の結果は[ページ編集]タブの[プレビュー]タブで確認することができます。ページ幅と各エリア幅が広がっていることを確認します。



HINT

「内の余白(padding)」の設定では、ページ(各レイアウトエリア)の周囲の枠からテキストや画像までの距離を設定できます。



注意!

ページの幅を広くしすぎると、ブラウザで表示しきれないことがあります。



関連情報

ページや各レイアウトエリアの背景には、色を設定するだけでなく、画像を設定することもできます。詳しくは、P.130「セクション38 ページの背景を変更する」、P.138「セクション40 レイアウトエリアのスタイルを変更する」を参照してください。



関連情報

詳細設定

ページおよびエリアの「背景」、「フォント」、「枠線」の設定を行うには、[エリアの設定]および[ページの設定]タブの[詳細設定...]ボタンをクリックし、[~エリアのスタイルの編集]ダイアログボックスを開きます。詳しい手順は、次のセクション38以降で解説します。

詳細設定(P)...

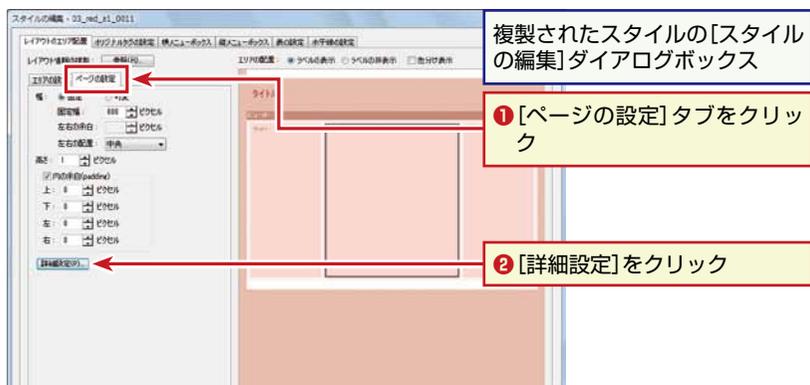
このボタンをクリック

ページの背景を変更する

ページの背景によって、そのホームページの印象は大きく異なります。ここでは一部のエリアの背景の色を変え、サイト全体の背景に画像を設定します。前のセクション37で使用したサイトおよびスタイルシートに対して、引き続き操作を行います。

● ページの背景色を変更する

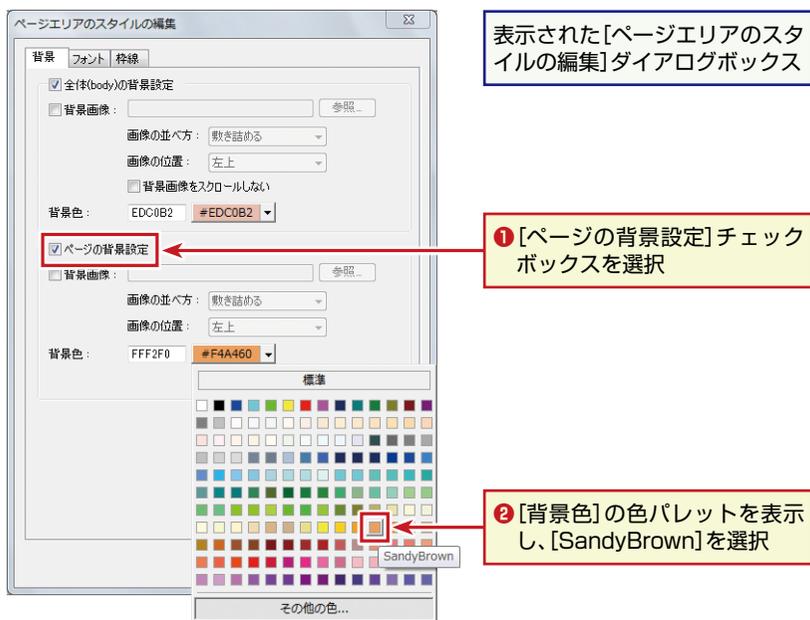
1 [スタイル編集]ダイアログボックスを表示します。



⚠ 注意!

[スタイルの編集]ダイアログボックスで行なうスタイル設定の結果は、そのスタイルが適用されているページに対してのみ反映されます。もしも、作成中のホームページにおいて、1つのスタイルのみが使用されている場合、そのスタイルに対する設定の変更はホームページ全体に反映されません。

2 「ページ」の背景色を変更します。



★ 続けて、全体(Body)の背景の設定も行います。

● 全体 (body) の背景画像を変更する

3 全体 (body) の背景画像を設定します。



1 [背景画像]にチェックを入れる

2 [参照]をクリック

関連情報

背景に画像を設定するためには、[背景画像]にチェックを入れ、[参照]から画像を選択する必要があります。

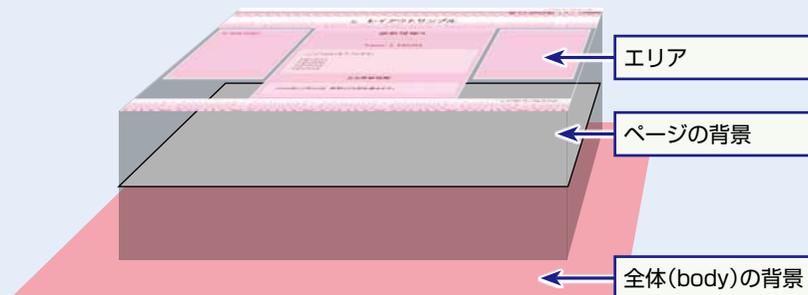
HINT

透明の加工が入った画像を背景画像にすると、透明部分に背景色が反映されます。

関連情報

全体 (body) の背景とページの背景

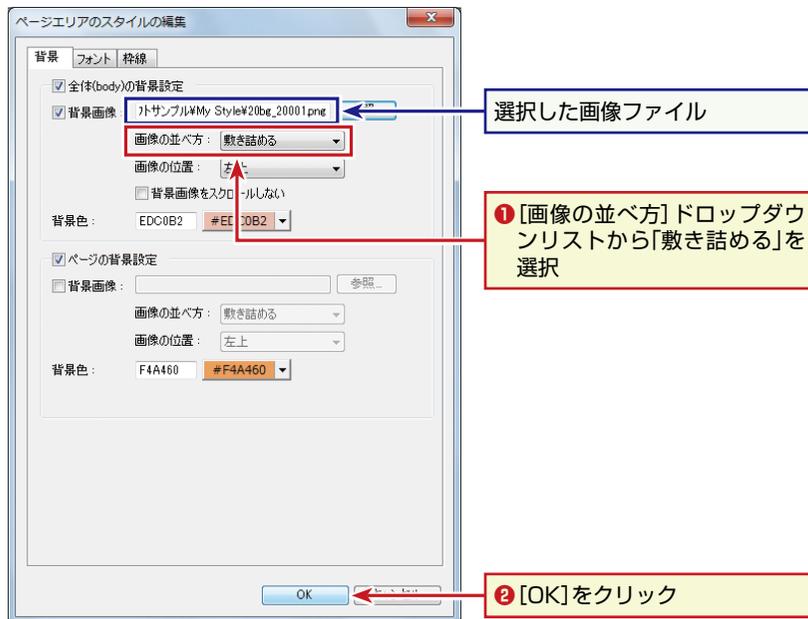
全体 (body) の背景とは、ページの幅や高さの外側で、ホームページのページの後ろ側の領域です。一方、ページの背景とは、ページの幅や高さの内側の領域で、その大部分はエリアの背後に隠れています。



4 画像ファイルを選択します。



5 画像を背景一面に表示します。



関連情報

背景として利用可能な画像

ここでは[背景]フォルダに保存されている画像ファイルを背景として利用していますが、通常の画像ファイルであれば、背景として利用できます。自分で写したデジカメ写真を背景に表示することも可能です。

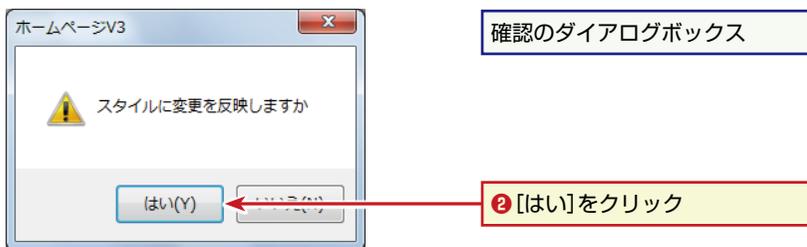
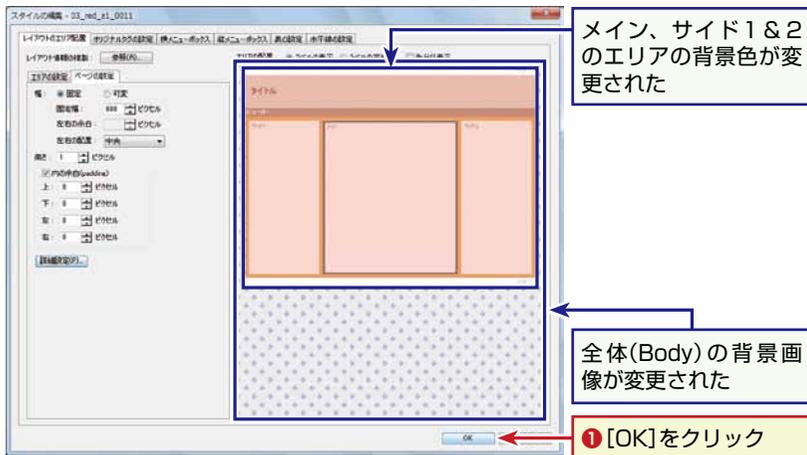
HINT

ここでは、すでにページに適用されているスタイルに対して編集を行なっているため、編集内容はページにそのまま反映されます。あらためて適用する必要はありません。

HINT

全体(body)の背景画像で[背景画像をスクロールしない]オプションにチェックを入れると、縦スクロールバーが出て、背景が動かないようなスタイルを作成することができます。

6 [スタイルの編集]ダイアログボックスの[プレビュー]ボックスでこれまでの設定の結果を確認します。



7 修正したスタイルをページに適用し、その結果を確認します。



★ページ背景を確認するため、プレビュー画面を広げています。

HINT

この時点のサイトの様子は、以下のURLにアクセスすることで確認できます。

<http://www.sourcenext.com/rd/com/hpv3/hp02.html>

タイトルのデザインを変更する

タイトルは、ホームページの顔とも呼ぶべきエリアです。ページの自由なデザインができるようになったところで、次はタイトルのデザインを変更する方法を解説します。

ここではセクション38で使用したサイトおよびスタイルシートに対して、引き続き操作を行いません。

● タイトルの背景画像を設定する

1 [スタイルの編集]ダイアログボックスを開きます。

★まずは、タイトルの高さを現在の90から120に拡大します。

複製されたスタイルの [スタイルの編集] ダイアログボックス

- ①「タイトル」を選択
- ② [高さ]に「120」と入力
- この高さが拡大する
- ③ [詳細設定]をクリック

2 タイトルの背景画像を設定します。

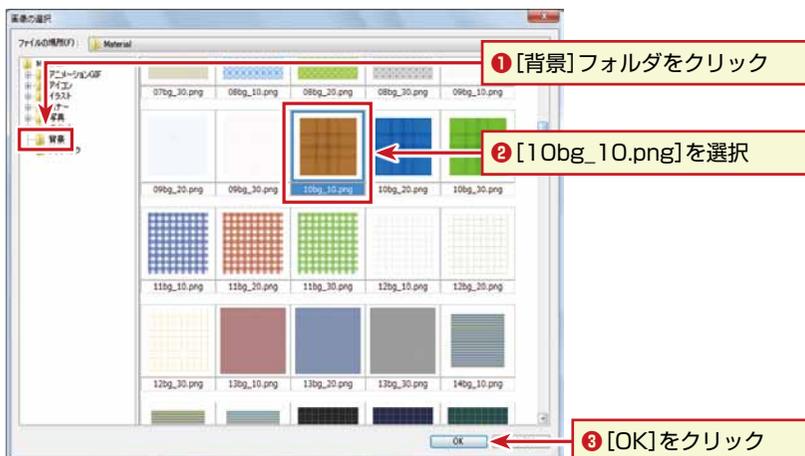
★ここでは「ホームページV3」が用意している背景用の画像ファイルを選択します。

- ① [背景画像]にチェックを入れる
- ② [参照]をクリック

HINT

タイトルなどの[全体(body)]以外のレイアウトエリアではスクロールバーは表示されないため、[背景画像をスクロールしない]オプションはありません。

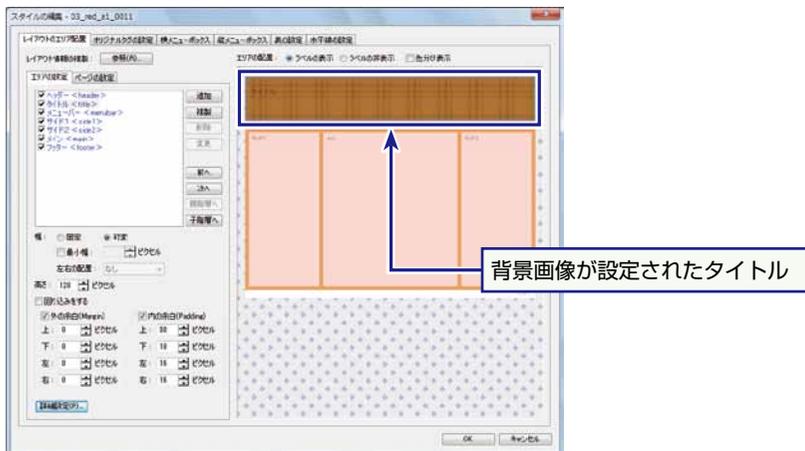
3 画像ファイルを選択します。



4 画像を背景一面に表示します。



5 [スタイルの編集]ダイアログボックスの[プレビュー]ボックスでこれまでの設定の結果を確認します。



関連情報

【画像の選択】ダイアログボックスの【ファイルの場所】ドロップダウンリスト

【画像の選択】ダイアログボックスの【ファイルの場所】ドロップダウンリストからは5つのフォルダにアクセスすることができます。「ホームページV3」に収録されているファイルは、「Material」フォルダに含まれています。



HINT

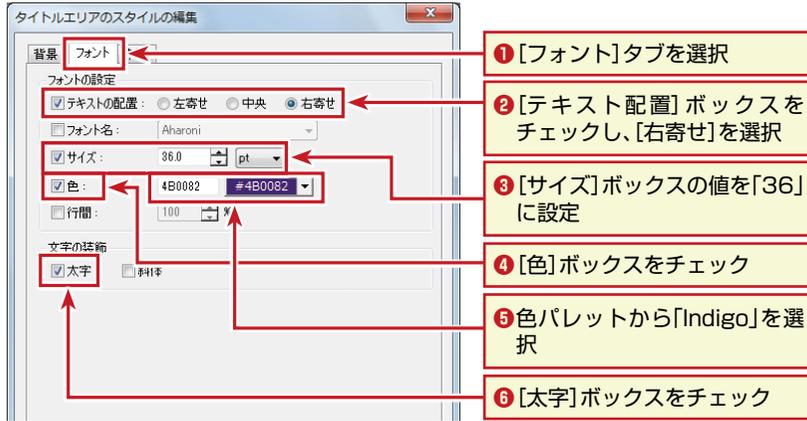
ここでは、選択した画像がタイトル(またはページ)の幅と高さよりも短いため、空白ができないように、「敷き詰める」を選んでいます。選択した画像がタイトル(またはページ)の幅より短い場合は、足りない部分に、設定している背景色(タイトルに背景色を設定していない場合は、ページの背景色)が表示されます。空白ができないようにするためには、「横方向に並べる」や、「敷き詰める」を選択します。

● タイトルのテキストの配置と文字の色を変更する

6 再び[詳細設定...]ボタンをクリックし、[タイトルエリアのスタイルの編集]ダイアログボックスを表示します。

★ サイトタイトルボックスのテキストを右寄せにし、文字のサイズと色を変更します。

7 フォント設定を変更します。



The screenshot shows the 'Title Area Style Editor' dialog box with the 'Font' tab selected. Red arrows point to specific settings, which are listed in numbered callouts on the right:

- 1 [フォント]タブを選択
- 2 [テキスト配置]ボックスをチェックし、[右寄せ]を選択
- 3 [サイズ]ボックスの値を「36」に設定
- 4 [色]ボックスをチェック
- 5 色パレットから「Indigo」を選択
- 6 [太字]ボックスをチェック

HINT

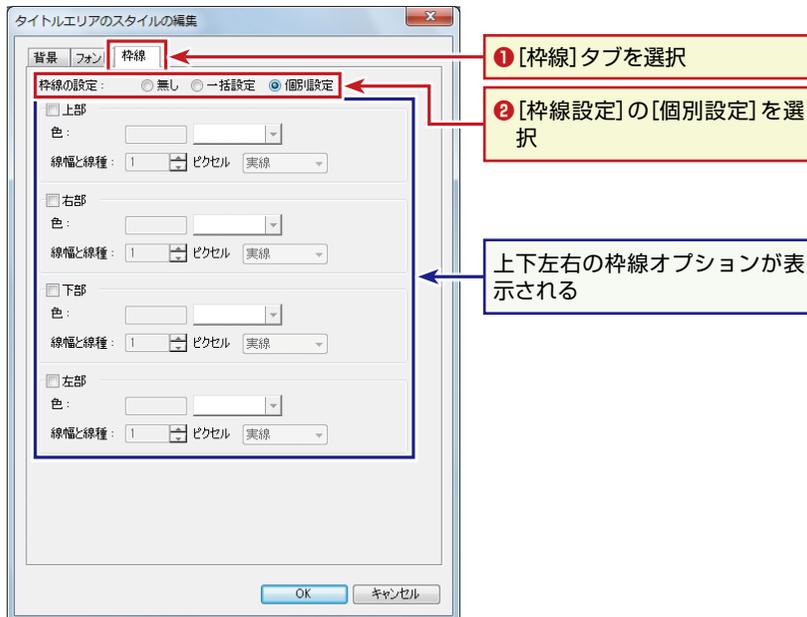
フォントサイズは小さくしすぎるとホームページを見る人が読みにくくなってしまいますので、注意しましょう。

注意!

フォントの種類は変更できますが、そのフォントがインストールされていないパソコンでは代替りのフォントで表示されます。

● タイトルに枠線を設定する

8 枠線を設定するためのオプションを表示します。



The screenshot shows the 'Title Area Style Editor' dialog box with the 'Border' tab selected. Red arrows point to specific settings, which are listed in numbered callouts on the right:

- 1 [枠線]タブを選択
- 2 [枠線設定]の[個別設定]を選択

A blue box highlights the 'Individual Settings' section, with a callout stating: 上下左右の枠線オプションが表示される

9 枠線を設定します。

The screenshot shows the 'Title Area Style Editor' dialog box with the following annotations:

- [上部] ボックスをチェック
- [線幅と線種] に「5」と入力
- 色パレットから「Indigo」を選択
- タイトルの[下部]にも同じ枠線を設定
- [OK]をクリック



HINT

枠線の設定について

一括設定と個別設定が選択できます。一括設定では枠の上下左右の線を1度に設定できます。個別設定では必要な部位のみ設定できます。

10 [スタイルの編集] ダイアログボックスの[プレビュー]ボックスでこれまでの設定の結果を確認し、[OK]をクリックします。

The screenshot shows a confirmation dialog box titled 'ホームページV3' with the message 'スタイルに変更を反映しますか' (Do you want to reflect the change in style?). The 'はい(Y)' button is highlighted with an annotation:

[はい]をクリック

11 スタイル変更の結果を確認します。

The screenshot shows a web page layout sample with the following annotations:

- 背景画像が設定された
- タイトルが右寄せとなり、文字のサイズと色が変更された
- タイトルの上下に枠線が追加された



注意!

サイトタイトルが右寄せで表示されない場合、サイトタイトルボックスのスタイルタグを「標準」に変更してください。

レイアウトエリアのスタイルを変更する

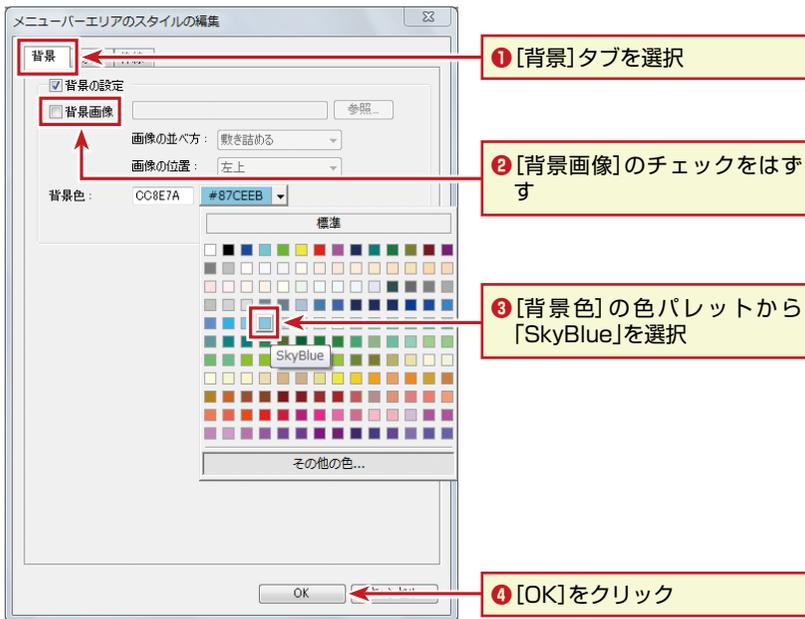
ページを構成するエリアはそれぞれにスタイルを設定できます。ここではメニューバー、ヘッダーなどのスタイルも変更しましょう。

セクション39で使用したサイトおよびスタイルシートに対して、引き続き操作を行いません。

● メニューバー、ヘッダー、フッターの設定

1 [メニューバーエリアのスタイルの編集]ダイアログボックスを開きます。

★メニューバーの背景色を「SkyBlue」に変更します。



2 [ヘッダーのスタイルの編集]ダイアログボックスを開きます。

★メニューバーと同様の手順で、ヘッダーの背景色を「DarkRed」に変更します。

3 同様に、フッターの背景色をヘッダーと同じ「DarkRed」にします。

関連情報

[ページ編集] タブの [スタイルの編集] ボタン

[ページ編集] タブで対象となるエリアを選択してから、[スタイルの編集] ボタンをクリックしても、[スタイルの編集] ダイアログボックスの [レイアウトのエリア配置] - [エリアの設定] タブを表示して、そのエリアの設定を行うことができます。

注意!

背景色を設定するときに、[背景画像] にチェックが入っている場合は、チェックをはずしてから設定してください。

● メイン、サイドに枠線を表示する

4 サイド1に枠線を追加します。

★ここでは、「サイド1」の周囲に「Pale Violet Red」の枠線を追加します。

1 [枠線] タブを選択

2 [枠線設定]の[一括設定]を選択

3 色パレットから「Pale Violet Red」を選択

4 [線幅]に「5」と入力

5 [線種] ドロップダウンリストから「二重線」を選択

6 [OK]をクリック

5 同様に、メインとサイド2にも同じ枠線を追加します。

6 スタイル変更の結果をプレビューします。

・ヘッダー・フッターの背景色に変更された

・メニューバーの背景色に変更された

・サイドとメインに枠線が追加された



HINT

上下左右の枠線を個別に設定するには

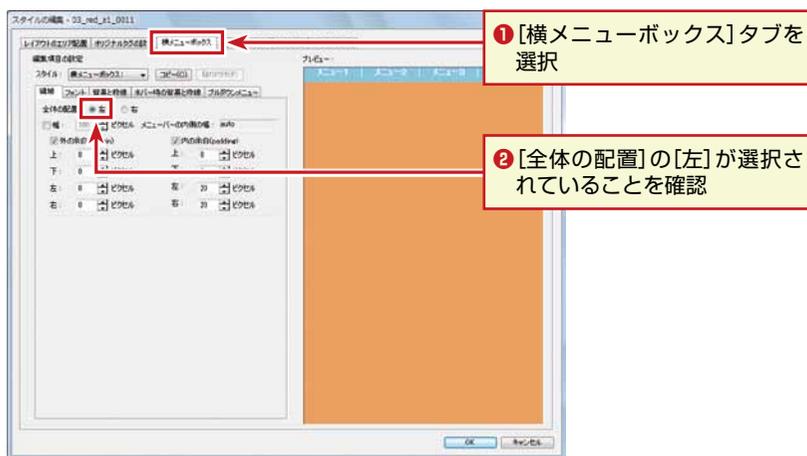
[個別設定] オプションを選んでください。

横メニューのデザインを変更する

メニューに対しては、より細かい設定を行えるように、専用のタブが用意されています。ここではメニューバーに含まれる横メニューボックスの設定方法について説明します。セクション40で操作したサイトおよびスタイルシートを引き続き使用します。

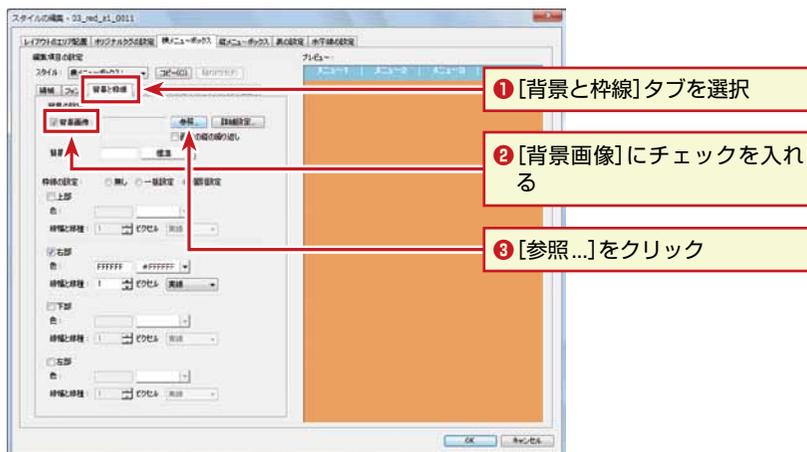
● メニューボタンのデザインを変更する

1 [スタイルの編集]ダイアログボックスの[横メニューボックス]タブを表示します。



2 通常のメニューボタンに使用する画像を参照します。

★ まずは、ボタンの画像を選びます。



関連情報

メニューバーと横メニューボックス

メニューバーとは、ページを構成するエリアであり、横メニューボックスは横メニュー名を表示する共有部品です。横メニューボックスは通常、メニューバーに配置されていますが、他のエリア上に配置することも可能です。

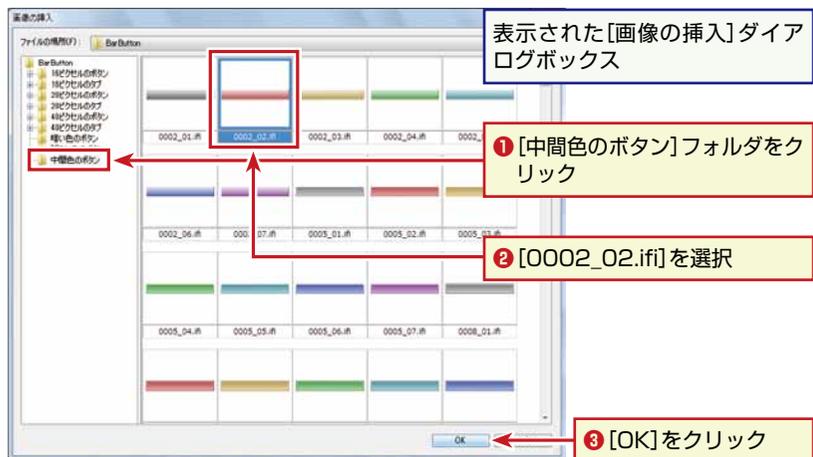
共有部品の挿入の方法は、P.156「セクション46 更新履歴ボックスを設置する」、P.162「セクション48 移動ボタンボックスを設置する」を参照してください。



HINT

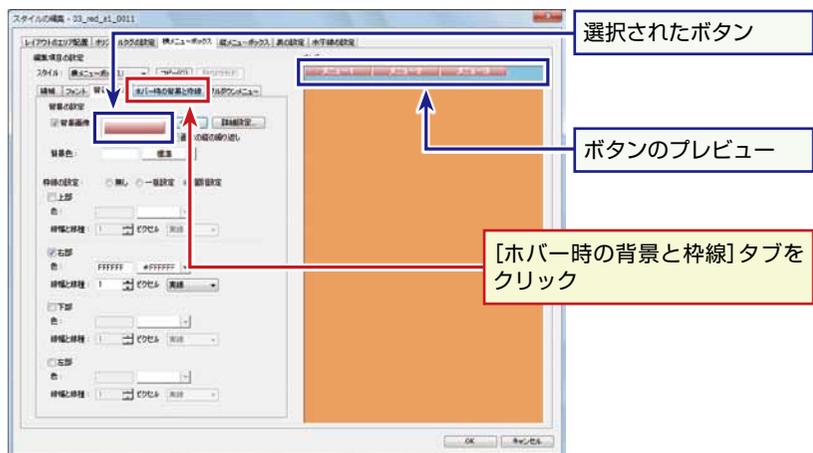
横メニューは画面の右端または、左端に揃えて配置することができます。

3 通常のメニューボタンの画像を選択します。

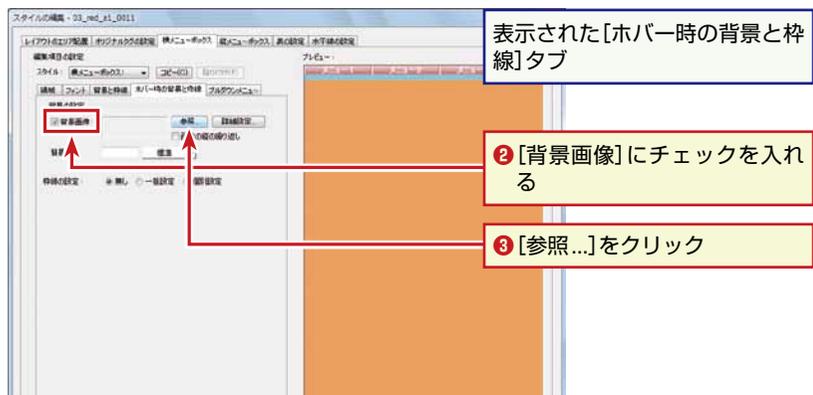


4 ホバー時のボタン画像を設定します。

★次に、ホバー時のボタンの画像を選びます。



5 ホバー時のメニューボタンの画像を参照します。



関連情報

[画像の挿入]ダイアログボックスに表示されるフォルダ

[参照] ボタンが押される状況に応じて、[画像の挿入]ダイアログボックスに表示されるフォルダは異なります。ここではボタンの背景画像の選択が必要のため、[BarButton]フォルダが表示されます。メニューの背景画像は、[BarButton]フォルダ以外の画像は選択できません。

関連情報

ホバーとは

ホバーとは、ボタンや文字をマウスでポイントしたときに、別の画像や色に切り替える動作です。ホバーを設定するには、通常時とホバー時の両方の設定が必要となります。

関連情報

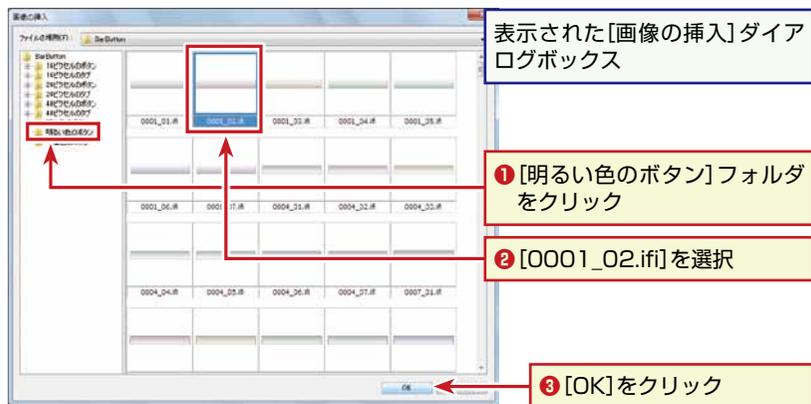
ホバーを設定する場合の注意点

ホバーを設定する場合は、ホバー時のボタンの外観とメニューバーやページ全体のイメージとのバランスも考慮してください。

HINT

ホバーを設定する際は、フォントと背景の色の組み合わせを確認しましょう。フォントと背景画像に同じような色を設定すると、文字が読みにくくなります。

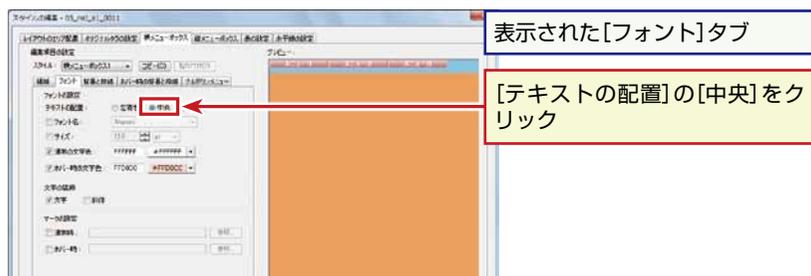
6 ホバー時のメニューボタン画像を選択します。



7 ボタンの設定結果をプレビューします。

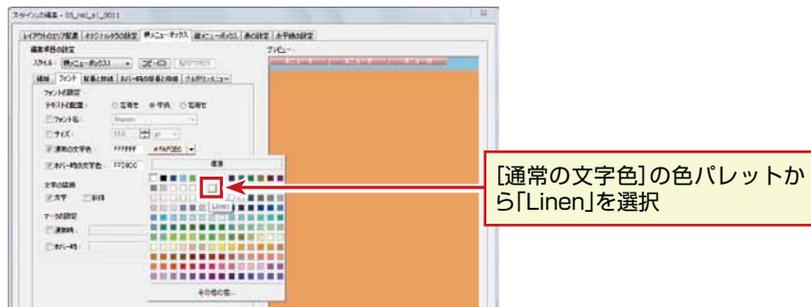


8 メニューボタン名を中央に揃えます。



9 通常のボタンの文字色を変更します。

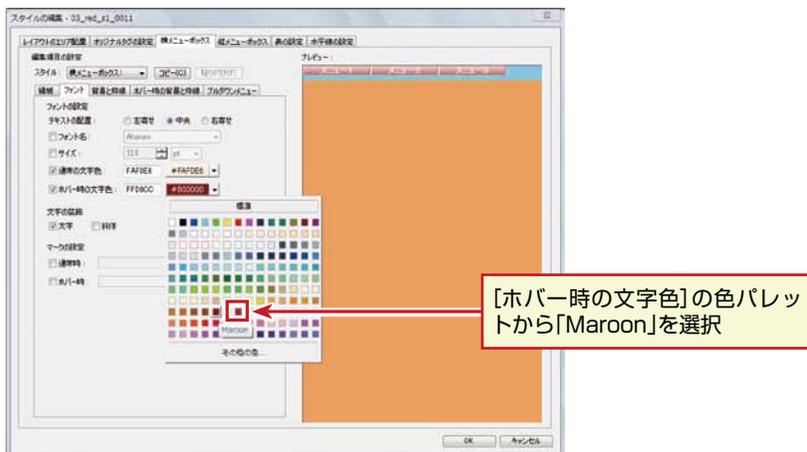
★ ボタンの画像を変更したので、それに合わせて文字の色も変更しましょう。



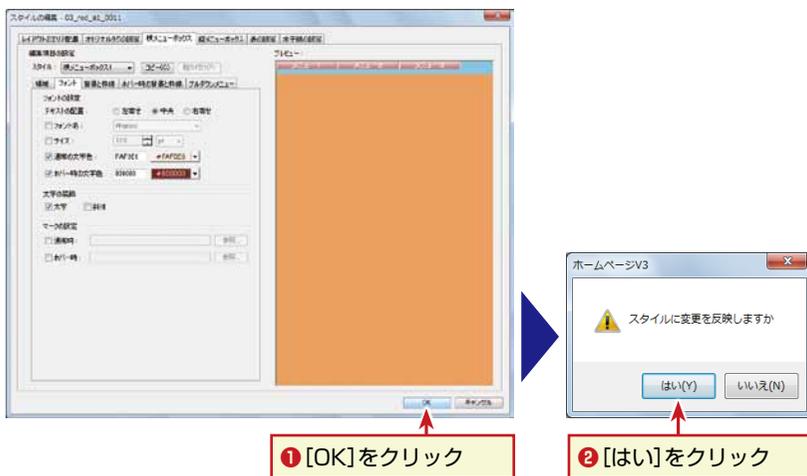
HINT

プレビューでは、マウスでメニューをポイントすることで、ホバーの様子を確認することができます。

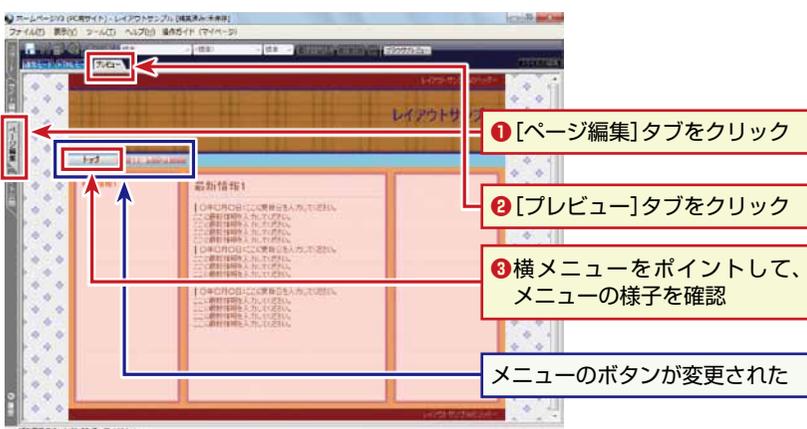
10 ホバー時のボタンの文字色を変更します。



11 スタイルの変更の結果を確認します。



12 スタイルの変更の結果を確認します。



関連情報

メニューボタンのサイズと配置

メニューボタンの幅は、[領域]タブの[幅]ボックスで指定します。また、メニューバーにおける左右の配置は、[領域]タブの[全体の配置]の[左] [右]オプションで設定します。ボタンに対する文字の位置は、[フォント]タブの[テキストの配置]で設定し、[領域]タブの[内の余白]で調整します。また、各ボタンの間隔は[領域]タブの[外の余白]で設定します。

セクション
42

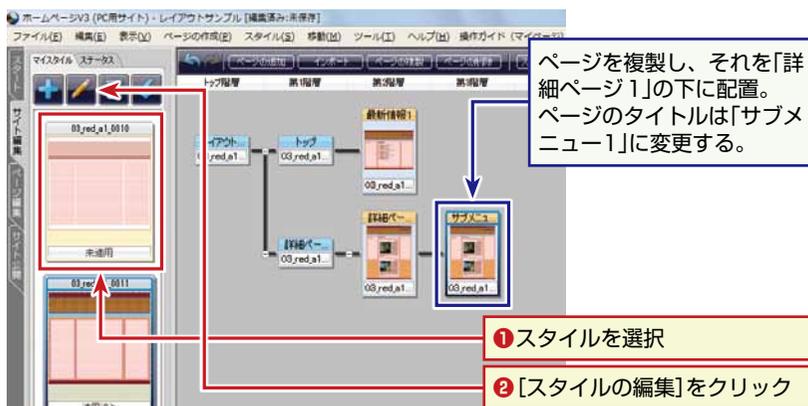
縦メニューのデザインを変更する

縦メニューの設定方法は横メニューと基本的には変わりません。ここではメニュー名の左端にアイコンを表示する方法を説明します。セクション41で操作したサイトおよびスタイルシートを引き続き使用します。

● 縦メニューに表示されるページを追加する

1 縦メニューに表示されるページを追加します。

★ここでは縦メニューの設定を確認するため、「詳細ページ1」ページを複製し、ページの名前も変更しておきます。



● 関連情報

複製したページのスタイルの継承

複製したページには、元のページのスタイルがそのまま継承されます。新しいページを追加する場合は、追加する位置に応じて、適用されるスタイルが決まります。

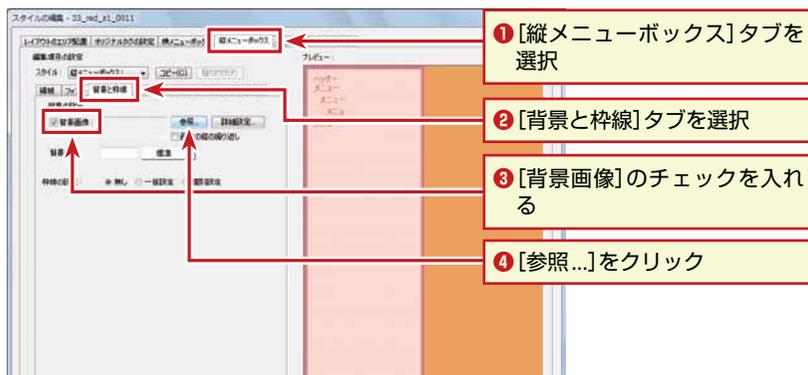
● HINT

横メニュー、縦メニューでは、リンクのデザインの設定を統一して行なうことができます。リンク文字の背景や、文字の前にマークを設定することができます。

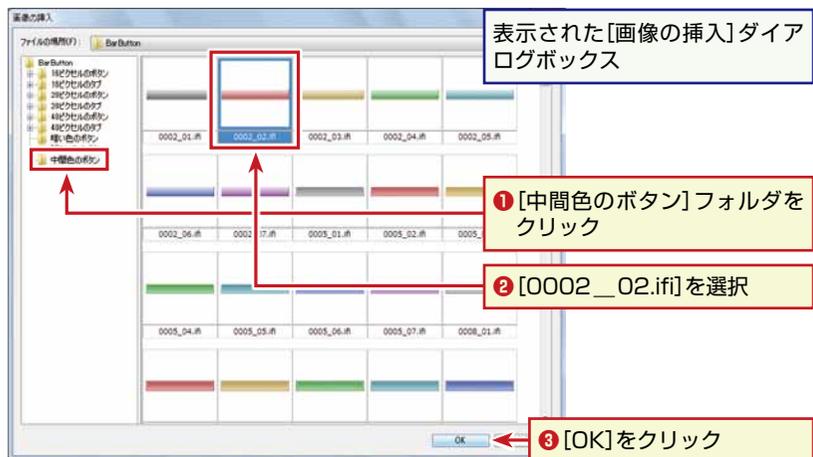
● メニューのデザインを変更する

2 [スタイルの編集]ダイアログボックスの[縦メニューボックス]タブを表示します。

★まずは、ボタンの画像を選びます。

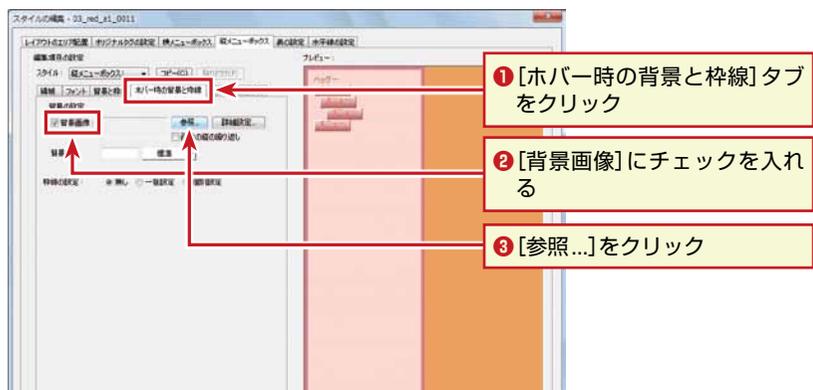


3 通常のメニューボタンの画像を選択します。

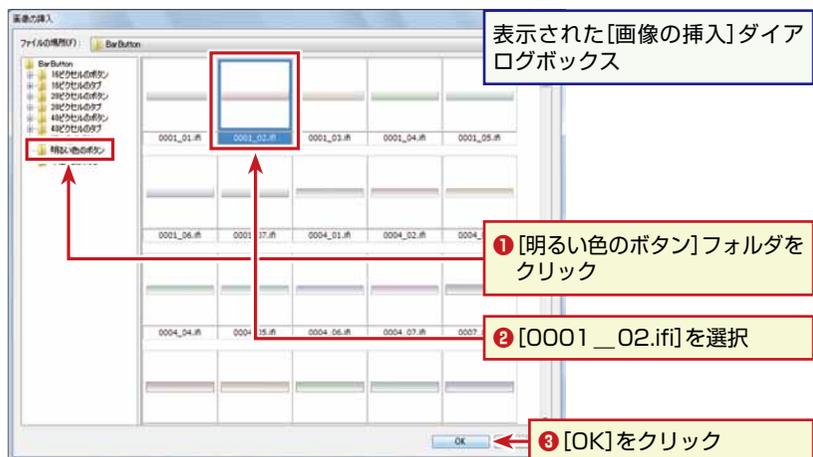


4 ホバー時のメニューボタンの画像を設定します。

★次に、ホバー時のボタンの画像を選びます。



5 ホバー時のメニューボタンの画像を参照します。



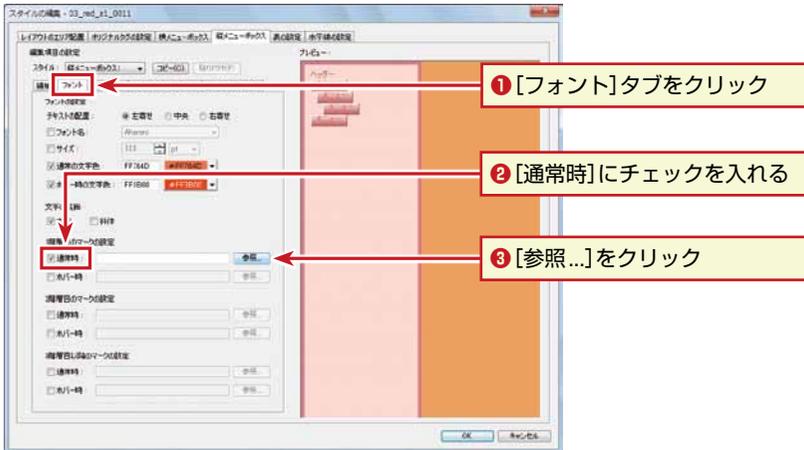
HINT

メニューボタンに使用可能な画像は色調に応じて「dark」「light」「medium」に分類されています。

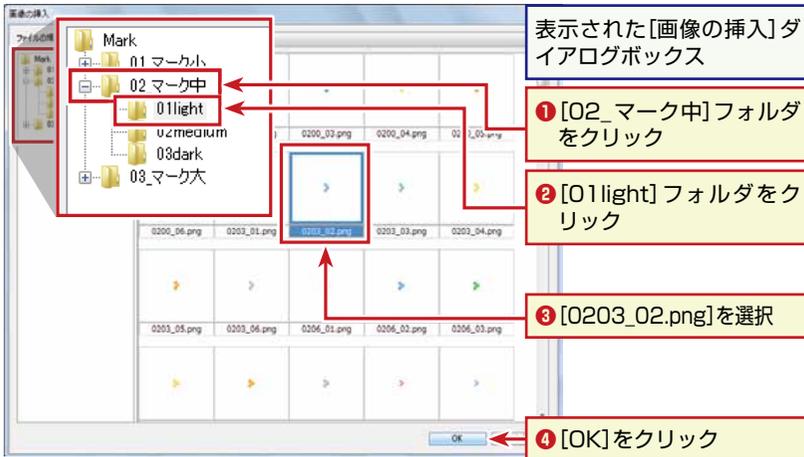
HINT

メニューボタンの設定変更は背景やページ全体のイメージを意識して行ないましょう。

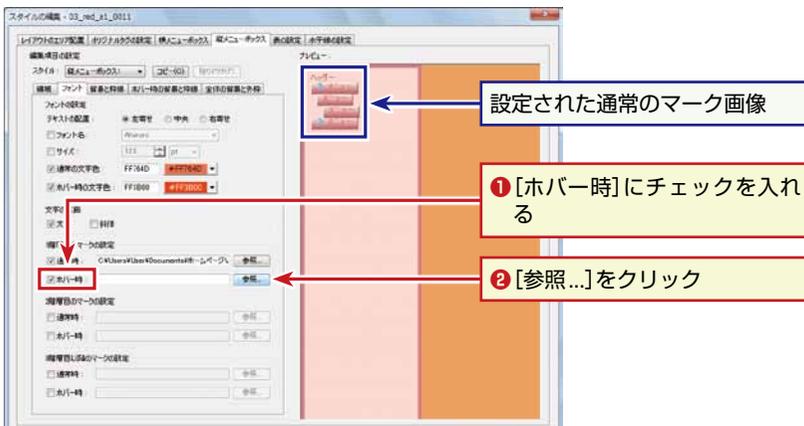
6 縦メニュー名の先頭にアイコン(マーク)を表示します。



7 通常のマークの画像を選択します。



8 ホバー時のマークの画像を参照します。

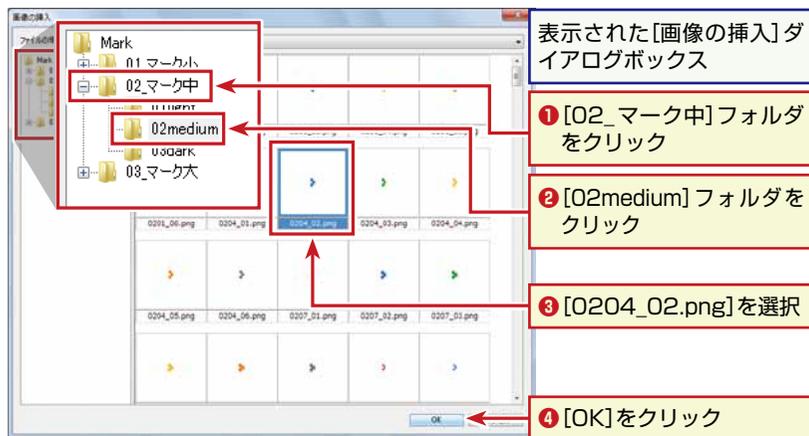


関連情報

[Mark]フォルダとマーク画像

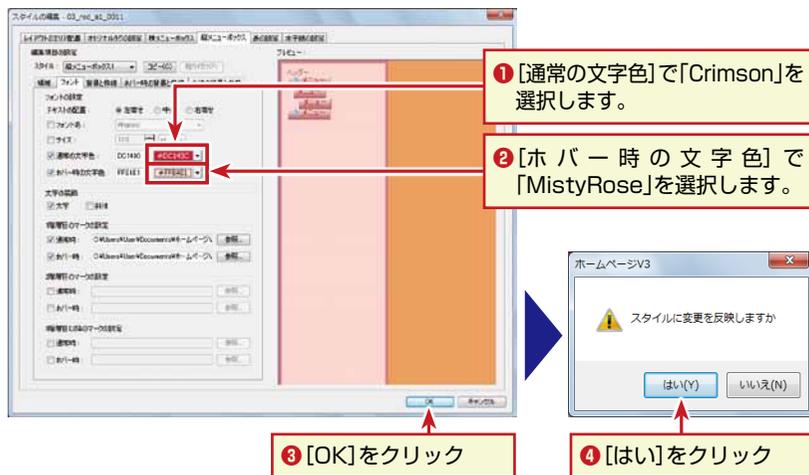
ここでは、マーク用の画像を選択するという状況で、[画像の選択]ダイアログボックスを表示しているため、[Mark]フォルダがデフォルトで表示されます。マーク画像には、アイコンやポイント用の画像も利用可能です。

9 ホバー時のマークの画像を選択します。



10 ボタンに表示される文字を変更します。

★ ボタンの文字の色も、画像に合わせて変更しておきましょう。



11 スタイルの変更の結果を確認します。



関連情報

ボタンの色と文字の色

ホバーを設定する場合、通常時のボタンと文字色、ホバー時のボタンと文字色の4回の設定が必要です。メニューバーの背景も含めて、バランスのとれた配色を選択するように心がけましょう。

関連情報

完成サンプルサイト

以上の操作が終了した時点でのサンプルサイトは以下のURLで確認できます。

<http://www.sourcenext.com/rd/com/hpv3/hp03.html>

! この章のまとめ

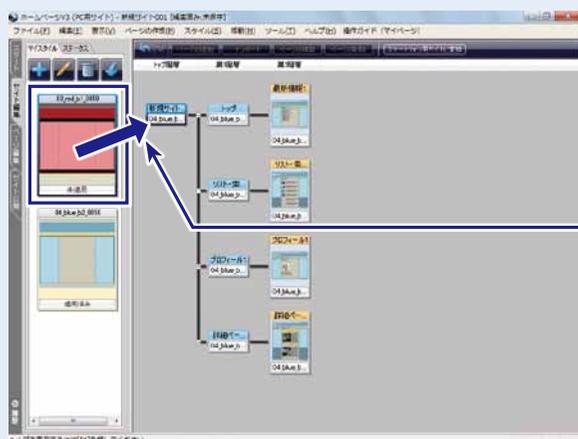
本章ではページをデザインするための操作方法を紹介しました。

「ホームページV3」のデザインの基本は、スタイルシートです。

スタイルを適用すると、サイト内のデザインが統一され、印象に残るサイトにすることができます。さらに、季節の変化に応じてページの背景色や文字の色を変更したいといった場合にも、スタイルの定義を変更するだけで、すべてのページの背景色や文字色を1度に変更することができます。

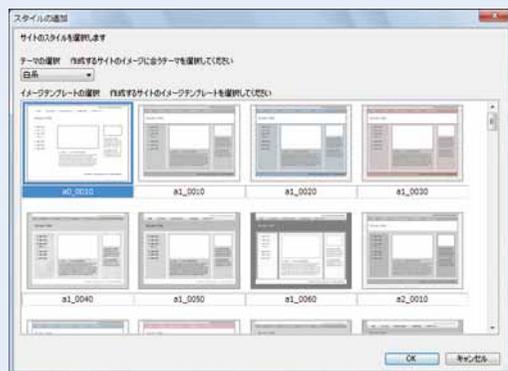
「ホームページV3」にはさまざまなテイストのスタイルシートがあらかじめ用意されています。これらはドラッグ&ドロップするだけで、作成中のサイトに適用することができ、サイト全体の雰囲気を一瞬で変更することができます。

● ドラッグ&ドロップによるスタイルの適用

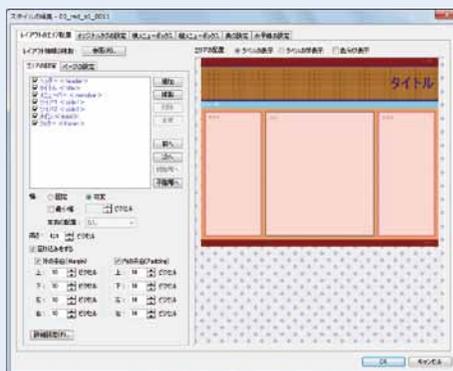


豊富なスタイルの中から気に入ったスタイルを選んで、ドラッグ&ドロップでページのビジュアルを変更できる

● あらかじめ用意された豊富なスタイル



● スタイルシートによるきめ細かいデザイン



画面の要素ごとに、きめ細かいデザインをスタイルシートに設定できる

第5章

実践1～ 日記サイトを作る

本章からは実践編です。これまでに説明してきた機能や仕組みを活用して、「ホームページV3」を使って実際にサイトを作ってみましょう。

本章では、日記サイトの作成を通じて、サイト訪問者数を表示するアクセスカウンタや更新履歴の表示、RSSフィードの設置など、実用的な機能をページに反映する方法を解説します。また、多くの写真を見せるときに便利なギャラリーページの作成方法も紹介します。

セクション 43	これから作るサイトの紹介	150
セクション 44	アクセスカウンタを設置する	152
セクション 45	オリジナルタグを作成する	154
セクション 46	更新履歴ボックスを設置する	156
セクション 47	RSSを設置する	160
セクション 48	移動ボタンボックスを設置する	162
セクション 49	Flashギャラリーページを作成する	168
	この章のまとめ	172

これから作るサイトの紹介

サンプルとして、個人向けの日記風ホームページを作成します。ここでは、サンプルホームページ「サバンナ日記」を例に、多くの訪問者をひきつけるためのさまざまな楽しい機能を紹介します。このサンプルホームページには以下のURLからアクセスできます。

<http://www.sourcenext.com/rd/com/hpv3/hp04.html>

● アクセスカウンタの設置

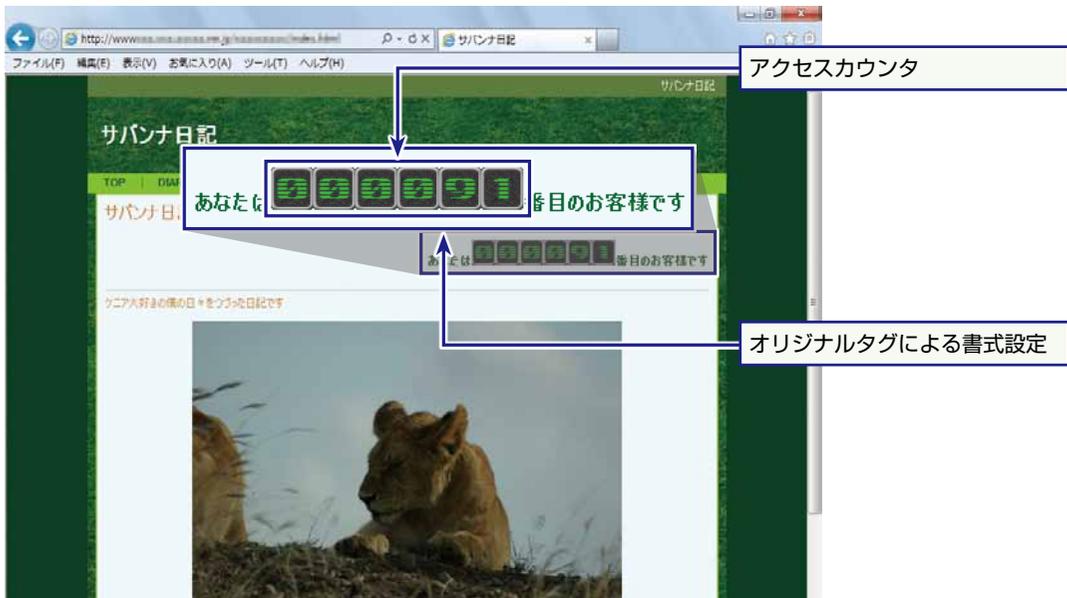
ホームページにアクセスする訪問者の数をカウントするアクセスカウンタを設置します。

⚠ 注意!

アクセスカウンタの設置方法は契約しているプロバイダによって異なります。詳しくは、契約しているプロバイダが提供している情報を参照してください。

● オリジナルタグによる書式設定

「ホームページV3」には、さまざまなスタイルタグが用意されています。ここではタイトルに設置したアクセスカウンタ周りのテキスト用のスタイルを設定します。



● 更新履歴ボックスの設置

「ホームページV3」は、ホームページに対する更新作業の内容を自動的に記録しています。その内容の一部を、更新履歴ボックスに転記して、表示することが可能です。

● RSS の設置

更新履歴ボックスでは、サイトの更新情報を配信するRSSの設置が簡単に行なえます。RSSを活用することで、サイトの更新をいち早く閲覧者に知らせることができます。

● 移動ボタンの設置

ページに移動ボタンボックスを追加することで、一連のページを順番に表示するようなナビゲーションを実現できます。ここではページ送り式のフォトアルバムを作成しています。



● Flash ギャラリーの設置

Flash ギャラリー作成機能を利用することで、複数の画像ファイルをまとめてサーバーにアップロードし、動きのあるフォトギャラリーを簡単に作成できます。

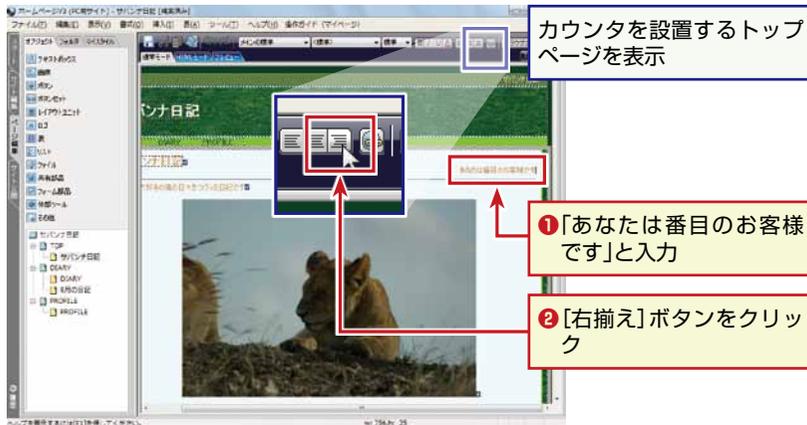


アクセスカウンタを設置する

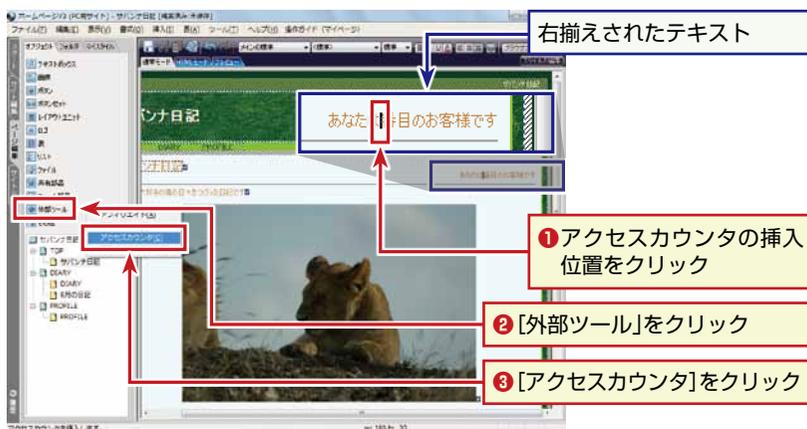
ページにアクセスカウンタを設置することで、自分のホームページを訪れた人の数をカウントできます。「ホームページV3」では簡単な操作でカウンタを設置することができます。

1 アクセスカウンタの前後に表示するテキストを入力します。

★ここでは、「あなたは(アクセスカウンタ)人目のお客様です」と表示されるように、カウンタの前後のテキストを入力します。



2 [アクセスカウンタの挿入]ダイアログボックスを表示します。



関連情報

カウンタの設置場所

アクセスカウンタは、通常、サイトのトップページに設定します。今回はメインエリアに設置しましたが、一般的にはタイトルまたはサイドエリアに設置します。



HINT

プロバイダにアクセスカウンタがないときは

お使いのプロバイダにアクセスカウンタがない場合は、無料のアクセスカウンタを使うこともできます。検索サイトで「アクセスカウンタ 無料」と入力して、無料のアクセスカウンタを提供しているwebサービスを探してください。

無料アクセスカウンタの設置は、[その他]メニュー内の[HTMLタグ]から行なってください。

3 アクセスカウンタのコードを入力します。



表示された[アクセスカウンタの挿入]ダイアログボックス

① アクセスカウンタの設置に必要な情報を入力する

② [OK]をクリック

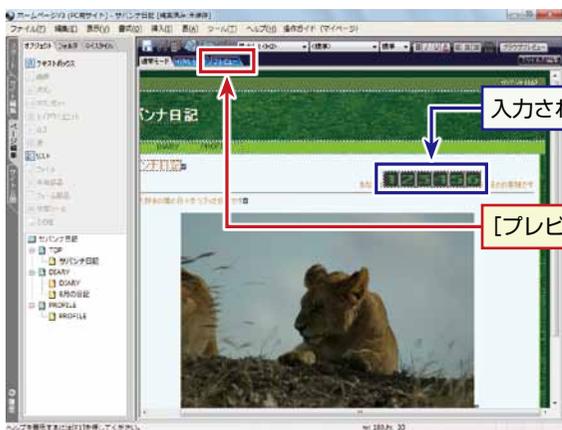
注意!

[アクセスカウンタの挿入]ダイアログボックスの内容は、選択しているプロバイダに応じて変化します。アクセスカウンタを設置するためには、必ずプロバイダを選択しておく必要があります。このサンプルでは、プロバイダ「So-net」を選択しています。プロバイダの変更方法は、P.108「セクション31 転送の設定を変更する」を参照してください。

関連情報

アクセスカウンタの設定値
アクセスカウンタの設定値は各プロバイダから取得できます。設定値は1文字でも間違っていると、カウンタが正しく表示されません。どんな情報を入力するかについては、ご利用になるプロバイダのサポートページを参照してください。カウンタのリセットなども、プロバイダのページ上で行なうことができます。

4 入力されたアクセスカウンタを確認します。



入力されたアクセスカウンタ

[プレビュー]タブをクリック

注意!

[通常モード]タブに表示されるカウンタは、あくまでも表示場所と大きさを示すもので、実際に表示されるカウンタとは異なります。

5 操作結果をプレビューします。



アクセスカウンタのテキスト

サーバーへアップロードすると、この位置にカウンタが表示される。

関連情報

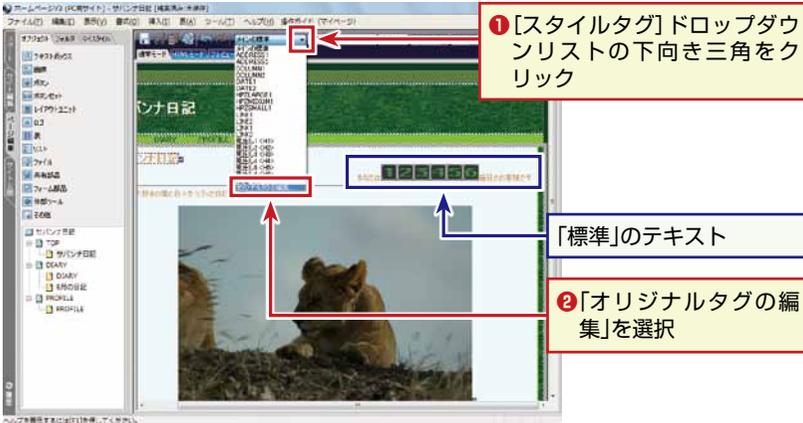
アクセスカウンタの確認
アクセスカウンタはサーバー上で働く機能ですので、「ホームページV3」ではプレビューすることができない場合があります。正常に動作するかどうか確認するには、作成したページをアップロードして、実際にトップページにアクセスしてください。

オリジナルタグを作成する

文字のサイズや書体、書式を組み合わせることで1つのスタイルとしてオリジナルのタグを作成し、他のスタイルタグと同じように利用することができます。通常のテキストに対してスタイルを作成し、適用してみましょう。

1 [ページ編集]タブに切り替えます。

★前のセクション44で追加したアクセスカウンタの前後のテキストには、「メイン」エリアの「標準」スタイルが適用されています。ここに新しいスタイルタグを作成して、タイトルとそれ以外のテキストを区別します。



2 新しいスタイルタグを追加します。



3 新しいタグの名前を指定します。



関連情報

スタイル設定変更のショートカット

[オリジナルタグの編集]ダイアログボックスは、[サイト編集]タブの[スタイルの編集]ダイアログボックスにある[オリジナルタグの設定]タブに相当します。[スタイルの編集]ダイアログボックスではプレビューを確認しながら設定を行なうことができます。



HINT

[オリジナルタグの編集]ダイアログボックスでは[スタイルの編集]ダイアログボックスの[スタイルの編集]タブ同様に、[領域] [背景] [フォント] [枠線]の設定を行なうことができます。



HINT

オリジナルタグに設定する名前は、半角英字で入力する必要があります。後でどのタグをどこに使用したかわかるように、覚えやすい名前を付けておきましょう。設定後は、大文字で表示されます。

4 新しいタグの内容を設定します。

オリジナルタグの編集

タグ: COUNTER [追加] [削除]

領域: 音字 [フォント] ← ① [フォント]タブをクリック

フォントの配置: 左寄せ 中央 右寄せ

フォント名: Aharoni

サイズ: 11.0 ← ② [サイズ]に「11」と入力

色: FFD700 #006400

行間: 100

文字の装飾

太字 斜体

下線 上線 打点

英大文字変換: すべて

色パレットで「DarkGreen」を選択 ← ③

OK ← ④ [OK]をクリック

HINT

タグの内容を変更する

後からタグの内容を変更するには、[オリジナルタグの編集]ダイアログボックスを開き、[タグ]ドロップダウンリストから対象となるタグ名をクリックしてください。タグの設定内容がダイアログボックス上に表示され、編集が可能になります。[サイト編集]タブの[スタイルの編集]ダイアログボックスからも同様に編集が可能です。

5 オリジナルタグを適用します。

① スタイルタグを適用したい段落の一部をクリック

② [スタイルタグ]ドロップダウンリストの下向き三角をクリック

③ 作成したオリジナルタグ「COUNTER」を選択

6 タグの適用結果を確認します。

[プレビュー]タブをクリック ←

オリジナルタグが設定された

関連情報

オリジナルタグの適用範囲

タグの内容は、段落単位で設定されます。書式情報を継承する改行(⌘(Shift) + ⌘(Enter)キー)の場合、タグの書式は次の行にも継承されます。

注意!

オリジナルタグは、1つのスタイルの中に設定されますので、スタイルを変更すると、作成したオリジナルタグは適用されません。

更新履歴ボックスを設置する

「ホームページV3」は、ホームページの更新履歴を自動的に記録しています。その内容を、更新履歴ボックスに自動的に転記することが可能です。

● 更新履歴ボックスを追加する

1 更新履歴ボックスを挿入します。



HINT

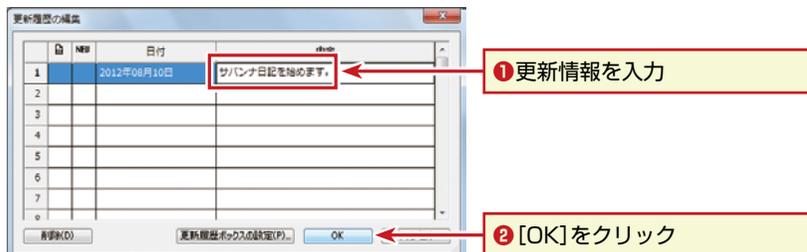
サイト作成時に選択するページによっては、最初からメイン部分に更新履歴ボックスが設定されているものもあります。

2 最初の更新情報を入力します。

★ まずは、ホームページの開設情報を表示しましょう。



3 更新履歴ボックスを挿入します。



関連情報

更新履歴ボックスの日付

[更新履歴ボックス]をクリックすると、ドロップダウンボタンが表示され、好きな書式で今日の日付を選択することができます。また、日付そのものを変更することも可能です。

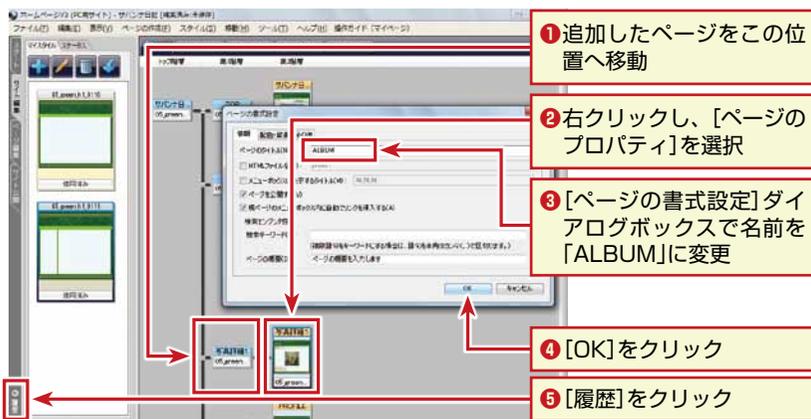
● 更新履歴ボックスに更新履歴を転記する

4 新しいページを追加します。

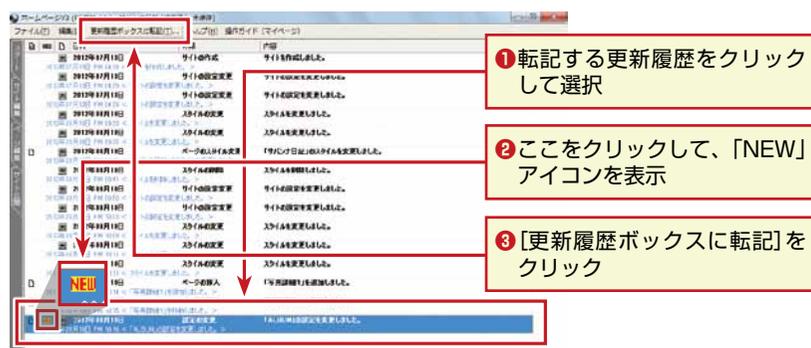
★「ホームページV3」は、作成中のホームページに対する変更の履歴を記憶しています。ここでは、新しいページ「ALBUM」を追加し、その履歴を更新履歴ボックスに転記します。



5 新しいページの名前を変更します。



6 転記する更新履歴を指定します。



関連情報

更新履歴の記録のされ方

「ホームページV3」での作業内容がそのまま更新履歴として記録されるため、更新履歴ボックスに転記する場合、編集が必要になるような履歴情報もあります。修正は転記時、転記後のいずれでも行なうことができます。

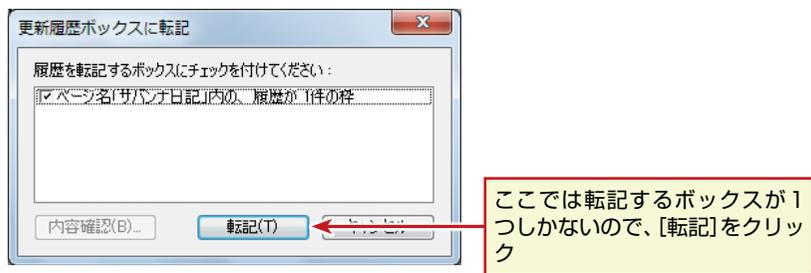
HINT

複数の更新履歴を1度に更新履歴ボックスに転記することもできます。(Shift)キーを押しながら選択すると連続して履歴を選択できます。(Ctrl)キーを押しながら選択すると、連続していない履歴を1度に選択できます。

HINT

履歴を更新しても、日付を新しくしただけではホームページを見る人に伝わりづらいこともあります。ホームページを見る人がわかりやすくなるように、履歴を更新したら「NEW」アイコンを付けるようにしましょう。

7 更新情報の転記先を指定します。



8 [更新履歴の編集]ダイアログボックスを表示します。

★次に、更新履歴ボックスに転記された情報を編集しましょう。



9 追加された更新情報の内容を編集します。



HINT

「NEW」アイコンは変更することが可能です。[更新履歴の編集]ダイアログボックスで、[更新履歴ボックスの設定]をクリックしてください。表示された[更新履歴ボックスの設定]ダイアログボックスの[項目設定]タブ内にある[更新マーク]の画像を変更することで、「NEW」アイコンを変更できます。

関連情報

「NEW」アイコンを削除するには
[更新履歴の編集]ダイアログボックスで「NEW」アイコンが表示されている欄をクリックすると、「NEW」アイコンが削除されます。

COLUMN 更新履歴ボックスが複数ある場合

1つのホームページ上に複数の更新履歴ボックスがある場合、更新履歴の転記時にどのボックスに転記するかを指定する必要があります。複数のボックスに同時に転記することも可能ですし、どれか1つを選ぶことも可能です。

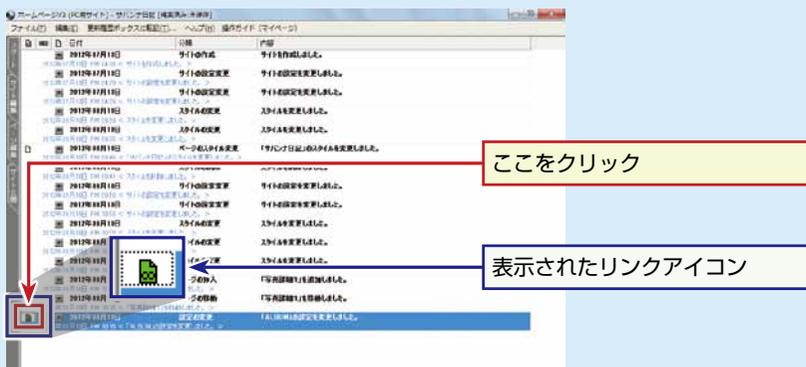


10 転記された更新履歴ボックスを確認します。

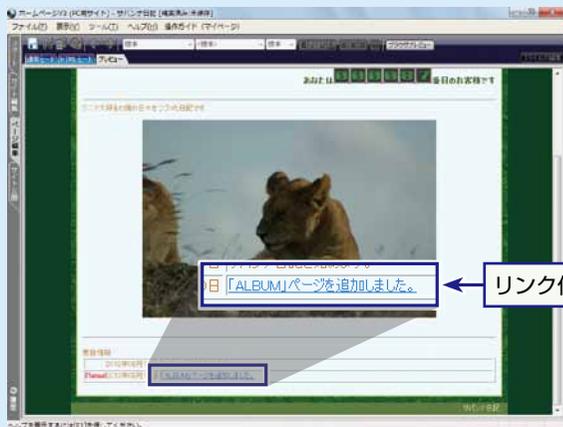


COLUMN 更新履歴ボックスに更新ページへのリンクを作成する

更新履歴の転記時、その更新情報に対象となるページへのリンクを設定することが可能です。自動的にリンクを設定するには、更新ページの更新情報の先頭をクリックし、リンクアイコンを表示してください。



その結果、更新履歴ボックスに表示される更新情報には、該当ページへのリンクが自動的に設定されます。



関連情報

すでに更新履歴ボックスに転記を行なっても[更新履歴の編集]ダイアログボックスからリンクの設定を行なうことができます。

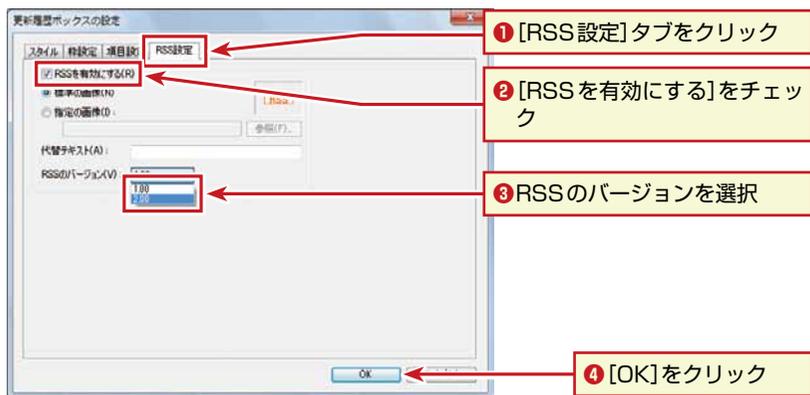
RSSを設置する

RSSはwebサイトの要約や更新情報を配信するための技術です。RSSを配信することで、より多くの人に迅速にサイトの更新を知らせることができます。「ホームページV3」では、更新履歴ボックスの内容をRSSとして配信することができます。

1 [更新履歴ボックスの設定]ダイアログボックスを表示します。



2 RSSを有効にします。



関連情報

RSSとは、Rich Site Summaryの略語です。サイトに関する情報を素早く配信するための技術です。いろいろなサイトの情報を素早く知りたいユーザーは、興味のあるサイトの更新情報や要約をRSSリーダーを使って収集しています。webサイトのRSS配信を行なうことで、いち早くユーザーに更新情報を伝えることができます。



関連情報

RSS1.0とRSS2.0の違いについて

更新情報のみを配信したい場合には、RSS1.0が向いています。RSS2.0を選択すると、内容もある程度配信することができます。RSSを読み取るRSSリーダーは通常、両規格に対応してます。



関連情報

代替テキストとは

画像の代わりにテキストを表示するときに使用します。表示したいテキストをボックス内に入力してください。



注意!

RSSとして配信するには、更新履歴ボックス内でリンクを設定する必要があります。リンクの設定方法はP.159「コラム：更新履歴ボックスに更新ページへのリンクを作成する」を参照してください。

3 設置されたRSSを確認します。



注意!

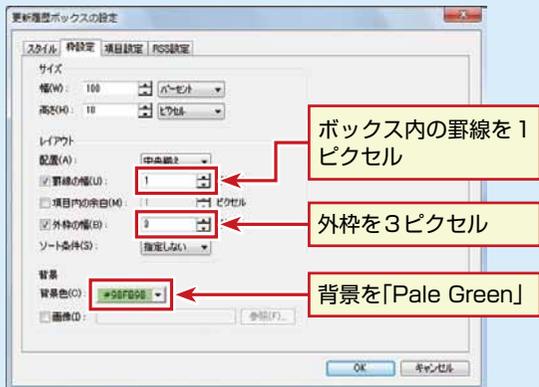
RSSの設定には、[接続設定]ダイアログボックスでホームページのアドレスを入力しておく必要があります。アドレスを入力していない状態でRSSを設定してプレビューしようとすると、ホームページのアドレスの入力を求めるダイアログボックスが表示されますので、アドレスを入力してください。入力する際は、URL最後の「/(スラッシュ)」まで入力する必要があります。

COLUMN

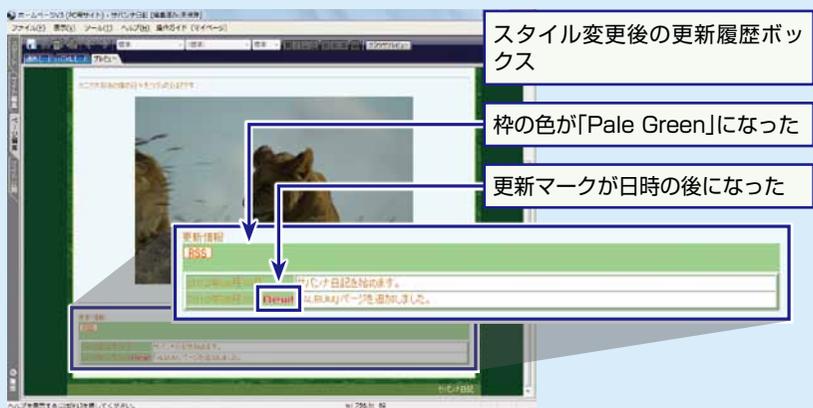
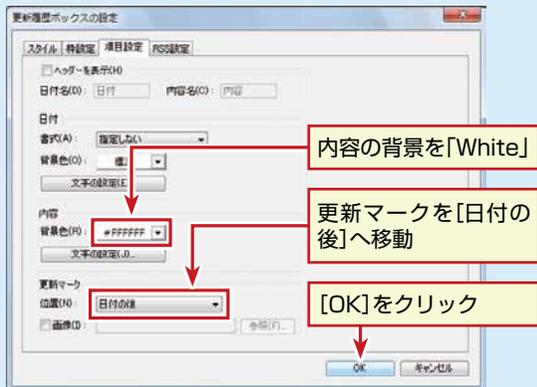
[更新履歴ボックスの設定]ダイアログボックスのその他のタブ

[更新履歴ボックスの設定]ダイアログボックスには、[RSS設定]以外に、[スタイル]、[枠設定]、[項目設定]の3つのタブがあります。更新履歴ボックスは表の一種なので、表用のスタイルを適用することが可能です。[スタイル]タブでは、一般的な表用のスタイルを適用したり、新たに作成することが可能です。[枠設定]、[項目設定]タブは、更新履歴ボックスの枠および項目のスタイルを直接設定します。

・ [枠設定] タブ



・ [項目設定] タブ



移動ボタンボックスを設置する

ここでは画面に表示された移動ボタンを使って、1ページずつ進んだり、戻ったり、全ページの先頭や末尾に移動することのできるフォトアルバムを作成します。

● アルバム用のページを用意する

1 アルバムのページを追加します。

★ 現在ある「ALBUM」ページを表紙として、それに続くアルバムの1ページ目を追加しましょう。



2 挿入するページを選択します。



関連情報

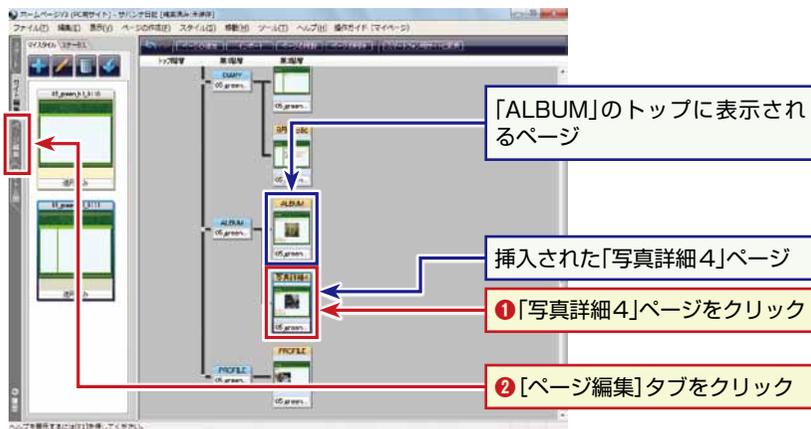
画像のサムネイルを作成してリスト化し、サムネイルをクリックすると画像が拡大されるという表現方法もあります。また、Flashを使用してギャラリーを作成することもできます。Flashギャラリーについては、次のセクション49で紹介します。

HINT

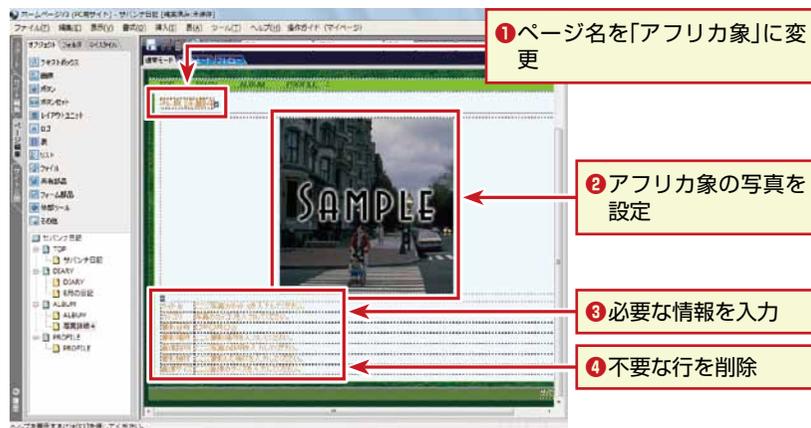
ページの追加・複製・削除の方法については、P.88「セクション25 ページを追加・複製・削除する」を参照してください。

3 挿入された1ページ目を編集します。

★アルバムのベースとなるページが挿入されました。他のページは、このページの複製から作成します。



4 アルバムの1ページ目に情報を入力します。



● 移動ボタンボックスを追加する

5 「ALBUM」ページに移動ボタンボックスを追加します。



6 「アフリカ象」ページに切り替えます。



7 「アフリカ象」ページに移動ボタンボックスを追加します。



関連情報

【ページ編集】タブ上でのページ間の移動

マネージャバーの[オブジェクト]タブ下部のサイトツリーで、目的のページ名をクリックすることで、目的のページに素早く切り替えることができます。

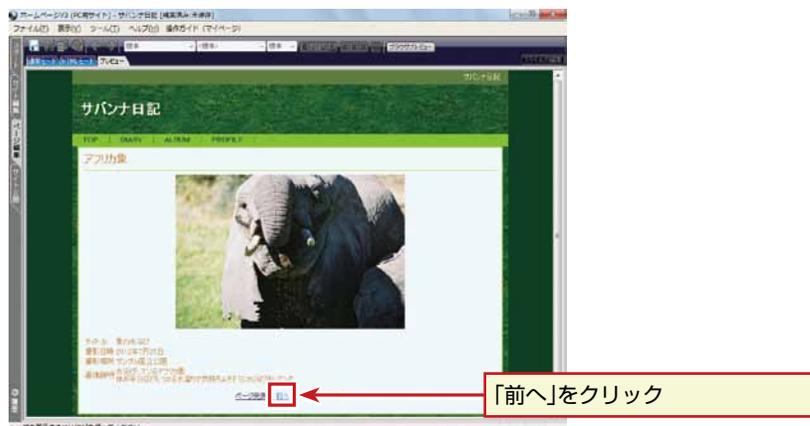


関連情報

移動ボタンボックスに表示する名称

ボタンの名称は[サイトの設定]ダイアログボックスで変更できます。

8 移動ボタンを試してみます。



注意!

ここではまだアルバムページが2ページしかないため、「先頭ページ」と「前へ」ページは同じ動作となっています。

9 他のアルバムページを追加します。



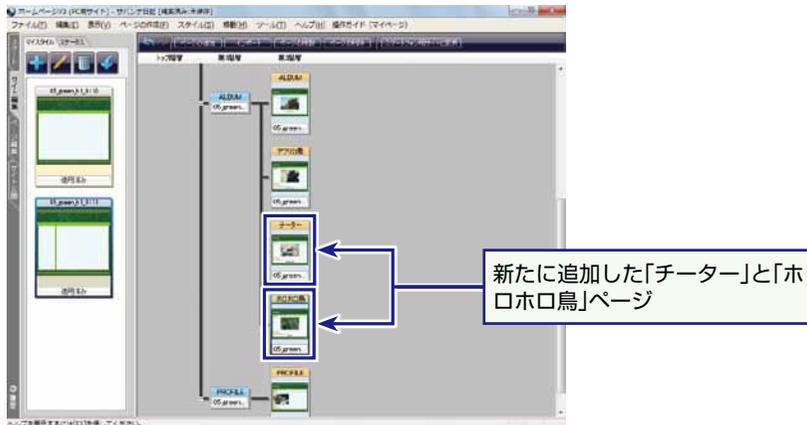
HINT

移動ボタンの文字色は、通常のリンクと同様に、[ページエリアのスタイルの編集] ダイアログボックスの [フォント] タブの [リンクの文字色設定] エリアで設定できます。



10 他のアルバムページを追加します。

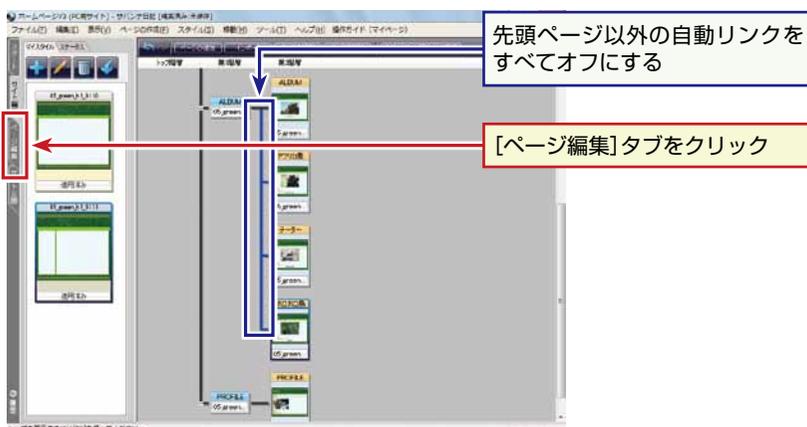
★「アフリカ象」ページを複製し、複製したページを編集して、他のページを作成しましょう。



11 自動リンクをオフにします。



12 再びページ編集に切り替えます。



HINT

ページの複製の方法については、P.88「セクション 25 ページを追加・複製・削除する」を参照してください。

関連情報

自動リンクをオフにする意味
自動リンクをオフにすると、そのページ名はメニューに表示されなくなります。つまり、メニューからのアクセスができなくなります。ただし、本サンプルでは、縦メニューボックスを利用していないので、自動リンクがオンになっていても、縦メニューそのものが表示されないため、結果は変わりません。メニューが表示された状態で、移動ボタンのみを使ってページにアクセスさせたい場合には、先頭のページ以外の自動リンクはすべてオフにしておきましょう。

13 移動ボタンの動作を確認します。



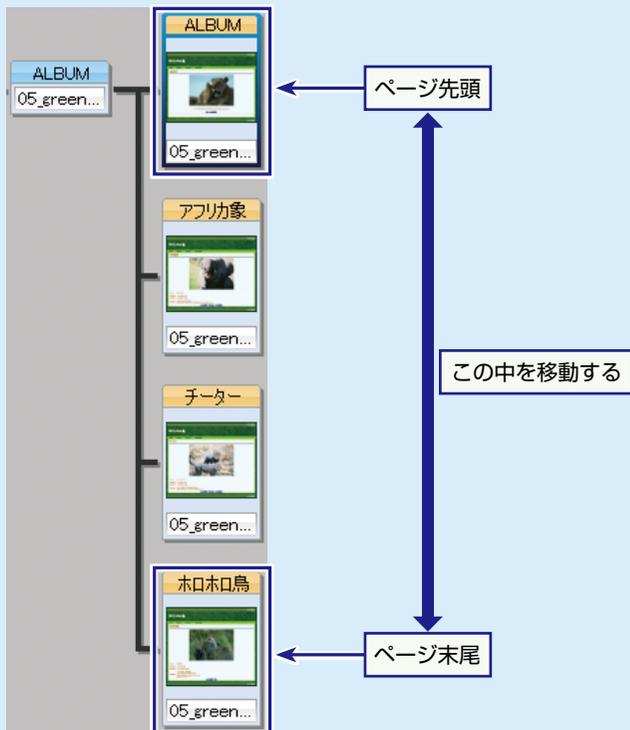
COLUMN

移動ボタンボックスの移動について

移動ボタンボックスには、次の4つのボタンが表示されます。

- ・ ページ先頭へ
- ・ 前へ
- ・ 次へ
- ・ ページ末尾へ

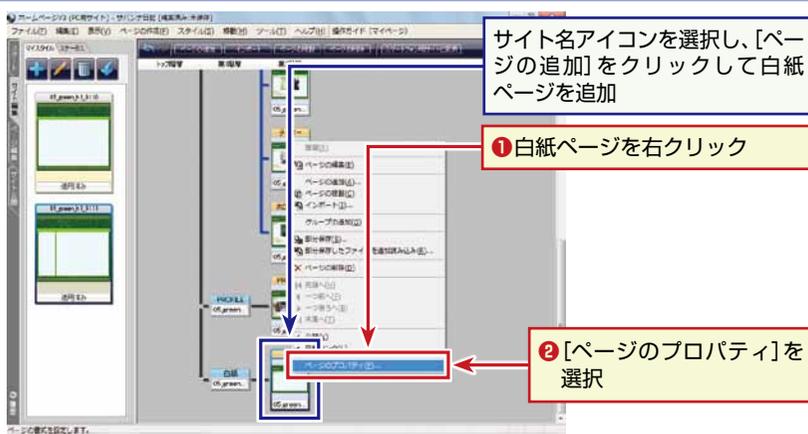
先頭のページでは最初の[ページ先頭へ] [前へ]のボタンは選択不能となり、末尾のページでは最後の[次へ] [ページ末尾へ]のボタンが選択不能となります。なお移動ボタンボックスは、横メニュー間の移動や、上下の階層への移動はできません。



Flash ギャラリーページを作成する

「ホームページV3」には、通常のギャラリーとFlashギャラリーという2種類の写真ギャラリー作成機能が用意されています。ここではFlashギャラリーを利用して、ダイナミックで個性的なギャラリーを作成します。

1 サイトにギャラリー用のページを追加します。



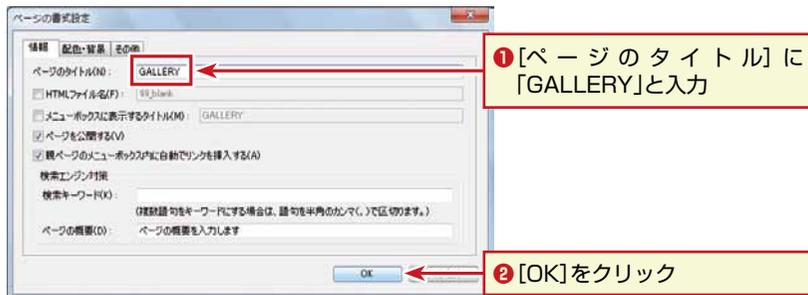
HINT

白紙ページ以外でもギャラリーの作成は可能です。

HINT

ページの追加方法については、P.88「● ページを追加する」を参照してください。

2 ページ名を変更します。



3 [Flashギャラリーの設定]ダイアログボックスを開きます。

★ 白紙のページ「GALLERY」を編集し、ここにFlashギャラリーを挿入します。



4 使用するギャラリーの種類を選択します。

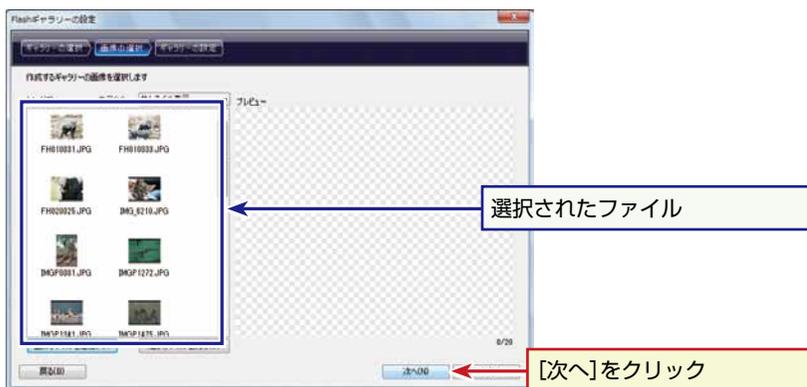


5 ギャラリーに追加する画像を選択します。

★「画像の選択」画面では、ギャラリーに追加する画像ファイルを指定します。



6 「ギャラリーの設定」画面に進みます。



関連情報

Flashギャラリーの写真の表示方法

Flashギャラリーにはさまざまな写真の表示方法が用意されています。アイコンを選択すると、右側にその内容が表示されます。ギャラリーの表示方法は、一度設定して、ページに追加した後でもいつでも変更が可能です。



関連情報

複数のファイルをまとめて選択する

複数のファイルをまとめて選択するには、<Ctrl>キーを押しながら画像ファイルを順次クリックします。選択対象となるファイルが連続して並んでいる場合は、先頭のファイルをクリックし、<Shift>キーを押して末尾のファイルをクリックするか、先頭のファイルから末尾のファイルまでドラッグします。

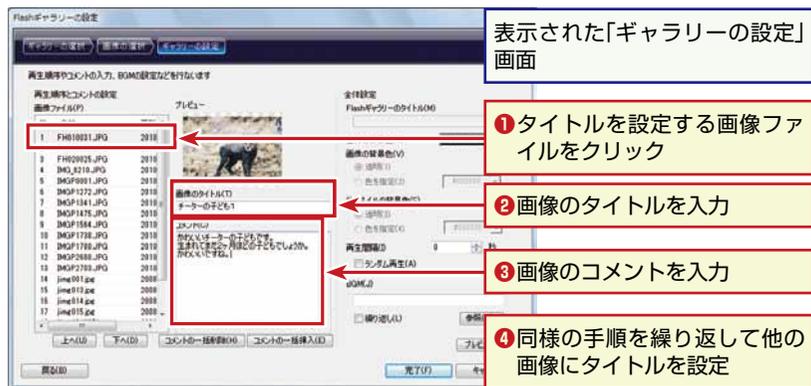


HINT

トレイに追加したファイルを選択すると、[プレビュー]画面に表示されます。

7 ギャラリーの設定を行います。

★ ギャラリーに表示される画像にタイトルとコメントを追加できます。背景色やスライドショー表示の再生時間・方法を指定したら、最後に表示方法をプレビューします。



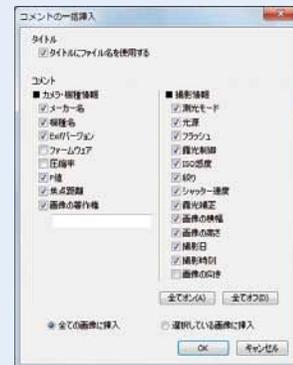
8 Flashギャラリーの写真の表示方法を確認します。

★ [プレビュー] ボタンをクリックすると、ブラウザが起動して、「3Dサークル」ギャラリーが表示されます。



関連情報

画像にファイル名、撮影情報、カメラ・機種情報を表示する
ギャラリーに表示する画像とともに、その画像のファイル名や撮影情報などを表示することが可能です。[コメントの一括挿入] ボタンをクリックし、[コメントの一括挿入] ダイアログボックスで、必要な情報のチェックボックスを選択してください。

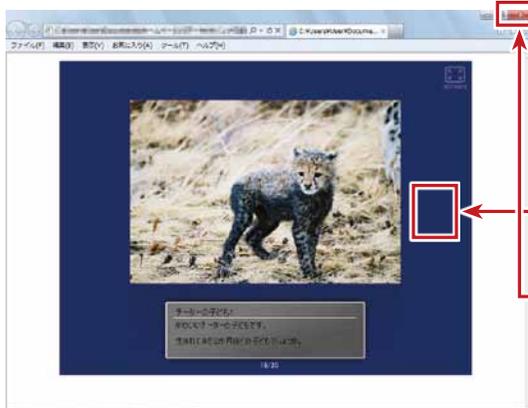


関連情報

ギャラリーの設定オプション
選択するギャラリーの種類に応じて、利用可能な設定オプションは異なります。利用できないオプションは灰色で表示され、選択不可能となっています。

関連情報

BGMの設定
ギャラリーの表示時にBGMを流すことが可能です。BGMを流すには、[参照] ボタンをクリックし、使用する音声ファイルを選択してください。さらに必要に応じて、[繰り返し] チェックボックスをオンにします。



表示された画像ファイル

再生時間を設定している場合は、自動的に次の画像に切り替わる

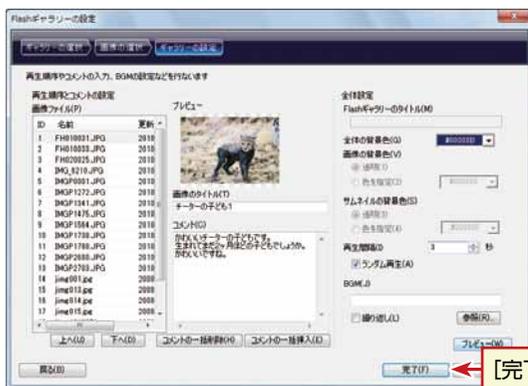
1 ギャラリーに戻るにはここをクリック

2 プレビューが済んだらブラウザを閉じる

注意!

[ページ編集]画面の[プレビュー]タブでは、Flashギャラリーはプレビューされません。[ギャラリーの設定]ダイアログボックスからプレビューする以外では、右上の[ブラウザプレビュー]ボタンをクリックするか、実際にホームページをアップロードして、ブラウザ上でプレビュー・動作確認を行なってください。

9 ギャラリーの設定を完了します。



[完了]をクリック

10 挿入されたFlashギャラリーを確認します。



挿入されたFlashギャラリーの位置とサイズが枠で示される

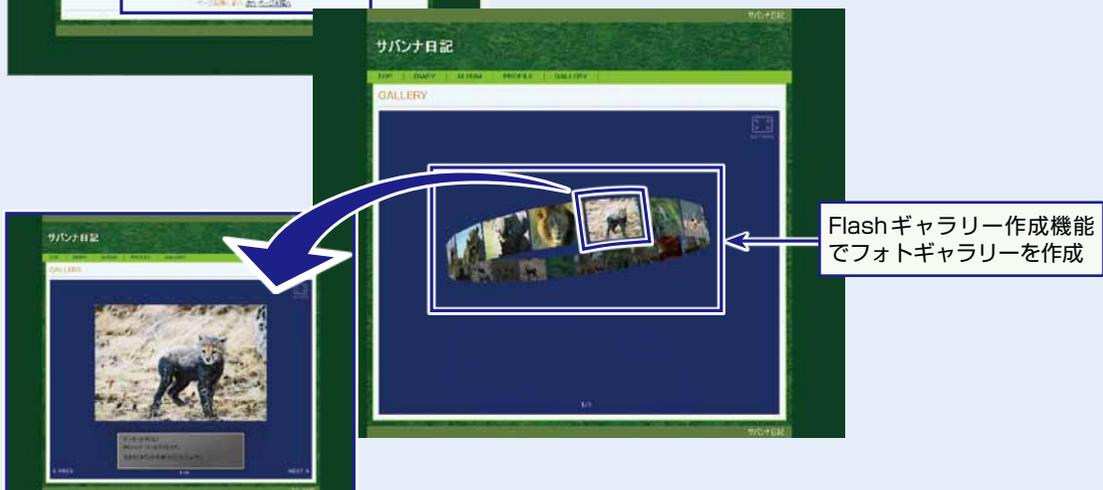
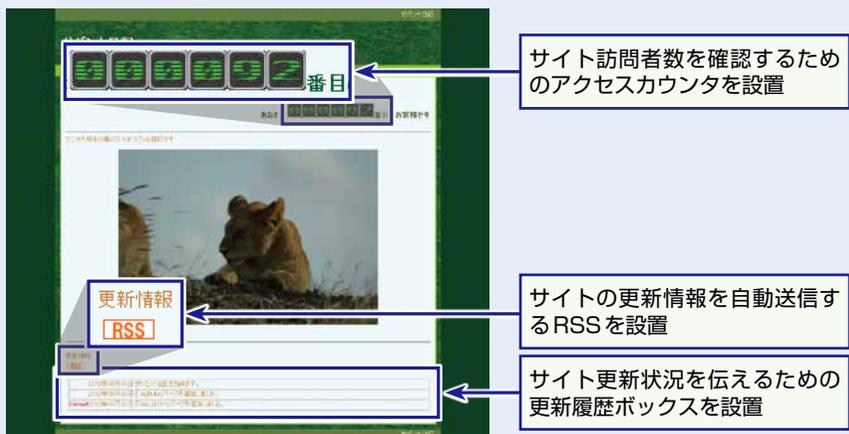
HINT

[ページ編集]画面ではFlashギャラリーの枠だけが表示されます。枠のハンドルをドラッグしてFlashギャラリーのサイズを調整することができます。Flashギャラリーの種類を変更したり、設定を変更する場合は、Flashギャラリーを右クリックし、[Flashギャラリーの編集...]を選択します。

! この章のまとめ

個人日記サイトを例に、楽しい個人向けホームページに必要なさまざまな要素の作成手順を解説しました。ブログよりも多機能で便利なホームページを作ってみましょう。

● サンプルサイト ~ サバンナ日記



第6章

実践2～ 会社サイトを作る

実践編の2つ目では、ビジネス向けのサイトに必須の機能を紹介します。情報を整理して掲載するのに役立つ表の作成方法、社名や商品名の目立たせるロゴ表示、商品説明や地図表示など応用範囲の広いイメージマップ、問い合わせや注文を受け付けるための資料請求フォームなどの設置方法を解説します。

セクション 50	これから作るサイトの紹介……………	174
セクション 51	表を挿入する……………	176
セクション 52	ロゴを挿入する……………	180
セクション 53	ロールオーバー効果を設定する……………	184
セクション 54	イメージマップを作成する……………	188
セクション 55	資料請求フォームを作成する……………	192
	この章のまとめ……………	196

これから作るサイトの紹介

ここでは、架空の学習教室「ネクストゼミナル」のホームページづくりを通して「ホームページV3」の機能が学べます。

このサンプルホームページには以下のURLからアクセスできます。

<http://www.sourcenext.com/rd/com/hpv3/hp05.html>

● 表の挿入

ホームページで文字列や画像をページに規則正しくレイアウトするには表が便利です。一覧表として、情報を見やすくするために表は欠かせないページ要素です。

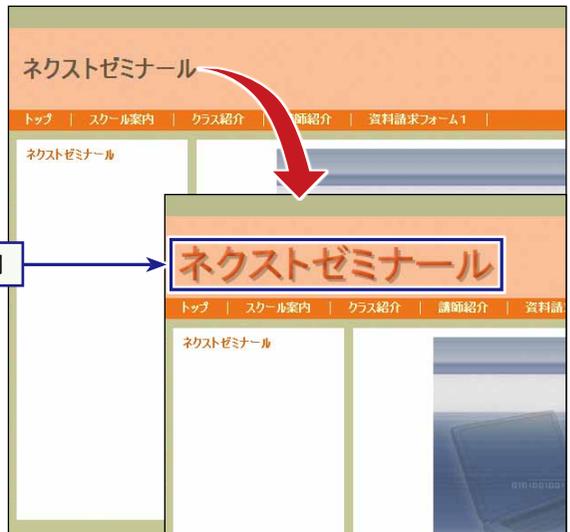
クラス情報は表形式で表示



● タイトルのロゴ表示

ロゴとは、特殊効果が設定されたグラフィカルな文字です。「ホームページV3」では、簡単にタイトルをロゴに変換できます。

社名はロゴに変換して強調



● ロールオーバー効果の作成

ロールオーバーとは、マウスでポイントしたときに、色や画像を変化させる効果です。「ホームページV3」ではロールオーバーを簡単に設定できます。

マウスでポイントするとオブジェクトが変化する



● イメージマップの作成

1つの画像に1つのリンクを設定するのではなく、1つの画像を複数の領域に分け、それぞれにリンクを設定することも可能です。こうした機能をイメージマップと呼びます。

画像のそれぞれの領域をクリックするとリンク先のページへジャンプする



● 資料請求フォームの追加

サイト訪問者からの意見やお問い合わせ、資料請求などを電子メールとして指定のアドレスに送信することが可能です。ここでは、プロバイダが提供するメールフォームやインターネット上で無料または有料で提供されているメールフォームを利用して、「資料請求フォーム」を追加します。

フォームに記入し、[送信する]をクリックすると入力した内容がメール送信される



表を挿入する

文字や画像などを規則正しく表示するためには、表はとても有効です。ここでは、ページに表を挿入し、セル、列、行を設定する方法を解説します。

1 [表の挿入]ダイアログボックスを表示します。

★ここではクラス紹介の4列×5行の表を作成します。



2 挿入する表を指定します。



3 表の設定を行ないます。

★表が挿入できたら、表、行、列、セルの設定を行ないます。



HINT

行数と列数

行数とは、縦のセルの数のことです。
列数とは、横のセルの数のことです。

関連情報

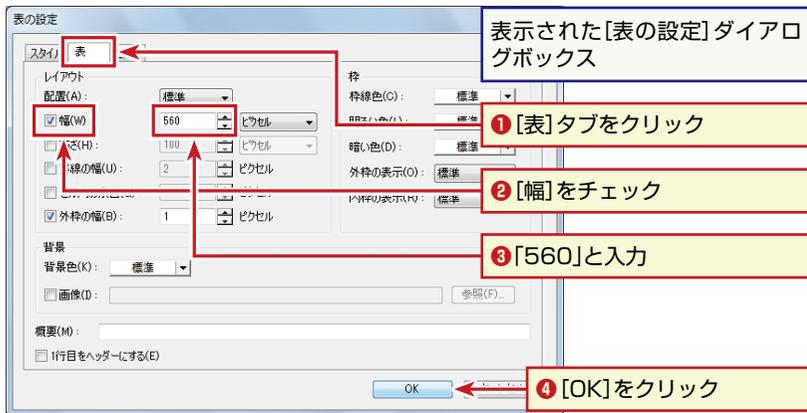
表の行と列の追加

行や列は後からでも追加できます。最初に正確な数値を入力する必要はありません。

HINT

表のレイアウトやサイズ調整は、挿入時に設定することもできますが、挿入後も[表の設定]ダイアログボックスから変更することができます。

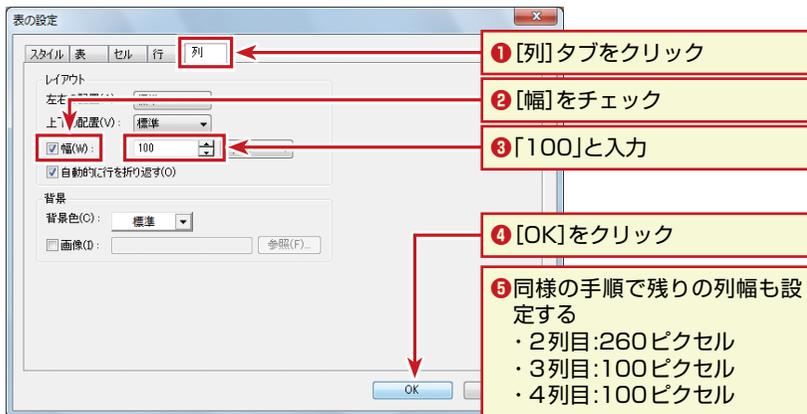
4 表の横幅を指定します。



5 [表の設定]ダイアログボックスを表示します。



6 1列目の幅を指定します。



関連情報

「メイン」エリアの表示幅を知るには

[スタイル]の編集で確認できます。「メイン」エリアの表示幅は「メインの幅-右余白」です。メインの幅が[可変]の場合は、「ページ幅」-「サイド幅+左余白」-「メインの左余白+右余白」(ピクセル)となります。このサンプルでは、 $800 - 200 - 20 = 580$ (ピクセル)がメインの表示幅です。表の幅は560に設定しています。

注意!

メインの表示幅より広い幅の表を挿入すると、全体の表示が崩れることがあるので注意してください。

関連情報

表の幅の指定

表の幅は、ピクセル単位で指定することも、メインの幅に対するパーセンテージで指定することも可能です。

HINT

表の幅をパーセンテージで指定しておくと、レイアウトエリアの指定の範囲以上に表が広がらなくなります。これにより、レイアウトの崩れを防ぐことができます。

関連情報

行の高さ・列の幅の自動調整

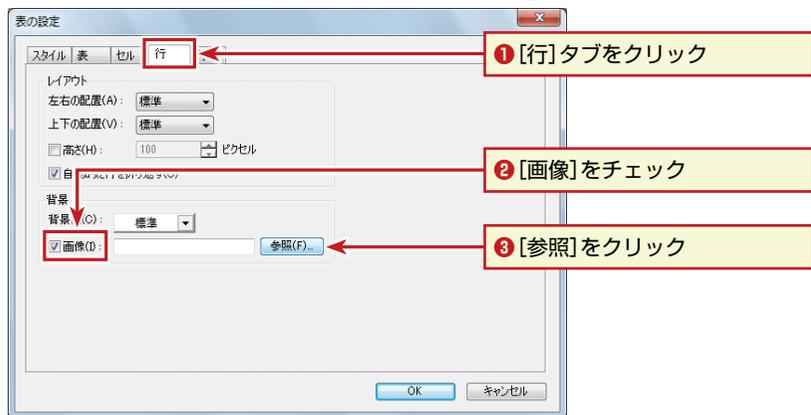
本サンプルでは、表のすべての列幅を指定していますが、自動調整機能に任せることも可能です。列幅をあらかじめ指定していない場合、表の各列の幅は、セルに入力されている文字の量に応じて、自動的に調整されます。行の高さについては、指定をせず、自動調整に任せています。

7 [表の設定]ダイアログボックスを表示します。

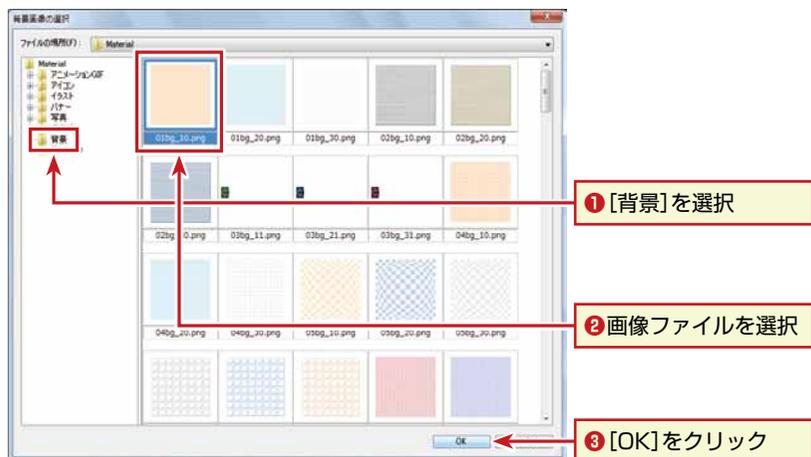
★ 第1行と第1列のセル背景を変更します。



8 [背景画像の選択]ダイアログボックスを表示します。



9 背景画像を選択します。



関連情報

セル内の調整

行や列と同様にセルも設定を行うことができます。設定を変更するには、[表の設定]ダイアログボックスから[セル]タブを選択してください。

関連情報

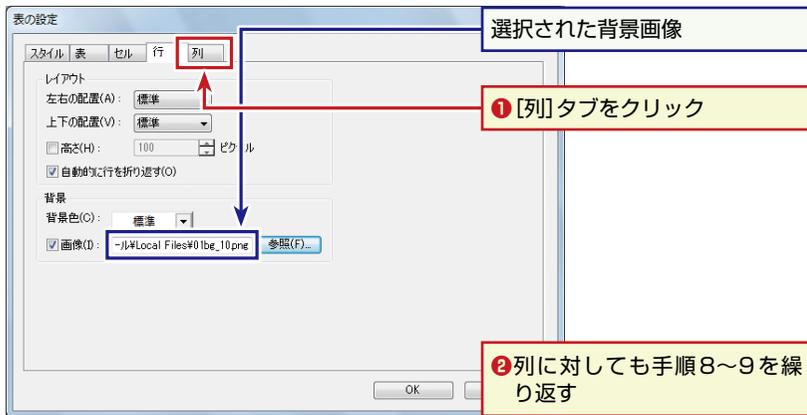
操作の対象となる行と列

セルを選択した状態で、[表の設定]を選択すると、ダイアログボックスには[行]タブと[列]タブが表示されます。これらのタブの操作対象は、現在、選択中のセルを含む行、列です。本サンプルでは、第1行、第1列に対して背景が設定されます。

HINT

背景画像は、デジタルカメラで撮った写真からでも、自分が保存している画像からでも選ぶことができます。

10 列の背景を変更します。



11 表に文字を入力します。

★ 表の枠が準備できたら、文字を入力します。



12 完成した表をプレビューします。



関連情報

セルへの画像の挿入

セルには、文字だけでなく、画像を挿入することも可能です。通常の入力同様、[オブジェクト]タブの[画像]または[フォルダ]タブが利用できます。

注意!

画像を挿入する場合、画像サイズが大きいと表示が崩れる可能性があります。挿入した画像はページ枠内に収まるように調整しましょう。画像の調整の仕方は、P.56「セクション13 画像を挿入する」を参照してください。

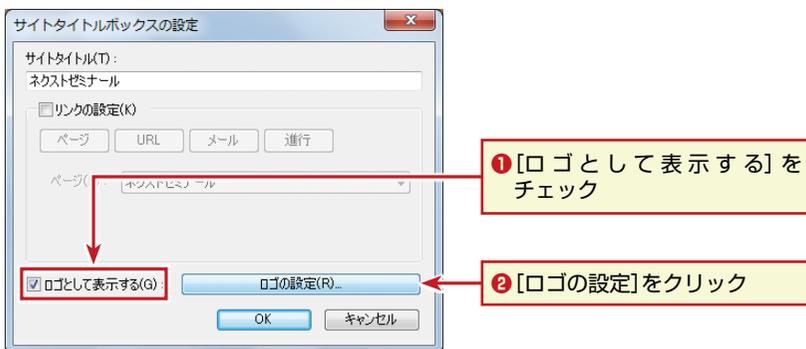
ロゴを挿入する

「ホームページV3」には、文字列からロゴを作成する機能が用意されています。ここではタイトルにロゴを表示する方法を解説します。

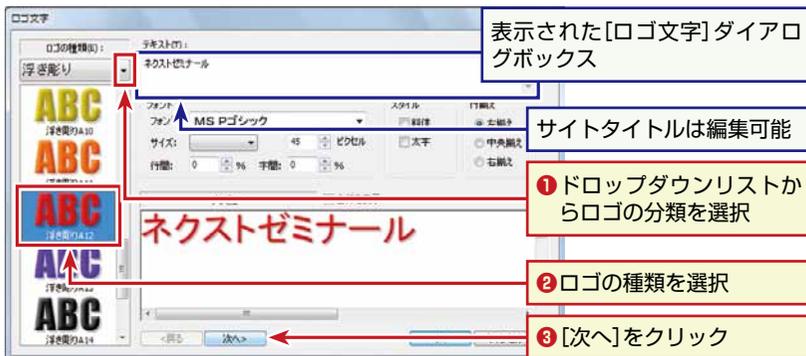
- 1 [サイトタイトルボックスの設定]ダイアログボックスを表示します。



- 2 [ロゴの設定]ダイアログボックスを表示します。



- 3 ロゴの設定を開始します。



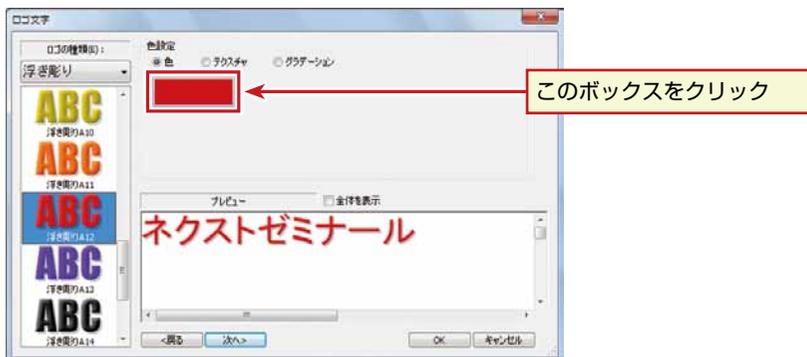
HINT

サイトタイトルボックスなどの共有部品については、P.104「セクション30 サイトの設定を変更する」を参照してください。

HINT

ロゴは画像として出力されるため、変わったフォントにしても、ホームページを閲覧する人の環境に左右されません。オリジナリティのあるロゴを作成しましょう。

4 文字の色を指定します。



注意!

[ロゴ文字]ダイアログボックスに表示されるオプションは、選択したロゴの種類によって異なります。

関連情報

[色設定]で[テキストチャ]を選択すると、文字の中に画像を設定することができます。

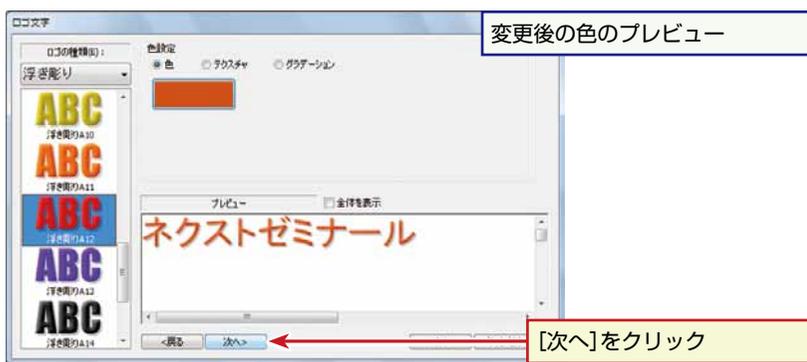
5 色を指定します。



関連情報

[プレビュー]画面では、設定した内容を確認することができます。

6 変更された色を確認します。



HINT

ロゴの形や色は、サイト全体のイメージに合うように設定しましょう。

ロゴ文字に対しては、テキストチャやグラデーションを設定することもできます。[テキストチャ]ボタンを選択すると、ホームページV3に用意されたテキストチャファイルの選択が可能となります。[グラデーション]ボタンを選択すると、グラデーションの選択が可能となります。



7 効果を指定します。



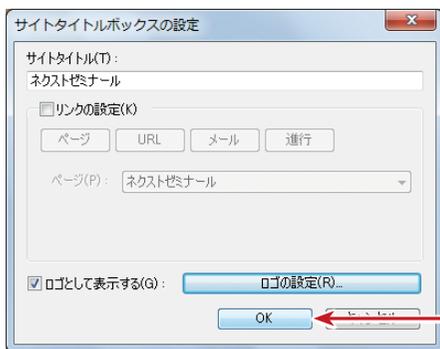
注意!

効果の設定は、選択したロゴによっては表示されません。また、設定項目が違う場合があります。

関連情報

ロゴを半透明にする効果
 タイトルの背景などに画像が設定されている場合など、ロゴの透明度に変化をつけることで、面白い視覚効果が得られます。

8 ロゴの設定を完了します。



[OK]をクリック

9 表示されたロゴを確認します。



挿入されたロゴ

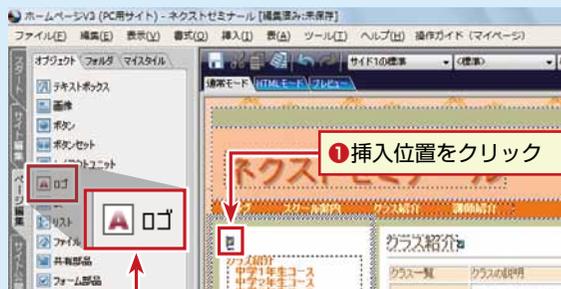
HINT

[リンクの設定]にチェックを入れると、サイトタイトルのロゴにリンクを設定することも可能です。リンクの設定方法は、P.64「セクション16 画像やボタンにリンクを設定する」を参照してください。

COLUMN

通常のロゴの挿入

通常の文字をロゴに変換して、ページに挿入することが可能です。挿入位置をクリックし、[オブジェクト]タブの[ロゴ]をクリックしてください。[ロゴ文字]ダイアログボックスが表示されるので、ロゴの文字を入力してください。その他の操作は、タイトルのロゴ設定と同様です。



① 挿入位置をクリック

② [ロゴ]をクリック

ロールオーバー効果を設定する

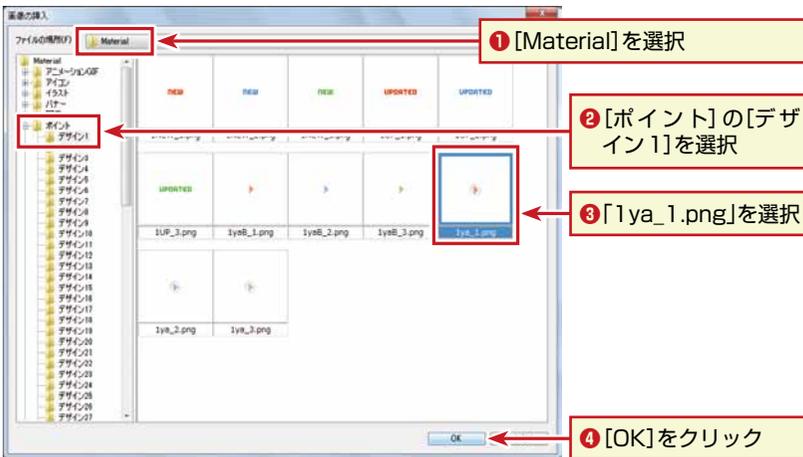
ロールオーバーとは、マウスでポイントしたときに、色や画像を変化させる効果です。「ホームページV3」では簡単に画像にロールオーバーを設定できます。

1 ロールオーバーのベースとなる画像を選択します。

★ここではクラス紹介の項目の最後に、矢印ポイントを挿入し、ロールオーバー効果とリンクを設定します。



2 ポイント画像を選択します。



HINT

横メニューや縦メニューにもロールオーバー効果を設定することができます。メニューはスタイルシートで管理されているため、[サイト編集]画面の[スタイルの編集]タブ内で設定します。詳しくは、P.140「セクション41 横メニューのデザインを変更する」を参照してください。

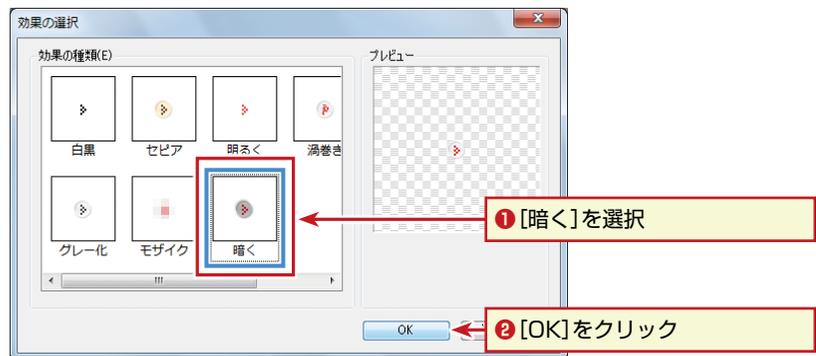
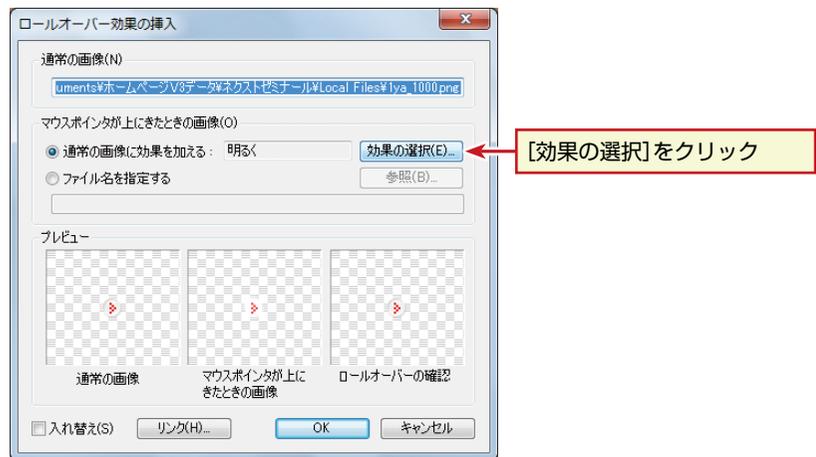
HINT

ここではポイントを選択していますが、通常の画像に対してもロールオーバー効果を設定できます。

3 [ロールオーバー効果の挿入]ダイアログボックスを開きます。



4 ロールオーバー効果を設定します。



関連情報

ロールオーバーの解除

ロールオーバーの設定されているオブジェクトを右クリックし、[ロールオーバー]-[ロールオーバー効果の解除]を選択してください。

関連情報

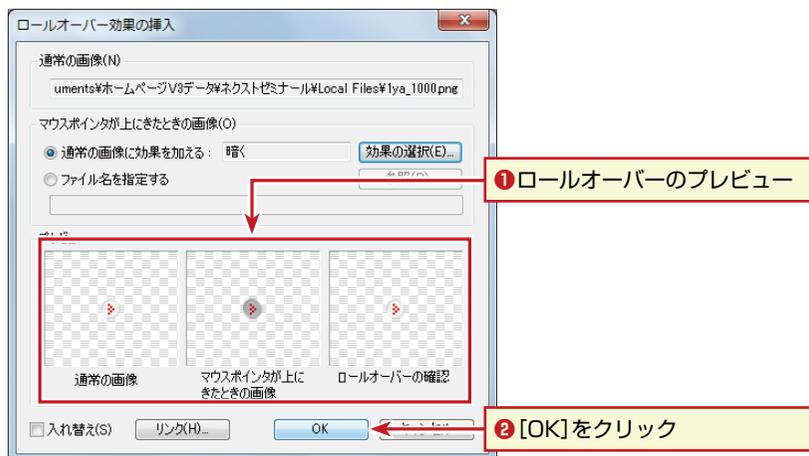
「ホームページV3」内に用意されている[メニューボタン]には、最初からロールオーバー効果が設定されています。

関連情報

2つの画像を切り替える

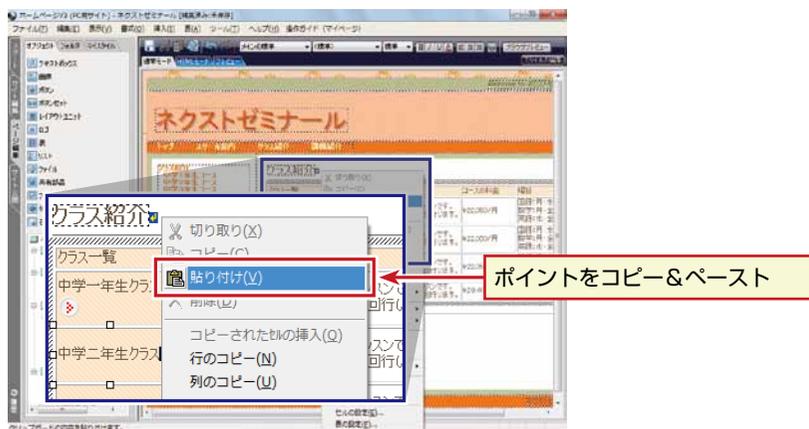
画像ファイルを2つ用意しておき、その2つを切り替えることも可能です。通常の画像を挿入した後、[ロールオーバー効果の挿入]ダイアログボックスの[ファイル名を指定する]オプションを選び、ロールオーバー時に表示される画像を指定してください。

5 ロールオーバーを確認します。

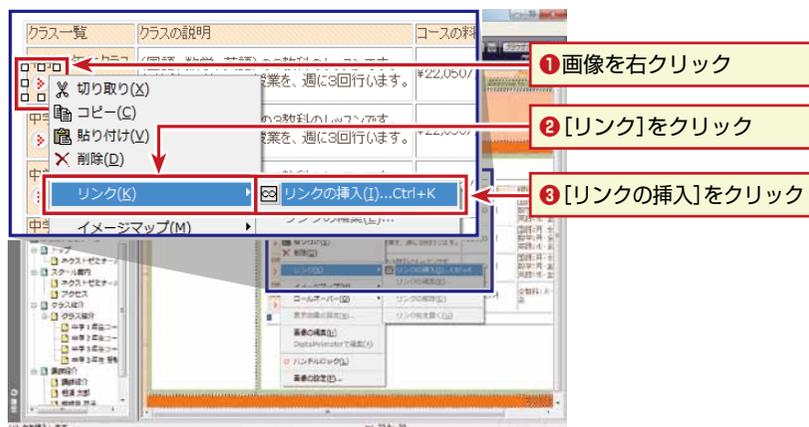


6 完成したポイントをコピーします。

★ でき上がったロールオーバー効果付きポイント画像をコピー＆ペーストします。



7 [リンクの挿入]ダイアログボックスを開きます。



HINT

[ロールオーバーの確認]の画像にマウスポインタをあてると、効果の確認ができます。

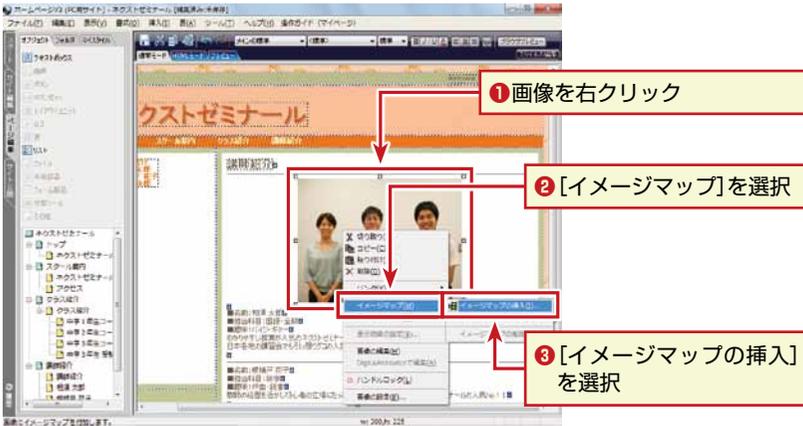
関連情報

ロールオーバー効果を設定した画像をコピー＆ペーストすると、設定したロールオーバー効果も一緒にコピーされます。

イメージマップを作成する

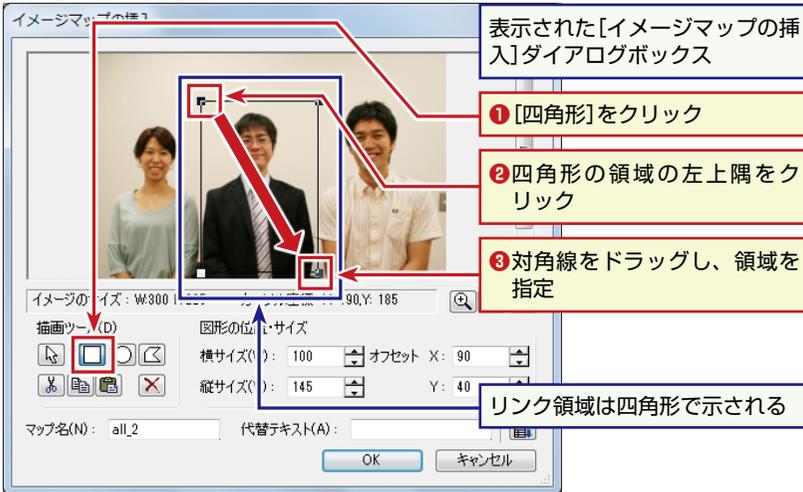
イメージマップとは、画像を複数の領域に分け、それぞれにリンクを設定する機能です。ここではイメージマップの設定方法を解説します。

1 [イメージマップの挿入]ダイアログボックスを表示します。



2 1つ目のリンク領域を指定します。

★ イメージマップを設定する場合、まずはリンクを設定したい領域を指定します。



関連情報

イメージマップに使用可能な画像ファイル

通常の画像ファイルであれば、ファイル形式に関わらずイメージマップの設定が可能です。操作性を考えるならば、ある程度のおおきな画像が必要です。

HINT

ダイアログボックスを拡大することで、作業がしやすくなります。ダイアログボックスは右隅をドラッグすると広がります。

関連情報

描画ツール

リンク領域を指定するツールには、[四角形]の他、[円]や[ポリゴン]があります。複雑なリンク領域を指定したい場合は、[ポリゴン]ツールを使って、領域のアウトラインをトレースしてください。

3 リンク先を指定します。

★ここではリンク先としてページを指定します。

リンクの挿入

リンク先

ページ URL メール 進行

ページ(P): ネクストゼミナール

ラベル(L): ネクストゼミナール
ネクストゼミナール案内
アクセス
クラス紹介

高度な設定

ターゲット

◎ 進学本部

ポップアップ

アクセスキー(K):

リンク文字列(E):

OK

① [ページ] ドロップダウンリストからリンク先ページを選択

② [OK]をクリック

4 残りのリンクを設定します。

★1つ目のリンクが設定できたら、残りの2つのリンクも同様の手順で作成しましょう。

イメージマップの挿入

設定された3つのリンク領域

イメージのサイズ: W:300 H:225 カーソル座標 X: 289, Y: 188

描画ツール(D)

図形の位置・サイズ

横サイズ(W): 95 オフセット X: 194

縦サイズ(V): 148 Y: 40

マップ名(N): all_2 代替テキスト(A):

OK

[OK]をクリック

HINT

リンクの設定は通常のリンクと同様に、URLやメールも設定できます。

関連情報

イメージマップの解除

画像に設定されたイメージマップを解除するには、画像を右クリックし、[イメージマップの解除]を選択します。

関連情報

すでに設定したイメージマップを編集するには、画像を右クリックし、[イメージマップの編集]を選択します。

関連情報

リンク領域の修正

[イメージマップの編集]ダイアログボックスで、リンク領域のハンドルをドラッグすることで、リンク領域を変更できます。まったく別の領域を設定するには、リンク領域を削除して、再指定してください。リンク先情報を変更するには、リンク領域が選択された状態で右クリックし、[リンクの編集]を選択してください。

注意!

リンク領域を重ねた場合は、最後に設定されたリンクが優先されます。

5 イメージマップの動作を確認します。



6 ジャンプ先を確認します。

★ イメージマップをクリックして、正しいページが表示されれば作業は完了です。



関連情報

リンク領域の確認方法

リンクが設定されている領域にマウスポインタが差し掛かると、通常の矢印(☞)アイコンから、人差し指を立てた手(☞)アイコンに変化します。

COLUMN

不定形の領域の指定

[ポリゴン]ツールを使用することで不定形のリンク領域を設定できます。

- 1 [ポリゴン]ツールを選び、第1点をクリックし、マウスをドラッグし、第2点をクリックします。



- 2 第3点、第4点をクリックすると、最後の点と第1点とを結ぶ線が表示され、閉じられた図形ができて上がります。



- 3 こうして領域のアウトラインに沿って図形を描き終えたら、そこでダブルクリックします。描画が終了し、[リンクの挿入]ダイアログボックスが開きます。

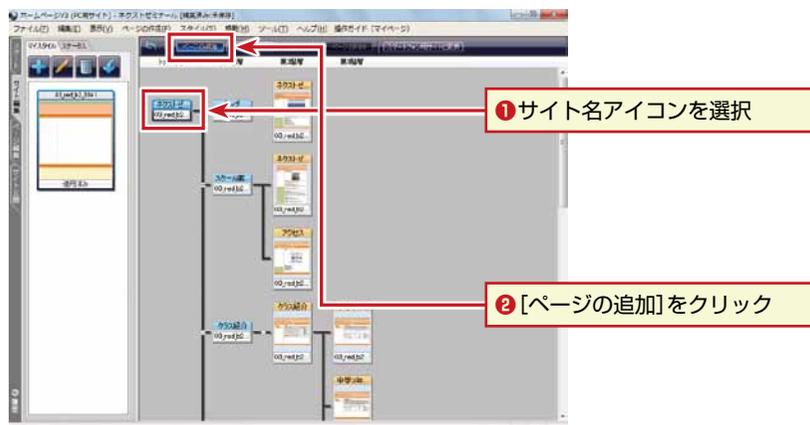


資料請求フォームを作成する

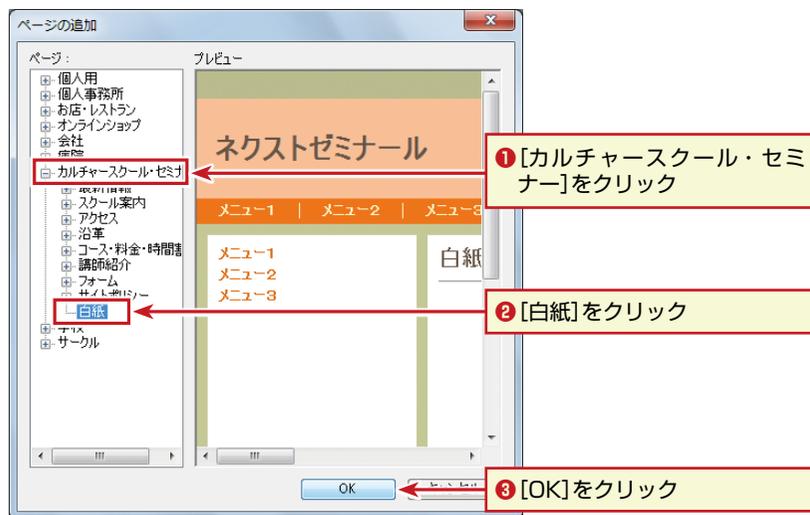
フォームはサイト訪問者が情報を入力するための画面です。フォームを用意することによって、サイト訪問者の情報や意見を収集することができます。入力欄にデータを入力した後、送信ボタンを押すと、その入力された情報は指定されたメールアドレスに送信されます。

1 メールフォームを提供しているウェブサイトでサービスを申し込み、メールフォームのHTMLタグを取得します。

2 [ページの追加] ダイアログボックスを開きます。



3 白紙のページを追加します。



注意!

ここでは、他社のサービスを利用する方法を紹介します。サービス内容はサービスの提供元によって異なります。

ご紹介した以外にも様々なメールフォームサービスがあり、好みのサービスをお選びいただけます。検索サイトで「メールフォームサービス」と入力して、メールフォームを提供しているWebサービスを探してください。

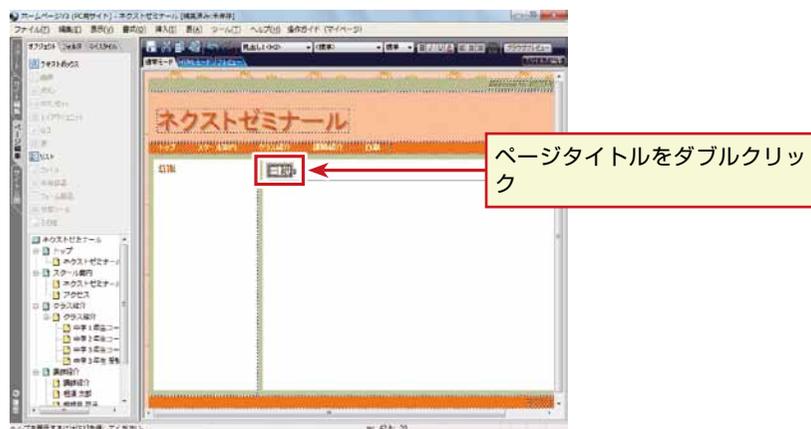
4 追加された白紙ページを[ページ編集]画面で開きます。



HINT

メールフォームのサービス元より提供されるデータがHTMLタグではなく、URLの場合は、P.210「セクション60 掲示板サービスを利用する」と同様の方法でリンクを設定するページを追加し、URLを指定してください。

5 ページタイトルを変更します。



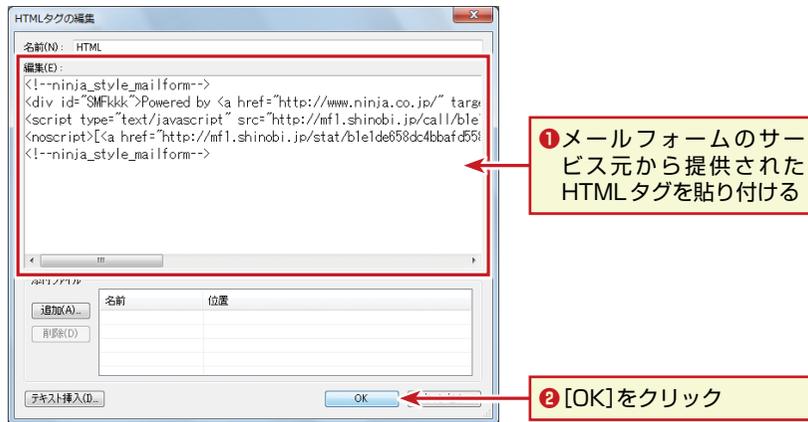
6 ページタイトルを入力します。



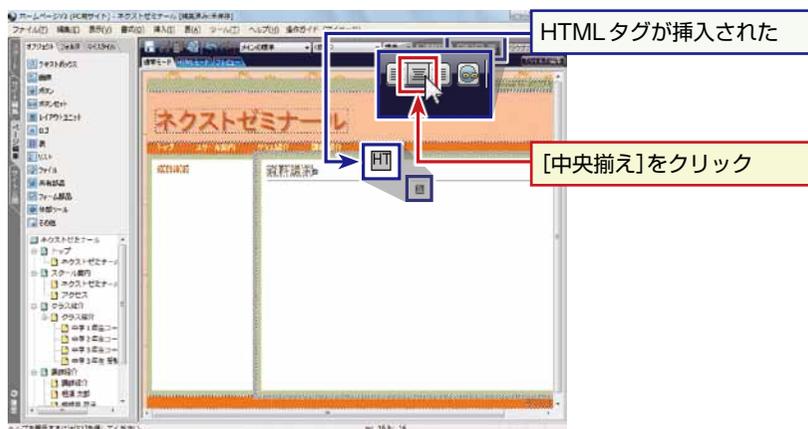
7 [HTMLタグの編集]ダイアログボックスを表示します。



8 メールフォームのHTMLタグを入力します。



9 挿入されたHTMLタグを確認します。



注意!

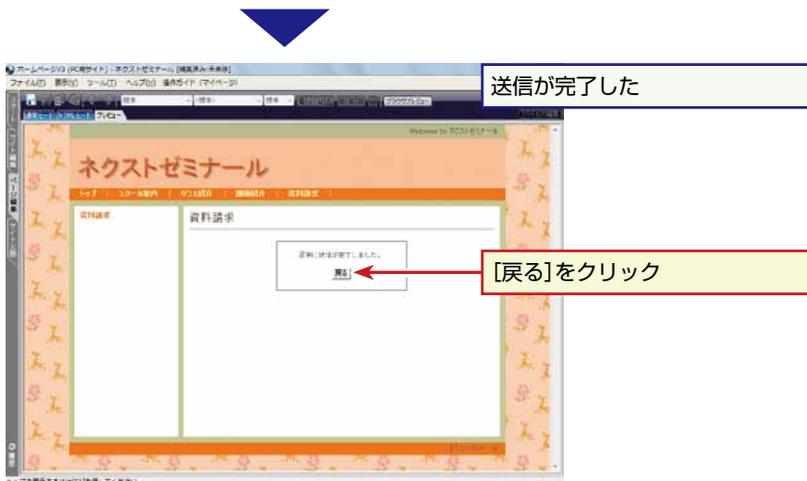
HTMLタグの内容はメールフォームのサービス提供元によって異なります。

HINT

[HTMLタグの編集]ダイアログボックスで追加した内容は、[通常モード]では灰色の枠で表示されます。内容を修正する場合は、灰色の枠を右クリックし、[HTMLタグの編集]を選択します。

10 フォームの動作を確認します。

★フォームの追加が完了したら、プレビュー画面に切り替えて、実際にデータを入力してみましょう。



11 送られてきたメールを確認します。



HINT

フォームに表示できる内容はメールフォームのサービス提供元によって様々です。詳しくはサービス提供元の説明に従ってください。

注意!

「ホームページV3」の[プレビュー]タブでフォームを表示したり、メールを送信するにはインターネットに接続されている必要があります。
[プレビュー]で、メールフォームの表示や送信がうまくできない場合は、作成したページをアップロードして実際にブラウザからアクセスして試してください。

注意!

送信完了の画面やメールの書式はメールフォームサービスによって異なります。

! この章のまとめ

学習塾のwebサイト作りを例に、「表」や「資料請求フォーム」といった実務的なホームページに必要なとされるページの作り方を解説しました。

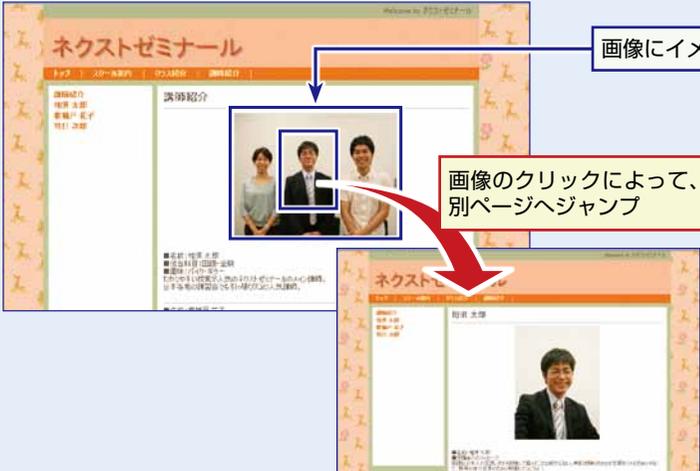
● サンプルサイト ~ ネクストゼミナール(架空の学習塾)公式サイト



タイトルにロゴを表示して社名を強調

重要な情報は表を使って規則正しく見やすく表示

ロールオーバー効果で項目を強調



画像にイメージマップを設定

画像のクリックによって、別ページへジャンプ



自動的に資料請求メールを送信できるメールフォームを追加

第7章

実践3～ ポータルサイトを作る

「ホームページV3」には、ページを楽しく便利にする仕組みを簡単に設置する機能があります。

ガジェットを利用して、天気予報やニュース、時刻、辞書など訪問者に便利で楽しい機能を提供する方法を解説します。また動画の表示や、Amazonや楽天の商品をページに表示して紹介するアフィリエイトの設置方法を解説します。

セクション 56	これから作るサイトの紹介……………	198
セクション 57	Googleのガジェットを挿入する……………	200
セクション 58	メディアファイルを挿入する……………	204
セクション 59	アフィリエイトを挿入する……………	206
セクション 60	掲示板サービスを利用する……………	210
	この章のまとめ……………	212

これから作るサイトの紹介

ブラウザの便利ツールであるガジェット、動画の表示、商品の紹介・販売を可能にするアフィリエイト、双方向のコミュニケーションを実現する掲示板など、ホームページを便利にする機能を追加する方法を紹介します。

● ガジェットを挿入する

ガジェットとは、“面白い道具・おもちゃ”といった意味です。パソコンのデスクトップやインターネットのページの隅に表示されるちょっと便利な小道具のように利用できるプログラムのことをいいます。“ウィジェット”と呼ぶこともあります。

例えば、天気予報のガジェットをページに設置しておけば、ガジェットが自動的に天気予報のサイトから情報を読み込んで最新の天気予報を表示してくれます。「ホームページV3」では、さまざまな分野にわたる豊富なGoogleガジェットを簡単な操作で設置することができます。



⚠ 注意!

「Googleガジェット」のサービスは、グーグル株式会社によって運営されています。

● 動画を貼り付ける

動画を簡単にページに貼り付け、表示することができます。



📖 COLUMN 動画ファイルのストリーミングとダウンロード

[挿入]メニューには、[ストリーミングファイルの挿入]と[メディアファイルの挿入]というメニューオプションが用意されています。通常は動画ファイルをダウンロードしてから再生しますが、ストリーミングファイルはダウンロードしながら再生します。後者は待ち時間のないスムーズな再生を実現できます。

● アフィリエイトを利用する

アフィリエイトとは、自分のページに、楽天やAmazon.co.jpなどのeコマースサイトの広告を表示し、その広告に含まれるリンクをたどって商品が購入された場合、売上げの数%を受け取ることができるサービスです。「ホームページV3」では、「楽天アフィリエイト」、「Amazonアソシエイト・プログラム」、「ValueCommerce」などのアフィリエイトを簡単に利用できます。



関連情報

アフィリエイトを利用するには

楽天アフィリエイトを利用するには、デベロッパーIDとアフィリエイトIDの取得が必要です。また、Amazonアソシエイト・プログラムを利用するには、アソシエイトIDの取得が必要です。いずれのIDも、それぞれの公式サイトから取得できます。



注意!

楽天アフィリエイトのサービスは、楽天株式会社によって運営されています。



注意!

Amazonアソシエイト・プログラムのサービスは、アマゾンジャパン株式会社によって運営されています。



注意!

ValueCommerceのサービスは、バリューコマース株式会社によって運営されています。

● 掲示板サービスを利用する

掲示板とは、ホームページの運営者と訪問者または訪問者どうしが情報をやり取りするために利用する機能です。掲示板に設定されたテーマや最初にかかれた文章に対して、後から次々に文章を書き連ねてコミュニケーションを行ないます。

掲示板には、プロバイダが提供する掲示板サービスと、インターネット上で無料で提供されている掲示板サービスの2種類があります。自分が契約しているプロバイダが掲示板サービスを提供していない場合は、インターネット上の無料掲示板サービスをご利用ください。

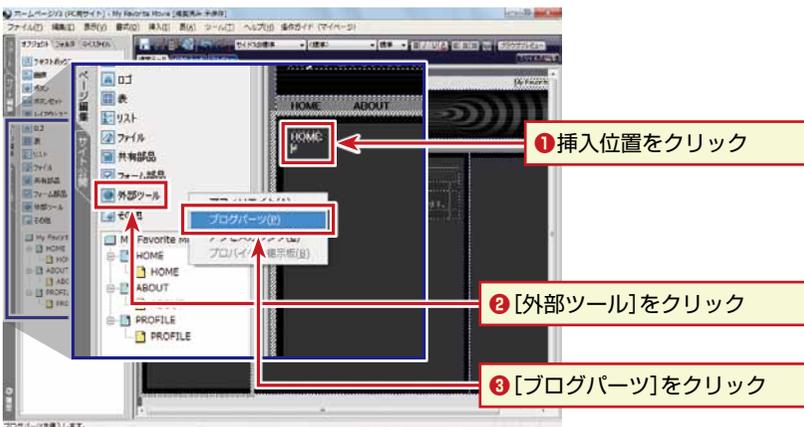
自分が契約しているプロバイダが掲示板サービスを提供しているかについては、各プロバイダのサポートにお問い合わせください。



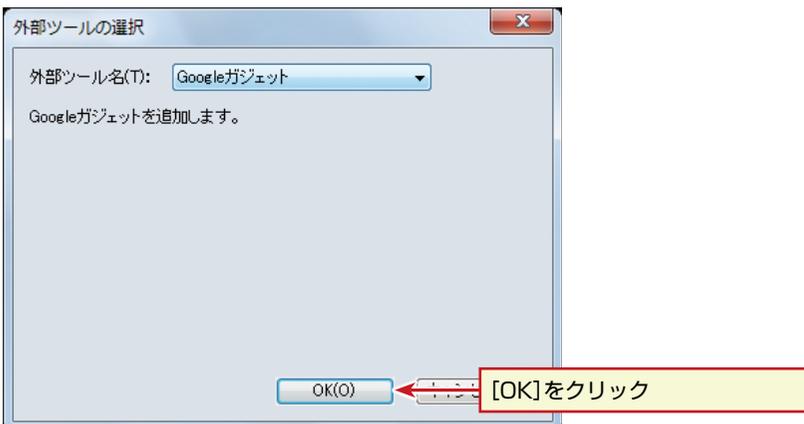
Googleのガジェットを挿入する

ガジェットとは、小道具のように利用できる小さなプログラムです。ここではGoogleが提供する数多くのガジェットの中から、「ウィキペディア検索」を表示するガジェットを選んで、ページに挿入する方法を説明します。

1 [外部ツールの選択]ダイアログボックスを開きます。



2 [Googleガジェット]ダイアログボックスを開きます。

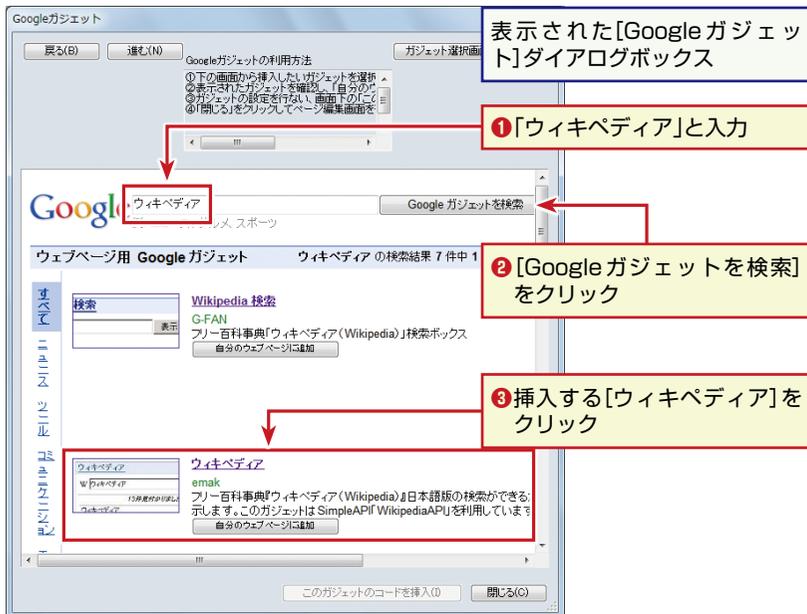


関連情報

ガジェットとプログラムパーツ

ガジェットとは、本来はデスクトップ上で利用する、webサービスと連動したミニプログラム(アプリケーション)の呼称です。一方、プログラムパーツとは、ホームページのサイドエリアなどに貼り付けて使うミニプログラムです。そのため正確には、ここではGoogleガジェットをプログラムパーツとして利用していることになります。

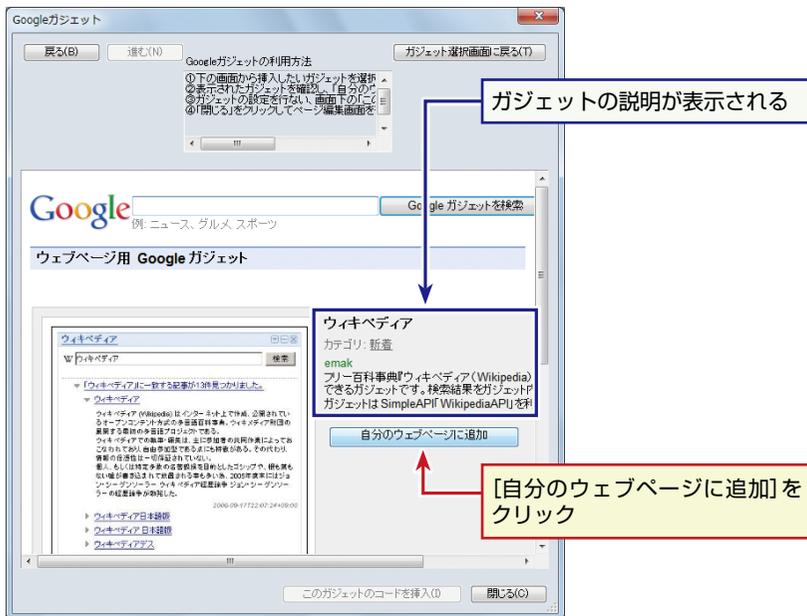
3 ガジェットのキーワードを入力して検索します。



注意!
[Google ガジェット]のダイアログボックスを表示するには、インターネットに接続している必要があります。

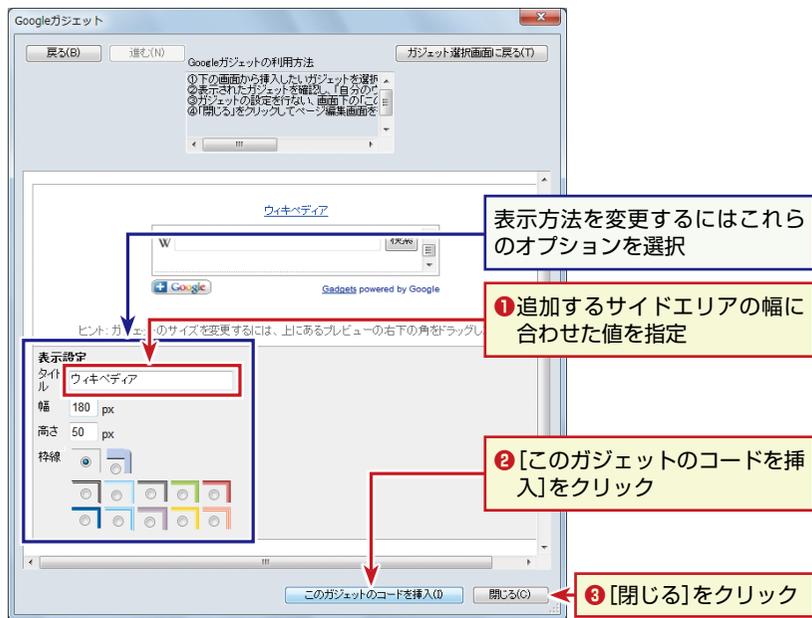
注意!
検索するキーワードによっては、ガジェットがない場合があります。

4 ガジェットを選びます。

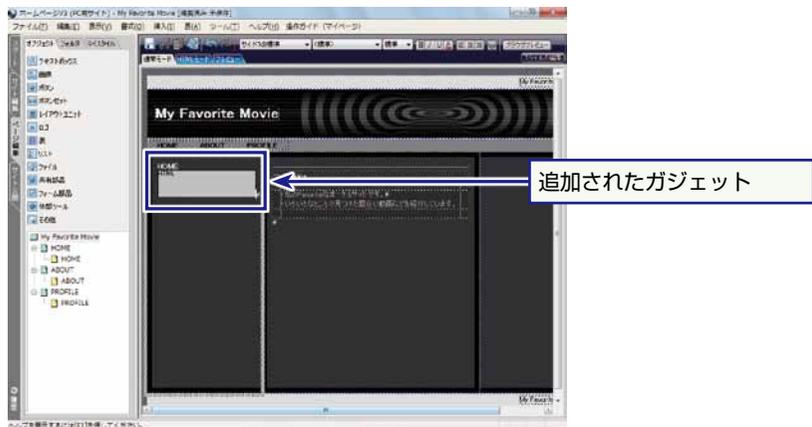


HINT
[Google ガジェットの利用方法]が見えにくい場合には、ダイアログボックスの右下隅をドラッグしてダイアログボックスの大きさを変更してください。

5 ガジェットを追加します。



6 ページに追加されたガジェットを確認します。



関連情報

表示設定とガジェット設定

表示に関しては、タイトル、幅、高さ、枠線などを設定できます。また、ガジェットごとに固有の設定を持つものもあります。

HINT

ガジェットを挿入した後にサイズを変えるには

いったんガジェットを削除して、再度[Googleガジェット]ダイアログボックス内の[表示設定]から変更する必要があります。

HINT

間違えて違うガジェットを選んでしまった場合には

画面左上の[戻る]から前の画面へ戻ることができます。

注意!

[通常モード]ではガジェットの内容は表示されず、同じサイズの[HTMLタグ]として灰色のボックスで表示されます。

関連情報

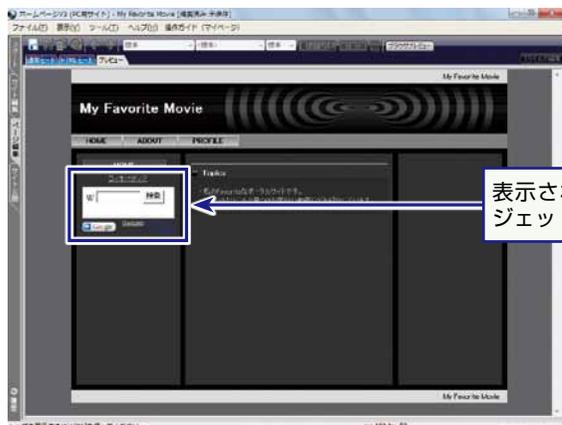
ガジェットの正体

ガジェットは、scriptタグによって記述されたコードです。ガジェットを右クリックし、[HTMLタグの編集]をクリックすると、ガジェットのコードを表示させることができます。

注意!

[HTMLタグの編集]でガジェットのscriptタグを編集すると、ガジェットが正常に動作しなくなることがあります。

7 ガジェットをプレビューします。



注意!

Google ガジェットは、インターネット上にある、ガジェットを表示させる機能なので、「ホームページV3」の[プレビュー]タブで見られる際もインターネットに接続している必要があります。

関連情報

日本語以外のガジェット

Google が提供するガジェットには、さまざまな言語バージョンが存在します。[Google ガジェット]ダイアログボックスの[他の言語]ドロップダウンリストから外国語を選択し、[ガジェットを検索]をクリックしてください。

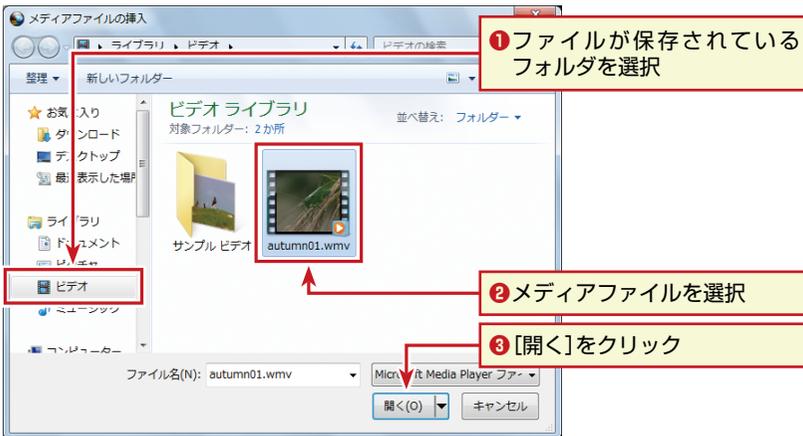
メディアファイルを挿入する

「ホームページV3」では、さまざまなメディアファイルを挿入できますが、ここではWindowsメディアファイルの挿入方法を紹介します。

1 [メディアファイルの挿入]ダイアログボックスを開きます。



2 挿入するメディアファイルを選択します。



関連情報

メディアファイルと対応アプリケーション

挿入するファイル形式に応じて、再生に使用されるアプリケーションが異なります。本サンプルで使用しているファイルはwmv形式なので、通常のWindowsパソコン上での再生が可能です。

• Microsoft Windows Media Player :

mid、rmi、midi、wma、wav、snd、au、aif、aifc、aiff、mp3、asf、wm、wmv、avi、mpeg、mpg、m1v、mp2、mpa、mpe

• RealNetworks Real Player :

ra、rm

• Apple Computer QuickTime Player :

qt、mov

• Macromedia Flash Player :

swf

3 挿入されたメディアファイルを確認します。



HINT

持っている動画の形式が対応していない場合は
市販の動画変換ツールなどを利用し、あらかじめ対応している形式に変換を行なってください。

4 再生されるメディアファイルを確認します。



関連情報

貼り付けたメディアファイルのサイズ変更

メディアファイルのサイズを変更するには、画像を右クリックし、[メディアファイルの設定]をクリックします。[メディアファイルの設定]ダイアログボックスが表示されたら、[幅]と[高さ]ボックスにサイズを指定します。



アフィリエイトを挿入する

「ホームページV3」は、楽天アフィリエイトやAmazonアソシエイト・プログラムのアフィリエイトを挿入することができます。ここでは、Amazonアソシエイト・プログラムを例に、アフィリエイトの挿入方法を解説します。

● AmazonアソシエイトIDを取得する

- 1 Amazonのトップページにアクセスします。
<http://www.amazon.co.jp/>



- 2 アソシエイト・プログラム(アフィリエイト)に参加します。
<http://affiliate.amazon.co.jp/>



- 3 Webサイトの指示に従ってアカウントを作成します。

関連情報

アフィリエイトを利用するには

Amazonアソシエイト・プログラムを利用するには、アソシエイトIDの取得が必要です。また、楽天アフィリエイトを利用するには、デベロッパーIDとアフィリエイトIDの取得が必要です。これらのIDを取得する画面には、[アフィリエイト設定の編集]ダイアログボックスの[詳細情報]ボタンのクリックによってジャンプできます。

HINT

URLを直接入力しても開くことができます。

HINT

すでにAmazonアソシエイトIDをお持ちの方は、新たにIDを取得する必要はありません

注意!

Amazonのトップおよびアフィリエイトページの構成内容は随時変更される可能性があります。実際のページと左図の構成が異なる場合は、「アソシエイト・プログラム」関連のリンクを探してください。

4 アソシエイトIDを確認します。



関連情報

アソシエイト・プログラム運営規約
アソシエイト・プログラムへの登録を完了するには、運営規約に目を通し、[契約条件]をチェックしなくてはなりません。

注意!

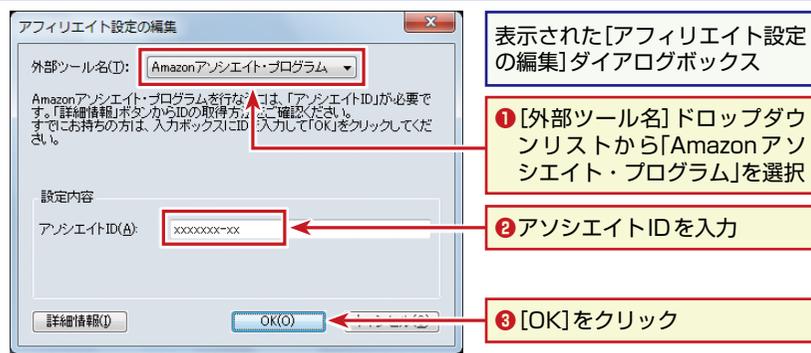
Amazonアソシエイト・プログラムを利用するには、Amazonの審査があります。承認のメールがAmazonから来るまでに、数日かかる場合があります。

● アフィリエイトを挿入する

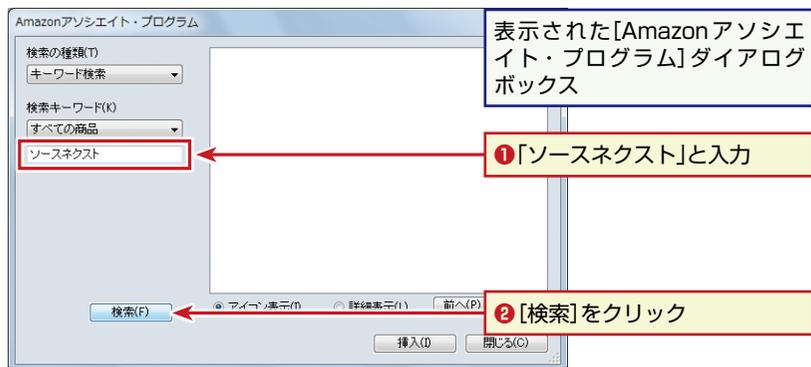
5 [アフィリエイト設定の編集]ダイアログボックスを開きます。



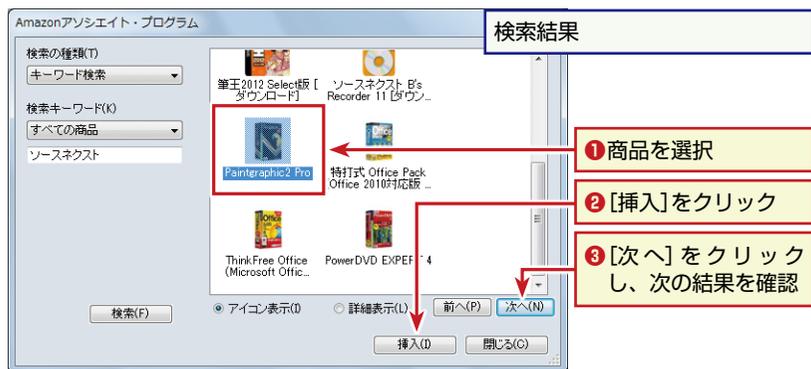
6 [Amazonアソシエイト・プログラム]ダイアログボックスを開きます。



7 目的の商品を検索します。



8 商品を選択します。



9 [Amazonアソシエイト・プログラム]ダイアログボックスを閉じます。



注意!

商品検索を行なうには、お使いのパソコンがインターネットに接続されている必要があります。

HINT

検索キーワードの「すべての商品」で検索対象が多くなってしまった場合は、「和書」[DVD]などカテゴリを絞ることができます。

HINT

ISBNコードやASINコードがわかっている場合には、[検索の種類]から[ASIN/ISBN検索]を選択して入力することで、コードによる検索が可能です。

関連情報

[Amazonアソシエイト・プログラム]ダイアログボックス

このダイアログボックスは、商品挿入後も、[閉じる]ボタンがクリックされるまでは表示されたままです。気に入った商品があれば、いくつでも連続して挿入できます。

注意!

[通常モード]では、アフィリエイトの内容は表示されず、HTMLタグとして灰色のボックスで表示されます。

10 アフィリエイトの動作を確認します。



注意!

Amazonのアフィリエイトは、インターネットにある画像やテキストを表示させるため、「ホームページV3」の[プレビュー]タブで表示する際もインターネットに接続されている必要があります。



COLUMN アフィリエイトの成果を確認する

アフィリエイトで得られる紹介料のパーセントは一定ではありませんが、Amazonの場合3%からスタートします。アフィリエイトの成果を確認するには、アソシエイト・セントラルにログインし、レポートページを表示してください。



掲示板サービスを利用する

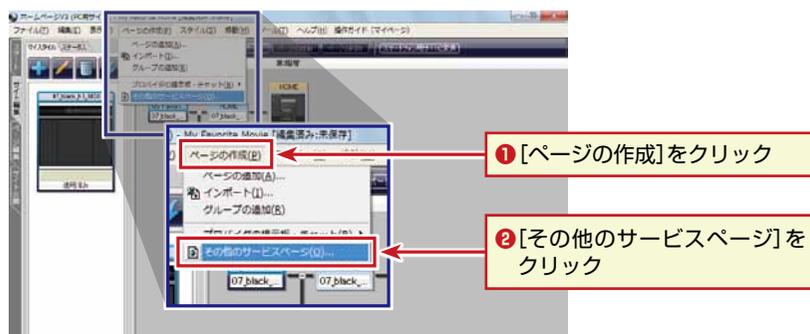
掲示板サービスには、プロバイダが提供するものと、無料サービスがあります。ここでは無料の掲示板サービスを利用する方法を解説します。

1 無料掲示板サイトで掲示板を新規作成し、掲示板のURLを取得します。

2 [サイト編集]画面を開きます。



3 掲示板用のページを追加します。



4 掲示板のURLを指定します。



関連情報

無料掲示板サービスとは

インターネット上には、掲示板サービスを無料で提供するサイトが数多く存在します。Googleなどの検索エンジンに「無料掲示板」と入力して検索し、使いやすいようなサービスを選んでください。

HINT

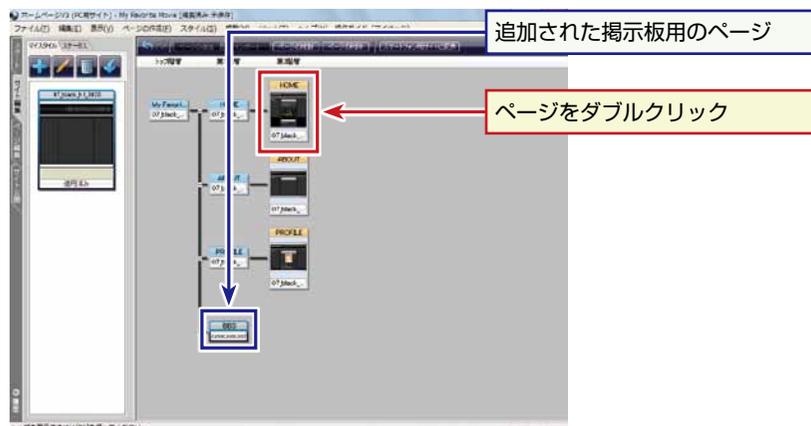
BBSとは、Bulletin Board Systemの略で掲示板の意味です。

関連情報

ここでは、[サイト編集]タブから掲示板を追加しましたが、横メニューや縦メニューに表示する必要がないのであれば、[ページ編集]画面で、テキストや画像をリンクとして設定することができます。

リンクの設定方法はP.62「セクション15 文字にリンクを設定する」およびP.64「セクション16 画像やボタンにリンクを設定する」を参照してください。

5 掲示板へのリンクが作られたことを確認します。

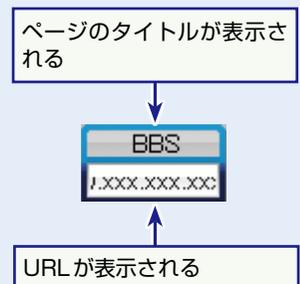


6 掲示板の表示を確認します。



関連情報

掲示板は、外部へのリンクのため、[サイト編集]タブで表示されるアイコンが変わります。



注意!

掲示板は、外部へのリンクのため[通常モード]で編集したり、[HTMLモード]を表示したりすることはできません。

注意!

「ホームページV3」の[プレビュー]タブで掲示板を見るには、インターネットに接続する必要があります。

関連情報

掲示板サービスの短所

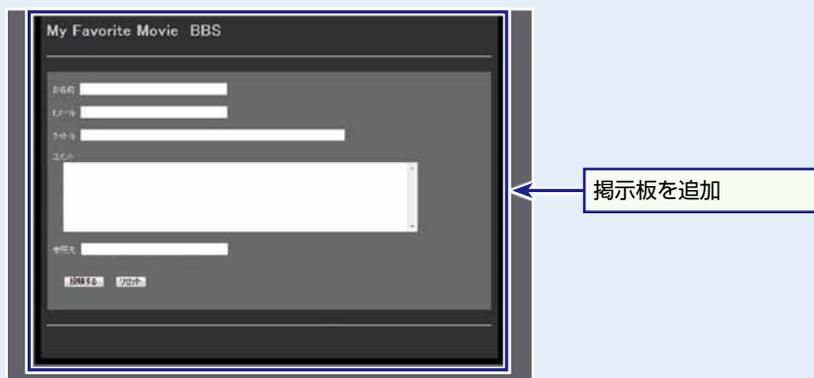
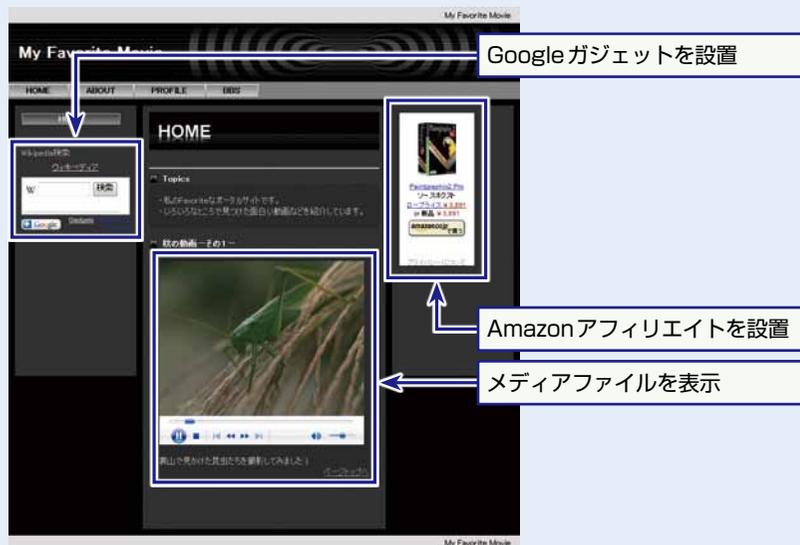
掲示板サービスは、「ホームページV3」が管理するページではなく、外部リンクになるため、「ホームページV3」のメニューなどは表示されなくなってしまいます。そのため、掲示板からホームページに戻るには、ブラウザの[戻る]ボタンを利用する必要があります。

! この章のまとめ

本章では、情報ポータルサイト風のサイト作りを通じて、よりアクティブなサイトを作るためのテクニックを紹介しています。

「ホームページV3」を使ってGoogleガジェットやメディアファイル、アフィリエイトなど、サイトを便利に楽しく実用的にする仕組みや機能を解説しています。

● サンプルサイト ~ My Favorite Movie サイト



第8章

まだまだある便利な機能

スマートフォン用のサイトの作成や、他のホームページ作成ソフトで作ったページの取り込み、アニメーションの作成、画像編集など、「ホームページV3」にはサイト構築のための便利な機能が数多く備えられています。本章では、第7章までで説明できなかった便利な機能の中から、とりわけおすすめしたい機能を選んで紹介します。

- セクション 61** スマートフォン用サイトを作成する……………214
- セクション 62** 「ホームページ・ビルダー」で作成した
ファイルを取り込む……………224
- セクション 63** レイアウトユニットを挿入する……………228
- セクション 64** 画像やテキストを自由に表示する……………230
- セクション 65** テキストボックスにアニメーションを設定する…234
- セクション 66** 画像を編集する……………238
- この章のまとめ……………240

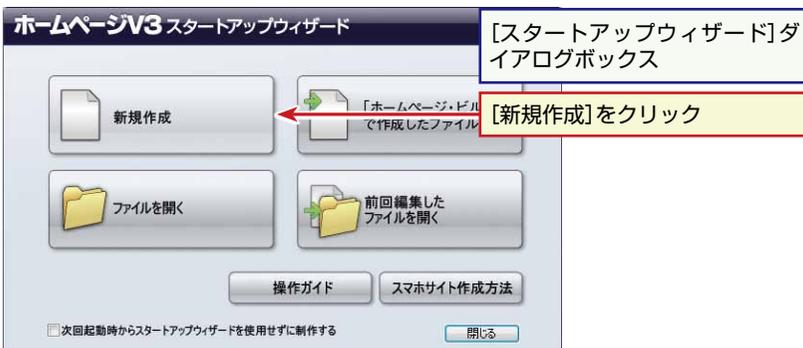
セクション
61

スマートフォン用サイトを作成する

「ホームページV3」では、スマートフォンやタブレットなどの縦長の画面でも見やすい1カラムのサイト(スマートフォン用サイト)を簡単に作成することができます。また、PC用サイトとスマートフォン用サイトを相互に切り替えられるボタンも追加することができます。

● スマートフォン用サイトを新規作成する

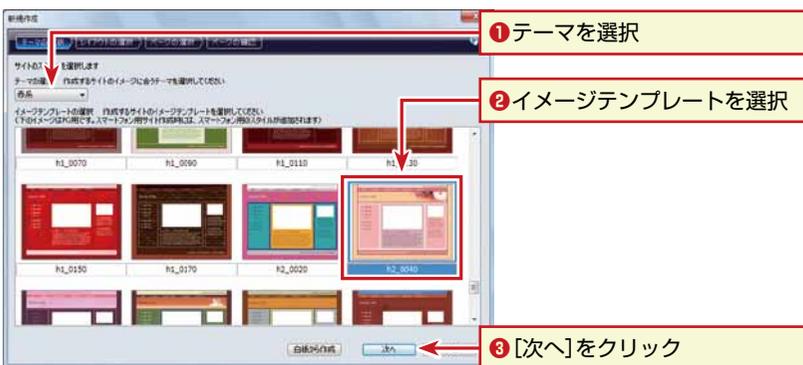
1 [スタートアップウィザード]を開きます。



HINT

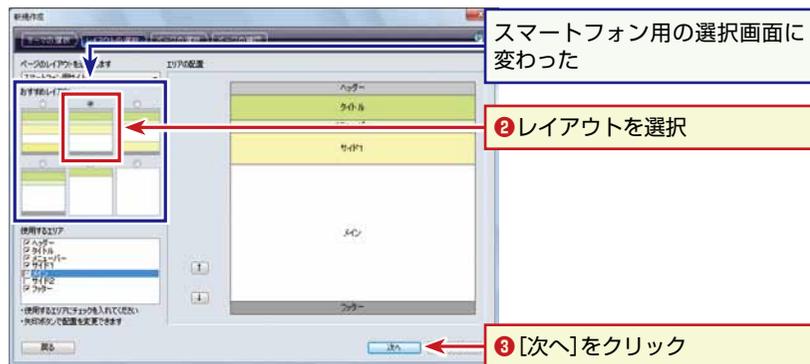
[スタートアップウィザード]の使い方について詳しくはP.42「セクション8 スタートアップウィザードでホームページを作る」を参照してください。

2 イメージテンプレートを選択します。

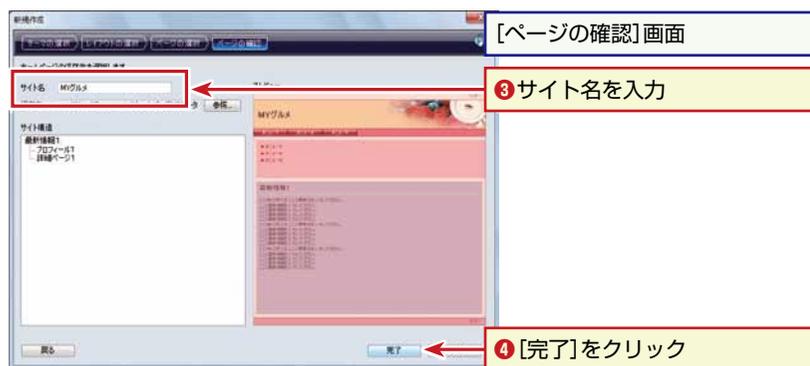
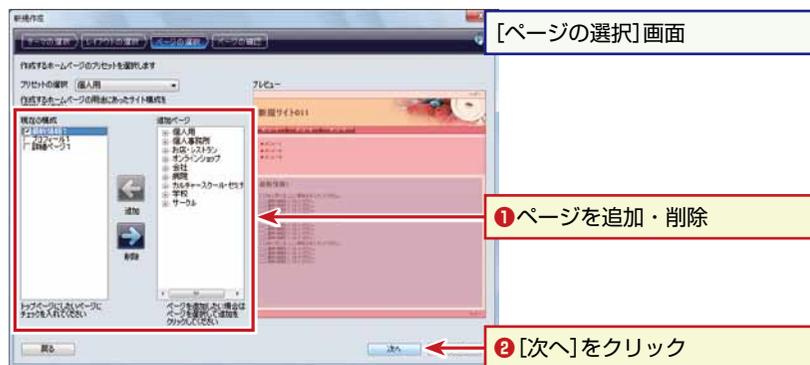


3 スマートフォン用サイトのレイアウトを選択します。

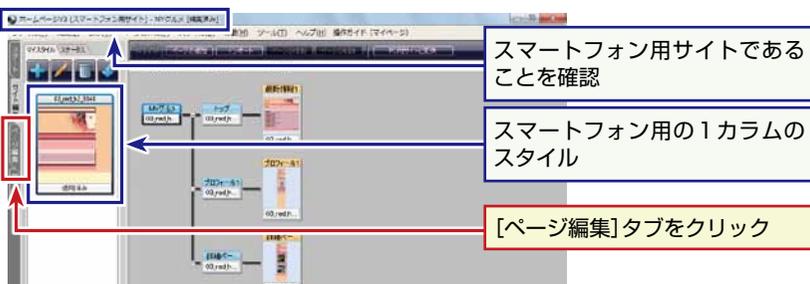




4 ページを追加／削除し、サイト名を設定します。



5 サイトを確認します。



HINT

スマートフォン用サイトでは、「サイド1」「サイド2」エリアが「メイン」の左右ではなく上下に配置されます。これにより、幅の狭い画面でも見やすいサイトを作成することができます。

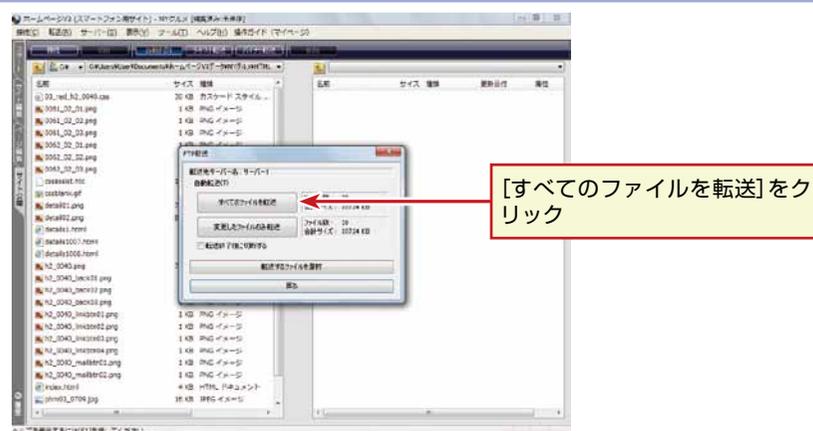
HINT

スマートフォン用サイトかPC用サイトかを確認するには
 タイトルバーの「ホームページV3」の後に「(PC用サイト)」と表示されればPC用、「(スマートフォン用サイト)」と表示されればスマートフォン用サイトです。
 また、「ファイル」メニューの「サイトの設定」の「ブラウザ」の「ターゲットブラウザ」でも確認できます。

6 ホームページを完成させます。



7 サイトを転送します。



8 実際のホームページを確認します。

- スマートフォンで表示した場合
- PCで表示した場合



画面の幅に合わせてページが表示される

HINT

ホームページの作成・編集について詳しくはP.46「セクション9 でき上がったホームページを確認する」～P.68「セクション18 サイト名を変更する」を参照してください。

注意!

[ページ編集]画面の[プレビュー]はスマートフォン用のプレビューではないため、実際にスマートフォンで表示した場合と異なる可能性があります。

HINT

サイトの転送について詳しくはP.76「セクション21 サイトを転送する」を参照してください。

注意!

スマートフォン用サイトを作成し、PC用サイトとの連携を設定していない場合、[すべてのファイルを転送]によって、転送先フォルダの直下にファイルが転送されます。先にPC用サイトを転送していた場合、ファイルが上書きされてしまいますので、注意してください。

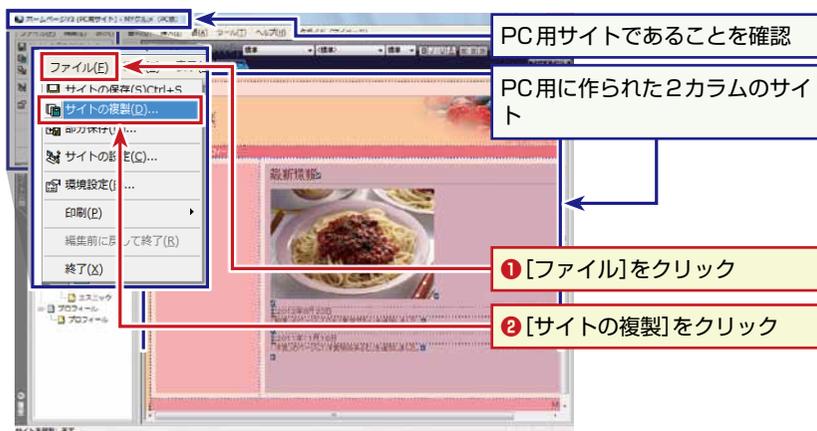
HINT

PC用サイトとの連携を設定する方法については、P.220「●PC用サイトとスマートフォン用サイトを連携させる」を参照してください。

● 作成済みのPC用サイトからスマートフォン用サイトを作る

1 PC用サイトを開きます。

★ここでは作成済みのPC用サイト「MYグルメ(PC版)」から「MYグルメ(スマホ版)」を作成する方法を説明します。



HINT

スマートフォン用サイトかPC用サイトかを確認するには

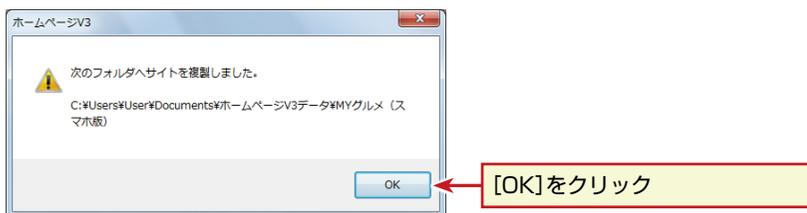
タイトルバーの「ホームページV3」の後に「(PC用サイト)」と表示されればPC用、「(スマートフォン用サイト)」と表示されればスマートフォン用サイトです。

また、[ファイル]メニューの[サイトの設定]の[ブラウザ]の[ターゲットブラウザ]でも確認できます。

2 複製するサイト名を指定します。



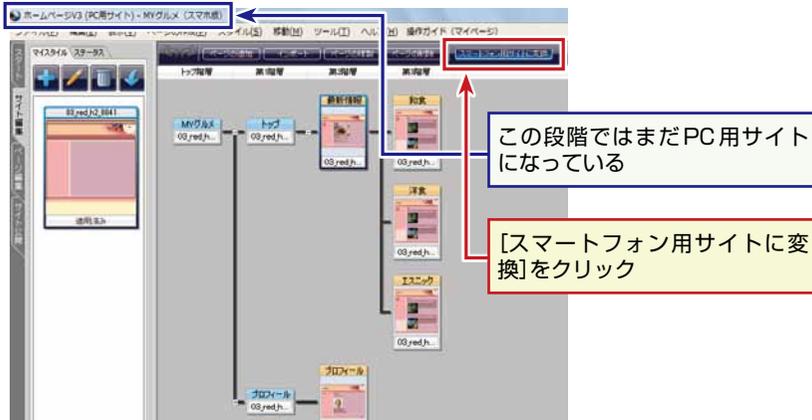
3 保存先を確認します。



4 [スタート]タブを選択し、[スタートアップウィザード]から [ファイルを開く]をクリックして複製したサイトを開きます。



5 [サイト編集]画面を確認します。



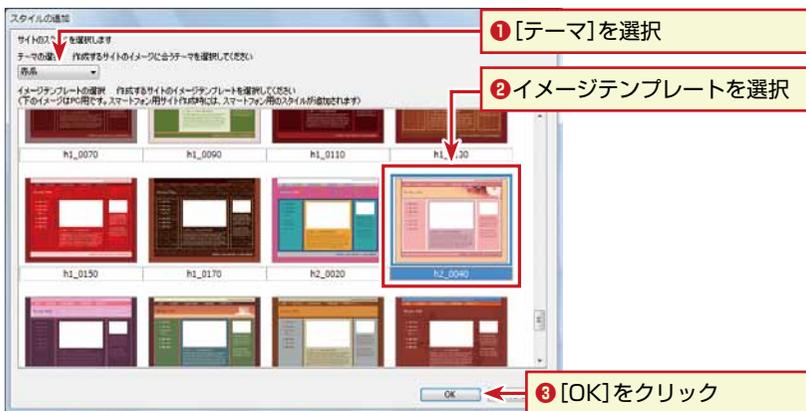
6 スマートフォン用サイトに変換します。



HINT

[ファイル]メニューの[サイトの設定]ダイアログボックスの[ブラウザ]の[ターゲットブラウザ]で[スマートフォン]を選択することにより、スマートフォン用サイトに切り替えることもできます。その場合、[スタイルの追加]からスマートフォン用のスタイルを追加します。

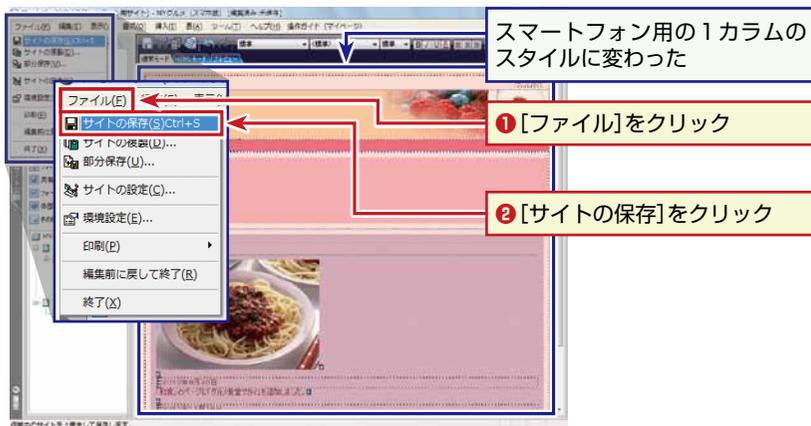
7 スマートフォン用サイトのスタイルを設定します。



8 スタイルを適用します。



9 スタイルを整えて完成させ、サイトを保存します。



HINT

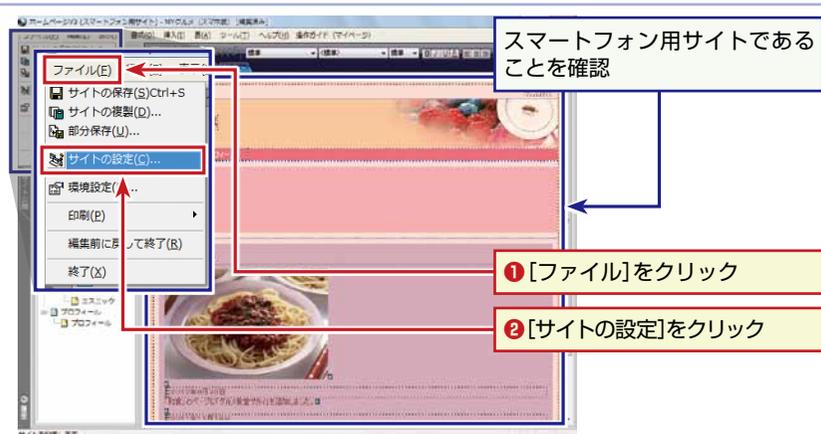
[スタイルの追加] ダイアログボックスのイメージテンプレートは、PC用サイトのレイアウト配置で表示されます。PC用サイトで使用しているものと同じテンプレートを選択すると、同じイメージのスマートフォン用のスタイルが追加されます。

注意!

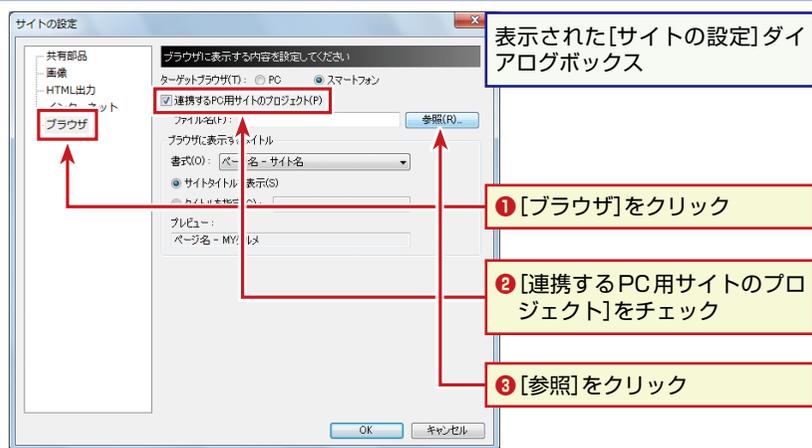
スマートフォン用サイトに交換しただけで、PC用サイトとの連携を設定しない状態で[サイト公開]タブから[すべてのファイルを転送]でファイルを転送すると、転送先フォルダの直下にファイルが転送されます。先にPC用サイトを転送していた場合は、ファイルが上書きされてしまいますので、注意してください。

● PC用サイトとスマートフォン用サイトを連携させる

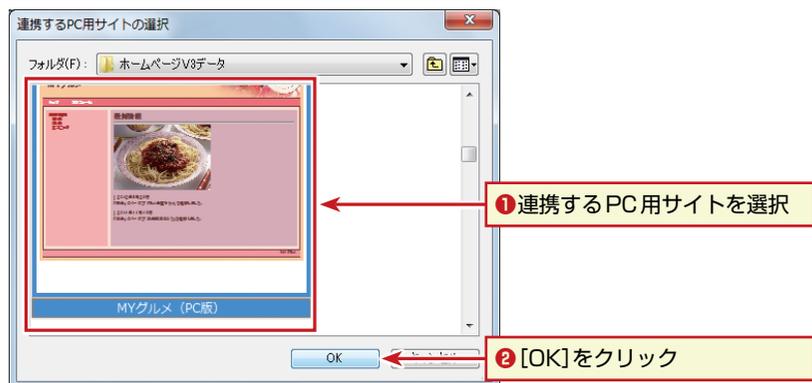
- 1 スマートフォン用サイトで[サイトの設定]ダイアログボックスを開きます。



- 2 連携するPC用サイトを指定します。



- 3 PC用サイトを選択します。

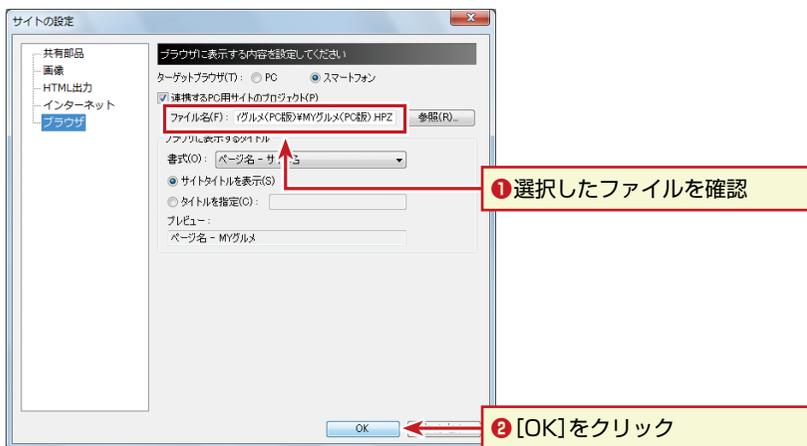


HINT

PC用サイトとスマートフォン用サイトの連携は、どちらのサイトからでも設定することができます。

PC用サイトを開いた状態で[サイトの設定]ダイアログボックスの[ブラウザ]を表示すると、[連携するPC用サイトのプロジェクト]のかわりに[連携するスマートフォン用サイトのプロジェクト]が表示されます。

4 ファイル名を確認します。

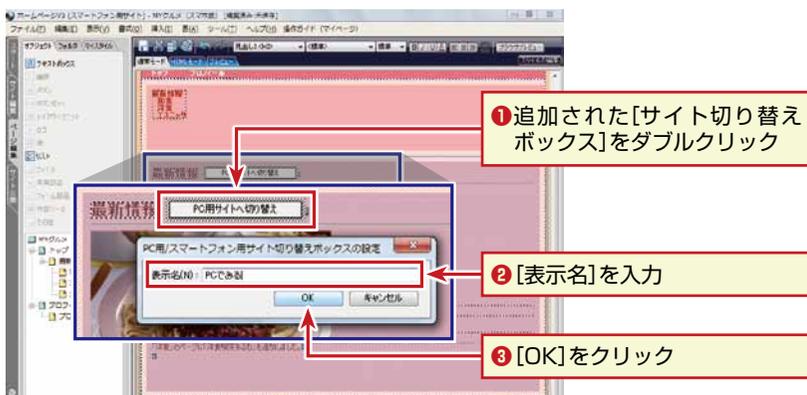


5 サイト切り替えボックスを追加します。

★次に、連携する2つのサイトを相互に切り替えるためのボタンを配置します。



6 サイト切り替えボックスの表示名を変更します



HINT

連携するPC用サイトまたはスマートフォン用サイトのどちらか一方で連携の設定をすれば、もう一方のデータを開いた時に連携の設定が自動的に設定されるため、それぞれのサイトで相互に設定する必要はありません。

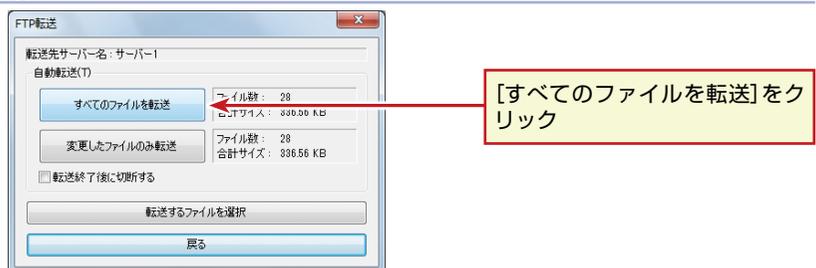
HINT

サイト切り替えボックスの表示名は、[ファイル]メニューの[サイトの設定]ダイアログボックスの[共有部品]で指定することもできます。

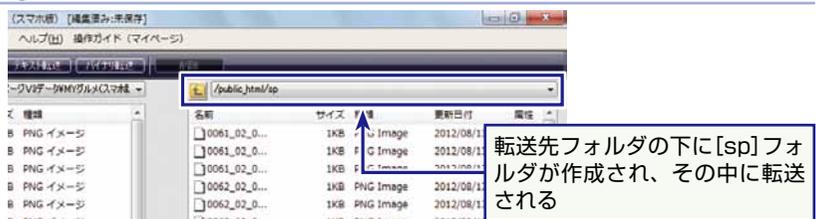
7 ページを確認します。



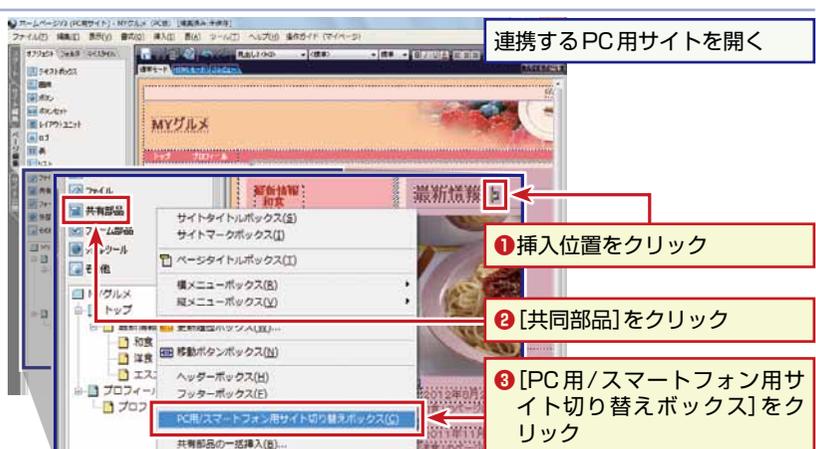
8 スマートフォン用サイトを転送します。



9 転送結果を確認します。



10 同様に、連携するPC用サイトを開き、サイト切り替えボックスを追加します。



HINT

サイトの転送について詳しくは P.76「セクション21 サイトを転送する」を参照してください。

11 サイト切り替えボックスの表示名を変更します。

- 1 追加された「サイト切り替えボックス」をダブルクリック
- 2 [表示名]を入力
- 3 [OK]をクリック
- 4 ページを確認したら、サイトを保存する

12 PC用サイトを転送します。

- 1 [サイト公開]タブをクリック
- 2 [すべてのファイルを転送]をクリック

13 転送結果を確認します。

PC用サイトは転送先フォルダに転送される

スマートフォン用サイトのデータが入っている[sp]フォルダ

名前	サイズ	種類	更新日付	属性
sp	744K 744K		2012/08/13	rw-rw-r--
0001_02_0...	1KB	PNG Image	2012/08/13	rw-rw-r--
0002_02_0...	1KB	PNG Image	2012/08/13	rw-rw-r--
0003_02_0...	1KB	PNG Image	2012/08/13	rw-rw-r--
0004_02_0...	1KB	PNG Image	2012/08/13	rw-rw-r--
0005_02_0...	1KB	PNG Image	2012/08/13	rw-rw-r--
0006_02_0...	1KB	PNG Image	2012/08/13	rw-rw-r--
0007_02_0...	1KB	PNG Image	2012/08/13	rw-rw-r--
0008_02_0...	1KB	PNG Image	2012/08/13	rw-rw-r--
0009_02_0...	1KB	PNG Image	2012/08/13	rw-rw-r--
0010_02_0...	1KB	PNG Image	2012/08/13	rw-rw-r--

14 スマートフォンでホームページを確認します。

ページの右側がかかれて見にくい

スマートフォン用サイトが表示された

[サイト切り替えボックス]をクリック

レイアウトが変わって見やすくなった

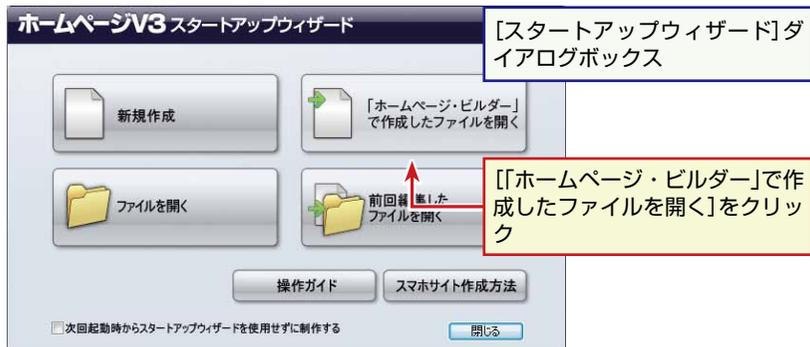
関連情報

連携しているスマートフォン用サイトを直接表示するには、PC用サイトのURLの末尾に「/sp」を追加したURLを指定します。例えば、PC用サイトのURLが `http://〇〇〇〇/△△△` の場合は、連携するスマートフォン用サイトのURLは `http://〇〇〇〇/△△△/sp` となります。

「ホームページ・ビルダー」で作成したファイルを取り込む

「ホームページV3」では、「ホームページ・ビルダー」など、他のホームページ作成ソフトで作られたホームページを取り込むことができます。「ホームページ・ビルダー」で作成されたファイルを例にページの取り込み方を解説します。

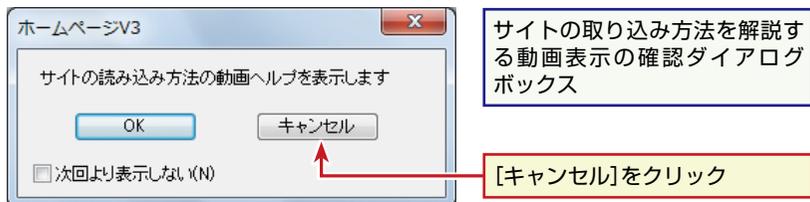
1 「ホームページ・ビルダー」で作成したファイルを開く」ダイアログボックスを開きます。



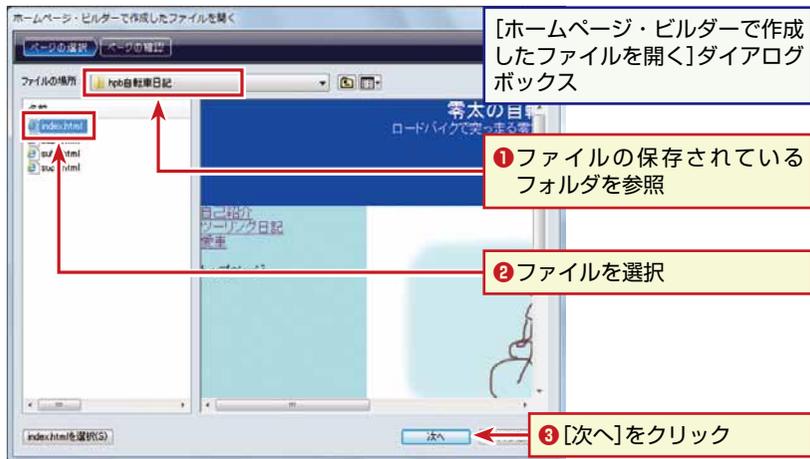
関連情報

サイトの取り込み方法を解説する動画

動画の表示を選択すると、インターネット上に用意されている取り込み方法に関する動画が表示されます。表示する場合はインターネットへ接続されていることを確認した上で[OK]をクリックしてください。



2 取り込むページのファイルを選択します。



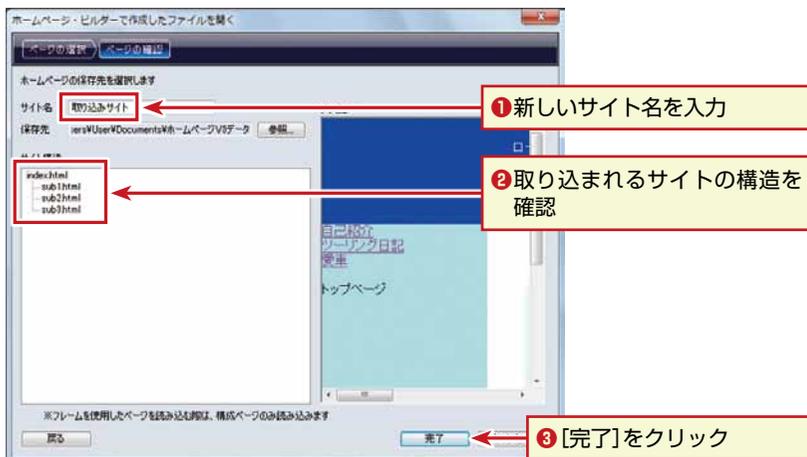
注意!

サイト全体を読み込みたい場合は、トップページを選択してください。トップページにリンクされている他のHTMLファイルや画像データも一緒に取り込むことができます。

HINT

ファイル数が多くトップページを探すのが大変な場合は、画面左下の「index.htmlを選択」ボタンをクリックしてください。「index.html」や「index.htm」がフォルダ内から自動的に選択されます。

3 ホームページを取り込みます。



① 新しいサイト名を入力

② 取り込まれるサイトの構造を確認

③ [完了]をクリック

4 取り込まれたページを調整します。



① [default]を右クリック

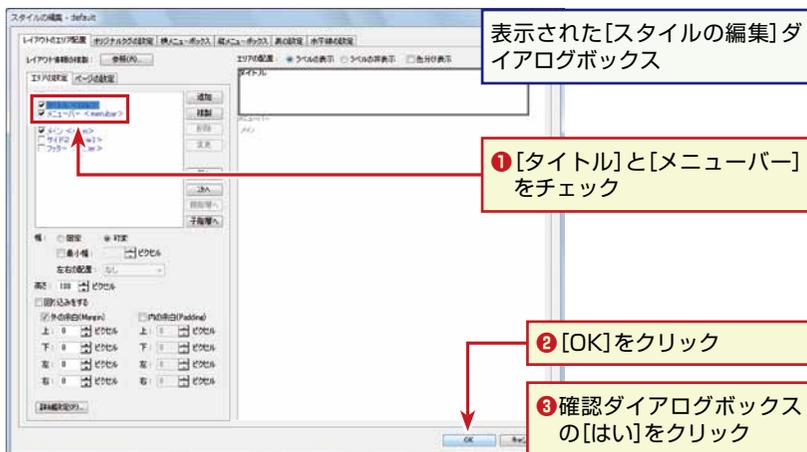
② [スタイルの編集]をクリック

注意!

取り込むホームページにスタイルシートの設定がされていた場合、「ホームページV3」では既存のスタイルシートは取り込まずに、白紙のスタイルを適用して取り込みます。以前に適用していたスタイルシートと同じ表現をしたい場合は、「スタイルの編集」から設定を行なってください。

スタイルの編集方法は、P.111「第4章 ページをデザインする」を参照してください。

5 レイアウトエリアを追加します。



① [タイトル]と[メニューバー]をチェック

② [OK]をクリック

③ 確認ダイアログボックスの[はい]をクリック

関連情報

取り込まれた直後のページのエリア配置

defaultスタイルは、「メイン」エリアのみで構成され、取り込まれたファイルの内容はメインに表示されます。

HINT

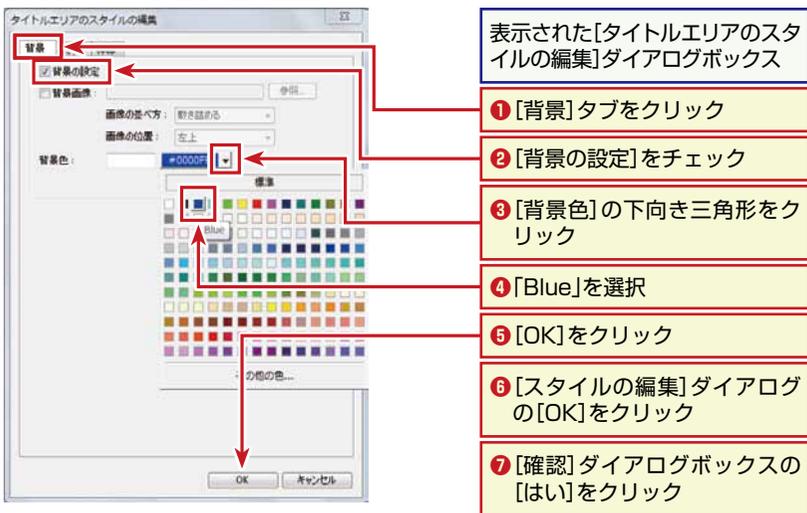
取り込む前のホームページのレイアウトに合わせて、レイアウトエリアを追加してください。

6 タイトルを修正します。

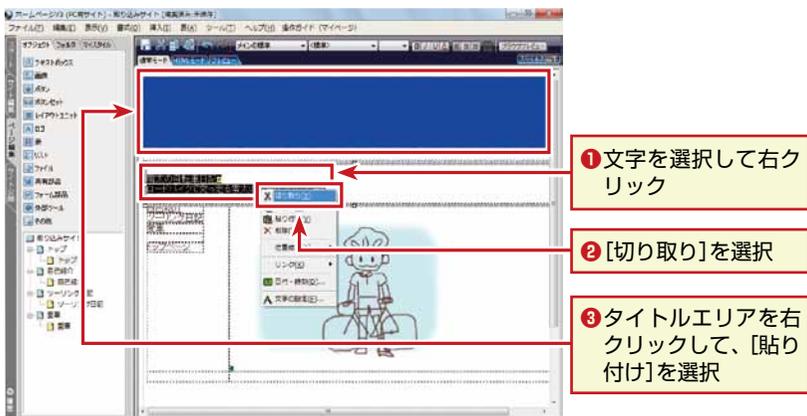
★エリア配置が変更できたら、次に[ページ編集]画面に移動し、まずはタイトル部分を修正します。



7 タイトルの背景を青色に変更します。



8 タイトルの文字をタイトルエリアに移動します。



HINT

既存のページのタイトル部分を画像で作成していた場合は、「タイトル」エリアの背景に同じ画像を指定して、高さ・幅などを調整してください。

HINT

スタイルで背景を設定することで、取り込んだ他のページにも背景が反映されます。

HINT

選択した文字はドラッグ&ドロップで移動することもできます。

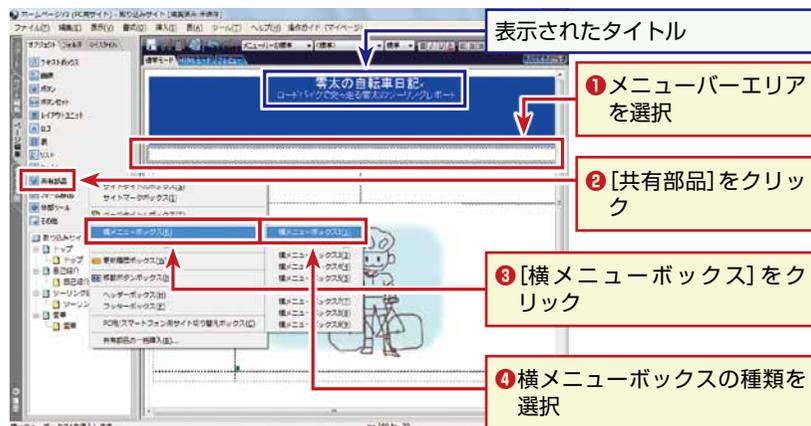
関連情報

サイトタイトルボックスの利用

ここではタイトルの文字を移動していますが、サイトタイトルボックスを使ってタイトルを表示すると、後でサイト名を変更する際に一括で変更することができて便利です。

9 メニューを表示します。

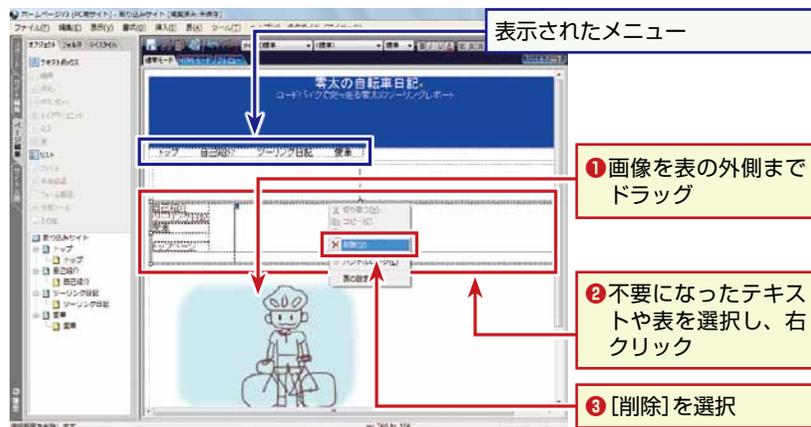
★次にメニューバーにメニューを表示します。



HINT

横メニューボックスを利用しなくてもリンクの設定はされていますが、後でページを追加する際やメニュー名を変更する際に一括で同サイトの複数ページが変更されるので、横メニューボックスを利用した方が今後の更新が便利になります。

10 画像を移動します。



11 変更されたページを確認します。



HINT

レイアウトが崩れてしまう場合は、元々挿入されていた画像や表などのオブジェクトがページやレイアウトエリアの幅よりも大きい場合があります。画像や表のサイズを変更したり、レイアウトエリアの幅を広げるなどして調整してください。

セクション
63

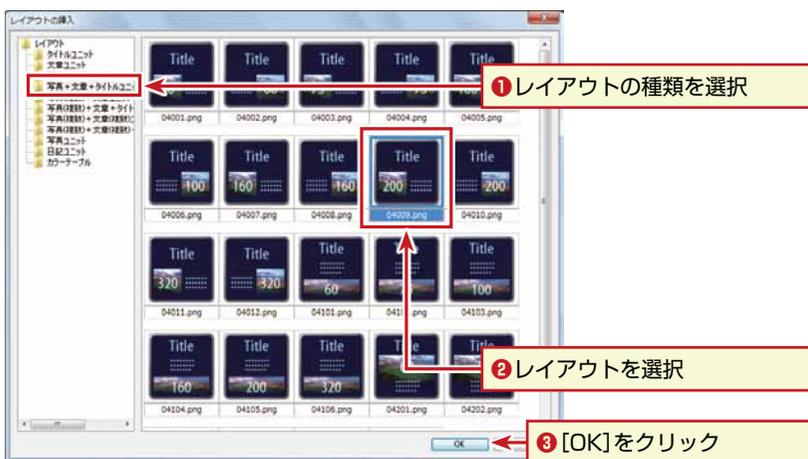
レイアウトユニットを挿入する

写真とタイトルと解説文といった定型要素から構成されるページを作成する場合、レイアウトユニットを利用することで、レイアウトの手間を省くことができます。

1 [レイアウトの挿入]ダイアログボックスを表示します。

★ 画像の挿入位置を選択し、[オブジェクト]タブの[レイアウトユニット]をクリックします。

2 レイアウトを挿入します。



3 画像を置き換えます。

★ 文字を編集してから、画像を置き換えます。



関連情報

レイアウトユニットとは
レイアウトユニットとは、画像や文字があらかじめ配置されたレイアウトのテンプレートです。レイアウトユニットを挿入したら、そこに含まれる画像や文字を置き換えるだけで、定型的なページを作成できます。

HINT

[レイアウトの挿入]ダイアログボックスで表示されるサムネイルの画像部分に書かれている数字は、画像の横幅(ピクセル数)です。目的にあったサイズのレイアウトユニットを選択してください。

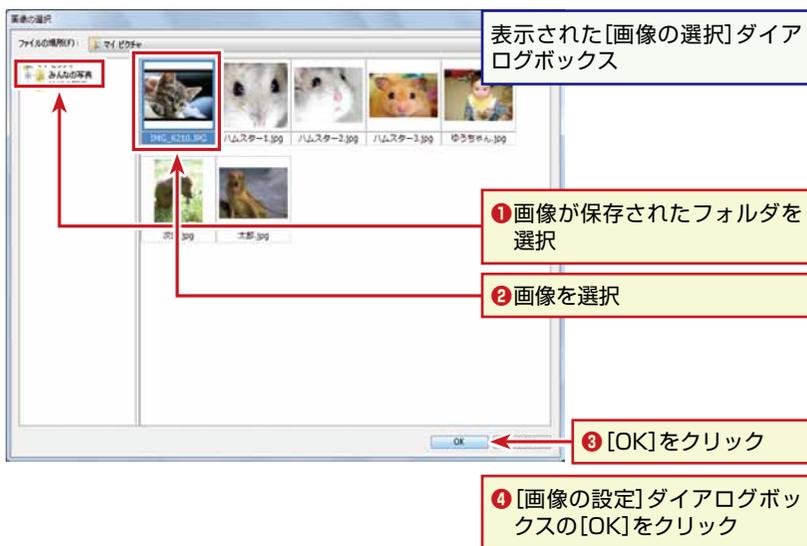
HINT

カラーテーブルとは
カラーテーブルは表単体のひな型です。カラフルな色や形のテーブルが用意され、ページのトーンに合ったひな型を自由に選択し、利用することができます。



③ [参照]をクリック

4 画像を選択します。



5 挿入結果を確認します。



HINT

レイアウトユニットは表で作成されたテンプレートで、幅は100パーセントで指定されているため、レイアウトエリアを追加・削除したり幅を変更したりすると、レイアウトエリアの幅まで自動で広がるようになっています。

注意!

レイアウトユニットで設定されている画像の幅よりも小さい画像を選択すると、設定されている幅まで画像が大きくなり、画像が粗く表示されます。

関連情報

挿入されたレイアウトユニットの編集

挿入されたレイアウトユニットは、個別の要素の集合ですので、編集や設定も個別に行なう必要があります。またレイアウトユニットは表で作られているため、表を削除すると、表に含まれるテキストや画像も削除されます。

画像やテキストを自由に表示する

「ホームページV3」では、画像やテキストは通常、エリア内に配置されます。しかし、テキストボックスを使用することで、エリアの制限を越えてページ上に自由に配置することができます。

1 [テキストボックスの挿入]ダイアログボックスを開きます。



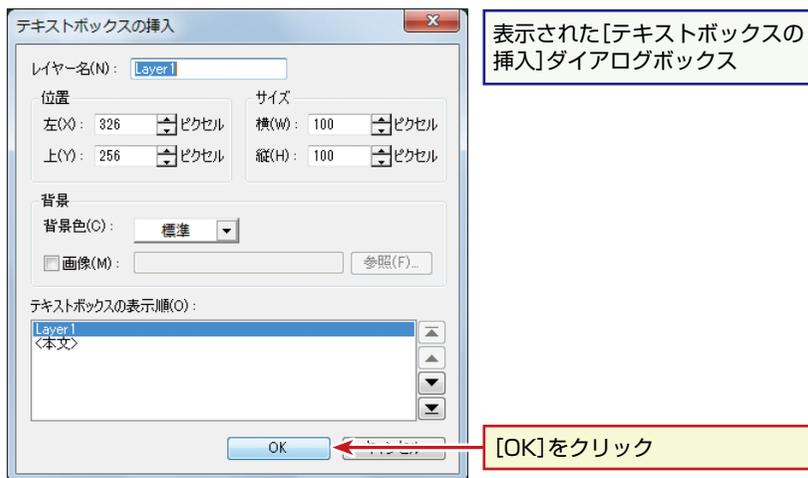
HINT

テキストボックスには、背景に色や画像を指定することができます。

HINT

[挿入]メニューの[テキストボックス]-[テキストボックスの挿入]を選択して、挿入することもできます。

2 テキストボックスを挿入します。



表示された[テキストボックスの挿入]ダイアログボックス

HINT

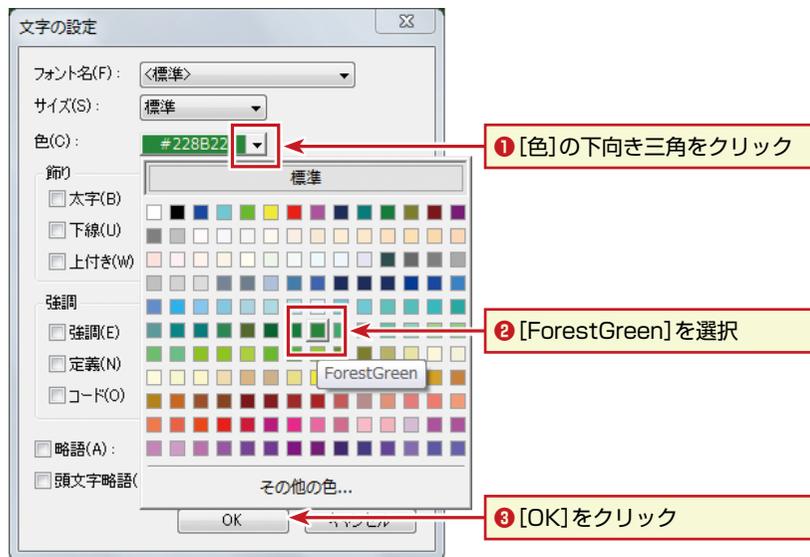
テキストボックスのサイズを変えるには

ページ編集画面に挿入されたテキストボックスは、枠をドラッグすることでサイズを変更することができます。

3 [文字の設定]ダイアログボックスを開きます。



4 文字に色を設定します。



HINT

テキストボックスに画像を入れるには

テキストボックスには文字だけでなく画像を入れることもできます。挿入されたテキストボックス内にカーソルがある状態にして、[オブジェクト]タブの[画像]から挿入してください。

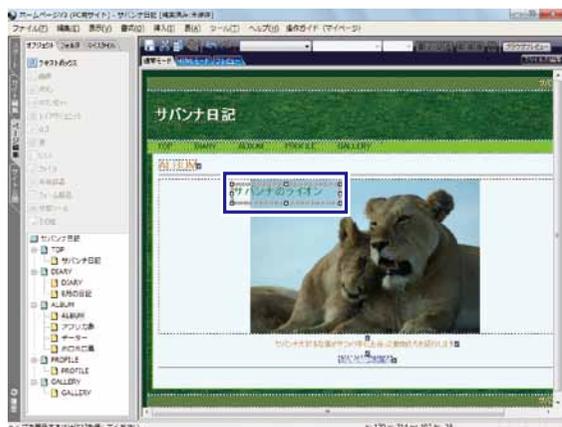
注意!

テキストボックス内のテキストにはスタイルは適用されません。書式を変更したい場合は、[文字の設定]ダイアログボックスや「オリジナルタグ」から適用してください。

5 テキストボックスの位置とサイズを変更します。



6 テキストボックスを確認します。



注意!

テキストボックスを自由に配置できない場合は、[表示]メニューの[スナップ]がオンになっていないか確認してください。

関連情報

画像を自由に配置するには [フォルダ] タブで [自由配置で挿入] を選択してから、画像ファイルをページへとドラッグしてください。画面上では、画像のみが追加されたように見えますが、実際にはテキストボックスが追加され、そのテキストボックスに画像が追加された状態になります。

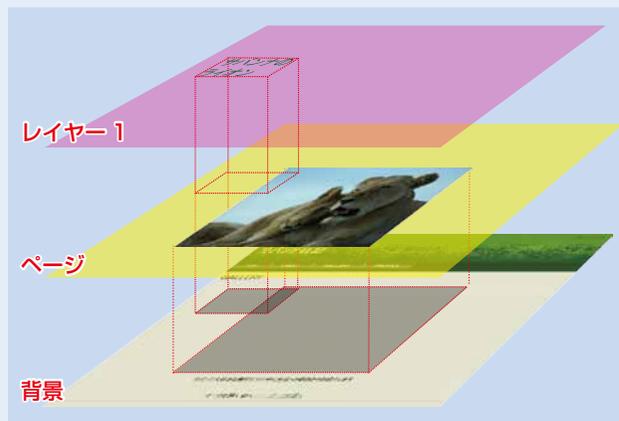
7 プレビュー画面を確認します。



関連情報

テキストボックスの仕組み

テキストボックスはレイヤーという概念で作成されています。レイヤーとは「層」という意味で、ページの制限を受けない自由な配置が可能になります。



ブラウザで表示されるページ

セクション
65

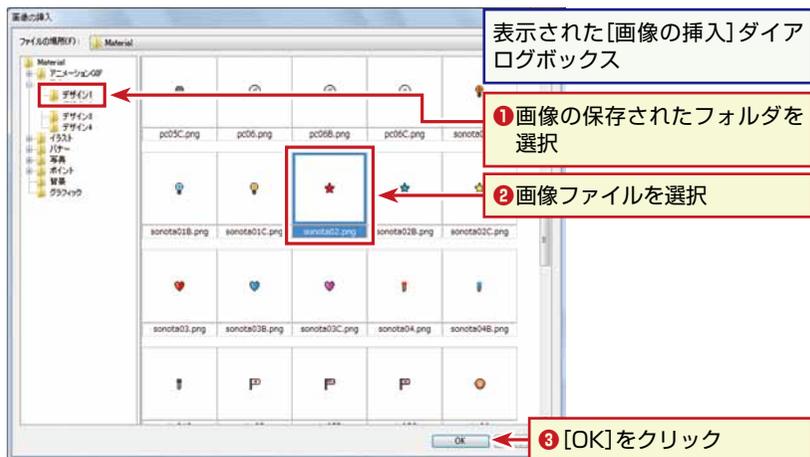
テキストボックスにアニメーションを設定する

テキストボックスを利用することで、簡単なアニメーション効果を作成することができます。ここでは、星のイラストを動かしてみましょう。

1 [画像の挿入]ダイアログボックスを開きます。



2 テキストボックスに画像を追加します。



関連情報

アニメーションの設定対象

アニメーションは、テキストボックスに対して設定されます。テキストボックスが挿入されるまで、[アニメーションの挿入]オプションは選択できません。



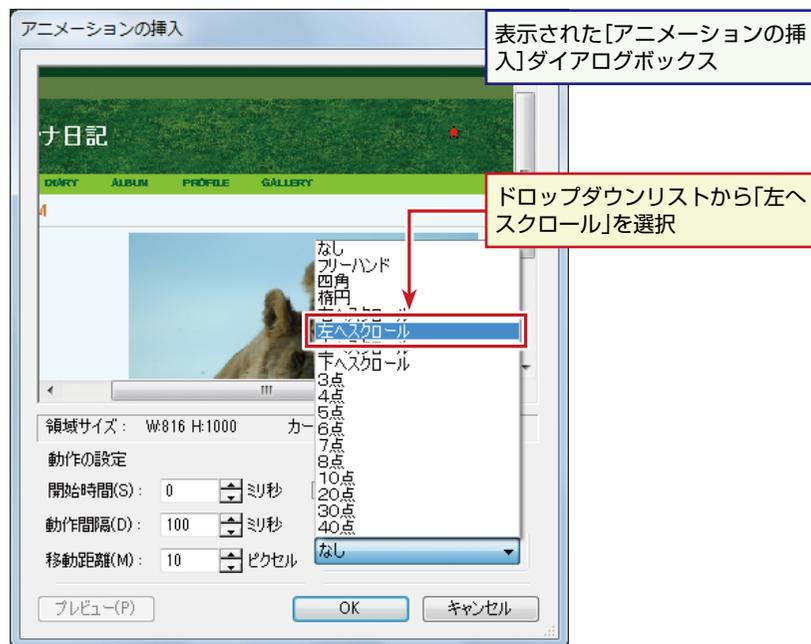
関連情報

アニメーションはテキストボックスに対して設定されるので、画像に限らずテキストボックス内の文字に対しても設定できます。

3 [アニメーションの挿入]ダイアログボックスを開きます。



4 アニメーションの動作を指定します。



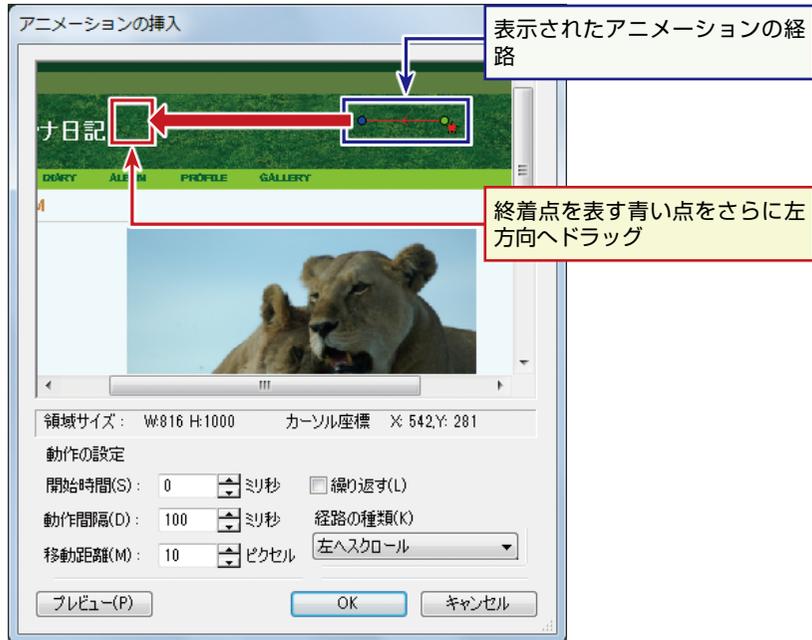
関連情報

[アニメーションの挿入]ダイアログボックスでの設定項目

アニメーションの動作については、アニメーションの経路以外に以下の項目を設定できます。

- ・開始時間: ページが表示されてからアニメが始まるまでの時間
- ・動作間隔: 移動距離を移動するのにかかる時間
- ・移動距離: 移動する距離
- ・繰り返す: 動作を繰り返すにはこのチェックボックスをチェック

5 アニメーションを設定します。



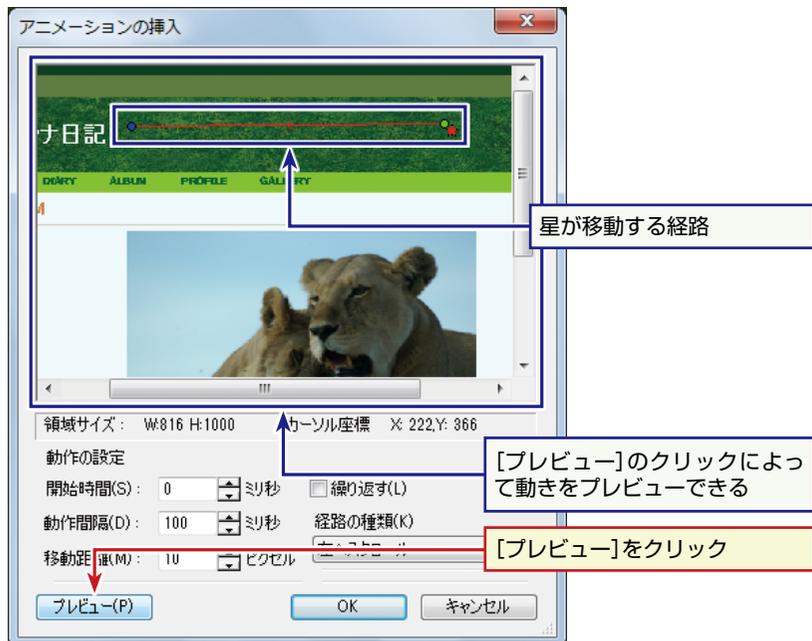
HINT

移動経路を自由に設定するには [経路の種類] から [フリーハンド] を選択すると、移動経路を自由に設定できます。ドラッグした箇所がアニメーションで動く経路となります。設定が終わったら、ダブルクリックして青い点にしてください。

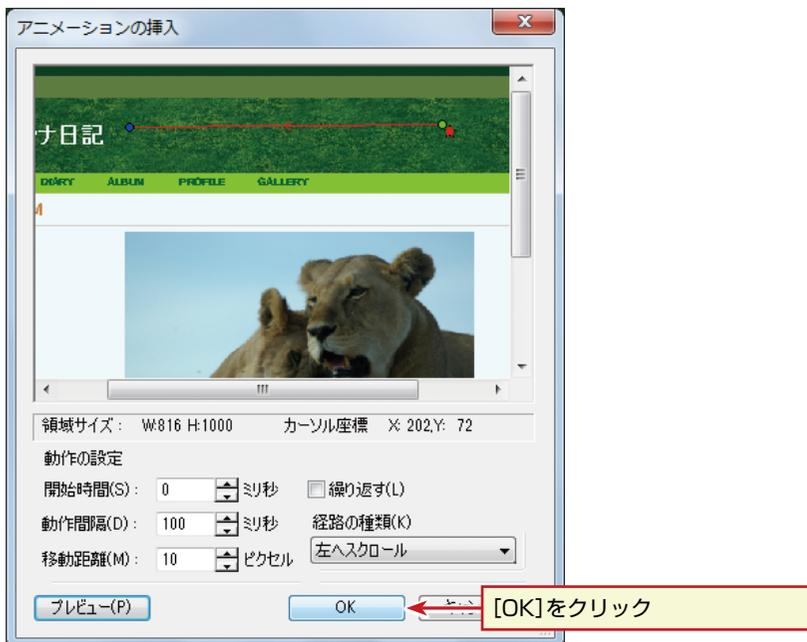
HINT

[繰り返す] にチェックを入れると、指定した経路を何度もアニメーションします。

6 プレビューで動きを確認します。



7 アニメーションを確認します。



HINT

アニメーションは、レイアウトエリアにとらわれず、ページ内であればどこにでも移動させることができます。

8 プレビュー画面でアニメーションを確認します。



セクション
66

画像を編集する

「ホームページV3」には、「Paintgraphic SD」という本格的な画像編集ソフトウェアが搭載されています。ここでは、このソフトを呼び出して、編集を加える手順を解説します。

1 「Paintgraphic SD」を開きます。

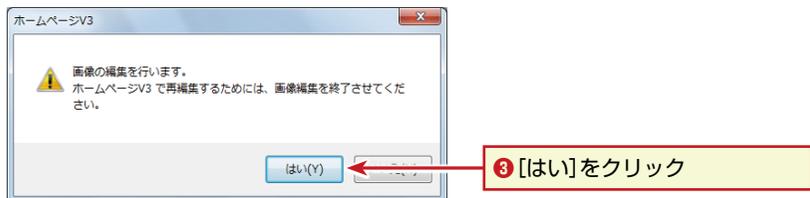


注意!

「Paintgraphic SD」では、1つの画像のみ開くことができます。

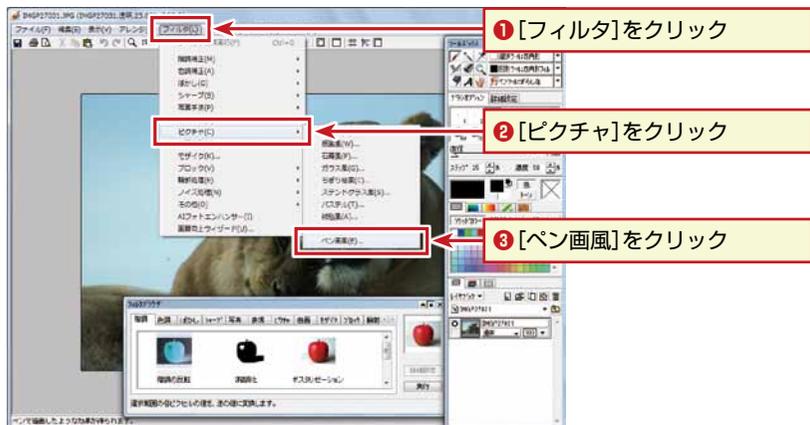
注意!

「Paintgraphic SD」を起動している際は、「ホームページV3」でホームページの編集を行なうことはできません。



2 [ペン画風] ダイアログボックスを開きます。

★ここでは画像をペン画風の画像に変更します。



関連情報

「Paintgraphic SD」には、[ペン画風] フィルタの他にも、さまざまなエフェクトや機能が用意されています。これらの機能の詳しい使い方は、[ヘルプ]メニューから[ヘルプ]を選択してください。

まだまだある便利な機能

第8章

3 ペン画風に変更します。

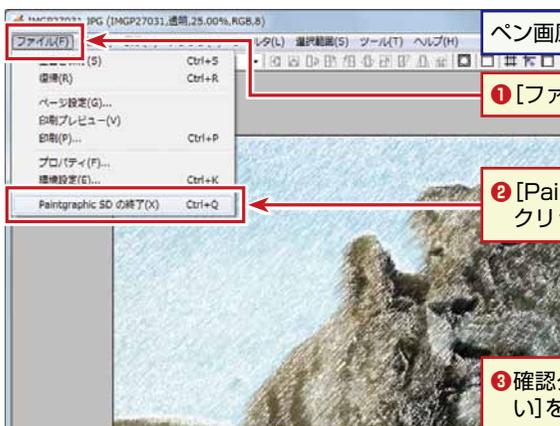


表示された[ペン画風]ダイアログボックス

① [カラー]を選択

② [OK]をクリック

4 「Paintgraphic SD」を終了して、「ホームページV3」に戻ります。



ペン画風に変更された画像

① [ファイル]をクリック

② [Paintgraphic SDの終了]をクリック

③ 確認ダイアログボックスの[はい]をクリック

5 変更後の画像を確認します。



ペン画風に変更された画像

HINT

「Paintgraphic SD」での編集結果は、「ホームページV3」上でのみ反映されます。元の画像には編集内容は適用されません。

関連情報

「Paintgraphic SD」を利用する

「Paintgraphic SD」は独立したソフトウェアです。単体でも起動することができます。「ホームページV3」をインストールしたフォルダ(通常は C:\Program Files\%SOURCENEXT%\ホームページV3)の「PaintGrSD.exe」をダブルクリックしてください。

! この章のまとめ

「ホームページV3」には、これまでの章で紹介できなかった機能がまだまだたくさんあります。その中で、特におすすめの機能をまとめて紹介しました。

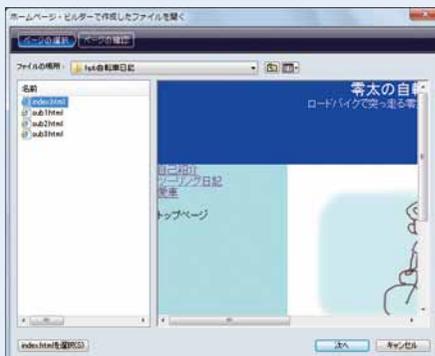
スマートフォン用サイトの作成方法、「ホームページ・ビルダー」で作成したホームページを取り込んで、「ホームページV3」用に調整する方法、画像やテキストをページ上に自由に配置したり、アニメーション化する方法、専用の画像編集ソフト「Paintgraphic SD」の利用方法について解説しています。

●スマートフォン用サイトの作成



スマートフォンで見るのに適したレイアウトでサイト作成が可能

●ホームページ・ビルダーで作成したホームページの取り込み



ホームページ・ビルダーで作成したホームページはサイト全体を取り込むことが可能

●テキストや画像の自由配置とアニメーション効果



テキストボックスにアニメーション効果を設定

●画像編集ソフト「Paintgraphic SD」の呼び出し



「ホームページV3」から本格画像編集ソフト「Paintgraphic SD」を呼び出して、画像処理を行なうことができる

第9章

付録

本章にはサポート情報と、ホームページ作成時によく目にする用語集を掲載しています。

サポート情報は、よくある問い合わせをQ&Aの形式でまとめています。また、操作中に困ったときに利用するヘルプ機能やwebサポートページの参照方法、問い合わせ方法なども記載しています。用語集と合わせて活用してください。

Q&A	242
困ったときは	246
サポートへのお問い合わせ	247
用語集	248
索引	253
「ホームページV3」製品サポートについて	256

Q&A

Q 他社のホームページ作成ソフトで作成したファイルを読み込むと、レイアウトや画像が崩れてしまう

A スタイルシートで指定しているサイズが、読み込まれたファイルのデザインで指定している幅と合わない場合、レイアウトが崩れる現象が発生する場合があります。

スタイルのレイアウト幅の調整やスタイル内のコンテンツ幅の調整を行なう必要があります。

詳しくはP.224「セクション62 「ホームページ・ビルダー」で作成したファイルを取り込む」を参照してください。

Q [プレビュー]画面や転送後のページのレイアウトが崩れている(メインがサイド1の下にずれ落ちてしまうなど)

A レイアウトエリアの幅(余白含む)よりもエリア内に入れる表や画像などのコンテンツが大きい場合にレイアウトが崩れてしまうことがあります。

レイアウトエリアよりもコンテンツを縮小するか、もしくはレイアウトエリアの幅を広げることで解決できます。レイアウトエリアの幅は、[サイト編集]画面の[スタイルの編集]で変更することができます。



Q メールフォームからメールが送信できない

A 外部メールフォームサービスをご利用ください。

ホームページにメールフォームを追加するには、外部メールフォームサービスを利用する方法があります。インターネットの検索サイトで「メールフォーム」と入力し、Web上のサービスを探してください。

- メールフォームサービスの設定情報がHTMLタグで提供される場合は、P.192「セクション55 資料請求フォームを作成する」を参照し、HTMLタグを追加してください。
- メールフォームサービスの設定情報がURLで提供される場合は、P.210「セクション60 掲示板サービスを利用する」の手順に従って外部メールフォームのURLを追加してください。

※外部メールフォームの設定方法や使い方についてはサービス提供元へ問い合わせてください。

Q サーバーに転送できない

A 以下をご確認ください。

- インターネットに接続されているか
- ウィルス対策ソフトがインターネット接続を止めていないか
一時的にウィルス対策ソフトを無効にしてお試しください。
- サーバ名、ログイン名、パスワード、転送先フォルダは正しいか
- サーバのファイル容量制限を超えていないか

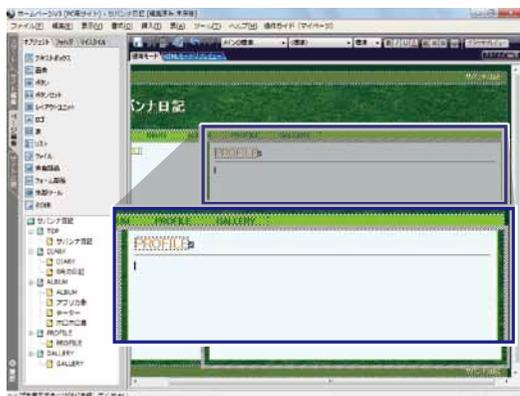
Q 画像やテキストボックスの配置がブラウザで確認するとずれている

A テキストボックスおよび画像は、ブラウザの表示幅によって表示位置が異なる場合があります。

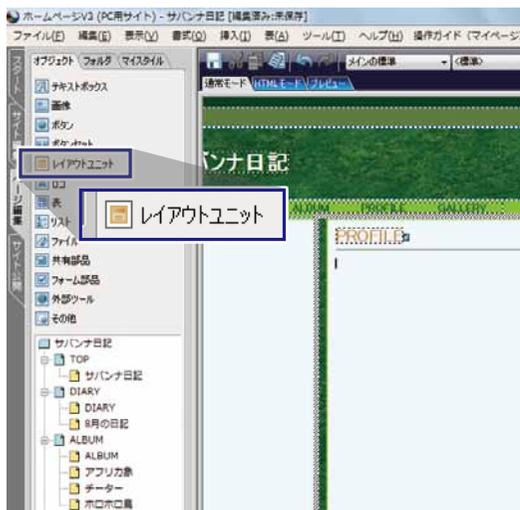
固定した位置で文字や画像を表示させるには、[レイアウトユニット]をご利用ください。

【操作方法】

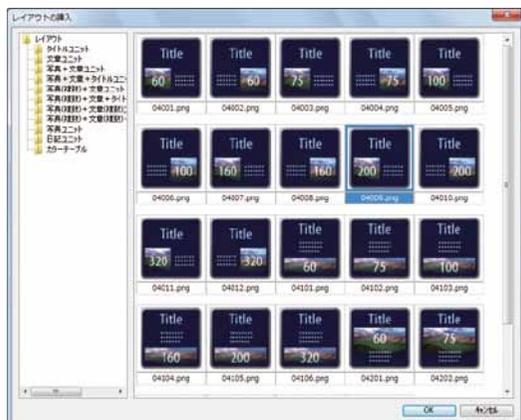
1 [ページ編集]画面で、文字や画像を挿入したい位置にカーソルを移動します。



2 [オブジェクト]タブの[レイアウトユニット]をクリックします。



3 設定したいレイアウトを選択し、[OK]ボタンをクリックします。



4 各レイアウト内に文字や画像を挿入します。



Q ボタンの表示内容が変更できない

A ボタンおよびボタンセットは、画像ファイルのため、「ホームページV3」上では変更ができません。

ボタンの表示内容を変更したい場合は、「ホームページV3」にバンドルされている「Paintgraphic SD」で編集を行なってください。

「Paintgraphic SD」の詳しい操作方法は、「Paintgraphic SD」を起動して[ヘルプ]メニュー内の[ヘルプ]を参照してください。

Q [HTMLモード]で入力したタグが消去されてしまう

A [HTMLモード]で入力したタグが消えてしまう場合は、[通常モード]の[HTMLタグの挿入]からHTMLタグを挿入してください。

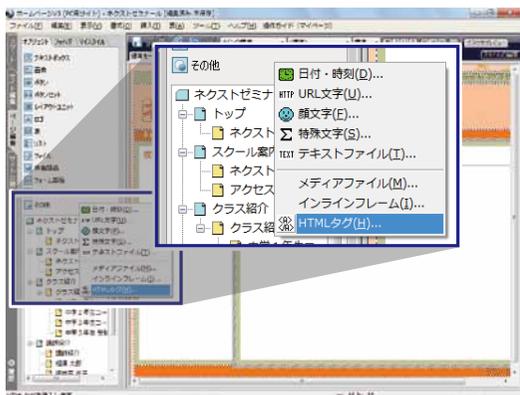
※「ホームページV3」では、出力したHTMLが極力webに準拠するように、最適化を行なっています。そのため、入力したタグを消去する場合があります。

1 [ページ編集]画面より[通常モード]タブをクリックします。



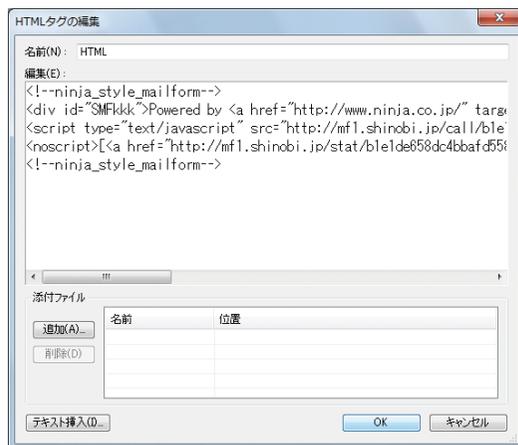
2 HTMLタグを挿入したい箇所をクリックします。

3 [オブジェクト]タブの[その他] - [HTMLタグ]をクリックします。



4 [HTMLタグの編集]ダイアログボックスが表示されます。

挿入したいタグを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

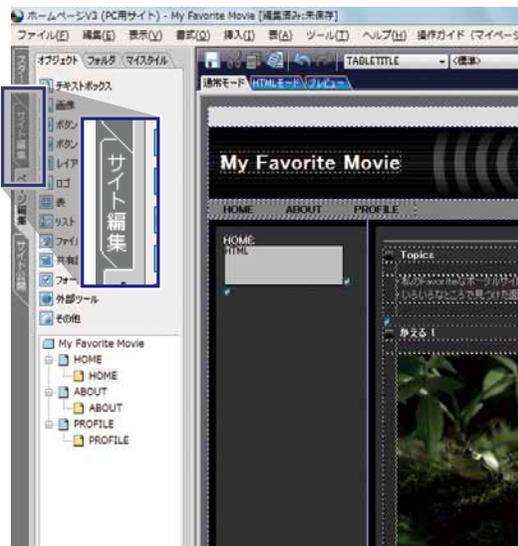


Q 掲示板が利用できない

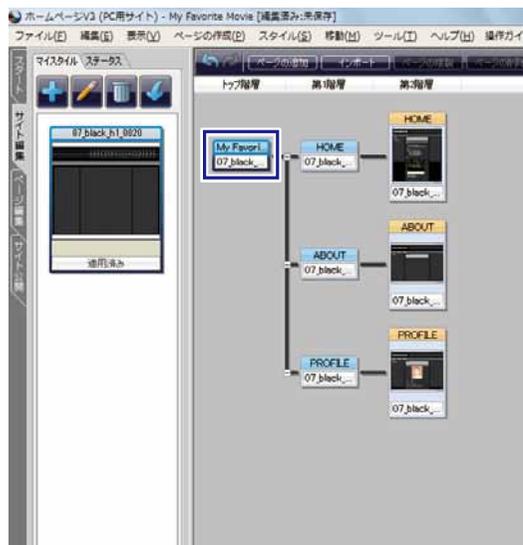
A ご利用のプロバイダの掲示板サービスが「ホームページV3」で設定できない場合は、以下の方法をお試しください。

【操作方法】

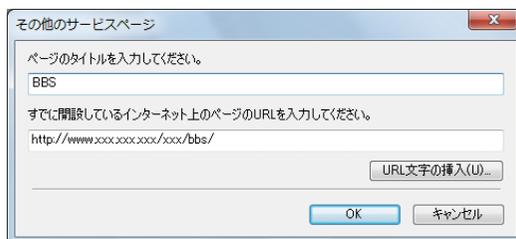
1 [サイト編集]タブをクリックします。



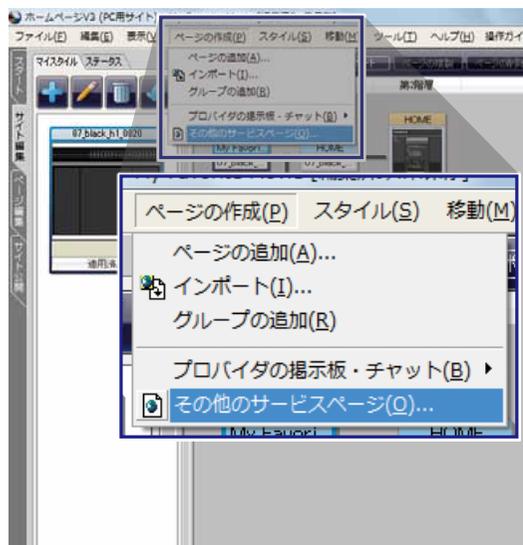
2 リンク元とするページを選択します。



4 表示するタイトルと掲示板のURLを入力し、[OK]ボタンをクリックします。



3 メニューバーの[ページの作成]から、[その他のサービスページ]をクリックします。

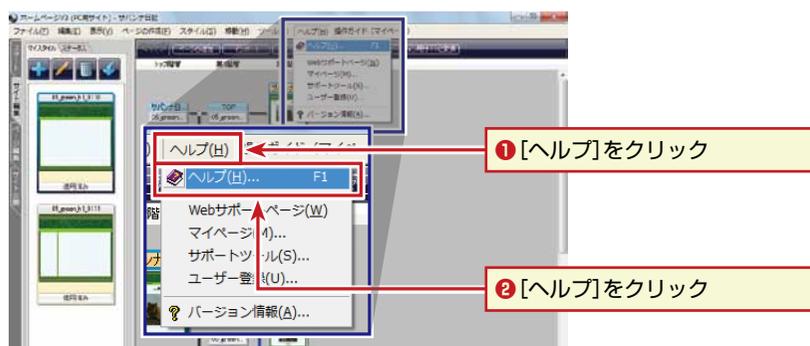


困ったときは

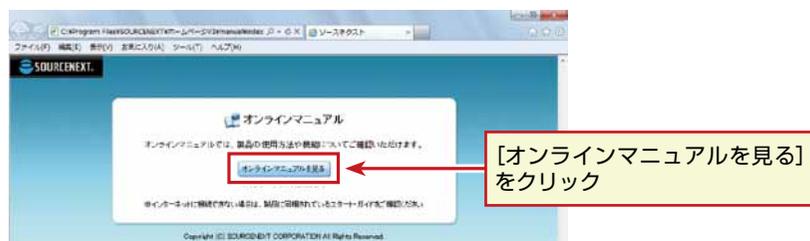
操作方法や機能の呼び出し方がわからなくなったら、まずは「ホームページV3」のヘルプを開いてみてください。それでも解決方法が見つからないときは、「ホームページV3」専用サポートページをご利用ください。

● ヘルプを使って調べる

1 「ホームページV3」のヘルプを表示します。



2 オンラインマニュアルを参照します。



⚠ 注意!

オンラインマニュアルを参照するには、インターネットに接続している必要があります。

● 専用サポートページから問題を解決する

ホームページV3では、困ったときにすぐに問題を解決できるよう、以下の専用ページでよくあるお問い合わせ内容を公開しています。また、アップデートプログラムなど製品に関する最新情報も随時公開しているので、ご確認ください。

● 「ホームページV3」web サポートページ URL

<http://www.sourcenext.info/hpz/>

サポートへのお問い合わせ

● サポートセンターへのお問い合わせ方法

製品のサポートを受けるには、ユーザー登録が必要です。ユーザー登録が済んでいない場合は、P.30「● ユーザー登録とエントリーを行なう」を参考に登録を行なってください。

● メールでのお問い合わせ

- ① 「ユーザー登録」を完了します。
※ユーザー登録方法は本書のP.30～P.33をご確認ください。
- ② サポートページから該当のQ&Aを探します。
<http://www.sourcenext.info/hpz/>
- ③ Q&Aを見ても解決しない場合は、Q&A 下部にある「解決しない」ボタンをクリックします。該当するQ&Aがない場合は、他のQ&Aページからお進みください。
- ④ 「メールで問合わせる(無料)」欄にある「ユーザー登録がお済みの方」をクリックし、指示に従って進みます。
- ⑤ ユーザー登録済みの製品一覧が表示されるので、該当の製品名をクリックします。
※メールアドレス・パスワードの入力を求められた場合は、登録済みの情報を入力して「ログイン」ボタンをクリックします。
- ⑥ お問い合わせフォームが表示されるので、質問事項を入力して送信します。

● カスタマーサービスのご利用に関して

ソースネクスト製品サポート規約(2006年2月3日現在)抜粋

■第5条 サポート提供期間

本規約第8条(サポートの期間途中の終了)で規定する場合を除き、販売終了から1年後まで、サポートを提供します。ただし、マイクロソフトOSおよびApple Japan, Inc.(アップルジャパン株式会社を含む) OS上での動作については、マイクロソフト社およびApple Japan, Inc.のサポート提供期間に準じます。

■第6条 サポートの制限事項

弊社は、お客様の全ての不都合や不明点を完全に解決することを保証するものではありません。また、弊社が以下の項目に該当すると判断する事由があった場合、サポートの利用を制限する場合があります。また、火災、停電、天変地異およびシステム上の不具合が発生した場合は、サポートが一時利用できない場合があります。

- (1) 弊社の規定する動作環境外あるいはお客様固有の特殊な動作環境における不具合に対する問い合わせの場合。
- (2) 弊社が規定・提供するサポート以外の対象・方法によるサポートを強要する行為。
- (3) 第三者または弊社の財産もしくはプライバシーを侵害する行為、または侵害する恐れのある行為。
- (4) 第三者または弊社に不利益もしくは損害を与える行為、またはその恐れのある行為。
- (5) 弊社および業務に従事する者に対し、著しく名誉もしくは信用を毀損する行為、またはその恐れのある行為。
- (6) 他人のメールアドレスを登録するなど、虚偽の申告、届出を行なう行為。
- (7) 公序良俗に反する行為、またはその恐れのある行為。
- (8) 犯罪行為または犯罪に結びつく行為、またはその恐れのある行為。
- (9) その他の法律、法令または条例に違反する行為、またはその恐れのある行為。
- (10) その他弊社が不適切と判断する行為。

なお、日本語版以外のOSをご利用の場合、日本国外からの問い合わせまたは日本語以外の言語による問い合わせの場合、および製品によるお客様作成の成果物に対しての問い合わせの場合は、一切サポートを行なっておりません。

■第9条 責任の免除

1. サポートはあくまで助言としてお客様に提供されるものであり、問い合わせのあった問題の解決、お客様の特定の目的にかなうこと、および不具合の修補を保証するものではありません。
2. サポートによる保証の範囲は、各製品の使用許諾条件書に準ずるものとします。また、火災、天災、地震、水害などにより生じた損傷への保証は行ないません。

※詳細につきましては、下記URLよりソースネクスト製品サポート規約をご覧ください。

■製品サポート規約URL

<http://www.sourcenext.com/rule/support.html>

用語集

CGI

Common Gateway Interfaceとは、webサーバーがwebブラウザからの要求に応じて、プログラムを実行する仕組みです。従来のwebサーバーは、静的なページしか送信できませんでしたが、プログラムの実行が可能となることで、ユーザーからのデータに基づき、その場で動的にページを生成し、転送することができるようになりました。プログラムの記述には、Perlという言語が使用されることが多く、その他に、Java、C、PHPなども使用されます。アクセスカウンタ、掲示板、メールフォームなどは、CGIの力を借りて実現される機能です。

CSS

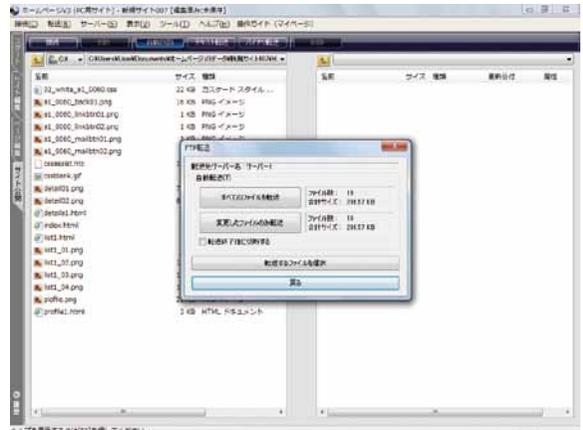
Cascading Style Sheets(スタイルシート)とは、webページのレイアウトを定義する仕様です。従来のwebページでは、HTMLファイルに文書構造とレイアウト情報が混在していましたが、視覚的構造をCSSに記述することで、HTMLは文書の論理構造を記述するだけとなり、よりわかりやすいページ的设计が可能となりました。

「ホームページV3」では、スタイルシートの存在を意識することなく、視覚的・直感的にページをデザインできますが、デザインのベースとなる「スタイルの編集」とは、このスタイルシートを編集する操作に相当します。スタイルシートの動きについて詳しくは、P.111「第4章 ページをデザインする」を参照してください。

FTP

File Transfer Protocolとは、離れた場所にあるコンピュータ間でファイルを転送するためのプロトコル(取り決め)の1つであり、実際に転送を行なうにはこのプロトコルに準拠したプログラムが必要となります。

ホームページを公開する場合、自分のパソコン(ローカル)上で作成したホームページの関連ファイルをサーバーに転送する必要があります。「ホームページV3」は、FTP転送機能を搭載しています。



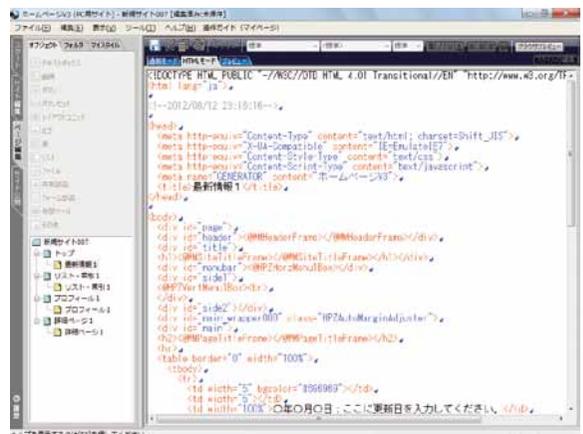
GIF

Graphics Interchange Formatは、CompuServeが開発した画像ファイル形式の1つ。扱える色が256色と少ない反面、圧縮効率が良いため、主にイラストやボタンの画像などに使用されています。また、複数の画像を1つのファイルに収めてアニメーション表示する「GIFアニメーション」としても利用されます。

HTML

HyperText Markup Languageとは、webページを記述するための言語です。ホームページは、HTMLで記述されたページ(HTMLファイル)の集合であり、HTMLファイルは「.html」または「.htm」という拡張子を持ちます。

「ホームページV3」では、HTMLを意識することなく、ワープロ感覚でページを編集できますが、いつでもHTMLで記述されたソースコードに切り替えることができます。



HTTP

Hypertext Transfer Protocolとは、webサーバーとwebブラウザ間で、HTMLで記述されたコンテンツ(webページなど)をやり取りするための通信プロトコル(取り決め)です。

HTTPS

Hypertext Transfer Protocol over Secure Socket Layerとは、HTTPをベースとして、その安全性を高める目的で開発された通信プログラムです。HTTPとの最大の違いは、テキストをそのまま送信するHTTPとは異なり、HTTPSではテキストが暗号化される点です。そのため、個人情報の送信や電子決済を行なうページではHTTPSが使用されます。

IP (IPアドレス)

Internet Protocolアドレスとは、インターネットやイントラネットなどのIPネットワーク(IPをプロトコルとして使用するネットワーク)に接続されたコンピュータや通信機器1台1台に割り振られる識別番号です。一般的に使われているIPv4のアドレスには、8ビットずつ4つに区切られた32ビットの数値が使われ、通常は0から255までの10進数の数字を4つ並べて表現されます。

211.9.36.121

ただし、実際のIPネットワーク上では、IPアドレスの割り振られたコンピュータやネットワークにわかりやすい名前(ドメイン名やホスト名)がつけられているため、IPアドレスを直接目にする機会は多くありません。

JPEG

現在、コンピュータやインターネット上で最も広く利用されている画像ファイルフォーマットの1つ。JPEGの名前は、この圧縮方式を開発した組織「Joint Photographic Experts Group」の名前に由来します。ファイル拡張子には、jpg、jpegの2種類がありますが、jpgは3文字までの拡張子しか扱えなかった時代の名残りであり、どちらも同様に利用できます。

PNG

Portable Network Graphicsの略で、画像ファイル形式の1つ。GIFで使われている圧縮方式に対して、UNISYS社が特許権を主張したため、GIFに代わる画像ファイル形式として開発されました。そのため、GIFよりも圧縮効率に優れ、なおかつフルカラーをサポートしているというメリットがあります。

RSS

Rich Site Summary(またはReally Simple Syndication, RDF Site Summary)とは、webページ上にどんな情報が含まれているかを要約する仕組みです。こうした情報は「フィード」とも呼ばれ、フィードを配信する仕組みの1つがRSSです(他にもATOMなどがあります)。「ホームページV3」では、このRSSフィードを簡単に配信できます。一方、このフィードを利用する(購読すると呼びます)には、RSSリーダーというツールが必要となります。RSSリーダーを使うことで、実際にwebサイトを訪れなくても、そのwebサイトの更新情報を確認できるようになります。



TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocolとは、もっとも広く用いられているネットワークプロトコルの1つで、インターネットの標準プロトコルです。ネットワークプロトコルとは、異なるOSが搭載されたマシン間でも情報のやり取りができるように定められた通信手順(ルール)です。

URL

webブラウザでホームページを見るとき、[アドレス]ボックスに半角のアルファベットや数字・記号からなる文字列を入力しますが、これがUniform Resource Locatorです。URLとは、インターネット上に存在するデータ(文書や画像など)の場所を指定する記述方式です。URLは次のようなパーツに分解できます。



W3C

World Wide Web Consortiumの略で、ダブリュ・スリーシーと読みます。WWWに関係する技術の標準化を進める団体で、1994年に設立されました。現在では、世界中の大学、研究機関、企業、個人が参加しています。

WWW

World Wide Webとは、インターネット上の標準ドキュメントシステムであり、インターネットに接続された、さまざまな種類の異なるコンピュータ間でのファイル共有を可能にする仕組みです。WWWで共有される文書は、HTMLによって記述されます。

アクセスカウンタ

ホームページを訪れた人数をカウントするための機能で、プロバイダ側が提供します。通常は、アクセス単位でカウントしますが、「同一日に同じ閲覧者が複数回アクセスした場合は、まとめて1回としてカウントするかどうか」を、オプションとして設定できるカウンタもあります。契約しているプロバイダがアクセスカウンタ機能を提供していない場合は、無料のアクセスカウンタを利用することも可能です。



アップデート

アップデートとは、「ホームページV3」の最新機能や不具合修正などをインターネット経由で自分のパソコンにインストールされている「ホームページV3」に適用する操作のことです。アップデートが存在する場合、「ホームページV3」を起動した時点でアップデートの存在を知らせるダイアログボックスが表示されるので、そのままアップデートを行なってください。

アップロード

ローカルパソコンからサーバーにデータをコピーすること。「ホームページV3」で作成したホームページをインターネットに公開するには、サーバーにホームページ関連ファイルを「アップロードする」こととなります。

アフィリエイト

アフィリエイトとは、webページ上に商品などの広告を表示し、その広告経由で商品が購入された場合、販売主はその広告が掲載されたwebページの運用者に手数料(紹介料)を支払うという広告手法です。



ウィジェット

ガジェットの別名。
ガジェットの欄を参照してください。

エントリー

エントリーとは、「ホームページV3」の利用を開始するための手続きです。「ホームページV3」を起動すると、エントリーを促すダイアログボックスが表示されるので、エントリーを行なってください。エントリーには、シリアル番号が必要です。

詳しくは、P.30「セクション6「ホームページV3」をアップデートできるようにする」を参照してください。

掲示板(BBS)

Bulletin Board Systemとも呼ばれる。ある参加者が自分の意見や質問を書き込み、それに対して他の参加者が自由に意見を追加することでコミュニケーションを行なう特別なwebページ。最初に投稿されるテーマは「スレッド」と呼ばれ、他の参加者が投稿する意見は「コメント」と呼ばれます。掲示板機能はプロバイダが提供するもので、契約しているプロバイダが掲示板機能を提供していない場合は、無料の掲示板サービスを利用することも可能です。



拡張子

ファイル名の中で、ピリオドで区切られた1番右側の部分。ファイルの種類(形式)を表します。オペレーティングシステムは、この拡張子によって、そのファイルの作成に使用されたアプリケーションソフトを判断しますが、拡張子とアプリケーションソフトとの対応付けは変更可能です。Windowsパソコンでは、主に3文字の拡張子が使用されます。

【主な拡張子】

- sample.txt テキストファイル
- sample.bmp ビットマップファイル(画像ファイル)
- sample.htm } HTML ファイル
- sample.html }
- sample.xls Excelファイル
- sample.doc Wordファイル

ガジェット

ガジェットとは、デスクトップやwebページ上に表示される小規模なプログラムです。詳しくは、P.200「セクション57 Googleのガジェットを挿入する」を参照してください。



サーバー

サーバーとは、クライアントに対して情報やリソースを提供するコンピュータの総称ですが、インターネットにおいてサーバーというときはwebサーバーを指します。webサーバーは、webブラウザに対してwebページの情報(WWW文書)を配信します。

ホームページを作成し、公開するには、ホームページの情報をサーバーにアップロードします。閲覧者がwebブラウザを使って、URLを指定しサーバーにアップロードしたファイルにアクセスすると、ホームページはそのwebブラウザに対して配信されます。

スタイルシート

CSSの別名。CSSの欄を参照してください。

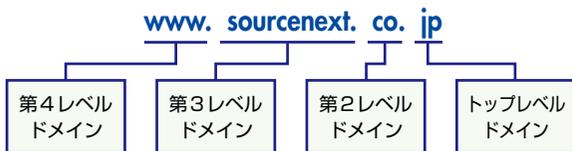
ダウンロード

サーバーからローカルパソコンにデータをコピーすること。例えば、インターネット上の企業サイトからプログラムやドキュメントファイルを入手する場合、ファイルを「ダウンロードする」こととなります。

ドメイン

インターネットに接続されているコンピュータやネットワークには、IPアドレスという識別番号がつけられます。しかし、数字の羅列であるIPアドレスは人間にとって扱いにくいので、アルファベットと数字(一部の記号)によって表現されたドメイン名を別名としてつけられるようになっていました。そして、ユーザーがwebブラウザにURLを入力すると、ドメイン名の部分は、DNSサーバーによって対応するIPアドレスに変換されます。

ドメイン名はピリオド(.)で区切られたいくつかの部分(ラベルと呼ぶ)から構成され、1つのラベルの長さは63文字以下、ドメイン名全体の長さは、ピリオドを含めて255文字以下という制限があります。ドメイン名を構成する最も右側のラベルを「トップレベルドメイン」と呼び、以下左へ順に「第2レベルドメイン」、「第3レベルドメイン」と呼びます。



ブラウザ

webページを閲覧するためのアプリケーションプログラム。Windowsに標準で搭載されているInternet Explorerが有名です。

プロバイダ

インターネットへの接続サービスを提供する業者で、正式にはインターネット・サービス・プロバイダと呼びます。詳しくは、P.12「セクション2 ホームページ開設の申し込み」を参照してください。

リンク (リンク集)

リンクとは、文書内に埋め込まれた他の文書や画像などの位置情報であり、文字列や画像、アイコンに対して設定することができます。リンクの設定された文字列や画像をマウスでクリックすると、リンク先へとジャンプします。リンク先は同じページの別の位置でも、同じサイトの他のページでも、まったく別のサイトでもかまいません。

また、他の関連サイト、よく訪れるサイトなどへのリンクをページの一部にまとめたものを「リンク集」と呼びます。

ロールオーバー(ホバー)

画像や文字をマウスでポイントしたときに、その画像や文字の形や色が変化する効果。「ホームページV3」では、画像に対して簡単にロールオーバー効果を設定できます。また、ロールオーバー効果が設定された豊富な素材が用意されています。

索引

記号

.htm	8
.html	8

アルファベット

Amazon アソシエイト・プログラム	206
BBS	251
CGI	13, 248
CSS	112, 248
Firefox	47
Flash ギャラリー	168
FTP	248
FTP 転送	76, 78, 80
GENERATOR	106
GIF	248
Google Chrome	47
Google ガジェット	200
HTML	248
HTML 出力	106
HTML ファイル	8
HTML モード	36, 47
HTTP	249
HTTPS	249
IP アドレス	249
ISP	12
JPEG	249
NEW アイコン	157
Opera	47
Paintgraphic SD	238
PNG	249
RSS	160, 249
Safari	47
TCP/IP	249
URL	9, 249
W3C	250
Windows メディアファイル	204
WWW	250
XHTML	106

ア

アクセスカウンタ	150, 152, 250
アップデータ	30
アップデート	24, 30, 250
アップロード	11, 72, 250
アニメーション	234

アフィリエイト	206, 250
アンインストール	25
移動ボタンボックス	69, 103, 162
イメージテンプレート	42, 113
イメージマップ	188
解除	189
編集	189
インストール	22
インターネットサービスプロバイダ	12
インポート	94
ウィジェット	198, 250
エントリー	30, 31, 250
[オブジェクト]タブ	36
オリジナルタグ	154
オンラインアップデート	30

カ

改行	49
改行記号	49
拡張子	8, 105, 251
ガジェット	200, 251
画像	105, 230
拡張子	105
切り替え	185
サイズ調整	57
サイズの制限	105
自由配置で挿入	59, 232
挿入	56
代替テキスト	60
縦横比率	61
背景	59
変更	60
編集	238
リンクの設定	64, 188
画像編集ソフトウェア	238
画面構成	34
カラーテーブル	228
カラム	120
起動	28
ギャラリー	168
共有部品	69, 104
PC用/スマートフォン用サイト切り替えボックス	221
移動ボタンボックス	103
更新履歴ボックス	156
サイトタイトルボックス	68, 86
サイトマークボックス	86

縦メニューボックス	89, 144
ページタイトルボックス	66
文字の書式の変更	52
横メニューボックス	89, 140
リンクの設定	64
グリッド	70, 71
掲示板	210, 251
更新履歴ボックス	38, 69, 156
設定	160
リンクを作成	159

サ

サーバー	11, 251
接続設定	72
転送	76
ファイル削除	81
フォルダ作成	80
変更	75, 108
[サイト公開]タブ	37, 76, 78
サイトタイトル	86, 104
サイトタイトルボックス	68, 86
サイトの構成	84
[サイト編集]タブ	35, 46, 84
サイトマーク	86, 104
サイトマークボックス	86
サイト名	68, 86
サポートページ	39
サムネイル	85
自動リンク	102, 166
ジャンプ	62, 64
終了	29
スタートアップウィザード	34, 42
[スタート]タブ	34, 42
スタイル	
確認	124
個別のページのみに適用	119, 122
削除	118
追加	118
編集	120
ホームページ全体に適用	119
元に戻す	120
スタイルシート	112, 251
スタイルタグ	52, 154
オリジナルタグ	154
[ステータス]タブ	35
ストリーミングファイル	198
スナップ機能	71

スマートフォン用サイト	214
PC用サイトとの連携	220
変換	218
製品登録	31
全体(body)の背景	131
ソースネクストアップデート	24, 26

タ

代替テキスト	60
タイトル	134
高さ	134
背景	134
枠線	136
ダウンロード	251
縦メニューボックス	69, 89, 144
通常モード	36, 47
テキスト転送	78
テキストボックス	230, 234
画像の挿入	231
転送	76, 78
設定	72
設定変更	108
トップページ	46, 84, 106
変更	96
ドメイン	252

ハ

背景	59, 128, 130
画像	130
バイナリ転送	78
パッシブモード	73
表	
挿入	176
ファイル	
保存先	45
フォーム	192
フォトアルバム	162
フォトギャラリー	151
[フォルダ]タブ	36
フォント	54
フッター	69, 104, 138
ブラウザ	9, 252
プリセットの選択	45
プルダウンメニュー	90
プレビュー	36, 47
ブログパーツ	200
プロバイダ	12, 72, 252

ページ	
インポート	94
階層化	98
削除	91
順番の変更	96
追加	88
幅	129
非公開	102
複製	92
ページタイトルボックス	66
ページの背景	131
[ページ編集]タブ	36, 47, 70
ページ名	66, 104
ヘッダー	69, 104, 138
ヘルプ	39, 246
ホームページ	8
保存フォルダ	45, 105
「ホームページV3」の特長	14
ホームページ開設	12, 74, 109
ホームページ・ビルダー	224
保存フォルダ	45, 105
ボタン	
リンクの設定	64
ホバー	141, 252

マ

[マイスタイル]タブ	35
マイページ	39
マイページID	30
マネージャバー	35, 36, 70
無料掲示板	210
メディアファイルの設定	205
メディアファイルの挿入	204
メニューバー	138, 140
文字	
色	54
サイズ	54
自由に配置	230
書式の変更	50, 52
入力	48
リンクの設定	62

ヤ

ユーザー登録	30, 31
横メニューボックス	69, 89, 140

ラ

楽天アフィリエイト	206
ラベル	62
履歴画面	38
リンク	62, 64, 102, 252
イメージマップ	188
自動リンク	102
ルーラ	70
レイアウトエリア	43, 114, 138
タイトル	134
変更	122
文字の書式の変更	50
レイアウトユニット	228
ロールオーバー	184, 252
ロゴ	180

「ホームページV3」製品サポートについて

ソースネクストでは、「ホームページV3」に関してわからないことや困ったことがあったときに、「ホームページV3」のヘルプや専用サポートページで解決方法をご案内しています。よくあるお問い合わせをQ&Aで紹介していますので、ご覧ください。解決方法が見つからない場合には、専用のサポートセンターを用意しておりますので、以下の方法でお問い合わせください。なお、サポートを受けるにはユーザー登録が必要です。

■「ホームページV3」専用サポートページ

- 「ホームページV3」に関するお知らせ、Q&A、アップデートプログラムの情報を以下のホームページにて随時公開しております。

<http://www.sourcenext.info/hpz/>

■メールでのお問い合わせ

- ①「ユーザー登録」を完了します。
※ユーザー登録方法は本書のP.30～P.33をご確認ください。
- ②サポートページから該当のQ&Aを探します。
<http://www.sourcenext.info/hpz/>
- ③Q&Aを見ても解決しない場合は、Q&A下部にある「解決しない」ボタンをクリックします。該当するQ&Aがない場合は、他のQ&Aページからお進みください。
- ④「メールで問合わせる(無料)」欄にある「ユーザー登録がお済みの方」をクリックし、指示に従って進みます。
- ⑤ユーザー登録済みの製品一覧が表示されるので、該当の製品名をクリックします。
※メールアドレス・パスワードの入力を求められた場合は、登録済みの情報を入力して「ログイン」ボタンをクリックします。
- ⑥お問い合わせフォームが表示されるので、質問事項を入力して送信します。

超図解 ホームページV3 公式ガイドブック

2012年10月7日 初版第1刷 発行

著者 超図解シリーズ編集部
発行者 松田憲幸
発行所 ソースネクスト株式会社
〒105-0001
東京都港区虎ノ門3-8-21
虎ノ門33森ビル6階

© SOURCENEXT CORPORATION

※無断転載・複写を禁じます

※定価はカバーに表示してあります

※乱丁本・落丁本はお取り替えいたします

Printed in Japan